

史料目録 第102集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録
(その9)

平成28年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
調査収集事業部

史料目録 第102集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録
(その9)

The catalogue of historical collections

Vol. 102

The catalogue of papers of the Hatta Family, Merchants and Town Officers
in the Early Modern Japan at Ise-cho, Matsushiro Castle Town, Hanishina County, Shinano Province

No.9

National Institute of Japanese Literature,2016

ISBN978-4-87592-175-2

ISSN2189-9010

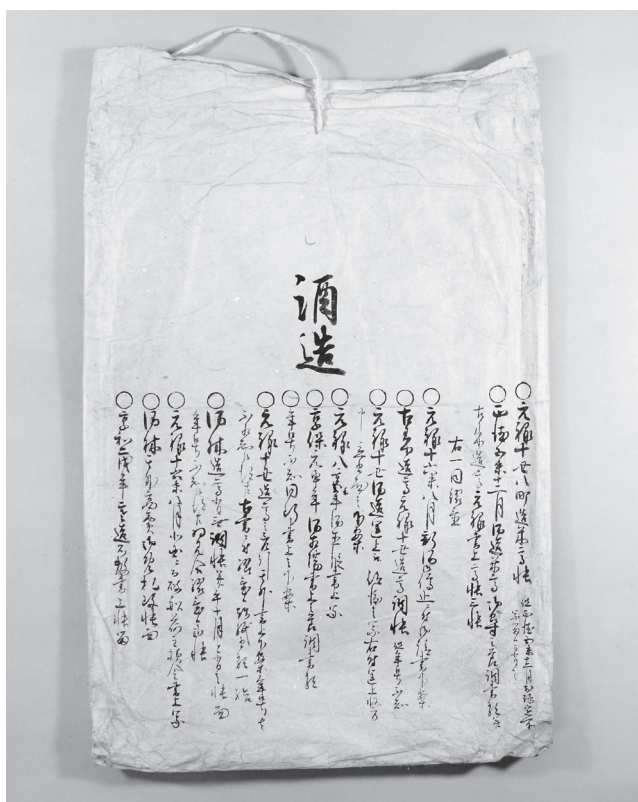


写真1 酒造関係重要古書類（え 3579）入りの袋



写真2 酒造関係重要古書類の一部

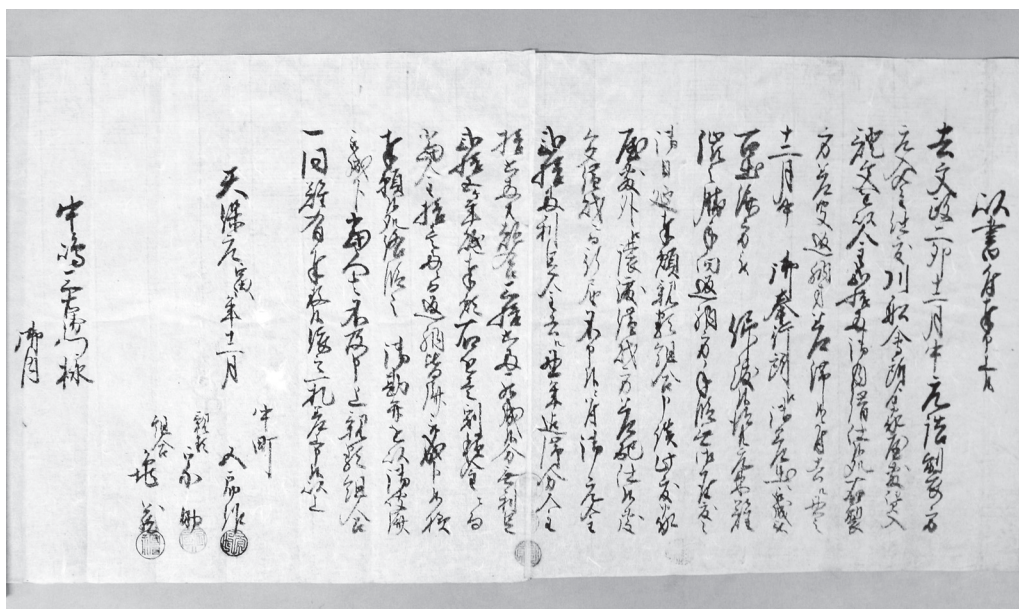


写真3 川船会所貸付金返納皆済に付一札 (え 3914)

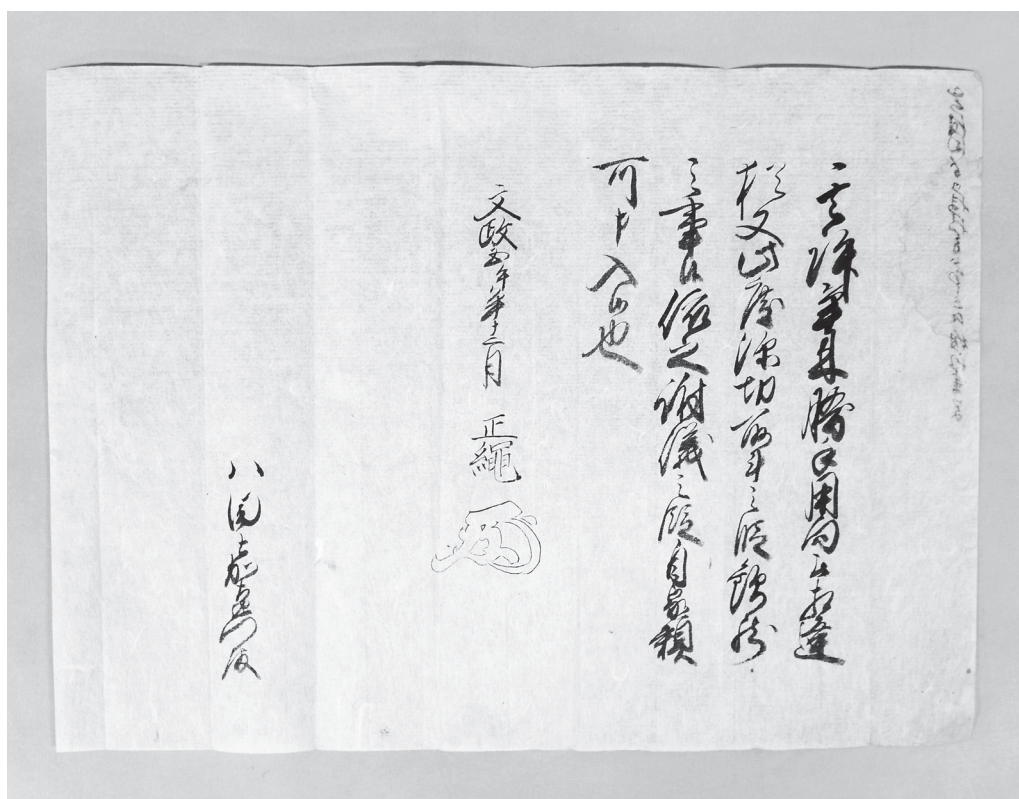


写真4 岩村田藩主内藤正繩より扶持米下賜状写 (え 3839)

凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第102集として「信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その9)」(文書記号:28B)を収めた。信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書(以下、八田家文書と略)に関しては『史料目録』第41集(1985年)・第48集(1989年)・第50集(1990年)・第94集(2012年)・第96集(2013年)・第97集(2013年)・第99集(2014年)・第101集(2015年)にも収録しており、合わせて参照頂きたい。
- 2 目録編成にあたっては、I S A D (G) (国際標準・記録記述の一般原則)の考え方も参考にしつつ、文書群を発生させた組織・集団の役割や活動に留意し、文書群の持つ内的構造を復元することに努めるとともに、上記既刊八田家文書目録の階層構造を生かすように心掛けた。
- 3 袋・包紙などによる一括文書や、袋・包紙を含めた綴り一括文書が非常に多く、当館へ譲渡後の仮整理時に一括されたと推定されるものも含め、その纏まりを尊重し最も適切と考えられる項目に一括掲載した。
- 4 本文記載は、(1)表題、(2)作成者または差出人、(3)宛名、(4)作成年月日、(5)形態・数量、(6)整理番号の順である。一括状況などの情報は、(5)史料形態に続けて/ (半角スラッシュ) で区切った上で、これを明記した。また紙質や保存状態などの情報も同様に適宜注記した。原文書の判読不能箇所などは、□や[]をもって字数を埋めた。
- 5 表題は原表題のあるものはそれを採り、ないものについては()を付して仮表題を与えた。また、表題のみでは内容が判別できないものについても、簡単な内容摘記を行い、同様に()を付した。
- 6 作成年は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年月日については、()を付した。
- 7 史料の形態は、本目録の大半を占める書付文書の場合、縦紙、折紙、縦切紙、横切紙、縦継紙、横切継紙、小切紙、小紙、札などと表記することで、料紙の使用法の違いを示した。冊子型史料では、半(半紙縦折判)、美(美濃縦折判)、横長半(半紙横折判)、横長美(美濃横折判)、横半半折(半紙横折紙半折判)などの略称によって原書の大概を示した。また絵図類や定形外の印刷物は、縦横の寸法をセンチ・メートル単位で示し、紙継があるものは鋪、ないもの(1枚もの)は枚とした。
- 8 整理番号は、仮整理時に付与されたものを踏まえ、一部に関しては今回新たに付与した。
- 9 本目録は研究部種村威史が担当し、調査収集事業部の武子裕美がこれを補佐した。文書の目録データの作成にあたっては、青木然・荒木仁朗・小田真裕・上川准・上條静香・菅原一・高尾善希・古畑侑亮・丸山康文・山田真理子の各氏の協力を得た。

総 目 次

口 絵

凡 例

総目次

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その9）本文細目次	1
解 題	5
伊勢町八田家文書の伝来と整理方法	5
八田家の歴史	6
文書群の階層構造と内容	7
文政4年八田家所有地一覧（松代藩領内分）	17
八田家関連村々一覧	18
伊勢町八田家家系図	20
木町八田家家系図	22
目録本文	25
内方	25
店方	189
町方／町年寄	196
松代藩御用	197
糸会所	206
産物会所	207
松代商法社	208
会所・商社来状一括	209
混合文書	214
その他	216
混入文書	217
既刊目録に見られる八田家文書群の階層構造一覧	219

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その9）本文細目次

1. 内方	25
1.1. 家族・奉公人	25
1.1.1. 本家勝手向立て直し	25
1.1.2. 八田喜兵衛一件	25
1.1.3. 奉公人請状	25
1.1.4. 奉公人勤向	26
1.2. 藩への上納金・才覚金	26
1.3. 藩関係	27
1.3.1. 御目見	27
1.3.2. 勤務	27
1.3.3. 献上	27
1.3.4. 藩士との交際	27
1.3.5. 藩士の縁組への助力	28
1.3.6. 藩主相撲上覧一件	28
1.3.7. 他藩ほかの情報	29
1.4. 土地経営	29
1.4.1. 持地	29
1.4.2. 買取・質取	29
1.4.3. 売渡	33
1.4.4. 所持地年貢目録	35
1.4.5. 所持地石高取調	35
1.4.6. 土地絵図	37
1.4.7. 借家・借地	38
1.4.8. 土口村	47
1.4.9. 東条村	48
1.4.10. 矢代村	52
1.4.11. 東寺尾村	54
1.4.12. 西寺尾村	55
1.4.13. 皆神山	55
1.4.14. 牧内村	55
1.4.15. 清野村	56
1.4.16. 平林村	56
1.4.17. 赤岩村	57
1.4.18. 田中村	57

1.4.19. 河原新田	58
1.4.20. 浦新田	59
1.4.21. 木町	59
1.4.22. 西条村	59
1.4.23. 岩野村新田	59
1.4.24. 会村	60
1.4.25. 東荒町村	60
1.4.26. 中条村	60
1.4.27. 荒町村	60
1.4.28. 御安口村	61
1.4.29. 新御安口村	61
1.4.30. 荒町	63
1.4.31. 浄行寺	63
1.4.32. その他	63
1.5. 金融	64
1.5.1. 預り金・借入金	64
1.5.2. 貸付金	77
1.5.3. 無尽	128
1.6. 飯山領	145
1.6.1. 質地	145
1.6.2. 貸付金	145
1.6.3. 無尽	147
1.7. 上田領	151
1.8. 岩村田領	151
1.8.1. 勝手御用	151
1.8.2. 仕送金	152
1.8.3. 小作	152
1.8.4. 貸付金	152
1.9. 田野口領	153
1.10. 埴科郡下戸倉村（幕領）	154
1.11. 小県郡根津（旗本知行所）	154
1.12. 赤倉温泉	155
1.13. 金銭・穀物請払	155
1.13.1. 穀物・諸品請払	155
1.13.2. 普請	169
1.14. 家計取調	169
1.15. 儀礼	170
1.15.1. 出生	170

1.15.2. 元服	171
1.15.3. 婚姻	171
1.15.4. 贈答・進物	174
1.15.5. 法事	174
1.15.6. 先祖供養	176
1.16. 寺社	177
1.16.1. 浄福寺	177
1.16.1.1. 浄福寺借財関係	177
1.16.1.2. 浄福寺祠堂金貸付一件	179
1.16.2. その他	179
1.17. 諸芸	180
1.17.1. 茶の湯	180
1.17.2. 占術	180
1.18. 諸書類	180
1.18.1. 澤守禮ほか印書関係	180
1.18.2. 安政三丙辰年正月中よりの参簡	183
1.18.3. 依田市右衛門関係	185
1.18.4. 諸方到来之文通	185
1.19. その他	187
2. 店方	189
2.1. 酒造方	189
2.1.1. 酒造鑑札	189
2.1.2. 酒造入用	189
2.1.3. 棚卸	189
2.1.4. 借入金	189
2.1.5. 内方より拝借米金・上納金	191
2.1.6. 酒造関係重要古書類	191
2.2. 醤油店	195
2.2.1. 入用	195
2.2.2. 他店立て直し	195
3. 町方／町年寄	196
3.1. 宗門改	196
3.2. 町政	196
4. 松代藩御用	197
4.1. 川船会所	197
4.1.1. 通船免許	197
4.1.2. 貸付金	197
4.1.3. 飯山一件	197

4.1.4. 中野一件	202
4.2. 御用米納入	204
4.3. 巡見使接待	204
4.4. 分量金	204
4.5. 荷物差札認方	205
5. 糸会所	206
5.1. 紬仲買人仲間	206
6. 産物会所	207
6.1. 拝借金	207
6.2. 会所貸下金	207
6.3. 冥加金	207
6.4. 杏仁	207
6.5. 褒賞	207
7. 松代商法社	208
8. 会所・商社来状一括	209
9. 混合文書	214
9.1. 内方・糸会所混合文書	214
9.2. 内方・産物会所混合文書	214
10. その他	216
11. 混入文書	217

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その9）解題

文書群記号 28B

文書群名 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書

年代 延宝7年（1679）～明治19年（1886）

数量 3,132点

伊勢町八田家文書の伝来と整理方法

伊勢町八田家文書は信濃国埴科郡松代伊勢町（現在の長野県長野市松代町）に宝永6年（1709）に居住して以来、今日に至っている八田家に伝来した文書群である。昭和28年（1953）、9代目当主八田恭平氏（明治33年、1900年生まれ。昭和36年、1961年死去）によって文部省史料館（現在の国文学研究資料館）に譲渡された。

譲渡当時の整理の様相については不明だが、受け入れ当初、カード目録が作成され、その後、昭和56年（1981）頃から本格的な整理作業が再開された。再開された整理作業に基づいて、『史料館所蔵史料目録 第41集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その1）』（以下、『八田家文書目録』と略す）が昭和60年（1985）に刊行された。その解題には「総点数は書付類を含めると数万点にのぼり、一度に目録化することは不可能であるため、逐次分冊で刊行していくことにした。今回はくその一>として、冊子型史料の大半と、伝存形態の上で冊子と密接に関連している書付型史料若干」を収録するという整理・刊行方法が提示されている。以後、『史料館所蔵史料目録』としてその1からその8の8冊が刊行された。

その1（第41集、1985年） 請求番号あ1～3411（中性紙箱74箱分）

その2（第48集、1989年） 請求番号い1～1046（中性紙箱10箱分）

その3（第50集、1990年） 請求番号う1～937（中性紙箱7箱分）

その4（第94集、2012年） 請求番号え1～870

その5（第96集、2013年） 請求番号え871～1342、2289～2295

その6（第97集、2013年） 請求番号え1343～1751

その7（第99集、2014年） 請求番号え1752～2053

その8（第101集、2015年） 請求番号え2054～3435

以上の通り、八田家文書は当初『八田家文書目録』ごとに、あ～うの整理番号が冠され、『八田家文書目録』その4以降については煩雑となるため、すべて「え」で統一することにする。

『八田家文書目録』その4でも述べたように、整理作業開始段階において、八田家文書の未整理分は衣装箱と目される黒塗りの箱9箱、段ボール箱3箱、AFハードボード製（中性紙）箱23箱であっ

た。衣装箱と目される黒塗りの箱は縦 36.7cm×横 69.4cm×高さ 33.5cmで、前面に 2 つ鍵、後ろに 2 つの蝶番が付いたものである。どのような経緯で、この箱の中に文書が収納されたか不明だが、他の文書群でも使用されている場合もあり、文部省史料館へ譲渡された後に収納したのであろう。箱はそれぞれ番号が付与されており、これらは以前の整理段階の様相を反映している可能性があるため、『八田家文書目録』その 4 以降の整理では箱 1・2 から始めた。今回は、衣装箱と目される黒塗りの箱、および 13・14 箱に収納されたものを整理した。

未整理文書のほとんどが文部省史料館の酸性紙封筒に納められていたが、番号が付与されておらず、また、ひとつの封筒に複数の文書が入っていた。そこで、現状を生かしながら箱に納められている状態から取り出し、それぞれの文書に新しい番号を付与して、中性紙封筒に納めた。ただし、虫損甚大である文書が多く、保存処置に時間を費やす必要があるため、閲覧請求に応じられない場合があることを了解されたい。

八田家の歴史

伊勢町八田家（年表と系譜は後掲）の初代孫左衛門重以は、本家である長左衛門庸重の二男であり、宝永 4 年（1707）6 月に分家し、同 6 年 6 月より伊勢町に居を構え商売を始めた。同時に町年寄にも就任している。享保 11 年（1726）4 月に金 60 両 2 分を才覚金として上納し、同月中に御目見を許されている。当時の松代藩は江戸城普請などによる度重なる出費により財政が悪化している時期であった。

2 代目嘉助芳茲は元禄 10 年（1697）生まれである。初代孫左衛門の弟に当たり、兄の養子となった。寛保 3 年（1743）7 月、町年寄に就任し、初代孫左衛門の死後、養父同様に藩より 30 人扶持を拝領している。さらに、同年 12 月 1 日には御用金の切り捨てにより、代わりに 20 人扶持が加増され、合計 50 人扶持が給されることとなった。宝暦 6 年（1756）7 月 9 日に病気のため、町年寄を退役。同月 15 日死去。それ以前に、息子鉄治郎（のちの 3 代目孫左衛門以親）への家督相続と 50 人扶持の給付を藩に願い出て、養子嘉右衛門（増田徳左衛門三男。妻は嘉助女）による本家の木町八田家再興を遺言した。実際、寛保 3 年には、本家の財政再建についての意見書を提出している（え 3604）。養子嘉右衛門は本家である木町八田家を相続し、その後、木町八田家は嘉助の四男喜右衛門が相続しているが、この際に文書移動があった可能性については後に説明したい。

3 代目孫左衛門以親は寛保 2 年（1742）に生まれた。幼名鉄治郎。父嘉助が死去した宝暦 6 年（1756）はわずか 15 歳であったが、藩より 30 人扶持が給付されることとなった。当時、松代藩財政は悪化の一途を辿っており、加増分 20 人扶持が召し上げられたのはそれ故と思われる。元服後、同 11 年に町年寄役に就任。寛政 4 年（1792）までの間、30 年以上町年寄役を勤めた。その間、息子の 4 代目嘉右衛門知義も寛政 3 年から町年寄を勤めており、親子で城下町の差配を行なう時期があった。寛政 4 年に孫左衛門が病気で町年寄を退役したため、実際の家の経営などは 4 代目嘉右衛門に移ったものと思われる。その後、300 両を藩に上納し、享和 2 年（1802）には初代孫左衛門以来の出精が評価されて給人格御勝手御用役に取り立てられた。

4代目嘉右衛門知義は明和8年(1771)に生まれた。寛政3年(1791)3月22日に町年寄に就任している。享和3年(1803)に父孫左衛門が死去すると家督を相続し、藩からは30人扶持が与えられ、父同様給人格御勝手御用役に取り立てられた。さらに、城下町町人の人別からは除かれ、別帳扱いとなっている。文化年間にはたびたびの御用金献上の功績により、5人扶持が加増され、加えて、この5人扶持を弟喜兵衛に与えて分家することを認可されている。

4代目の時期には、藩の役職に多く任命されている。文化13年(1816)には産物御用掛、翌14年には川船運送方御用、文政7年(1824)には社倉調役、同9年には糸会所取締役、天保4年(1833)には産物会所取締役などである。藩の商品流通政策に不可欠な存在となったわけである。以上の功績により、文政7年には給人永格となった。

5代目嘉助知則は文化4年(1807)に生まれた。幼名鉄之助。嘉永元年(1848)12月に4代目嘉右衛門が死去すると、家督を相続した。30人扶持給付と御勝手御用役取り立ては父と同様である。しかし、同4年に45歳の若さで死去する。

6代目慎蔵知道は文政12年(1829)に生まれた。嘉助が亡くなると、家督を相続し、父祖同様に30人扶持が給付され、御勝手御用役に取り立てられた。産物会所の役職を勤めたものと思われる。明治維新後、領内の商人資本を統括し、それを横浜交易にあてた。明治2年(1869)に松代商法社が設立されると、慎蔵は商法掌に任命された。その後、慎蔵は士族に列し、明治12年(1879)には第六十三銀行(明治11年設立。本店は稲荷山村。昭和6年に第十九銀行と合併し、現在の第八十二銀行に至る)頭取に就任する。のち、現代に至る。

文書群の階層構造と内容

『八田家文書目録』その9では、文書群の階層構造を追求するにあたり、八田家の内部組織を追及し、その組織を大項目(サブフォンド)とし、中項目(シリーズ)・小項目を設定した。ただし、編成作業では、紙縫紐などで書類を一括した「綴」の形をとるものや、袋入りのものが多く、これが目録上で内部組織を示す上での制約となった。すなわち、紙縫りなどの一括した文書は、内容・発信者・年次など、様々な基準でまとめられているため、機能・内容を異にするものが混在する。そのため本来は「綴」形態を無視して、個々の文書レベルで編成することも考えられた。しかし、近世・近代に八田家によって整理されたことが明らかなものも多い。かかる同家の整理基準を尊重することは、同家の文書群の存在意味を考える上では重要かと判断した。

したがって、編成作業では、サブフォンドレベルでは、文書内容から、内部組織の大枠を判断し、目録に反映することには成功している。しかし、シリーズレベルでは一括の形態を崩すことは、なるべく避けたため、内部組織の管理様相を十分に反映していないことも多いわけである。この点を了解されたい。なお一括の形態を崩さなかったのは、保存・管理の観点からの判断でもあることを付言しておく。

以上の作業の結果、本目録に収録したサブフォンドレベルでの構成と件数は、1.内方2,742件、2.店方101件、3.町方／町年寄2件、4.松代藩御用126件、5.糸会所1件、6.産物会所14件、7.松代

商法社 1 件、8. 会所・商社来状一括 106 件、9. 混合文書 36 件、10. その他 2 件、11. 混入文書 1 件となった。

以下、大項目（サブフォンド）ごとに階層構造と内容を示すとともに、特記すべき中項目（シリーズ）について記述する。あらかじめ指摘すれば、本目録は、1. 内方のうちの、特に土地経営と金融に編成された文書が 1,789 件と過半を占めている点が、これまでの目録には見ることができない特徴である。つまり、同家の「家」経営の特質を考える上では欠かせない文書が、多数収録されているということになる。既刊分の八田家文書目録 8 冊の編成も含め、全体的な編成については、本目録巻末に示した。各分冊によって階層構造認識には若干の差異も見られるが、閲覧利用の利便性も考え掲載したので、既刊分の解題とともに参照されたい。

サブフォンド「内方」

「内方」は、八田家の家政機関であるとともに、店方の統轄をした機関である。今回の『八田家目録』その 9 においては 2,742 件。

シリーズ「家族・奉公人」について。24 件。ここには、八田家の家族や親族の生活や、同家の奉公人の勤務に関わる文書を編成した。「本家勝手向立て直し」は、既述の通り、本家である本町八田家再建のための、3 代目以親の提言の記録である。

「八田喜兵衛一件」とは、一族の八田喜兵衛の行状をめぐる記録類である。喜兵衛は 3 代以親の養子で、4 代知義にとっては義理の弟である。喜兵衛は文化 10 年（1813）に別家を立て、藩より五人扶持の支給を受け、勝手向御用役、のちに糸会所元方（文政 9 年）を勤めていた。その時期、公私とも藩の御用を勤めるにふさわしくない生活を送ったことに端を発し、藩の御用を解任される騒ぎとなる。結局、本家の取り成しの上、誓詞の提出により一件を落着する。のち、喜兵衛は産物会所元方（天保 4 年）に任命されていることを見ると、失地回復したとみられる。

奉公人については、その採用に関わる「奉公人請状」や、奉公人の日常生活の様子を示した史料が大半である。

シリーズ「藩への上納金・才覚金」について。9 件。藩の財政への支援のため八田家より御用金を上納した際の証書類を編成した。なお、後述する通り、同家は、藩主や藩の資金を運用する役割も果たしており、藩財政運営にとっては欠かせない存在であった。

シリーズ「藩関係」について。37 件。八田家は歴代当主や一族は、藩から扶持米を拝領する待遇を得ていた。藩庁への御目見、藩庁への勤務届などの諸書類は、かかる八田家の属性に関わり蓄積されたと考えられる。内容に応じて、「御目見」「勤務」「献上」「藩士との交際」「藩士の縁組への助力」「藩主相撲上覧一件」「他藩ほかの情報」のサブシリーズを設定し編成した。当主別でみれば、特に 4 代知義のものが多なのは、藩の役職に多く任命されていることに関わるのかもしれない。

「藩主相撲上覧一件」は文化11年（1814）、領内に所在する諏訪宮神社の勧進相撲を藩主幸専が上覧した際の諸記録をまとめたものであり、知義も藩主へ拝謁し、献上物を提出している。また、松代藩士長谷川善兵衛息子や関田庄助三男の縁組みへの助力に関わる文書もあるが、これらも、八田家歴代の藩士としての活動に関わるものと判断し、ここに編成した。

シリーズ「土地経営」について。456件。既述の通り、本目録では土地の売買証文や借家経営に関わるもの等、八田家の「家」経営の特徴を示す文書群が多い。同家は、元禄以降より土地の集積を開始しており、宝暦・天明期を経て商人地主となった。所持地については後掲【表1】からわかる通り、文政4年（1821）の段階では松代城下やその周辺村落に土地や抱え屋敷など多く所持していた。さらには御用金の提供を契機に、飯山や田野口藩領内や佐久郡内など松代藩領外とも関係を持ち、土地を所有し小作地を経営していた。こうした、土地経営により集積された資本が、後掲の同家の商売や金融活動の原資となったことと考えられる。

遠隔地の土地からの年貢米や作徳米徴収の実務は、内方の役代が担当したと考えられ、天保7年（1836）の家政改革では、役代に対して小作初年貢、持地田畑・小作地、家賃などの取立方についての引き締めを促している。本シリーズに、小作初や作徳米などをめぐる争論史料が見えるのも、後年の土地をめぐる争論回避のための先例資料として内方にて保管したためであろう。

本シリーズの編成にかかわって、『八田家文書目録』その7・8、そして本目録では、土地経営活動の特徴を知るための利便性を考慮し、城下町に所在する土地に関しては「持地」「買取・質取」「売渡」「借家・借地」などに編成し、主に城下町以外に所在する藩領の村々については「東条村」「西条村」などと村ごとに項目を設定し編成している。

なお、飯山など他領での土地経営を含む活動については、別途シリーズを設定し編成した点も前目録の方針を引き継いでいる。実際、八田家では基本的には、領内の持地と領外の持地を別な帳面で管理していたようであり、そのため、例えば【表1】典拠の「御持地御高小作人入元帳」（あ588）のような土地経営帳簿には、飯山や田野口など領外の持地は含まれない。『八田家文書目録』その5の口絵には、時期は不明ながら同家が文書保管に利用していた文書筆筭が複数掲載されているが、この筆筭には「飯山」「岩村田」などと貼紙が付けた引出が確認できる。これも同家が領内と領外の土地経営書類を区別して管理していたことと関わるものであろう。

『八田家文書目録』その7では、年貢目録や石高の取調調査書については、各村々に編入しているが、本目録ではこれらが、編綴される等まとまった形で、しかも一定規模、存在していることから、サブシリーズ「所持地年貢目録」「所持地石高取調」「土地絵図」を設定し、ここに編入した。なお、所有地のうちに「新御安口村」とあるが、これは西条村の分村であり、同家の土地経営史料には西条村の名所として登場するが、独立村として立項した。

シリーズ「金融」について。1,346件と本目録の3分の1を占め、なかでも、「貸付金」に編成した文書群は785件と規模の大きいものである。八田家の経営についての研究では、特に、文化・文

政期に店経営から貸付金・無尽などの金融活動に転換することが指摘されているが、本シリーズに収録した金銭の貸借証文や無尽関係史料は、それ以前のものも多い。同家は早い段階から商売と併行し、金融活動に努めて、のち徐々に経営方針を転換していったと考えられる。

「預り金・借入金」の多くは、藩の勘定所からのものが多く、また藩主の御繰回し金の借用なども同家と藩の金融とのつながりを示すものである。それ以外には、東叡山（え 3612）や撰家の九条家（え 3613）といった遠隔地からの借り入れも見えるが、これは営業資金の一部を藩領外に求めることがあったことを示している。

一方、「貸付金」は松代領内外の村々への貸付が散見し、地域金融市場での八田家の位置を示している。ところで、借用証文の書面上には八田家の名前が存在しない場合もある。しかし、この場合も証文自体は、八田家に保管されているのである。ここから推して八田家の貸付方法を挙げるなら、

- ・八田家自身が貸し手となる場合。
- ・藩士の貸付を取り次ぐ場合。
- ・藩や藩士の資産を借用、あるいは運用し、八田家が村へ貸与する場合。
- ・八田家が出資し、それを受け取った藩士などが貸し手となり村へ貸与する場合。

など多様であったと考えられる。したがって、本来ならば、各証文それぞれを分別した項目を立てて編成することも考えられたが、現時点では、その貸付の詳細が確定できないものも多く、それが叶わなかったことを了解されたい。ただし、最終的には八田家に証文が残ったという事実から、その資金の提供などに八田家が関わっていたことは推測できる。以上の金銭の貸借は、一方通行で完結するのではなく、相互に循環し、同家の経営資金としてはもちろん、藩や地域の金融の一環として機能していたと考えられる。

加えて、返済困難な村への年賦金の長年期切替証文などの史料が多数存在することから判断すると、同家の貸付行為は単に利殖を目的とするのみならず、地域への資金融通の機能をもっていたとも考えられる。この点は無尽も同様であろう。同家は、領内外での無尽に多く参加しているが、これを融通という視点から見ると、借入や貸付などの金融行為と厳密に区別することは困難である。実際、綴の中には貸付金関係と無尽関係の文書が合わせて編綴されたものが見られることも、この点に関連しよう。

シリーズ「飯山領」「上田領」「岩村田領」「田野口領」「埴科郡下戸倉村（幕領）」「小県郡根津（旗本知行所）」「赤倉温泉」について。

総数 145 件。『八田家文書目録』（その 7）・（その 8）の方針を継承し、本目録でも同家の松代藩領外における諸経営・活動を領内のそれとは別に編成し、上記各シリーズを設定した。

飯山（現在の長野県飯山市飯山）は信濃国水内郡の地で、皆川・堀・佐久間・桜井松平・永井・青山家、そして、享保 2 年（1717）以降は譜代大名の本多家の領地であった。すでに指摘されているように、文政 7 年（1824）より 5 ケ年季で飯山藩に 3000 両を貸し付け、藩は領内の村々を抵

当とし、毎年作徳米を八田家に納めることとなった。しかし飯山藩の返金滞納を契起として、抵当地のうち蓮・静間両村と八田家の間で争論が発生する。この一件は、後掲の「サブファンド『松代藩御用』のうち特にシリーズ『川船会所』について」を参照されたい。

岩村田（現在の長野県佐久市岩村田）藩は、内藤家 15000 石の領地である。『八田家文書目録』その 5 でも触れられている通り、八田家は文政 5 年（1822）より 10 ヶ年季で岩村田藩に 2000 両を貸し付けていた。これに対して領内の村々が抵当として質地となり、毎年、作徳米を八田家に納めることとなった。かかる一件を契機として八田家は当領と関わりを持つことになる。同家が佐久郡にも土地を所有しているのはこの関係があり、金銭の貸付も同領に土地を所有していることに関連するのであろう。なお、この貸し付けの関係で、同年には勝手向御用への尽力のため、藩主の内藤正縄より扶持米の下賜を受けている（え 3839、3849、口絵 4 参照）。

また、同家は岩村田藩領と同様に佐久郡内（田野口領、現佐久市）、小県郡内（上田藩領〈現上田市〉旗本知行所〈現佐久市〉）にも土地を所有し、金融活動を展開するなどしていた。その他、下戸倉村（埴科郡、幕領）でも同様に活動していることが、今回の整理の過程で判明したため、適宜、サブシリーズを設定した。なお、特に八田家に関わる村々については【表 2】としてまとめたので参照されたい。

シリーズ「金銭・穀物請払」について。352 件。同家の日常生活における、家作普請や食料・日常生活品、あるいは諸芸に関わり購入した書籍類などの代金の支払いに伴って発生した諸書類を編成した。本目録には、これまでの目録には例がないほど多数収録している。

シリーズ「家計取調」について。30 件。以上の内方、そして下記の店方など八田家の諸活動に伴い発生する資金は、『八田家文書目録』その 6 で記述の通り、最終的には、内方に設置されていた元方が取り纏め、必要に応じて、各部門に資金を再分配する等の仕組みをとっていた。そうした資産管理の実務を理解できる史料が「家計取調書類一括」（え 3992）であり、組織における元方の機能を理解する上でも極めて貴重な史料である。雛形も多く含まれるが、預かり金や金子の貸付先の一覧、所有地や借家、店方、会所経営などに関わる資産の取調べの様子や、それに伴う文書作成の様子について理解できる。本史料の作成者は袋上書の記載によれば 5 代知則であるが、おそらく実際の作成主体は元方であり、それを当主知則が裁可した上で保管したものであろう。

シリーズ「儀礼」について。132 件。同家の、特に歴代当主の人生儀礼や通過儀礼に関わる諸文書で、1. 出生 2. 元服 3. 婚姻 4. 贈答・進物 5. 法事 6. 先祖供養 に分類される。特に悟達院（4 代知義）、玄曠院（5 代知則）を初めとする、歴代の回忌儀礼関係の史料がよく保存されており、同家の家意識の強さを見てとることができる。

シリーズ「寺社」について。42 件。ここでは同家と寺社との関わりから発生した諸文書を編成した。特に、同家の菩提寺である浄福寺関係の史料が多い。同家は浄福寺の土地や資産の管理に関与して

いたため、祠堂金の運用、借財の処理に関わる多くの史料が残されたわけである。また、正法寺については同家との具体的な関係は不詳ながらも、金子を融通し合う関係にあったことがわかる。

なお、これまでの目録では、寺社名目の無尽については本シリーズに編入していることが多い。しかし、本目録では、寺社名目であっても、その参加者などから判断する限り、これは地域金融、あるいは地域融通の一環に位置するもの捉えた。したがって、菩提寺浄福寺や善光寺良性院など寺社名目の無尽についても、シリーズ「金融」のうちの、サブシリーズ「無尽」に編成している。この点を注意されたい。

シリーズ「諸芸」について。14 件。特に茶道関係の文書が多く、1 点のみ占術家に入門する際の誓詞が存在する。

シリーズ「諸書類」について。149 件。八田家では書類を仮整理する際、袋へ一括していた書状・書付を一度取り出し、袋とともに綴じて再整理している。内容については時代ごとにまとめているものがある一方、一定程度関連する内容のものをまとめているものもある。特に、前者であれば、内容が多様な場合もあり、然るべき項目に編成することも考えられた。しかし、本目録では、八田家の整理による秩序を尊重し、まとまりを崩すことなく編成した。標題は「澤守禮殿御差引書その他印書」「安政三丙辰年正月中よりの参簡」など袋の上書の記述を尊重し、付与した。

シリーズ「その他」について。6 件。いずれも、八田家の活動との関係は不明な文書ではあるが、藩や地域の情報収集の過程で、内方に蓄積されたものと判断し、ここに編成した。

サブフォンド「店方」

「店方」は、八田家の営業部門であり、酒造方（酒蔵・酒店）・呉服店・油店・醤油店（松井店）・質店の存在が明らかとなっており、それら店ごとの組織をシリーズとして設定している。総数 101 件。内訳は酒造方 99 件、醤油店 2 件である。

最も多い酒造方でも酒造株・酒造鑑札、棚卸に関わる文書が多く見えるが、特記したいのは「酒造関係重要古書類一括」（え 3579、口絵 1、2 参照）である。ここには、例えば、酒造株や酒造高関連史料など経営の根幹に関わるもの、奉公人請状、幕府よりの酒造に関する触写など酒造経営に関わるものなど、同家が重要と判断した非現用書類を一括したと考えられ、元禄 10 年（1697）～享和 3 年（1803）に至るまでの古書類が 60 点余ほど封入されている。これらは、おそらく経営の先例になると判断して、特別な保存措置を講じた上で、保管してきたと考えられる。

例えば、文書の保管形態の実際については口絵 1・2 を参照されたい。特に、口絵 1 のように、袋には、「○元禄十丑八町造米高帳 ○正徳五未十二月酒造米高御尋之節調書類并古来造高元禄書上高帳三帳面 右一同認置」など封入した文書の内容を 13 筆に渡り摘記しており、検索の便を図っている。検索を簡易にするための処置であろう。

更に特記しておきたいのは、大半は伊勢町八田家の作成のものであるが、中には、例えば新酒停止命令の請書や酒造高書上書類など、少数ながら本家の木町八田家の文書が含まれている点である。写も多いので、後年、本家より文書を借用し写した可能性もあるが、中には原本も存在する（え3579-2）。これに関連し『八田家文書目録』その1には元禄15年（1702）、本家作成の「酒造米高書上」（あ116）という帳簿や一紙ものが併せて7点存在し、これらは確実に原本と判断できる。以上は、酒造関係書類を本家より引き継いだことを示している。

本家の木町八田家では、5代長左衛門が村々から不正に金子を徴収したために、子の6代吉十郎が役儀を召し放されるなどの事件があり、本家は一度断絶するが、伊勢町八田家2代の嘉助が本家に養子嘉右衛門を入れることで、本家を再興した。おそらく、この時期を機会として、本家の酒造経営関係の古文書類の一部を八田家が引き継ぎ、永年保存と判断した書類の一部を、他の重要史料と一緒に袋に一括して保管したことで、本史料は成立した。その際、同家では書類を紙綴りで綴ったりしながら、最終的には袋に一括したものであろう。伊勢町八田家文書は本家の木町八田家文書を含んでいる点、ならびに本史料より松代藩領内前期の酒造経営の様相の一端が判明する点に注意されたい。

サブフォンド「町方／町年寄」

2件。八田家では初代孫左衛門を初めとして、享和3年（1803）に、町方の人別から離れるまで代々の当主が伊勢町の町年寄に就任した。その関係で、町方関係の文書も蓄積されることになった。ここには、藩よりの触写や宗門改対象者の書上など、町年寄の職務として作成した文書と判断したものを編成した。

サブフォンド「松代藩御用」のうち特にシリーズ「川船会所」について

115件。八田家は藩士として藩に出仕する一方、城下大商人として、さまざまな藩の御用を勤めた。したがって藩内の「御用」に関するサブフォンドとして「松代藩御用」を設定した。但し、既刊の『八田家文書目録』に准じ、系統的に残されている産物会所については、利用の便も考慮し、別のサブフォンドとした方が良いと判断し、別途編成した。ここではシリーズとして「川船会所」「御用米納入」「巡見使接待」「分量金」「荷物差札認方」を設定した。なお、「荷物差札認方」については藩の御用荷物の会符管理に関わるものである。同役の機能についての詳細は『八田家文書』その8の「解題」を参照されたい。

特に川船会所御用について触れておく。藩が文政4年（1821）、幕府よりの許可を得ることで開設した千曲川通船事業に関わるもので、商品の独占販売と領内物資の安定的供給、冥加金徴収を目的としたものである。糸会所や産物会所などの一連の商品流通の先駆けとも言われる。開設までの期間、一部の川沿いの宿方より反対を受けるが、補填費用を支払うなどの慰撫を施し、これを懐柔する。これに先駆けた文化14年（1817）の川田－福島宿間の試験運航は、八田家が主体となって行われたことから、会所発足当初より、同家に関与していたことが考えられる。史料が八田家に

集中的に残ったのは、同家が会所で重要な役割を果たしていたためであろう。通船免許許可願（え 3559）が残っている理由もそこにあると考えられる。

会所は、物資流通運営に携わるとともに、宿方や周辺に貸付金なども貸与していた（え 3914、口絵3参照）。そうした貸金事業に伴い、会所の繰り回し金を飯山藩へ、領内の村の土地を質地として貸与したことが発端となり、返済滞納にともなう質流れと土地移動に反対する村々との争論から江戸出訴にまで発展したのが「飯山一件」（え 3524 など）であり、中野村の引湯や、川沿い宿々への助成金貸付に関わるものが「中野一件」（え 3527 など）である。以上は、従来紹介されてきた川船会所の活動では未知であった側面を示す史料群である。

特に飯山一件は、文政6年（1823）には川船会所の村々への貸付金2,300両の返金が滞納したことに端を発する事件である。この貸付金の集金人が4代八田知則であるが、知則は、この返金のあてを、飯山領静間・蓮両村の質地を抵当にした郷借金に求めた。もともと、この郷借は『八田家文書目録』その7の解題に詳しいように、飯山藩の財政再建のために藩主本多家が八田家より支配村々を抵当にして金3000両を借用したが、その返済が滞納したため、静間・蓮両村が郷借し肩代わりをすることになる。しかし、両村は返済できず、抵当の土地は質流れとなる。知則は、この小作地を提出することで、川船会所への返済金を相殺しようとした。しかし、静間・蓮両村の抵抗に遭い、天保9年（1838）まで事件は続き、事態は江戸への出訴にまで至る。

以上が、「飯山一件」である。『八田家文書目録』その7にも、この一件に関わる史料が多数存在し（例えば、え 1766、1767 など）併せて参照されたい。ただし、それらはシリーズ「飯山領」に編成されている。本目録では、本一件は川船会所による村々への貸付をめぐる問題が発端となっていることから、八田家の川船会所役人としての属性に関わるものと判断したため、本シリーズに編成している。この点、利用に際しては注意されたい。

サブフォンド「糸会所」

糸会所は文政9年（1826）に製糸業育成と統制のために設置された、産物会所の前身的な組織である。本目録では、紬仲買人の増員願に関わる書類の1件である。これは糸会所宛となっているが、知義が同会所の取締役に勤めたことにより八田家に伝来したものであろう。

サブフォンド「産物会所」

14件。産物会所は天保4年（1833）、紬生産の興隆にあたって糸会所の後継として設置された組織である。産物会所の役割は、①藩から資金（中借金）の調達と問屋への貸付 ②問屋による産物の集荷 ③鑑札を発行して生産者や仲買人を統制し、冥加金の取立 ④上方・江戸での売り捌きに区分できる。本目録には、③の冥加金に関わる書類がまとまって存在する。また、本目録では、明治4年（1871）付の「御産物方御役所」宛の拝借証文が存在する（え 3825）。明治2年に発足した松代商法社を産物会所の後継組織として捉える見解もあるが、本史料を勘案すれば、両組織は並行して存在した可能性もある。今後、両組織の関係を捉え直す上で重要な史料である。

サブフォンド「松代商法社」

松代商法社は、明治2年(1869)に、松代藩領内の商人を集め横浜交易を推進するために、大谷幸蔵を中心に、松代城下と羽尾村に設置された組織である。6代知事は明治2年12月に商法掌に就任している。本目録では1件のみで、内容は商法社御番人の内借である(え3890)。

サブフォンド「会所・商社来状一括」

106件。上記のように同家は会所や商社に参画してきたが、本史料も、かかる活動の中で蓄積された用状類である。内容は、それぞれの組織内部における往復用状類であり、年代順には綴られてはいない。産物会所や松代商法社に編成することも可能なものも多いが、同家が会所と商法社が関連する組織であると認識し、「来状入」と題して一括して保管してきたことを尊重し、敢えて分離はせず、本サブフォンドを設定した。内容は多岐に渡るが、諸品の取引や藩札発行など、会所や商法社に実務の詳細が記述されている。すなわち会所組織の近代化に伴う動向が詳細に理解できるものである。

サブフォンド「混合文書」

36件。ここでは、サブフォンドを跨いで綴じられた文書を編成した。内容は、内方と糸会所、ならびに内方と産物会所の、それぞれ預かり金の受取証文である。本来であれば、内容に則して、適切な項目に編成することも考えられたが、同家にて一括して編綴した意味を考慮して、敢えて分割せずに編成した。

サブフォンド「その他」

袋・包紙を収録した。2件。時期は不明ながらも文書と切り離され単体で残存したものであろう。

サブフォンド「混入文書」

1件。当館における八田家文書の仮整理段階で、何らかの事情によって混入した文書であり、地名などから判断すると出羽国村山郡の文書であることがわかる。

参考文献

荒武賢一郎「松代真田家の大坂交易と御用場」(渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政 信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』岩田書院、2008年)

荒武賢一郎「在坂役人の活動と蔵屋敷問題 - 幕末維新期の混乱とその特質 -」(荒武賢一郎・渡辺尚志編『近世後期大名の領政機構 信濃国松代藩地域の研究Ⅲ』岩田書院、2011年)

大藤修「信濃国松代八田家文書の整理を担当して」(『史料館報』第53号、1990年)

大橋毅顕「松代藩御用商人八田家の金融 - 文化・文政期を中心に -」(荒武賢一郎・渡辺尚志編『近

- 世後期大名家の領政機構 信濃国松代藩地域の研究Ⅲ』岩田書院、2011 年)
- 西村慎太郎「商家文書の史料群構造分析 - 松代八田家文書を事例に -」(国文学研究資料館編『アーカイブスの構造認識と編成記述』思文閣出版、2014 年)
- 藤田雅子「天保期松代藩における国産紬の販売」(吉田伸之編『流通と幕藩権力』山川出版社、2004 年)
- 古川貞雄「松代藩における非常出費時の御用金・借入金政策」(『市誌研究ながの』第 5 号、1998 年)
- 望月良親「近世後期における松代八田家と松代藩財政」(渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政 信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』岩田書院、2008 年)
- 吉永昭「松代商法会社の研究」(『社会経済史学』第 23 卷 3 号、1957 年)
- 吉永昭「専売制度についての一考察」(『史学研究』第 65 号、1957 年)
- 吉永昭「紬市の構造と産物会所の機能 - 信州松代藩の場合 -」(『歴史学研究』204 号、1957 年)
- 吉永昭「幕末期における専売制度の性格とその機能 - 信州松代藩の場合 -」(『歴史学研究』218 号、1958 年)
- 吉永昭「製糸業の発展と糸会所の機能 - 信州松代藩の場合 -」(『史学雑誌』第 68 編 2 号、1959 年)

表 1 文政 4 年八田家所有地一覽（松代藩領内分）

区分	項目	面積/屋敷地数	備考
御持地御高小作入御居屋敷御抱屋敷間数貸賃付覚	御居屋敷	1カ所	
	御添屋敷	1カ所	
	御抱屋敷	1カ所	
	東木町御抱屋敷	1カ所	
	伊勢町御抱屋敷	4カ所	
	下伊勢町西側御抱屋敷	2カ所	
	西木町御抱屋敷	1カ所	
	鏡屋町御抱屋敷	1カ所	
	新西木町御抱屋敷	1カ所	
	伊勢町東側御持屋敷	1カ所	
	中町御抱屋敷	1カ所	
	田町御下屋敷西続	1カ所	
	町分	4石3斗4升8合	
	田中村	2石5斗8升8合	内、小作地1石2斗7升2合
	河原新田	2石3斗3升3合	内、小作地1石3斗3升3合
	荒町村	15石4斗3升4合	内、小作地9石5斗8升6合、手作1石8斗4升8合、および収納棚4合
	西条村	2石2斗6升4合	すべて小作地
	馬場形御高請之場所	4石9斗4升	すべて小作地
	東寺尾村	3石4斗1升7合	内、小作地2石5斗6升7合、手作8斗5升および東寺尾村地所砂溜り新田1割21坪余り
	東条村	28石6斗7升8合	内、東条村北組無役本田木立2斗1升6合（小作入棚3俵手作、残り小作地）、小作22石5斗8升3合、手作6斗8升3合
	鍊光寺御朱印地	4斗1升7合9勺	すべて手作地
	東福寺村	6石8斗7升1合	内、東福寺村畑方無役本田5石9斗8升（小作入棚35俵手作、同14俵3斗小作）、その他はすべて小作地
	清野村	5石4升4勺	および起地所新田1割坪数146坪、坪御用地冥加棚上納之場所此坪34坪（すべて小作地）
	大林寺御朱印	3石7斗1升6合	すべて小作地
	西寺尾村御高辻之内岡神明	1石4斗9升1合6勺	すべて小作地
	□（貼り紙により判読不能） 仮舟渡下土手外北添草野	29坪	
	□□（貼紙により判読不能） 舟渡道より東八番目割開発	103坪	すべて手作地
御取替金を引当御引請之分	光徳院分	6石8升4合	明屋敷
	矢代村御高辻之内	22石3斗2升7合3勺1才	無役本田
	東条村南組	7斗4升5合	
御高地木立	牧内村	1斗5升4合	すべて小作地
	平林村	2斗2升2合	すべて手作地
御持山	神主小河原紀伊殿	山高初3斗	小作入1俵2斗5升（内2斗5升小作/1俵手作）
	東条村南組	山高初2石9斗6升5升7合5勺	すべて小作地
	東条村北組	山高初5斗4升9合	すべて小作地
	平林村	山高初3斗7升	つくた山1斗8升（手作）/宮崎東富田山1斗9升（小作地）
	荒町村	山高初1石3斗4升3合8勺	内、小作山5斗9升4合8勺/手山7斗4升9合
	清野村	山高初2斗4升	すべて小作地
	土口村	山高初9斗6升	
	皆神山御分地山	山高初6斗1升	すべて小作地
浄福寺殿御引請之分	田中村	11石1斗3升9合	および坪数新田畑162坪5合
松屋惣左衛門より引請之分	清野村	11石6斗2升2勺	

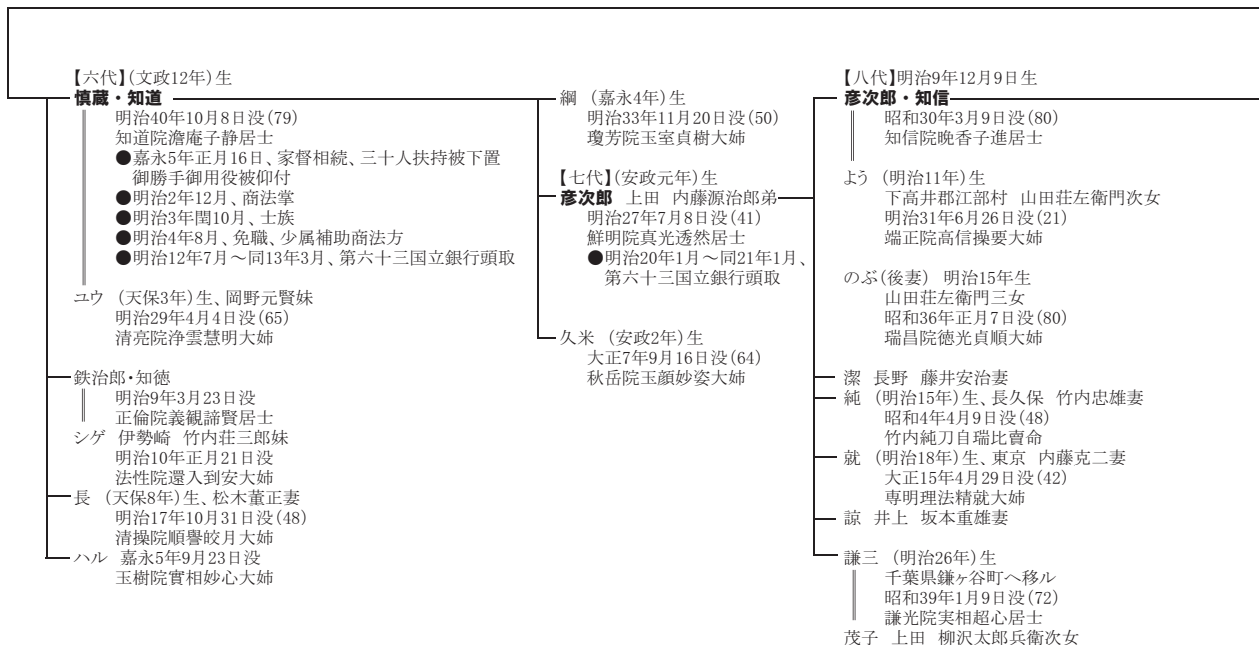
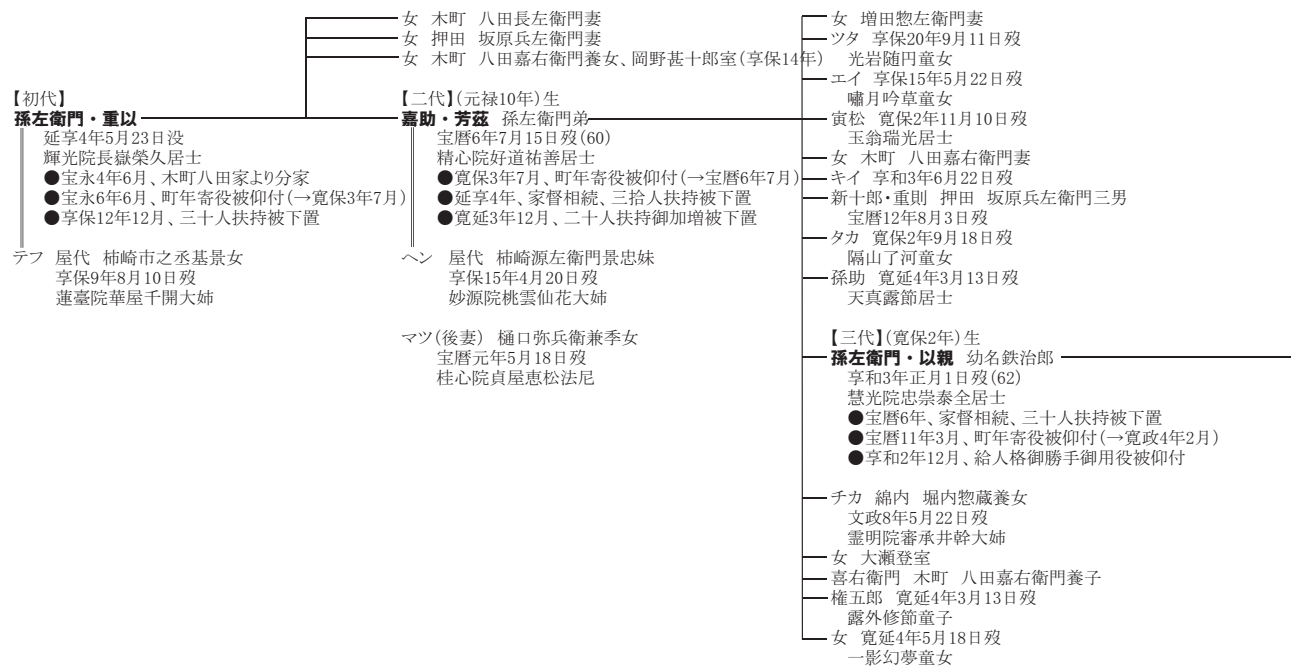
出典：文政 4 年 10 月「御持地御高小作人入元帳」（整理番号あ 588）より作成。

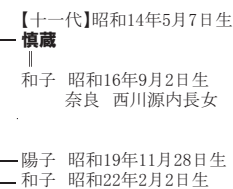
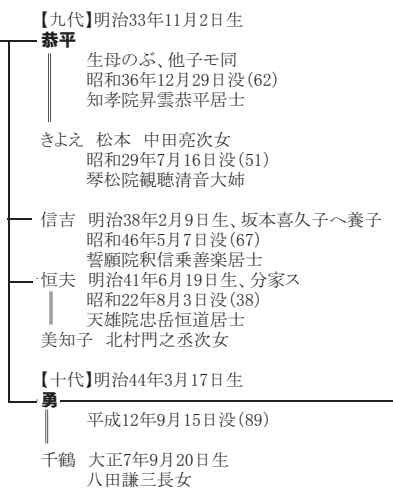
表2 八田家関連村々一覧

支配	村名
松代藩領	荒神町 伊勢町 鏡屋町 鍛冶町 紙屋町 木町 小越町 紺屋町 肴町 柴町 新馬喰町 外田町 寺町 中町 西木町 馬喰町 東荒町 東木町 袋町 木町 会村 雨宮村 栗佐村 伊折村 泉平村 市村 入山村 岩草村 岩野村新田 上八町村 上松村 牛嶋村 内川村 梅木村 大室村 加賀井村 上石川村 上平村 上高田村 上徳間村 北尾張部村 北郷村 北高田村 北平林村 清野村 沓野村 久保寺村 倉科村 黒沼村 桑根井村 郡村 小島村 五十平村 五十里村 五反田村 小納新田村 小堀村 小松原村 五明村 小森村 西条村 佐倉村 笹平村 里穂苅村 柴村 下小嶋田村 下氷飽村 下宮野尾村 下横田村 新町村 関屋村 瀬戸川村 外鹿谷村 田中村 田野口村 丹波島村 力石村 地京原村 竹生村 土口村 綱島村 妻科村 東条村 東福寺村 長井村 中沢村 奈良井村 西寺尾村 布野村 念仏寺村 橋詰村 八丁村 羽尾村 東川田村 東寺尾村 久木村 平林村 広田村 布施五明村 布施高田村 古山村 牧内村 牧嶋村 真嶋村 町川田村 水内村 南堀村 宮野尾村 三輪村 森村 矢代村 山上条村 山布施村 湯田中村 吉田村 四ッ屋村 和佐尾村
幕領	中野東町 井上村 寒沢村 権堂村 下戸倉村 中野村 池田新田 西大瀧村 戸狩村
幕領→松代藩預かり	山王嶋村
幕領・松代藩領	千田村 上野村
幕領・松代藩の相給→越後椎谷藩・松代藩の相給(寛政4年)	中御所村
飯山藩領	飯山本町 浅野村 中條村 小境村 柴津村
岩村田藩領	岩村田町 上丸子村 平塚村
上田藩領	上田原町 海野宿 五加村 手塚村 別所村
熊野出速雄神社領	皆神山
小諸藩領	離山村 太仔町
善光寺領	後町村 善光寺
高田藩領	赤倉温泉 岩木村 御馬屋町
高遠藩領	弥勒村
須坂藩領	綿内村
田野口藩領	三塚村
久松栄之助知行所(旗本領)	柵津村

出典：本史料目録のうち「1.4. 土地経営」と「1.5. 金融」などに収録する文書の作成・受取より抜粋。

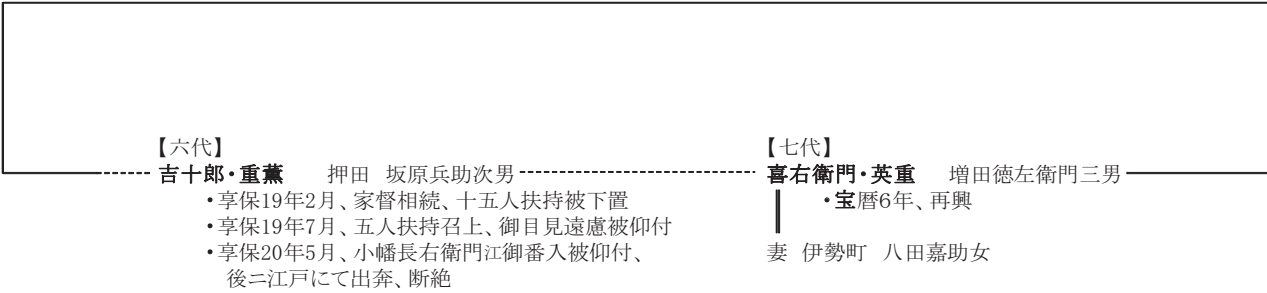
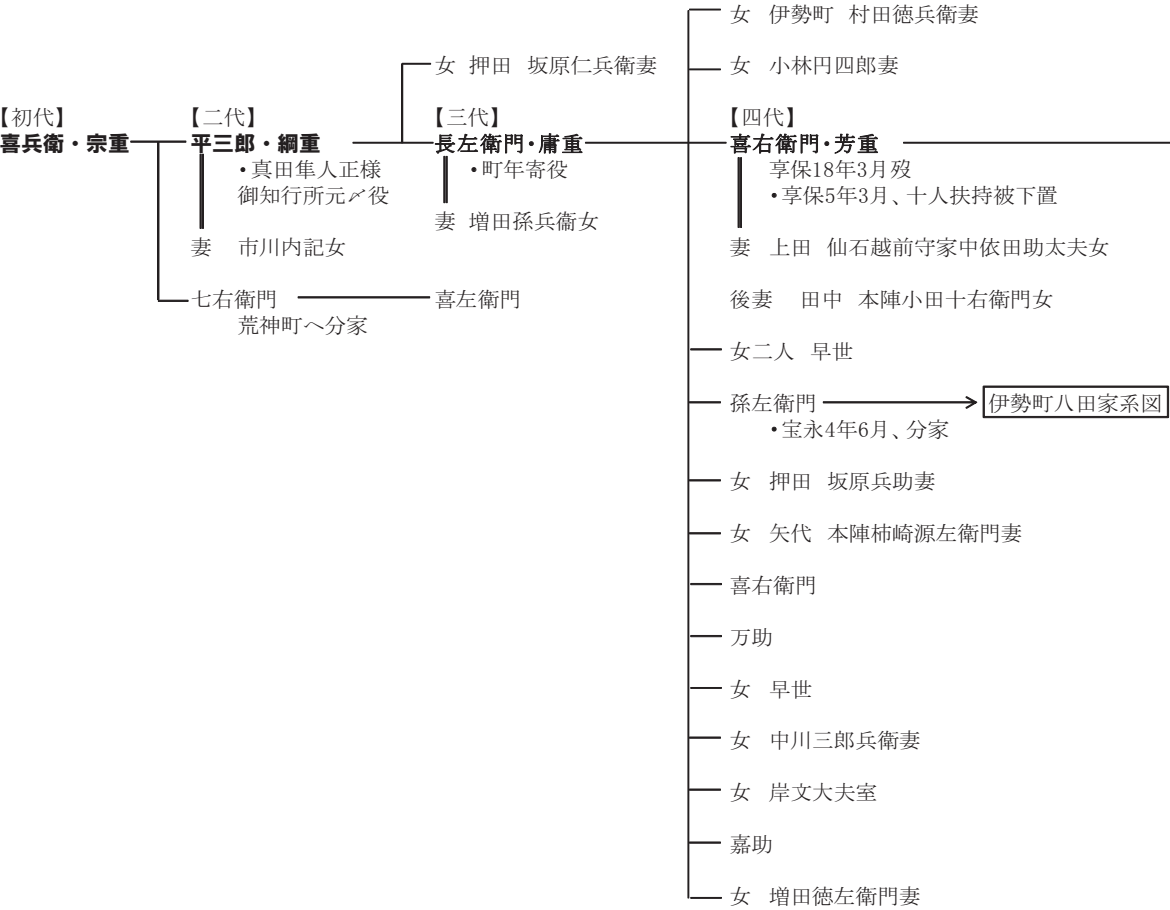
伊勢町八田家家系図





◎『史料館所蔵史料目録』第41集154頁～157頁に基づいて、加筆の上、作成した。
◎点線は養子・養女・養弟を示す。二重線は夫婦を示す。
◎出典：既刊『史料目録』96・97集所収に補訂した。

木町八田家家系図



-----養女 伊勢町 八田孫左衛門女、岡野甚十郎室(享保14年)

【五代】

長左衛門・昭重

享保19年2月歿

- ・享保9年7月、被召出七人扶持被下置、刀御免御物成御用勤被仰付
- ・享保11年12月、給人格被仰付
- ・享保12年10月、御郡奉行支配ニ被仰付
- ・享保13年8月、種貸役被仰付
- ・享保18年3月、家督相続、十五人扶持被下置

妻 伊勢町 八田孫左衛門女

惣三郎 後ニ競ト改ム

- ・十人扶持被召出御番入
- 後信安公御近習被仰付
- 名競ト被下置御加恩百石被下置馬場屋敷被下置

室 岡野甚十郎女

女 樋口一角室

女 高田幾多室

競

室 木町 八田嘉右衛門女

【八代】

嘉右衛門・嘉重

伊勢町

八田嘉助四男

女

女 八田競室

女 大瀬登養女

【九代】

長左衛門・實親

【十代】

喜兵衛

◎『史料館所蔵史料目録』第41集152頁～153頁に基づいて、加筆の上、作成した。
◎点線は養子・養女・養弟を示す。二重線は夫婦を示す。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

1. 内方

1.1. 家族・奉公人

1.1.1. 本家勝手向立て直し

覚(木町伊勢町両八田家にて借財の片付け方、内方有金など存寄書) * (包紙上書)「木町伊勢町御相談之上寛保三亥年五月榮久様被遊御認置候御書付猥紛乱仕間敷事」/え3605と関連 八田孫左衛門[印]、(奥書)八田喜右衛門[印]・同嘉助(印)・同惣三郎(印)	寛保3癸亥年5月	横切継紙・1通	え3604
(包紙) * (包紙上書)「木町伊勢町相談之上寛保三亥五月永久様御書付」/え3604と関連		包紙・1点	え3605

1.1.2. 八田喜兵衛一件

(八田喜兵衛不埒一件綴)	(文政9年～11年)	綴/(え3934-2-1～8は一綴)・1綴	え3934-2
(封筒) * (封筒表書)八田喜兵衛不埒にて出入り改め、八田慶助訴訟申し聞きにて宥免に付紙面取置の旨 (八田)知義	文政9丙戌年10月20日	封筒・1点	え3934-2-1
(書状、喜兵衛不埒一件について御賢慮伺いに付) * (端裏書)「安達御両氏へ差遣候下案」 八田嘉右衛門→安達与左衛門様・安達作馬様人々御中	6月	横切継紙・1通	え3934-2-2
(喜兵衛不埒に付役柄より除名処分願などに付訴訟書) * (端裏書)「慶助殿江喜兵衛出入訴訟御申入候ニ付右之趣意を以御尋被下候様申入之趣」		横切継紙・1通	え3934-2-3
(書状、公私の不評への詫びと今後の教諭願) * え3934-2-2と関連 (八田)喜兵衛→一様	何月	横切継紙・1通	え3934-2-4
(江戸表より喜兵衛親類金子無心に付今後意見加えくれ様の26日付願への請書) * 附紙に巳之作からの返信あり (八田)嘉右衛門	12月	横切継紙・1通	え3934-2-5
(伊勢町の信意を忘却の訳合い恐れ入り公務并義理合等も心掛ける旨誓約書) 八田喜兵衛→八田慶助様	10月10日	横切継紙・1通	え3934-2-6
(喜兵衛一件に付八田喜兵衛の誓詞) 八田喜兵衛宗洪(花押)→八田嘉右衛門殿	文政11子年4月	横切紙・1通	え3934-2-7
一札之事(喜兵衛一件に付後悔、以後堅く慎み、公務義理合なども向後勤めるに付) 八田喜兵衛宗洪(花押)→八田嘉右衛門殿	文政9戌年10月	堅紙・1通	え3934-2-8

1.1.3. 奉公人請状

宗旨證文之事(勢州鈴鹿郡龜山文六忤富七高田宗門に紛れなきに付) 龜山領分川崎村西願寺(印)→信州松城八田孫左衛門殿	宝暦11巳年3月	堅紙・1通	え3775
---	----------	-------	-------

1.1.4. 奉公人勤向

請状之事(文六悴富七、給金2両2分にて11年季奉公に付) 勢州鈴鹿郡亀山東町文六(印)・同所請人親類彦四郎(印)・右同断組合半四郎(印)・右同断組甚右衛門[印]・奉公人富七(印)→信州松城伊勢町八田孫左衛門殿	宝暦11年巳3月	縦継紙・1通	え3774
御請状之事(甚助悴金治19歳、給金5両にて8年季奉公に付) 須坂上町置主親甚助(印)・同所請人清右衛門(印)・松代御領小河原村請人彦右衛門(印)→八田孫左衛門殿	宝暦14年申4月	縦紙・1通	え3783
一札之事(須坂上町甚介悴金治代々浄土宗旦那に紛れなきに付) 大乘寺(印)	宝暦14年申4月	縦紙・1通	え3897
以口上書奉願候御事(7年以前追放の三郎左衛門、祖母近年老衰にて赦免願に付、長国寺方丈へ新御安口の三役人添翰願に付) *下書 松代惣兵衛印→職御奉行所	明和4亥年9月	縦紙/(虫損甚大)・1通	え3814
口上覚(68歳に罷成候に付奉公相止めたき旨願書) 宮澤善左衛門(印)→御寄親様	安永2年巳5月	縦紙・1通	え3827
差上申御請状之事(八田家へ奉公人に付) * (端裏貼紙)「文化七庚午二月金三両紙屋町利兵衛奉公人證文ニ而貸」紙屋町奉公人利兵衛(印)・親置主利右衛門(印)・紙屋町御受人勝右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化7午年2月	縦紙/(え3574-1~55は一綴)・1通	え3754-35
差上申一札之事(諸勘定取調方不調法・病身のため奉公できず御暇願いに付) * (封筒上書)「上」和作・栄八(印)・半兵衛(印)→伊勢町傳兵衛様	天保9戌年11月	縦紙・1通	え3848
差出申一札之事(一季奉公人の女無断で男性宅へ居た件赦免願) 関屋村千代松・同人兄熊三郎印・立入幸吉同→外田町三郎兵衛殿	嘉永6午(マ)年正月	縦紙・1通	え3832
御頼申一札之事(佐竹様より店方へ御内問合せの時に私病氣中にて手違いあり、心得違いの始末取りなしを頼む事) 佐助(印)→市兵衛殿	安政3辰年10月	縦紙・1通	え3843
覚(御穀数返米に付対金として金子頂戴願) * 雛形	年号月	縦紙/(貼紙あり)・1通	え3813
乍恐以書付御縋奉申上候(一季奉公人の女無断で男性宅へ居た件赦免執成し願) 外田町三郎兵衛(印)・立入人幸吉(印)→松木様御内市川友左衛門殿	正月	縦紙・1通	え3831
口上覚(店方食事賄いに付) (八田)傳兵衛	戌4月	横切継紙・1通	え3915

1.2. 藩への上納金・才覚金

(差上金證文綴)		綴/(え3482-1~8は一綴)・1綴	え3482
覚(勝手逼迫に付差上金300両受取証文) 町田源左衛門(印)・片桐惣右衛門(印)・(裏書)金井左源太(印)・岡嶋莊蔵(印)・興津権右衛門(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	文政9戌年12月	縦紙・1通	え3482-1
覚(勝手逼迫に付差上金300両受取証文) 野中八兵衛(印)・片桐惣右衛門(印)・(裏書)岡嶋莊蔵(印)・興津権右衛門(印)・竹村権左衛門(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	文政11子年12月	縦紙・1通	え3482-2
覚(勝手逼迫に付差上金296両受取証文) 野中八兵衛(印)・片桐惣右衛門(印)・(裏書)岡嶋莊蔵(印)・興津権右衛門(印)	文政12丑年正月	縦紙・1通	え3482-3

門(印)・竹村権左衛門(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿			
覚(勝手逼迫に付差上金35両受取証文) 中島宇吉(印)・片桐惣右衛門(印)、(裏書)岡嶋莊蔵(印)・興津権右衛門(印)・竹村権左衛門(印)・金児丈助(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	文政12丑年12月	縦紙・1通	え3482-4
覚(勝手逼迫に付差上金110両受取証文) 中島宇吉(印)・片桐惣右衛門(印)、(裏書)岡嶋莊蔵(印)・興津権右衛門(印)・竹村権左衛門(印)・金児丈助(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	文政13寅年12月	縦紙・1通	え3482-5
覚(勝手逼迫に付差上金84両受取証文) 宮原繁之助(印)・片桐惣右衛門(印)、(裏書)岡嶋莊蔵(印)・興津権右衛門(印)・金児丈助(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保3辰年正月	縦紙・1通	え3482-6
覚(勝手逼迫に付差上金75両受取証文) 宮原繁之助(印)・片桐惣右衛門(印)、(裏書)岡野弥右衛門(印)・寺内多宮(印)・岡嶋莊蔵(印)・金児丈助(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保6未年12月	縦紙・1通	え3482-7
覚(勝手逼迫に付差上金320両受取証文) 宮原莊左衛門(印)・片桐惣右衛門(印)、(裏書)寺内多宮(印)・岡嶋莊蔵(印)・金児丈助(印)→八田嘉右衛門殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	天保10亥年正月	縦紙・1通	え3482-8

1.3. 藩関係

1.3.1. 御目見

(4月15日鏡之助様御目見に付御祝儀書上)	4月15日	横切継紙・1通	え3905
-----------------------	-------	---------	-------

1.3.2. 勤務

口上覚(病気快方のため出勤願い) * (端裏貼紙)「文政三辰八月十九日病気少々快気付押而出勤願書指し出ス御用番望月頼母殿御郡方金井左源太殿願書御祐筆砂川又左衛門殿相頼為謝礼肴代二十疋遣ス辰三郎礼罷越候」 八田嘉右衛門→金井左源太殿・鹿野外守殿・松本源八殿	8月19日	縦紙・1通	え3917
---	-------	-------	-------

1.3.3. 献上

(文政2年閏4月21日御酒1樽献上ほか文政2年閏4月18日より同5月3日の行動覚書)	(文政2年)5月3日	縦切紙・1通	え3854
(覚書)「酒代 金 百疋」		縦紙・1通	え3855

1.3.4. 藩士との交際

(書状、関田莊助三男嘉芽重郎養子申受度に付口入願) 大嶋太右衛門→八田嘉右衛門様	(文化10年酉)10月14日	横切継紙・1通	え3957
口上覚(書状、三男嘉芽重郎を大嶋多右衛門殿へ養子縁組の件熟談整うに付挨拶願) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 関田庄助」 関田庄助→八田嘉右衛門様	(文化10年酉)10月18日	横切紙/(包紙共)・1通	え3958
申合帳扣(三男嘉芽重郎を大嶋多右衛門殿養子縁組成立に付) * 控 大嶋太右衛門	(文化10年酉)10月	横長半・1冊	え3959

1.内方/3.藩関係/4.藩士との交際

申合帳扣(三男嘉芽重郎を大嶋多右衛門殿養子縁組成立に付) *控 関田庄助	(文化10年酉)10月	横長半・1冊	え3960
(書状、去月24日に従四位様が伊東祐歸様御妹と御結婚との事、御町内旧藩士へ御順聴下され度に付) * (端裏書)「伊勢町 寺町」/(包紙上書)「八田知道様 八田宗益様 真田家御家扶」 真田家御家扶→八田知道様・八田宗益様	(明治)18年6月3日	横切継紙/(え3659~3719は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え3678
(袋) * (袋上書)「大嶋太右衛門殿より関田庄助殿三男嘉芽重郎殿貴度旨願ニ付申入候処文化十酉十月十四日関田氏より挨拶有之双方申入候扣帳式帖并双方より手紙入置」/え3956~3960を一括していた袋カ		袋・1点	え3956
①(智哲院巨浸純徴大姉27回御忌6月22日相当之处故障之義有之引上11日晚より12日朝迄御法会執行に付一卷扣)、②覚(方丈様へ御布施100疋ほか披露願)、③覚(八田慶助より御香奠5疋ほか披露願) * (袋表上書墨消)「産物無尽割合帳」/(袋裏上書)「文政十二丑年六月十一日夕より十二日朝迄智哲院様御年回ニ付於私宅御法事執行仕候一卷入置」 ①②③八田嘉右衛門内浦野忠七→浄福寺様御納所衆中様	②12日	横長半・1冊	え3961

1.3.5 藩士の縁組への助力

(長谷川善兵衛縁組み関係一括)		包紙一括/(え3847-1~3は包紙一括)・1点	え3847
(包紙) * (包紙上書)「上 柿崎源左衛門」		包紙・1点	え3847-1
覚(今般妹が長谷川善兵衛様御子息と婚姻のため、金子ならびに八丁村貸付年賦御取立の御世話を頼むに付) 柿崎源左衛門(印)・文左衛門(印)→八田嘉右衛門様	6月21日	横切紙・1通	え3847-2
(書状、柿崎源左衛門妹、今度長谷川善兵衛様御子息と御縁組みに付)	6月21日	横切紙・1通	え3847-3

1.3.6. 藩主相撲上覧一件

(袋) * (袋上書)「文化十一戌年九月十三日於諏方宮社内相撲御覧一卷拝領物万端日記委細相驗置」	文化11戌年9月13日	袋・1点	え3982
諏方宮於社内勧進相撲入御覧帳 * 相撲番付あり	文化11戌年9月13日	横長半・1冊	え3983
(諏訪社勧進相撲関係綴)	(文化11年)	綴/(え3984-1~13は一綴)・1綴	え3984
(献上物に付八田嘉右衛門宛松木孫八書状)	(文化11年)9月11日	横切紙・1通	え3984-1
(献上物ご満悦の由書状)	(文化11年)9月25日	横切紙・1通	え3984-2
(切紙)「封之印」	(文化11年)	切紙・1通	え3984-3
覚(買物品書き) 湊屋吉左衛門→八田嘉右衛門様御内	(文化11年)9月13日	横切継紙・1通	え3984-4
覚(芹ほか品書き) めしや清兵衛→菊屋市右衛門殿	(文化11年)9月	横切継紙・1通	え3984-5
覚(あらめ他買物品書) 金作→菊屋六右衛門様	(文化11年)9月29日	横切継紙・1通	え3984-6
覚(膳酒ほか買物品書)	(文化11年)9月13日	横切継紙・1通	え3984-7
(真田幸専諏訪神社にて相撲上覧の節紋付など拝領の次第書)	文化11戌9月13日	小紙・1通	え3984-8

(御城迄出勤に付八田嘉右衛門宛て松本源八書状) 松本源八→八田嘉右衛門様	(文化11年)9月12日	横切紙・1通	え3984-9
九月十三日相撲取組番付	(文化11年)9月13日	横切継紙・1通	え3984-10
覚(品々入用代)	(文化11年)	横切継紙・1通	え3984-11
覚(杉原紙ほか品書代) 升屋弥兵衛→御世話人中様	(文化11年)9月13日	横切継紙・1通	え3984-12
覚(手間作料ほか品書代) いせ町吉右衛門→已之作様・久蔵様	(文化11年)	横切紙・1通	え3984-13
(勧進相撲番付・献立綴)	(文化11年)	綴/(え3985-1~4は一綴)・1綴	え3985
(相撲番付版本)	(文化11年)	堅紙・1通	え3985-1
(相撲番付草稿)	(文化11年)	堅紙・1通	え3985-2
(料理献立)	(文化11年)	堅紙・1通	え3985-3
(料理献立)	(文化11年)	堅紙・1通	え3985-4

1.3.7. 他藩ほかの情報

(守田彦右衛門ほか他藩家中など近況の旨報知に付書付)		小切紙・1通	え3879
----------------------------	--	--------	-------

1.4. 土地経営

1.4.1. 持地

指上申一札之事(丑寅兩年小作御年貢粉5俵8升未進のところ御差延承引に付返済約定) 外田町借り主兵左衛門(印)・木町又右衛門(印)→八田孫左衛門様	享保20乙卯年3月17日	堅紙/(え3659~3719は紙縫一括)/(え3686~3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3694
(埴科郡松代町戸番号第344番地持主滝澤仁太郎・地番号第365番地地主八田知道、家屋敷所有者証明書) 埴科郡松代町持主瀧澤仁太郎(印)・右(地主)八田知道→松代町外式ヶ郷戸長鎌原仲次郎殿		堅紙/(え3659~3719は紙縫一括)・1通	え3670
(家屋敷所有者証明書) * 雛形 右何郡何町村番地何ノ某印・借地ナルトキハ地主ノ姓名記載調印スベシ何郡何町村地主何之某印→埴科郡松代町外二ヶ村戸長鎌原仲次郎殿	明治18年月日	堅紙/(え3659~3719は紙縫一括)/(綴穴あり)・1通	え3671
(札)「金拾両貳朱不納申年分右引当證文 上丸子村」		札/(貼紙)/(糊跡あり)・1点	え3818
(札)「金貳拾五兩文政七申年入上刳代金四拾兩之内拾五兩出金残金紙面通来ル廿日迄日延、文政九戌年十二月朔日上丸子村名主・組頭・百姓代伴右衛門證文 和七・忠七調」		札/(貼紙)/(糊跡あり)・1点	え3819
小作入覚		横切紙・1通	え3923

1.4.2. 買取・質取

(八田家屋敷買得関係文書綴)		綴/(え3659~3719は紙縫一括)/(え3660-1~17は一綴)・1綴	え3660
----------------	--	--	-------

伊勢町与三右衛門家屋敷売渡ス手形事(家屋敷金75両にて永代) 売主山中宮平与三右衛門(印)・同所證拠人(虫損)[](印)・證拠人八兵衛(印)・五人組茂兵衛(印)・二郎兵衛(印)・長太夫(印)、(裏書)肝煎善兵衛(印)・検断作右衛門(印)・御町年寄小河仁左衛門(印)他3名→宮下内蔵之丞殿	延宝7年末霜月7日	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-1
宮下伊右衛門内林左衛門伊勢町家屋舗売渡ス手形之事(家屋敷金110両) * (端裏貼紙)「老番五本之内居屋敷五軒式ヶ月分買入證文五通入」/ほか貼紙1点あり 宮下伊右衛門内売主林左衛門(印)・役代佐五左衛門(印)五人組八兵衛(印)・同曾右衛門(印)・同源之丞(印)、(奥書)両隣八兵衛[印]・宮下頼八役代市兵衛(印)、(裏書)肝煎伊平(印)・検断中村太郎右衛門(印)・御町年寄増田徳左衛門(印)他3名→木町(八田)嘉右衛門殿	元禄14年巳ノ2月14日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-2
鏡屋町宮下頼八家屋敷売手形之事(家屋敷金95両にて) * (端裏貼紙)「宝永六己丑年十一月八日鏡屋町并表口拾四間三尺四寸表より東西之長サ式拾間五尺五寸代金九拾五両譲主宮下頼八」 売主宮下頼八(印)・役代市兵衛(印)、(奥書)五人組茂兵衛・同断弥太夫(印)・同断北隣元庵(印)、(裏書)肝煎八左衛門(印)・検断伴伊右衛門(印)・御町年寄小池五兵衛(印)他3名→八田孫左衛門殿	宝永6己丑年11月8日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-3
荒神町吉太郎屋舗売手形之事(家屋敷金45両) * (端裏貼紙)「享保四年亥十二月荒神町并表口七間五尺五寸地尻横拾五間四尺五寸表口より地尻迄式拾五間四尺右売払當時不用證文譲主吉太郎買主孫左衛門」 売主吉太郎[印]、(奥書)五人組牛之介(印)・同断加兵衛(印)・同断権右衛門代傳兵衛(印)・同断市郎右衛門(印)・同断小平治(印)、(裏書)肝煎由右衛門(印)・長町人吉左衛門(印)他5名→(八田)孫左衛門殿	享保4年亥12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-4
一札之事(売渡しの家屋敷代金の外に金5両受取) * え3660-6と関連 売主与八(印)・證拠人佐平次(印)・五人組市郎右衛門[印]・同与市(印)→八田孫左衛門殿	享保11年午6月23日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-5
伊勢町与八家屋舗売渡シ申手形之事(家屋敷代金29両) * (端裏貼紙)「享保十一午六月廿三日伊勢町并表口六間六寸表より地尻迄式拾式間式尺七寸代金式拾九両式分壹軒前御役譲主与八 壹五本之内 八田孫左衛門」/え3660-124と関連 売主与八(印)・證拠人佐平次(印)、五人組市郎右衛門[印]・同断紺屋町新五郎役代与市(印)、(裏書)肝煎仁兵衛(印)・検断中沢弥五右衛門(印)・御町年寄八田孫左衛門他3名→八田孫左衛門殿	享保11年午ノ6月23日	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-6
木町甚左衛門家屋舗売渡申手形之事(家屋敷代金20両) * (端裏貼紙)「享保十一午年十一月東木町并表口六間式尺六寸西之方表より地尻迄拾七間式寸代金式拾兩御町役壹軒前式番木町譲主甚左衛門 八田孫左衛門」 売主甚左衛門(印)、(奥書)五人組嘉右衛門(印)・廣田太夫家守正作(印)・嘉右衛門役代与七(印)、(奥書)伊勢町肝煎仁兵衛(印)・検断伴伊右衛門[印]・御町年寄八田孫左衛門他3名→八田孫左衛門殿	享保11年午10月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-7
鏡屋矢野倉長左衛門所持致候家屋舗売渡シ手形事(家屋敷代金50両) * (端裏貼紙)鏡屋町など50両にて売り渡し旨 鏡屋町売主矢野倉長左衛門(印)・八田孫左衛門役代五人組文助(印)・同断次兵衛(印)、(裏書)肝煎圓右衛門(印)他5名→八田孫左衛門殿	延享2年丑7月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-8
家屋舗売渡申證文事(家屋敷代金27両) * 作成・宛所は附箋貼付にて書換の人物を採用 紙屋町売主善五郎(印)・同断西隣り友左衛門(印)・同断幸蔵(印)・五人組喜惣次(印)・友左衛門(印)・幸蔵(印)・通策、(裏書)名主久作(印)・長町人吉左衛門(印)・検断伴三郎右衛門(印)・御町年寄北村仁兵衛(印)他3名→喜惣治殿	天明7年末12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-9

覚(家屋敷代金50両受取書) 矢野倉長左衛門(印)→八田嘉助殿	延享2丑年12月	横切紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-10
家屋鋪売渡申證文之事(家屋敷代金17両2分) 鏡屋町売主藤吉(印)・北隣寅之助(印)・南隣清四郎(印)、(奥書)五人組清四郎(印)・寅之助(印)・平次郎(印)・吉兵衛(印)・善之丞役代長右衛門(印)・内山権頭(印)、(裏書)伊勢町名主甚三郎(印)・検断伴三郎右衛門(印)・御町年寄北村甚兵衛(印)他3名→買主三郎左衛門殿	寛政8辰年4月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-11
売渡申家屋敷之事(田中村太兵衛分高辻を含む家屋敷代金7両) * (端裏貼紙)新屋敷金7両の旨/(端裏貼紙)「三番之六」 売主外田町小兵衛(印)・五人組彦右衛門(印)・同磯右衛門(印)・長左衛門(印)・同善八(印)・肝煎源五郎(印)・組頭彦右衛門(印)、田中村名主伴左衛門(印)・組頭伊兵衛(印)・長百姓伊惣太(印)→伊勢町傳兵衛殿	寛政10午年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-12
家屋鋪売渡申證文之事(家屋敷代金48両) 伊勢町売主武兵衛(印)・南隣善右衛門(印)・北隣新助(印)、(奥書)五人組善右衛門(印)・新助(印)・勇左衛門後家役代惣右衛門(印)・惣藏(印)、(裏書)名主甚三郎(印)・検断見習伴長太郎(印)・御町年寄杭全平左衛門(印)他2名→八田嘉右衛門様御役代買主傳兵衛殿	文化8未年9月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-13
屋鋪売渡申證文之事(家屋敷代金50両) 中町杭全平左衛門(印)・南隣立合杭全平左衛門(印)・北隣立合名主七郎治(印)、(奥書)五人組市五郎(印)・同断栄治(印)・同金弥(印)、(裏書)名主七郎治(印)・検断伴三郎右衛門(印)・御町年寄増田徳左衛門(印)他2名→伊勢町買主傳兵衛殿	文化12亥年9月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-14
家作売渡證文之事(家作入用に付私新宅代金20両) 中町売主伊左衛門(貼紙「印判八月中迄御日延奉願候」)・同断清兵衛(印)・立合吉左衛門(印)・同断地主御役代金弥(印)→八田嘉右衛門様御内菊屋傳兵衛殿	文化12亥年6月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-15
家屋鋪売渡證文之事(家屋敷20両) 売主磯右衛門(印)・北隣周兵衛(印)・南隣長右衛門(印)、(奥書)五人組長右衛門(印)・同断祐助(印)・同断藤藏(印)、(裏書)名主左兵衛(印)・検断伴三郎右衛門(印)・御町年寄北村甚右衛門(印)他1名→傳兵衛殿	文政3辰年6月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-16
建家売渡申證文之事(家屋敷35両2分銀12匁) 西木町売主権左衛門(印)・紙屋町親類甚左衛門(印)・組合忠左衛門(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	天保8酉年12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3660-17
紙屋町彦左衛門家屋敷売渡申手形之事(家屋敷代金10両5分) 売主彦左衛門(印)・證拠人庄右衛門(印)・長左(印)・五人組与四兵衛(印)・沖右衛門(印)、(奥書)市右衛門(印)・両隣庄右衛門(印)、(裏書)紙屋町肝煎重郎右衛門(印)・同町長町人角兵衛(印)・同町同断新之丞(印)・検断中沢弥五右衛門(印)・御町年寄八田長左衛門(印)他3名→甚左衛門殿	元禄8年亥3月21日	堅紙・1通	え3916
売渡申家屋敷證文之事(田中村御高辻の内抱屋敷・建家とも金13両に付) 八田孫左衛門役代傳兵衛・田中村之内御安口五人組忠兵衛(印)他5名・同所肝煎軍藏・五人組長藏・田中村肝煎八郎治・組頭久右衛門(印)・長百姓文左衛門・地親役代吉郎右衛門(印)→八田孫左衛門殿	明和4亥年11月	堅継紙/(差出に貼紙あり)・1通	え3736
覚(建家ほか借用) 鏡屋町吉兵衛(印)・紺屋町請主嘉兵衛(印)・東寺尾村同断平弥(印)→伊勢町傳兵衛殿	文化3年寅2月	堅紙・1通	え3731
(文化文政年間家屋敷売買関係文書綴)		綴/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3659-1～7は一綴)・1綴	え3659

1.内方/4.土地経営/2.買取・質取

家屋鋪売渡申證文之事(家屋敷100両) *え3659-2と関連 木町売主銀左衛門(印)・西隣金作(印)・(奥書)五人組金作(印)・弥右衛門(印)・(裏書)名主甚三郎(印)・検断伴三郎右衛門(印)他4名→八田嘉右衛門様御役代買主傳兵衛殿	文化8未年12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3659-1
以口上書奉願候御事(私甥木町銀左衛門大坂にて死去のため御裏書一札取り扱い) *え3659-1と関連 紺屋町喜惣治(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化10酉年10月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3659-2
一札之御事(私所持家屋敷売渡証文、付御町役・家賃など取決) *え3659-3～5は関連 伊勢町伊左衛門(印)・親類藤右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内傳兵衛殿	文化13子年3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3659-3
覚(裏借屋・土蔵・物置売渡証文) *え3659-3～5は関連 伊勢町伊左衛門(印)・親類立合藤右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	文化13子年3月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3659-4
家屋敷売渡証文之事(家屋敷金25両にて) *え3659-3～5は関連 伊勢町売主伊左衛門(印)・西隣五左衛門(印)・北隣藤右衛門(印)・(奥書)五人組藤右衛門(印)・同断民八(印)・同断瀬兵衛(印)・(裏書)名主左兵衛(印)・検断伴三郎右衛門(印)・御町年寄北村甚右衛門(印)他2名→伊勢町傳兵衛殿	文化13子年3月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3659-5
家屋敷売渡証文之事(家屋敷金23両) *え3659-7と関連 売主万吉(印)・南隣幾馬役代藤吉(印)・北隣藤吾(印)・(裏書)五人組幾馬役代藤吉(印)・藤吾(印)・平蔵(印)・(裏書)長町人甚之丞(印)・名主祖兵衛(印)・検断伴榮作(印)・御町年寄北村茂兵衛(印)他3名→伊勢町傳兵衛殿	文政8乙酉年12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3659-6
譲渡申家屋敷証文之事(家屋敷金13両2分) *え3659-6と関連 荒町村譲主庄三郎(印)・口入文左衛門(印)・組合直左衛門(印)・同断友八(印)・同断圓覚院(印)・同村名主友八(印)・組頭文左衛門(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	文政8酉年12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3659-7
差上申一札之御事(表口建屋5間代金100両・表口建屋5間半余代金120両売り渡したく、御屋鋪様御抱屋敷に願いに付) * (端裏書)「木町銀左衛門」 木町願入売主銀左衛門(印)・紺屋町證人伯父喜惣治(印)→八田嘉右衛門様御内峯村吉兵衛殿	文化8未年11月	堅継紙・1通	え3779
以口上書御願申上候事(文化8年木町銀左衛門家屋敷10間余り役代傳兵衛殿へ譲り渡しの処銀左衛門病死にて家屋敷の内5間半余お戻し下されたきに付) 木町願主廣吉(瓜印)・西念寺地内重四郎(印)・南原村幸八(印)・長谷瀧沢五十三・南原村久右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内久保榮治郎様	文化12亥年7月	堅継紙・1通	え3780
質入証文之事(酒造蔵1ヶ所他、10ヶ年質入れに相渡し200両受取に付) * 雛形 →松代御城下町傳兵衛殿	文政2卯年正月	堅継紙・1通	え3838
居屋鋪売渡申證文之事(表口2間4尺ほか家屋鋪御町役4ヶ月の処代金20両2分に付) 荒神町売主七郎治(印)・南隣り千左衛門(印)・東隣り徳右衛門(印)・(奥書)五人組千左衛門(印)・喜平太(印)・傳兵衛(印)・伊勢町傳兵衛抱屋敷役代岸泰(印)・(裏書)長町人佐吉(印)・(貼紙)名主庄右衛門・(貼紙)北村茂兵衛・検断伴榮作(印)・御町年寄助渡谷権左衛門(印)・御町年寄北村佐兵衛(印)他1名→伊勢町買主傳兵衛殿	文政5午年10月	堅継紙/(差出に貼紙あり)・1通	え3782
家屋鋪譲渡証文之事(東寺尾口御足輕明屋敷無代金に付) * (端裏書)「文政八乙酉年十二月ふし年来鉄之助致養育世話候付為褒美女田町御足輕明屋敷傳兵衛より譲渡候」伊勢町譲主傳兵衛→庄助後家役代源右衛門殿	文政8酉年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3661

(家屋敷売渡証文関係一括)		巻込一括/(え3729-1~2は巻込一括)・1点	え3729
家屋舗売渡証文之事(私所持の家屋敷10ヶ月の御役のところ代金60両に付) 鏡屋町売主名左衛門(印)・南隣勝之助(印)・北隣平吉(印)、(奥書)五人組勝之助(印)、(裏書)名主惣八(印)・御町検断伴栄作(印)・御町年寄北村茂兵衛(印)他3名→伊勢町買主傳兵衛殿	天保3辰年正月	横切紙・1通	え3729-1
覚(屋敷続家屋敷付け替え願) いせ町傳兵衛(印墨消)→鏡屋町名左衛門殿	(天保3年)辰12月	横切継紙・1通	え3729-2
譲渡申證文之事(屋敷2畝4歩を金21両3分に付) * (端裏貼紙)「天保七申年十二月神戸忠兵衛殿家屋敷代金貳拾壹兩三分二厘而引受證文」 神戸忠兵衛役代忠治(印)、(裏書)西澤軍治(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	天保7申之年12月	堅紙・1通	え3732
家屋舗借用證文之事(建家1棟・土蔵1棟、家賃100匁づつにて) 伊勢町借家人名左衛門(印)・東寺尾村親類受人伴治(印)→伊勢町傳兵衛殿	明治2年2月	横切継紙・1通	え3730
屋敷地譲渡申證文之事(田中村御高辻のうち敷地役高1斗余の所を代金12両2分に付) 田中村讓主中村繁作(印)・名主馬場嘉馬之助(印)・組頭小沢慎平(印)・長百姓馬場久兵衛(印)→いせ町豊田傳兵衛殿	明治4未年11月	堅紙・1通	え3735
売渡申證文之事(屋敷高6斗・建家2棟ほか代金218円) 四拾九番屋敷村上松園(印)・五拾番屋敷御世話安川平二(印)→八田知道殿	明治6年3月	堅紙・1通	え3733
覚(持ち地譲り渡し証文) * 雛形 人別三役人→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿		堅紙・1通	え3904

1.4.3. 売渡

(裏柴町屋敷川敷など譲渡一件書類一括)		綴/(え3659~3719は紙綴一括)/(え3708-1~13は一綴)・1綴	え3708
(包紙) * (包紙上書)裏柴町屋敷川敷共大嶋氏小林氏へ他四つ屋敷譲渡、不用印書にても紛乱致さず旨	文化5戊辰2月調	封筒/(え3659~3719は紙綴一括)・1点	え3708-1
覚(関屋川古川舗抱屋敷跡、高6斗7升、本口粉2斗7升6合、代銀7匁8分9厘、申年御年貢皆済に付) 大嶋条助(印)・中村辰右衛門(印)→八田孫左衛門殿役代傳兵衛殿	明和元年申12月	横切継紙/(え3659~3719は紙綴一括)・1通	え3708-2
覚(高1石6斗8升の内、金3分と銀4厘、外金1両1分2朱と銀9分5厘請取) 伊勢町傳兵衛→大嶋武左衛門様御役代四郎吉殿・小林小助様御役代儀平治殿	享和2年戌12月	横切継紙/(え3659~3719は紙綴一括)・1通	え3708-3
(未年・申年・戌年分年貢代金書上)		切紙/(え3659~3719は紙綴一括)・1通	え3708-4
一札之事(西条村御高辻の内1石6斗8升などの元利共受取証文) * 雛形 何誰役代誰印→何誰様御役代-殿-殿		横切継紙/(え3659~3719は紙綴一括)・1通	え3708-5
譲渡証文之事(地所売渡) * 雛形 →大嶋武左衛門様御役代-殿・小林小助様御役代-殿		横切紙/(え3659~3719は紙綴一括)	え3708-6
売渡シ申田畑之事(太田助太夫内尾野右衛門より買請けた高1石8斗の田・高8斗の畑を代金6両に付) * (端裏貼紙)大田助太夫殿内尾野右衛門より金兵衛買取証文有、	元禄8年乙亥12月25日	堅紙・1通	え3708-7

1.内方/4.土地経営/3.売渡

且年来印書につき 東条村売主金兵衛(印)・肝煎徳之丞(印)・組頭助八郎(印)→字敷太郎兵衛様			
御寄進御請一札之御事(水油代として金6両請取に付、武運長久など祈念申し上げるべし) 離山神社神主吉田常陸則賀(花押)→八田嘉右衛門様	文政9戌年7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3708-8
覚(関屋川古川舗のうち高請願の冥加金2両請取) 中村辰右衛門(印)→八田孫左衛門殿役代傳兵衛殿	明和元年申6月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3708-9
覚(河原屋敷売の当座受取証文紛失に付入証文致すに付証書) 河口惣兵衛(印)→青柳善兵衛殿・八田孫左衛門殿	明和4年亥2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3708-10
売渡申明屋敷證文之事(河原明屋敷高2石1斗2升分を代金15両にて) *貼紙にて奥書 売主青柳善兵衛・(貼紙)「加判八田孫左衛門」→河口惣兵衛殿	明和3年戌3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3708-11
為取替證文之事(八田孫左衛門所持地のうち西条村内などノ高2石3斗5升を50両にて売渡、来る午年より5ヶ年目戌暮に代金支払) * (端裏書)「売方」 菊屋傳兵衛(印)、(奥書)八田孫左衛門(印)、(奥書)関田庄助(印墨消)→大嶋彦市様御役代四郎吉殿・小林喜惣治様御役代儀平治殿、(奥書)大嶋彦市殿・小林喜惣治殿	寛政9巳年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3708-12
譲渡申畑證文之事(西条村御高辻のうち名所裏柴丁孫左衛門分計1石6斗8升を代金20両) 八田嘉右衛門役代傳兵衛・西条村組請浅右衛門・同村名主佐吉・組頭浅右衛門・長百姓彦七→大嶋武左衛門様御役代四郎吉殿・小林小助様御役代儀平治殿	享和3亥年正月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3708-13
口上書ヲ以奉願候御事(荒神町に所持している家屋敷を4人の者共へ売渡し度に付) 八田孫左衛門、(奥書)五人組一友右衛門・三政五郎・二勇右衛門・四久七・五新藏跡幾次郎・名主新兵衛、(奥書)名主新兵衛・長町人新八→宇佐美清十郎殿・杭全平左衛門殿・北村幸助殿・伴三郎右衛門殿	安永9子7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3703
一札之事(下伊勢町西側、表口5間1尺5寸2分、裏行地尻迄21間1尺2寸の抱屋敷を金50両で売渡) * (端裏書)「子十二月八日引替済」 菊屋傳兵衛(印墨消)、(奥書)八田嘉右衛門(印墨消)→相沢貞蔵殿	天保13寅年7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3706
内規証為取替證文之事(当町西側地続内裏間口4間余貴殿御所持の家屋敷を代金55両に付) 鏡屋町名左衛門(印)・立入人市川忠左衛門(印)→いせ町傳兵衛殿	安政2卯年12月13日	堅紙・1通	え3734
家屋舗売渡證文之事(表口6間6寸、中横6間4寸等の所、代金105両にて譲り渡しに付) 伊勢町八田義三郎役代売主傳右衛門、(奥書)五人組豊田傳兵衛・源之助、(裏書)名主榮左衛門・御町検断伴榮作他5名→買主米山弥右衛門殿	安政3辰年2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3685
建家売渡約定証券(信濃国埴科郡松代町第3区44番地建家を55円に付) * 絵図面共 右売主瀧澤仁太郎(印)・保証人三田嘉能(印)・佐長豊田傳兵衛、(奥書)地主八田知道→宮下儀重殿	明治18年6月	半/(え3659～3719は紙縫一括)/茶色罫紙(13行)・1冊	え3672
(建家譲渡証書)		綴/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3673-1～2は一綴)・1綴	え3673
建家譲渡証書(埴科郡松代町字鏡屋町344番地之内1番の建家を無代価に付) * 絵図面共 同郡松代町譲主八田知道・佐長豊田傳兵衛・保証人中込勝治、(奥書)八田知道→埴科郡松代町松本万作殿、(奥書)松代町外式ヶ村戸長中野精一郎殿	明治19年9月	半/(え3659～3719は紙縫一括)・1冊	え3673-1

建家譲渡証書(埴科郡松代町字鏡屋町344番地之内2番の建家を無代価に付) *絵図面共 同郡松代町議主八田知道・佐長豊田傳兵衛・保証人中込勝治、(奥書)八田知道→埴科郡松代町宮下義重殿、(奥書)松代町外式ヶ村戸長中野精一郎殿	明治19年9月	半/(え3659～3719は紙縫一括)・1冊	え3673-2
---	---------	------------------------	---------

1.4.4. 所持地年貢目録

(御年貢目録綴)	(文政元年～5年)	綴/(え3988-1～11は一綴)・1綴	え3988
寅御年貢目録(田中村分) 田中村名主権左衛門(印)→い セ町傳兵衛殿	文政元年寅12月	横切継紙・1通	え3988-1
寅御年貢目録(田中村分) 田中村名主権左衛門(印)→い セ町傳兵衛殿	文政元年寅12月	横切継紙・1通	え3988-2
午御年貢目録(田中村分) 名主助右衛門(印)→浄福寺様 御役代傳兵衛門殿	文政5午年12月	横切継紙・1通	え3988-3
(字境内際田畑敷斗代書)		横切継紙・1通	え3988-4
卯御年貢目録(田中村分) 田中村名主権左衛門(印)→い セ町傳兵衛殿	文政2年卯12月	横切継紙・1通	え3988-5
卯御年貢目録(田中村分) 田中村名主権左衛門(印)→伊 勢町傳兵衛殿	文政2年卯12月	横切継紙・1通	え3988-6
覚(辰年御年貢目録、平林村分) 平林村名主重蔵(印)→ 菊屋傳兵衛殿	文政3辰年12月	横切継紙・1通	え3988-7
覚(辰年山御年貢目録、牧内村分) 牧内村名主佐左衛門 (印)→伊勢町傳兵衛殿	文政3辰年11月	横切継紙・1通	え3988-8
覚(辰年山御年貢目録、牧内村分) 牧内村合地佐左衛門 (印)→伊勢町傳兵衛殿	文政3辰年11月	横切継紙・1通	え3988-9
午御年貢目録(田中村分) 田中村名主助右衛門(印)→い セ町傳兵衛殿	文政5午年	横切継紙・1通	え3988-10
午御年貢目録(田中村分) 田中邑名主助右衛門(印)→伊 勢町傳兵衛殿	文政5年午極月	横切継紙・1通	え3988-11

1.4.5. 所持地石高取調

(田畑地草山高綴)		綴/(え3989-1～53は一綴)・1綴	え3989
(東条北字本やち石高取調書)		小切紙/(え3989-1～10は紙縫一括)・1通	え3989-1
(東条同所字前山山高取調書)		小切紙・1通	え3989-2
(東条北字清瀧山高取調書)		小切紙・1通	え3989-3
(東条村北字前山山高取調書)		小切紙・1通	え3989-4
(東条村北字放光寺ほか石高取調書)		横切継紙・1通	え3989-5
(東条村北字放光寺畑地石高取調書)		小紙・1通	え3989-6
(東条村北字大日堂地根取調書)		小切紙・1通	え3989-7
(東条村北字上山石沢山高取調書)		横切継紙・1通	え3989-8
(東条村北字すきさき扇田石高取調書)		横切継紙・1通	え3989-9

1.内方/4.土地経営/5.所持地石高取調

(東条村字北西やち畑地石高取調書)	横切継紙・1通	え3989-10
(清野村字式番新田石高取調書)	小紙/(え3989-11~12は紙継一括)・1通	え3989-11
(清野村字鶴しま他畑山高石高取調書)	横切継紙・1通	え3989-12
(皆神山除地字腰牧石高取調書)	小切紙/(え3989-13~16は紙継一括)・1通	え3989-13
(皆神山御除地字秋葉前山ほか石高取調書)	横切紙・1通	え3989-14
(東条村之内皆神山除地無水干分取調書)	小切紙・1通	え3989-15
(皆神十六わり山高石高取調書)	小紙・1通	え3989-16
(大林寺分寺領字御安口石代取調書)	小紙・1通	え3989-17
(練光寺御朱印地字放光寺石高取調書)	小紙・1通	え3989-18
(田中村直左衛門家作場石高取調書)	小紙・1通	え3989-19
(西寺尾神明組石高取調書)	小紙・1通	え3989-20
(東寺尾村字堀田新田石高取調書)	小紙/(え3989-21~23は紙継一括)・1通	え3989-21
(東寺尾村字宮の前石高取調書)	小紙・1通	え3989-22
(東寺尾村字道嶋六筆畑地石高取調書)	小紙・1通	え3989-23
(東福寺村畑地石高取調書)	小紙/(え3989-24~26は紙継一括)・1通	え3989-24
(東福寺村河欠起高芝野地石高取調書)	小切紙・1通	え3989-25
(東福寺村字瀬端畑地石高取調書)	小切継紙・1通	え3989-26
(御代官直上納字中条横道下石高取調書)	小紙・1通	え3989-27
(河原新田石高取調書)	小紙・1通	え3989-28
(馬場成河原新田石高取調書)	小紙・1通	え3989-29
(矢代村源左衛門分平左衛門分石高取調書)	小切継紙・1通	え3989-30
(西条村字御安口石高取調書)	小紙/(え3989-31~32は紙継一括)・1通	え3989-31
(西条村字荒町村境荒町屋敷之内石高取調書)	小切継紙・1通	え3989-32
(町分田町下屋敷字十人町東屋敷畑地石高取調書)	横切継紙・1通	え3989-33
(荒町村草山高取調書)	小紙(え3989-34~41は紙継一括)・1通	え3989-34
(荒町村字中うた山高取調書)	小紙・1通	え3989-35
(荒町村字大日堂畑地石高取調書)	小紙・1通	え3989-36
(荒町村屋敷字荒町・十人町上畑地石高取調書)	小紙・1通	え3989-37
(荒町村屋敷高ほか石高取調書)	小切紙・1通	え3989-38
(荒町村字やち畑地石高取調書)	切紙・1通	え3989-39

(荒町字東やち畑地石高取調書)		小紙・1通	え3989-40
(荒町村字西やち他畑地石高取調書)		横切継紙・1通	え3989-41
(平林村字つくた山山高耨・山年貢取調書)		横切継紙・1通	え3989-42
(牧内村字小林耨高取調書)		横切継紙・1通	え3989-43
(東条村南字前山山高石高取調書)		小紙/(え3989-44~53は紙継一括)・1通	え3989-44
(東条村南字前山山高石高取調書)		小紙・1通	え3989-45
(東条村字南字中やち石高取調書)		小紙・1通	え3989-46
(東条南字こしまき田地石高取調書)		小紙・1通	え3989-47
(東条村南字清瀧大門添・清瀧南入長坂山草山高石高取調書)		小紙・1通	え3989-48
(東条南字薬師堂・池田之宮田地石高取調書)		小紙・1通	え3989-49
(東条南字皆神山北平草山高石高取調書)		小紙・1通	え3989-50
(東条村南字葛馬西中畑石高取調書)		小紙・1通	え3989-51
(東条北字大日堂道上・中条東畑地石高取調書)		小紙・1通	え3989-52
(東条南字清たき山高・草山高石高取調書)		横切継紙・1通	え3989-53

1.4.6. 土地絵図

(絵図面袋一括)	(明治)	袋一括/(え3994-1~4は袋一括)・1点	え3994
(袋) * (袋上書)「繪図面入」	(明治)	袋・1点	え3994-1
(荒町村・田中村など新田開発絵図) * 彩色	(明治)	33.8×142.0・1鋪	え3994-2
(敷地図面関連一括)	(明治)	巻込一括/(え3994-3-1~8は巻込一括)・1点	え3994-3
(敷地図面)	(明治)	25.4×30.8・1鋪	え3994-3-1
(367坪8合敷地図面)	(明治)	25.2×31.3・1鋪	え3994-3-2
(ノ381坪敷地図面)	(明治)	25.2×31.4・1鋪	え3994-3-3
(381坪2間16坪敷地図面)	(明治)	25.2×31.4・1鋪	え3994-3-4
(55~62、3072~3073番田・宅地図面)	(明治)	15.6×14.8・1鋪	え3994-3-5
(東條村字上十人町八田所有地ほか書上)	(明治)	横切継紙・1通	え3994-3-6
(地券378坪ノ377坪5、差引5分残ほか地券差引に付書上)	(明治)	横切継紙・1通	え3994-3-7
(第49番字上十人町2町5反2畝16歩絵図)	(明治)	15.6×41.1・1鋪	え3994-3-8
(図面一括)	(明治)	巻込一括/(え3994-4-1~2は巻込一括)・1点	え3994-4
(正坪337坪4合2勺ほか合372坪5勺敷地図面) 持主伊勢町豊田傳兵衛(印)	明治8年7月	27.6×38.5・1鋪	え3994-4-1

(地券1反1畝18分378坪宅、地券7畝7分217坪畑図面)	(明治)	24.6×31.8・1鋪	え3994-4-2
--------------------------------	------	--------------	-----------

1.4.7. 借家・借地

(借家請状書類一括)		綴/(え3659～3719は紙縫一括)/ (え3715-1～69は一綴)・1綴	え3715
借家手形之事(御長屋2間の家賃金1分) 借り主拾人町市兵衛(印)・馬喰町請人太兵衛(印)・廣田村請人又助(印)、(裏書)西条村禪宗法泉寺[印]→八田孫左衛門殿	正徳4年午正月26日	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-1
借家請状之事(表口3間を家賃として御町並役代を勤める事) 借り主吉弥(印)・かうじん町受人九兵衛(印)・肴町受人佐七(印)、(裏書)御安口龍泉寺(印)→大屋孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎長五郎殿・肝煎佐平治殿	享保20年卯2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-2
借家請状之事(表口2間半の家賃金1両) 木町借り主又右衛門(印)・外田町請人兵左衛門(印)・東寺尾村請人五右衛門(印)、(裏書)田中村浄福寺[印「浄福」]→大屋八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎佐平治殿	享保20乙卯年2月2日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-3
借家請状之事(表口2間の所、家賃金2分と400文にて) *(端裏書)「享保二十卯年 鏡屋町借家久右衛門」 借り主久右衛門(印)・かち町請人平右衛門(印)・荒神町請人平次郎(印)、(裏書)松代西念寺(印)→大屋八田孫左衛門殿・御役代文助殿・五人組衆中・肝煎佐平治殿	享保20年卯閏3月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-4
借家請状之事(表口2間の家賃古金2分・銭400文) * (端裏書)「鏡屋町借家良三」 かり主良三(印)・請人平兵衛(印)・同断清右衛門(印)→八田孫左衛門殿役代文助殿	元文3年午2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-5
借家請状之事(表口3間の家賃金1両3分2朱) 木町借り主又右衛門(印)・外田町請人作兵衛(印)・同町請人五右衛門(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎仁兵衛殿	元文5年申2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-6
借家御請状之事(表口5間を家賃金1両2分と650文) * (端裏書)「宝暦二申年 鏡屋町借家久右衛門」 借り主久右衛門(印)・新小路町受人長右衛門(印)・同断平四郎、(裏書)松代西念寺(印)→大屋八田嘉助殿役代文助殿・五人組衆中・名主専右衛門殿	宝暦2年申2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-7
借家御請状之事(表口6間の所を家賃金1両3分と1貫文) * (端裏書)「宝暦六」/(端裏貼紙)「鏡屋町左衛門」 借り主久左衛門(印)・鍛冶町受人丑松(印)・御安口受人平四郎(印)→八田鉄次郎殿・五人組衆中・名主清十郎殿	宝暦6年子10月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-8
借家御請状之事(表口2間の所、家賃金2分と764文) * (端裏書)「宝暦六子年 鏡屋町借家長右衛門」 借り主長右衛門(印)・東条村受人儀右衛門(印)・外田町受人惣右衛門(印)→八田鉄次郎殿・五人組衆中・名主清十郎殿	宝暦6年子10月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-9
借家御請状之事(外田町下屋敷の家賃として諸事御役代相勤め) * (端裏書)「下屋敷藤七家口證文並雨宮村役人中より送り書」 借主藤七(印)・雨宮村請人五郎兵衛(印)・同村受人藤右衛門(印)、(裏書)森村興正寺(印)→八田鉄次郎殿	宝暦7年丑2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-10
借家御請状之事(表口2間半を家賃金2分) * (端裏書)「荒神町借家久兵衛」 荒神町借主久兵衛(印)・荒神町請人李弥(印)・御安口請人右衛門(印)→八田鉄次郎殿役代吉弥殿・五人組衆中・名主喜左衛門殿	宝暦7丑ノ2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-11
借家御請状之事(表口3間を家賃金1両と850文) * (端裏書)「宝暦八寅年 鏡屋町借家長右衛門」 借り主長右衛門(印)・東条村請人儀右衛門(印)・外田町請人惣右衛門	宝暦8戌寅2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-12

(印)→八田鉄治郎殿・五人組衆中・名主幸助殿			
借家御請状之事(間口5間3尺・裏行間明地7間半の家賃金2兩に付)＊(端裏書)「荒神町借家喜右衛門」荒神町借り主喜右衛門(印)・同町請人名右衛門(印)・右同断与左衛門(印)→八田鉄次郎殿役代吉弥殿・五人組・名主喜左衛門殿・長町人新兵衛殿	宝暦8戊寅2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-13
借家御請状之事(間口5間3尺・裏明地7間半の家賃金2兩)＊(端裏貼紙)「荒神町借家喜右衛門」借り主喜右衛門(印)・同町請人名右衛門(印)・右同断善蔵(印)→八田孫左衛門殿役代吉弥殿・五人組中・名主忠右衛門殿・長町人五郎兵衛殿	宝暦9年卯8月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-14
借家御請状之事(間口2間半の家賃金2分)＊(端裏書)「荒神町借家久兵衛」荒神町借主久兵衛(印)・同町請人李弥(印)・御安口同断与右衛門(印)→八田孫左衛門殿役代吉弥殿・五人組衆中・名主忠右衛門殿・長町人五郎兵衛殿	宝暦9年卯2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-15
借家御請状之事(間口2間を家賃金1分2朱)＊(端裏貼紙)「荒神町借家清七」荒神町かり主清七(印)・同所請人李弥・同所受人久七(印)→八田孫左衛門殿役代吉弥殿・五人組衆中・名主忠右衛門殿・長町人五郎兵衛殿	宝暦9年卯2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-16
借家御請状之事(間口3間の所、家賃として御町御役代相勤め)＊(端裏書)「荒神町借家吉弥」借り主吉弥(印)・五反田請人吉郎左衛門[印]・肴町同断長吉(印)→大屋八田孫左衛門殿・五人組中・名主忠右衛門殿・長町人五郎兵衛殿	宝暦9年卯8月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-17
宗證(藤右衛門は長明寺旦那に付) 東寺尾邑長明寺(印)	宝暦10年辰4月	堅切紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-18
借家御請状之事(表口2間3尺を裏に座敷1間の所、家賃金1兩1分2朱)＊(端裏書)「宝暦十辰年 鏡屋町借家藤右衛門」借り主藤右衛門(印)・荒神町請人小七(印)・倉科村同断庄左衛門(印)、(裏書)東寺尾村長明寺(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主久左衛門殿	宝暦10庚辰年2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-19
借家御請状之事(外田町御下屋敷の家賃金3分)＊(端裏書)「外田町下屋敷幸七御口請證文」借主幸七(印)・木町請人惣助(印)・離山村請人幸右衛門(印)、(裏判)西尾村浄真寺[印]→八田孫左衛門殿	明和2年酉2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-20
借家御請状之事(表口3間半・曲屋付・土蔵1ヶ所を家賃金2兩) 借り主惣八(印)・鍛冶町請人久八(印)・東川田村請人長蔵(印)、(裏書)東光寺[印]→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主円右衛門殿	明和3年戌2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-21
一札之事(借地請状) 西法寺[印]	明和4年亥2月	堅切紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-22
借家御請状之事(表口2間の家賃金3分2朱)＊(端裏書)「明和四亥年 鏡屋町借家庄九郎」借り主庄九郎(印)・鏡屋町請人源大夫(印)・下田町請人吉郎右衛門(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主円右衛門殿	明和4年亥2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-23
借家御請状之事(表口4間と家賃金1兩1分と200文に付)＊(端裏書)「明和六 借家庄助」借り主庄助(印)・赤栗村請人清右衛門(印)・鏡屋町請人傳左衛門(印)、(裏書)善光寺町西方寺(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主茂兵衛殿	明和6年丑2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-24
借家御請状之事(表口3間半・土蔵1ヶ所を家賃金1兩に付)＊(端裏書)「明和八年 鏡屋町借家喜三郎」借り主喜三郎(印)・荒神町請人新蔵(印)・中町請人小兵衛(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主茂兵衛殿	明和8卯年2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-25

1.内方/4.土地経営/7.借家・借地

借家御請状之事(表口4間半を家賃金1両1分に付)＊(端裏書)「明和八年 鏡屋町借家金兵衛」 借り主金兵衛(印)・鏡屋町受人善之丞(印)・同町受人伊左衛門(印)・(裏書)西條村清水寺[印]→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主茂兵衛殿	明和8年卯2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-26
借家御請状之事(表口3間半・裏行2間半を家賃金3分に付)＊(端裏書)「荒神町借家喜四郎」 借家借り主喜四郎(印)・中町請人市右衛門(印)・綱嶋村請人弥左衛門(印)→大屋吉弥殿・五人組衆中	安永3年午2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-27
借家御請状之事(間口2間・裏間7間を家賃金1両1分2朱にて借用に付) 荒神町借り主名左衛門(印)・中町請人名右衛門(印)・右同断善藏(印)→八田孫左衛門殿役代吉弥殿・五人組衆中・名主喜左衛門殿・長町人忠右衛門殿	安永3年午2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-28
借家御請状之事(表口3間半・北裏行6間・南裏行3間の所、家賃金1両に付)＊(端裏書)「安永三年 鏡屋町借家五郎助」 加賀井村借り主五郎助(印)・同村置主甚右衛門(印)・同村受人辰右衛門(印)・鏡屋町請人幸藏(印)・(奥書)東寺尾村長明寺(印)→八田孫左衛門殿役代大屋甚助殿・五人組衆中・名主茂兵衛殿	安永3年午9月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-29
借家御請状之事(外田町御下屋敷を家賃金1貫200文に付)＊(端裏貼紙)「安永三年二月田町屋敷半六家賃壹貫貳百文借家證文」 借り主半六(印)・松代中町請人善右衛門(印)・松代鍛冶町請人久八(印)→八田孫左衛門殿	安永3年午2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-30
借家請状之事(外田町御下屋敷を家賃金1貫200文に付)＊(端裏書)「田町下屋敷甚三郎」 借主甚三郎(印)・請人磯右衛門(印)・同断幸三郎(印)・(裏書)大信寺(印)→八田孫左衛門殿	安永4年未2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-31
借家請状之事(外田町御下屋敷を家賃金2貫500文に付)＊(端裏書)「下屋敷吉左衛門借家證文」 借主吉左衛門(印)・東荒町受人伊野右衛門(印)・田町受人吉五郎(印)→八田孫左衛門殿	安永4年未2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-32
借家御請状之事(外田町御下屋敷を家賃金1貫600文に付)＊(端裏書)「外田町下屋敷佐市家請證文」 借り主佐市(印)・鍛冶町請人久八(印)・桑根井村請人安兵衛(印)→八田孫左衛門殿御役代幸七殿	安永4年未2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-33
借家御請状之事(表口2間半を家賃金3分と銀1匁2分5厘に付)＊(端裏書)「借家請状下案」 何村借主専助・同置主誰・同受人同・同受人同→八田孫左衛門殿役代大屋仁右衛門殿・五人組衆中・名主茂兵衛殿	安永4年未2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-34
借家御請状之事(外田町御下屋敷を家賃1貫500文に付)＊(端裏書)「外田町下屋敷吉兵衛家請證文」 借主吉兵衛(印)・馬喰町請人勝右衛門(印)・同所請人吉藏(印)→八田孫左衛門殿	安永6年酉8月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-35
借家御請状之事(外田町御下屋敷の2間に5間の場所を家賃2貫文に付)＊(端裏書)「外田町下屋敷分三七家請證文」 借り主三七(印)・請人東条村庄介(印)・同断同所惣藏(印)・(裏書)梅翁院[印]→八田孫左衛門殿	安永6年酉2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-36
借家請状之事(表口11間半・酒蔵1ヶ所・穀蔵1ヶ所・臼挽蔵1ヶ所などを家賃酒道具賃金に付)＊(端裏貼紙)「安永七戌年八月甚兵衛木町酒蔵借證文受人馬喰町善右衛門紺屋町喜惣治 大屋大八」 かり主甚兵衛(印)・馬喰町受人善右衛門(印)・紺屋町同断喜惣治(印)→大屋大八殿・五人組衆中	安永7戌年8月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-37
借家御請状之事(間口7間を家賃文金2両2分銭1貫164文に付)＊(端裏書)「安永八亥年 鏡屋町借家甚助」 借り主甚助(印)・鏡屋町請人利平治(印)・中町同弥五兵衛	安永8年亥2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-38

(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主茂兵衛殿			
借家御請状之事(間口2間半・裏行2間半の所を家賃2分 に付)＊(端裏書)「安永八年亥二月荒神町屋敷長兵衛家 賃金貳分借家證文荒神町役代治郎七」荒神町借主長兵衛 (印)・中町請人佐吉(印)・同請人政之助(印)→大屋次郎七 殿・五人組衆中	安永8年亥2月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一 括)・1通	え3715-39
借家御受状之事(表口2間半のところが家賃金3分銀5匁 に付)＊(端裏書)「天明元丑五月東木町借家幸吉家賃三 分五匁」借り主幸吉(印)・かち町受人平治郎(印)・柴町受 人喜清治(印)・(裏書)西条村法泉寺[印]→八田孫左衛門殿 役代大屋吉蔵殿・五人組衆中・名主徳兵衛殿	天明元年丑5月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一 括)・1通	え3715-40
借家御請状之事(表口2間半の所を家賃金3分銀5匁に 付)＊(端裏貼紙)「天明元年丑五月東木町家賃金三分五匁 吉蔵借家證文」借主吉蔵(印)・上田町受人庄右衛門(印)・ 下田町受人治助(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主 徳兵衛殿	天明元年丑5月	堅継紙/(え3659 ～3719は紙縫一 括)・1通	え3715-41
借家御請状之事(間口2間半の所を家賃金3分2朱に付) ＊(端裏書)「東木町借家仙治郎」借り主仙治郎(印)・田町 請人治助(印)・同吉蔵(印)・田中村同要八(印)・(裏書)真勝 寺[印]→八田孫左衛門殿御役代傳兵衛殿・五人組衆中・名 主円右衛門殿	天明4辰年2月	堅継紙/(え3659 ～3719は紙縫一 括)・1通	え3715-42
借家御請状之事(外田町御下屋敷の所、家賃金1分銀7 匁5分に付)借り主丸左衛門(印)・請人外田町平三郎 (印)・同断要八(印)・(裏書)真勝寺[印]→八田孫左衛門殿	天明3卯年2月	堅継紙/(え3659 ～3719は紙縫一 括)・1通	え3715-43
借家御請状之事(間口3間半の所を家賃金3分2朱に付) ＊(端裏書)「天明六年午二月鏡屋町家賃三分式朱幸八借家 證文」借り主幸八(印)・請人梅寿院(印)・同断惣助(印)→ 八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主甚兵衛殿	天明6年午2月	堅継紙/(え3659 ～3719は紙縫一 括)・1通	え3715-44
借家御請状之事(表口2間の所の家賃金2分銀6匁錢425 文に付)＊(端裏書)「天明七未年 鏡屋町借家七右衛門」 御借り主七右衛門(印)・紺屋町請人宇兵衛(印)・下小嶋田 村請人惣左衛門(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主 徳兵衛殿	天明7未年2月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一 括)・1通	え3715-45
送り證文之事(78歳の又七と女房引越に付) 外田町肝 煎善蔵(印)→八田孫左衛門殿抱屋敷役代中	天明3卯年2月	切紙/(え3659～ 3719は紙縫一 括)・1通	え3715-46
寺請一札之事(邦治は浄土宗西条村西楽寺の旦那に紛 れなき旨) 西条村西楽寺(印)→八田孫左衛門殿	天明8年申3月	堅切紙/(え3659 ～3719は紙縫一 括)・1通	え3715-47
借家御請状之事(表口3間半の所を家賃金3分2朱に付) ＊(端裏書)「天明八申年鏡屋町借家邦治」御借り主邦治 (印)・御安口請人利平太(印)・同片岡源左衛門(印)→八田 孫左衛門殿・五人組衆中・名主徳兵衛殿	天明8年申2月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一 括)・1通	え3715-48
借家御請状之事(間口4間の所の家賃金1両2分銀10匁 に付)＊(端裏書)「寛政三亥年借家七右衛門」借主七右 衛門(印)・下小嶋田村請人惣左衛門(印)・牧嶋村同断勇治 郎(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・名主徳兵衛殿	寛政3亥年2月	堅継紙/(え3659 ～3719は紙縫一 括)・1通	え3715-49
借家御請状之事(外田町下御屋敷の所を家賃錢1貫200 文に付)＊(端裏書)「寛政四壬子年外田町屋敷家賃壹貫 貳百文只右衛門借家證文」借り主只右衛門(印)・東荒町 村請人熊蔵(印)→八田孫左衛門殿	寛政4壬子年2月	堅継紙/(え3659 ～3719は紙縫一 括)・1通	え3715-50
借家御請状之事(2間3間の所を家賃1貫200文に付)＊ (端裏書)「寛政九巳二月田町屋敷家賃壹貫貳百文佐市借家 證文」借り主佐市(印)・中町請人重治郎(印)・真嶋村同断 文三郎(印)→八田孫左衛門殿御下屋敷肝煎三七殿	寛政9巳2月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一 括)・1通	え3715-51

1.内方/4.土地経営/7.借家・借地

借家御請状之事(表口7間・行間7間等の所を家賃金3分2朱に付) * (端裏書)「寛政十年年二月田町小兵衛借家請状」 借主小兵衛(印)・同心丁請人作右衛門(印)・外田町請人藤藏(印)→八田孫左衛門殿御役代傳兵衛殿	寛政10年午2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-52
借家請證文之事(鏡屋町三郎左衛門殿跡家屋敷の所を家賃として御役代諸色相勤め金1両宛差上げに付) * (端裏書)「文化三寅年二月鏡屋町三郎左衛門跡屋敷吉兵衛家賃役代諸色相勤年々金壹両ツ、差出候書」 御借主吉兵衛(印)・紺屋町請人嘉兵衛(印)・東寺尾村同断平弥(印)→伊勢町傳兵衛殿	文化3年寅2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-53
借家御請状之事(表口5間の所を家賃3両2分に付) 木町御借家喜太郎(印)、(奥書)桑祢井村親類弥忠治(印)・伊勢町請人善右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化9申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え3715-54
借家御請状添一札之事(表口3間の建家など2筆の所を家賃合わせて金3両3分に付) 木町御借家喜太郎(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化9申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-55
借家御請状之事(表口4間の建家などの所を家賃3両1歩に付) 御借家御借主忠太(印)、(奥書)東条村親類久左衛門(印)・伊勢町受人惣兵衛(印)→八田嘉右衛門御内嶺村吉兵衛殿	文化9申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-56
借家請状之事(表口5間・裏行地尻迄8間等の所を家賃金5両に付) * (端裏書)「権左衛門」 錦町御借主権左衛門(印)・紙屋町請人甚左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	文政元寅年10月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-57
借家請状之事(表口5間・裏行8間半等の所を家賃金5両に付) * (端裏書)「忠左衛門」 忠左衛門(印)・受人平蔵(印)→伊勢町傳兵衛殿	文政元寅年6月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-58
譲渡申家屋鋪證文之事(年貢高3斗2升8合等の所、代金25両にて) * (端裏書)「東寺尾村御高辻の内四郎兵衛分ほか譲主寺尾村重左衛門引請伊勢町傳兵衛の旨」 東寺尾村譲主重左衛門(印)・名主治五右衛門(印)・組頭喜惣太(印)・同断助左衛門(印)・長百姓甚兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	文政元寅年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-59
借家御請状之事(表口5間・奥行2間半の所を家賃金5両にて) * (端裏書)「喜惣治弥三郎」/受取など貼紙で抹消・修正 借主喜惣治・中町請人六三郎(印)・網島村親類伴五郎(印)・借主弥三郎(印)・木町請人伊惣治(印)・相嶋村親類嘉左衛門(印)・請人喜惣治(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代柳右衛門殿・五人組衆中	文政7申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-60
借地御請状之事(2ヶ所の貸屋、2両と1両1分に付) * (端裏書)「了道」 西木町柳原(印)・伊勢町請人惣蔵(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代柳右衛門殿・五人組衆中	文政7申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(貼紙あり)・1通	え3715-61
借家御請状之事(南北3間半などの所、家賃3分に付) * (端裏書)「元治」 御借主元治(印)・西木町請人忠左衛門(印)・御安口親類請人宇兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代柳右衛門殿・五人組衆中	文政7申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-62
借家御請状之事(表口2間・裏行2間半の所を家賃銀25匁に付) * (端裏書)「清左衛門」 借り主清左衛門(印)・紙屋町受人林左衛門(印)・外田町親類受人清治(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代柳右衛門殿・五人組衆中	文政7申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-63
借家請状之事(表口5間・奥行2間半の所を家賃3両に付) * (端裏書)「半平」 借主半平(印)・伊勢町請人藤蔵(印)・同断喜惣治(印)→菊屋傳兵衛殿御役代惣三郎殿	文政11子年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-64

借家請状之事(表口4間・奥行2間半の所を家賃2両に付) * (端裏書)「平兵衛」御借主平兵衛(印)・請人吉郎太(印)・請人半平(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代惣三郎殿	文政11年子2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-65
借家請状之事(表口5間・裏行2間半等の所、家賃5両に付) * (端裏書)「惣三郎」借主惣三郎(印)・伊勢町御請人周兵衛(印)・同御請人清吉(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代権右衛門殿・五人組衆中	天保2卯年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-66
家屋敷借用證文之事(西木町南側表口5間・裏行地尻迄8間半の所を家賃5両に付) * (端裏書)「下案」訂正貼紙付 借主誰・受人兩人誰→伊勢町傳兵衛殿	天保4巳年2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-67
家屋鋪借用證文之事(表口8間の所を家賃3両に付) * (端裏書)「いせ町吉兵衛」伊勢町借主吉兵衛(印)・東寺尾村請人吉左衛門(印)・荒神町請人文左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保4巳年9月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-68
店借用證文之事(町並建家表口5間・奥行4間等の所を役代賃を差し引き2両に付) 借主榮左衛門(印)・荒神町請人清右衛門(印)・同町同断松三郎(印)→伊勢町大屋傳兵衛殿・五人組衆中	弘化3午年3月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3715-69
一札之事(荒町分の新屋敷高6斗7升余金1両1分の売渡証文) * (端裏貼紙)「享保十二未九月荒町分御高辻之内高六斗七升式合卯新屋敷二相渡候分私持分之内にて引申候得共当未之年より此方持高之内にて引候筈證文引高議主荒町権左衛門金壹両一分遣候 八田嘉助」/(端裏貼紙)「四十」/(奥書)「金子壹両壹分請取申候」あら町相渡し主権左衛門(印)・同所證こ政右衛門(印)→八田嘉助殿	享保12年未之9月28日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-14
借地手形之事(小作年貢2俵3斗3升3合のところ借用) * (端裏書)「荒町屋敷」あら町借り主何右衛門(印)・牧内村請人小左衛門(印)・荒町請人織右衛門(印)→川北御領所坂原兵左衛門殿・本町御口入八田孫左衛門殿	享保16年亥之3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)・1通	え3699
借地手形之事(荒町屋敷のうち小作年貢2俵3斗3升の所) * (端裏書)「荒町屋敷」あら町借り主孫次右衛門(印)・西条村請人清右衛門(印)・荒町請人喜七(印)→川北御領所坂原兵左衛門殿・御口合八田孫左衛門殿	享保16年亥3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3701
借地手形之事(小作年貢1俵の地所借地に付) 荒町借り主小左衛門(印)・同所請人甚左衛門(印)・氷鉤村請人甚兵衛(印)・(裏書)廣田村勝龍寺[印]→川北御領所坂原兵左衛門殿・本町御口入八田孫左衛門殿	享保20年卯2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え3698
覚(金1両2分100文家賃残金支払延期に付返済約定一札) * (端裏書)「家賃残金かしやう□□(虫損)銀□(虫損)」借り主銀七(印)・西条村請人清右衛門(印)・田中村請人藤助(印)→八田孫左衛門殿御役代菊屋文助殿	享保20年卯之3月晦日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3689
宗旨證文之事(惣助家は代々浄土宗) 東寺尾村長明寺(印)	享保20年卯3月日	堅切紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3692
借家請状之事(東寺尾村惣介、表口3間の所ところ家賃1分1貫124文に付) * (端裏書)「荒神町惣助」借り主惣介(印)・馬喰町請人平八(印)・かうしん町平弥(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎長五郎殿	享保20年卯3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え3693
一札之事(家賃1両3分2朱1貫200文返済延納承引に付返済約定) 鍛冶町請人半右衛門(印)・同心町権左衛門→八田孫左衛門様	享保20年卯閏3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3700

一札之事(家賃1兩2分1貫100文返済延納承引に付返済約定) 御馬屋町作右衛門(印)・荒神町七右衛門(印)→八田孫左衛門様	享保20年卯ノ3月日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3702
覚(地代金御年貢滞るのため類焼した家の家作の件内済証文) * (端裏書)「荒町小左衛門年貢滞書付」 荒町借り主小左衛門(印)・同所請人甚左衛門(印)・水鉋村請人甚兵衛(印)→川北御領所坂原兵左衛門殿・木町御口入八田孫左衛門殿	享保20年卯2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え3686
借家請状之事(表口3間の家賃金1兩1分550文) * (端裏書)「鏡屋町久左衛門」 鏡屋町借家久左衛門(印)・紺屋町請人文六(印)・馬喰町請人平右衛門(印)・(裏書)願行寺(印)→八田孫左衛門殿五人組衆中・肝煎仁兵衛殿	元文5年申2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3688
借家請状之事(表口3間のところ金1兩1分銭250文に付) * (端裏書)「鏡屋町七之丞」 鏡屋町借り主七之丞(印)・紺屋町請人佐平(印)・伊勢町同断平六(印)・(奥書)松代龍泉寺[印]→八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎仁兵衛殿	元文5年申之2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3690
借家請状之事(表口2間のところ家賃文金3分600文に付) 鏡屋町借り主久右衛門(印)・荒神町請人平治郎(印)・小嶋田村請人仁兵衛(印)・(裏書)松城西念寺(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎仁兵衛殿	元文5年申2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え3691
借家請状之事(表口3間、裏行5間の所、金3分銀4匁5分に付) * (端裏書)「荒神町 治郎兵衛」 荒神町借り主治郎兵衛(印)・広「□□」(虫損)・請人次左衛門(印)・荒神町請人市太夫(印)・(裏書)桜菊院[印]→大屋八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎七五郎殿	元文5年申2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え3695
借家請状之事(家賃金2兩650文) 木町預り武兵衛(印)・小越町請人甚五右衛門(印)・小越町請人藤右衛門(印)・(奥書)田中村浄福寺[印]→八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎仁兵衛殿	元文5年申2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え3696
借家請状之事(表口2間のところ家賃3分600文に付) 鏡屋町借り主良迪(印)・西条村請人平兵衛(印)・同所請人□(虫損)右衛門(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎仁兵衛殿	元文5年申2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損甚大取扱注意)・1通	え3697
(家屋敷譲渡願書及び借家証文書類一括)		綴/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3713-1～6は一綴)・1綴	え3713
以口上書奉願候御事(向屋敷を養弟儀兵衛方へ譲渡したきに付) * (端裏書)「儀兵衛方へ屋敷相譲候願書」 八田孫左衛門・(奥書)名主幸助→中沢半治郎殿・増田惣右衛門殿・杭全平左衛門殿・宇佐美清十郎殿・中川三郎左衛門殿・伴伊右衛門殿	宝暦9年卯3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(破損大)・1通	え3713-1
乍恐奉願候御事(紺屋町に所持している屋敷役代を吉兵衛から八弥へ引替たきに付) * (端裏書)「紺屋町役代引替願申下書」 八田鉄次郎・(奥書)五人組・紺屋名主・長町人→小池五兵衛殿・中沢半次郎殿・増田宗右衛門殿・杭全平左衛門殿・検断中河三郎左衛門殿・宇佐美清十郎殿	年号2月21日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3713-2
乍恐奉願候御事(東木町に所持している屋敷の御町並御役を借家の又左衛門に勤めさせたきに付) * 下書 八田鐵治郎・(奥書1)廣田太夫家守五人組新右衛門・嘉右衛門役代同断清七・(奥書2)名主清十郎→小池五兵衛殿・中沢半治郎殿・増田宗右衛門殿	年号月日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3713-3

指上申一札之事(父の代に譲渡した屋敷地を20両にて御返地下さるに付私持地名面になる様願書) 荒神町友作(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保2卯年6月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3713-4
一札之事(御拝抱屋敷通用差支えのため菊屋傳兵衛方屋敷地を150両で譲り渡して下さるに付掛物私方で相勤めの旨) 江戸屋金作(印)→菊屋傳兵衛殿	天保2卯年6月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3713-5
借家御請状之事(間口4間の家賃金1両2分と銀10匁) * (端裏書)「鏡屋町借家伊兵衛」 借主伊兵衛(印)・中町請人平右衛門(印)・伊勢町同断理右衛門(印)→八田孫左衛門様・五人組衆中・名主徳兵衛殿	寛政5丑年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3713-6
一札之事(荒町幸左衛門借家へ引越しにて借家借り方親類共相談の上相對相済みに付) 願主又五郎(印)・家請梅寿院(印)・親類長左衛門(印)→大屋甚助殿	明和7年寅11月	堅紙・1通	え3863
一札之事(荒町幸左衛門借家へ引越しにて只今迄借家家賃2両2分支払い兼に付代わりに土蔵1箇所売り払いにて済む旨) 願主又五郎(印)・家請梅寿院(印)・親類長左衛門(印)→八田孫左衛門殿	明和7年寅11月	堅紙・1通	え3864
借家請状之事 * (端裏貼紙)「借家請状下案」/雛形 借主・請人・同→八田孫左衛門殿	安永4年末2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3704
借家御請状之事(表口7間建家などの代料4両) * (端裏書)「文化十四丑年」 御借家御借主万蔵(印)・(奥書)東条村親類久左衛門(印)・外田町受人量左衛門(印)・木町同断平兵衛(印)→八田嘉右衛門様御役人衆中	文化14丑年8月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3710
借家證文之事(表口4間、裏行37間3尺の居家を金2両にて10年季借用) 海野宿借家主六左衛門(印)・同所加判群蔵(印)・同所組合九右衛門(印)→松代町傳兵衛殿	天保2年卯4月	横切紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3711
添書一札之事(借家平五郎が親元へ引越に付跡借家へ善治郎を差置度ため請合) 善治郎(印)・請人万吉(印)・請人幸右衛門(印)→菊屋傳兵衛殿	天保4巳年9月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3707
(家屋敷借用証文関係綴)		綴/(え3752-1～9は一綴)・1綴	え3752
家屋鋪借用証文之事(西木町南側裏借屋建家2間に2間半を金1分に付) * (端裏貼紙)「政吉」 借主政吉(印)・組合請人元治(印)・いせ町請人傳右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保4巳年2月	堅紙・1通	え3752-1
家屋鋪借用証文之事(間口2間2間半を金1分2朱余に付) * (端裏貼紙)「和右衛門宅 助左衛門」 借主助左衛門(印)・請人和兵衛(印)・組請人忠左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保4巳年2月	堅継紙・1通	え3752-2
家屋鋪借用証文之事(西木町南側表口6間裏行2間半のところを家賃1両1分に付) * (端裏貼紙)「源吉」 借り主源吉(印)・柴村受人千代吉(印)・西木町受人権左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保4巳年2月	堅継紙・1通	え3752-3
家屋鋪借用証文之事(西木町南側表口5間裏行8間半のところを5両に付) * (端裏貼紙)「惣三郎」 借主惣三郎(印)・組合請人惣兵衛(印)・肴町請人勝右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保4巳年2月	堅紙・1通	え3752-4
家屋鋪借用証文之事(2間に2間半のところを家賃1分10匁に付) * (端裏貼紙)「清左衛門」 借主清左衛門(印)・新小越町吉治(印)・組合惣兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保4巳年2月	堅紙・1通	え3752-5
家屋鋪借用証文之事(表之間裏行2間半を家賃2分2朱に付) * (端裏貼紙)「芳作」 借用人芳作(印)・受人九助(印)・組合与右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保7申年2月	堅継紙・1通	え3752-6

1.内方/4.土地経営/7.借家・借地

家屋鋪借用證文之事(表口3間裏行2間半を家賃2分2朱に付、朱塗りあり)＊(端裏書)「裏長屋間周三郎」借主周三郎(印)・親類請人田町栄助(印)・組受人忠左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保7申年2月	堅継紙・1通	え3752-7
(忠左衛門ほか貸地の間取絵図)	安政2卯年3月改	堅紙・1通	え3752-8
西木町助七跡借家絵図面		堅紙・1通	え3752-9
(家屋敷借用証文書類一括)		綴/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3712-1～6は一綴)・1綴	え3712
家屋鋪借用證文之事(表間口4間・裏行4間・裏庭2間の家賃金2両)＊貼紙あり 鏡屋町借主辰五郎(印)・鍛冶町受人万吉(印)・東荒町受人茂右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保7申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3712-1
家屋鋪借用證文之事(表口5間・裏行4間・下屋2間の建家2階付の家賃金2両2分) 伊勢町御借主徳右衛門(印)・四つ屋親類請人七郎兵衛(印)・組合請人惣蔵(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保8酉年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3712-2
家屋鋪借用證文之事(表口5間・奥行2間半などの建家家賃金3両1分と銀5匁) 鏡屋町借主伊兵衛(印)・御安口親類受人清蔵(印)・同組合名左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	嘉永5子年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3712-3
家屋鋪借用證文之事(建家表口5間・裏行2間半の家賃金4両2分) 矢代村借用主小右衛門(印)・親類受人三之助(印)・同断木町富作(印)・組合受人伊兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	安政4巳年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3712-4
家屋鋪借用證文之事(土蔵の家賃金4両) 鏡屋町御借主伊兵衛(印)・御安口親類受人清蔵(印)・村組合名左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	安政4巳年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3712-5
家屋鋪借用證文之事(建家表口5間・奥行2間半の家賃金3両2分) 御借主安左衛門(印)・親類受人御安口富作(印)・請人木町富作(印)→伊勢町傳兵衛殿	文久2戌年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3712-6
家屋鋪借用證文之事(表口3間奥行2間裏庭前栽附建屋2階附下屋9尺附家賃1ヶ年金2両3分1朱にて借人瀧右衛門宗旨浄土宗東寺尾村長命寺旦那に付他)＊(端裏貼紙)「瀧右衛門」借主瀧右衛門(印)・田中村親類請人茂市(貼紙「印形御日延奉願候」)・組受人平兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保7年申2月日	堅継紙・1通	え3781
(家屋敷借家証文一括)		綴/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3709-1～7は一綴)・1綴	え3709
家屋鋪借用證文之事(表口2間半・裏行3間半に4尺の下屋並2階付を家賃3両1分に付) 借主助七(印)・紙屋町受人捨蔵(印)・組合受人平兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保13寅年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3709-1
御借用申地所證文之事(惣坪数66坪の土地を御年貢金3両3分に付、絵図面貼継証文) 西木町借地主権左衛門(印)・紙屋町親類甚左衛門(印)・組合惣兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保7申年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3709-2
家屋敷借用證文之事(表口3間裏行下屋共2間建家2階付を家賃金2両に付)＊(端裏貼紙)「御貸 徳左衛門」鏡屋町御借主藤右衛門(印)・親類受人兵蔵(印)・組合受人伊兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保13寅年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3709-3

家屋鋪借用證文之事(表口3間4尺・奥行4間、建家の内9尺4方程2階付を家賃2兩1分に付) 鏡屋町御借家御借主藤吉(印)・寺町親類請人佐兵衛(印)・東木町元組合受人音吉(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保13寅年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3709-4
覚(唐紙4本・杉戸2本・袋戸唐紙2本・地袋唐紙2本借用証文) 鏡屋町三五郎(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保13寅年5月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3709-5
家屋鋪借用證文之事(表口4間裏行4間半などの家賃3両) 鏡屋町御借主三五郎(印)・かち町親類受人源兵衛(印)・いせ町親類受人長兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保13寅年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3709-6
家屋鋪借用證文之事(西木町南側表口5間裏行地尻迄8間半の家賃5両) 西木町借主平兵衛(印)・下布施村受人源吾(印)・西木町組合受人周三郎→伊勢町傳兵衛殿	天保13寅年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3709-7
家屋鋪借用證文之事(表口5間・奥行4間・2階付町並建家等の家賃金3両) *下書/付札にて修正・加筆 借主栄左衛門・何町請人傳兵衛・何町請人清右衛門→伊勢町傳兵衛殿	弘化3丙午年	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(貼紙)・1通	え3714
御尋ニ付乍恐以書付申上候(伊勢町与兵衛・吉兵衛から床店取建のため借地願) *下書 伊勢町傳兵衛→御奉行所	嘉永3年戌6月	堅紙・1通	え3925
覚(貴殿より譲り受けた西木町家屋敷店賃は当年分は貴殿方で御請取とのことで相違なき旨約定) 米山弥右衛門(印)→豊田傳兵衛殿	安政3辰年11月	堅紙・1通	え3898
借地證文之事(埴科郡松代町字鏡屋町第344番地、高24坪の所、1ヶ年に金4円で借用に付) →八田知道殿	明治18年1月	横切継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3679
(玉井忠治貸地ほか坪数など絵図面)		75.3×54.5/(え3659～3719は紙縫一括)・1鋪	え3669
(袋) * (袋上書)「西木町抱屋鋪借屋證文書類」	(近世)	袋/(え3659～3719は紙縫一括)・1点	え3667

1.4.8. 土口村

うり渡し申家之事(2間はり5間の家を小形金2分にて) 土口村名主太右衛門(印)・同請人吉右衛門(印)他3名→藤兵衛殿	享保6年丑10月23日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3705
譲渡申畑證文之事(屋敷田畑代金11両にて売渡) * (端裏貼紙)「文化七午年四月御高老石八斗五升八合八勺代金拾壹兩讓主土口村助左衛門」/(貼紙)「書載候ニ及不申候」/他貼紙1点付/(端裏書)「助左衛門」 土口村助左衛門(印)・名主吉右衛門(印)・組頭三郎右衛門(印)・同断幸吉(印)・長百姓又三郎(印)→八田嘉右衛門様御内傳兵衛殿	文化7午年4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3662-1～5は一綴)・1通	え3662-4
譲渡申田畑證文之事(田畑代金25両にて売り渡すに付) * (端裏貼紙)「文化七午年四月御高三石式斗七升八合代金貳拾五兩讓主土口村八郎治」/(端裏書)「八郎治」 土口村地主八郎治(印)・名主吉右衛門(印)・組頭三郎右衛門(印)・同断幸吉(印)・長百姓又三郎(印)→八田嘉右衛門様御内傳兵衛殿	文化7午年4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3662-1～5は一綴)・1通	え3662-5
山高覚 * (端裏書)「六右衛門様 右御村庄助」 土口村庄助→六右衛門様	巳10月24日	横切紙/(え3990-1～3は一綴)・1通	え3990-3

1.4.9. 東条村

売渡シ申山之事(前山2斗5升8合の山代金5両) * (端裏貼紙)「元禄二巳年十二月東條村南組前山代金五兩御高式斗五升八合讓主篠崎渡左衛門 買主長礼村角兵衛」/(端裏貼紙)「廿」/奥書の日付は元禄3年2月7日 売主篠崎渡左衛門(印)・證拠人森山与五兵衛(印)・同断小泉九左衛門代鈴木藤右衛門(印)他2名・東条村肝煎徳之丞(印)・同村組頭安兵衛(印)・同村老百姓次兵衛(印)・同村同断傳左衛門(印)・(奥書)東条村肝煎徳之丞(印)・組頭安兵衛(印)・老百姓次兵衛(印)→買主牟礼村角兵衛殿、(奥書)宇敷太郎兵衛様	元禄2年巳ノ12月28日	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-1
売渡シ申山之事(石場山高1斗7升6合3勺、東条村の内荒町分山代金小形金8両) * (端裏書)「名所石場山御高辻之内荒町分山代金売主与七ニ付」 木町売主与七(印)・あら町肝煎園右衛門(印)・同所組頭権左衛門(印)・惣百姓(印)→(八田)嘉右衛門殿	享保3年戌3月29日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-4
売渡申山之事(石場山高1斗7升6合3勺、東条村の内荒町分山代金小形金8両) * (端裏貼紙)「享保三年戌三月廿九日名所石場山高壱斗七升六合三勺東条村御高辻之内荒町分山代金小形金八両木町売主与七證文写 嘉七」 木町売主与七・荒町肝煎園右衛門・同所組頭権左衛門・惣百姓→(八田)嘉右衛門殿	享保3年戌3月29日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-5
売渡シ申山之事(東条村前山年貢2斗5升の所6両2分) * (端裏貼紙)「享保六年丑十二月廿四日東条村名所前山御年貢初式斗五升代金六兩貳分讓主大嶋金右衛門 買主八田孫左衛門」 売主大嶋金右衛門(印)・東条村肝煎勇右衛門(印)・組頭磯右衛門(印)・長百姓五兵衛(印)→八田孫左衛門殿	享保6年丑ノ12月24日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-6
売渡申山證文之事(元文元年8月に紙屋町清右衛門より購入の名所かに沢の山高3升山林添え畑・山立木代金5両2分2朱) * (端裏貼紙)「文(元)文元年辰八月土口村名所かに沢山高三升高壱斗貳升八合同所林添畑高十六間四間式畝四歩代金五兩貳歩式朱宝暦六子六月代金五兩ニ而近藤喜左衛門殿より青柳吉兵衛讓受候證文」 売主近藤喜左衛門(印)・土口村肝煎政右衛門(印)・組頭奥右衛門(印)・同断彦右衛門(印)・長百姓茂兵衛(印)→青柳善兵衛殿	宝暦6年子6月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-7
譲渡シ申草山高之事(上納金指詰まるに付東条村北組草山高1斗3升代金31両) * (端裏貼紙)「寛政三亥年十二月東条村北組草山之内山高壱斗三升拾貳俵山木立一平代金三拾壱兩讓主東条村北組讓主嘉平太役代傳兵衛」/(端裏貼紙)「十五」 東条村北組讓主嘉平太(印)・名主仁左衛門(印)・組頭浅右衛門(印)・長百姓常右衛門(印)→木町傳兵衛殿	寛政3年亥12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-8
譲渡申山地證文之事(名所皆神山北平山高初4斗6升他ノ4斗6升4合の所代金26両) * (端裏貼紙)「寛政十二申年十二月名所皆神山北平東条村南組草山高之内山高初四斗六升同所山高初四合ト四斗六升四合讓主東条村仁右衛門二十四はん役代傳兵衛」/(端裏貼紙)「東条村南組田山調證文」 東条村南くみ讓主仁右衛門(印)・牧内村口入孝右衛門(印)・名主徳之丞(印)・くみ頭佐金治(印)・長百姓甚兵衛(印)→いせ町傳兵衛殿	寛政12申年12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-13
譲渡申山地證文之事(名所皆神山北平山高初6升7合5勺年貢の所代金9両2分) * (端裏貼紙)「寛政十二申年十二月東條村南組名所皆神山北平草山高之内山高初六升七合五勺代金九兩貳分 讓主東條村南組出作牧内村傳蔵役代傳兵衛」/(端裏貼紙)「廿一」 東条村南くみ出作牧内村	寛政12申年12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-14

譲主傳蔵(印)・同村口入孝右衛門(印)・名主徳之丞(印)・くみ頭佐金治(印)・長百姓甚兵衛(印)→いせ町傳兵衛殿			
一札之事(譲渡の名所皆神山北平山山高2筆ノ4斗6升4合の所立木約定) 東條村南くみ仁右衛門(印)・牧内村立合孝右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	寛政12申年12月25日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-15
壳渡申草山證文事(荒町村草山2割年貢粉納3斗6升代金16両2分) * (端裏貼紙)「一草山式割御年貢粉三斗六升荒町村分代金拾六両貳分天明四辰年三月 譲主木町嘉兵衛」木町喜右衛門跡手代嘉兵衛(印)・口入増田惣右衛門(印)・荒町村名主新七(印)・組頭金七(印)→菊屋傳兵衛殿	天明4辰年3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-16
譲渡芝野山永小作之事(名所清瀧大門北御免相式ツ高4合代金1両) * (端裏貼紙)「寛政十二申十二月名所清瀧大門北御免相式ツ丑御改新田御高辻之内御高四合代金壹両譲主名主徳之丞芝野山 東条村南組役代傳兵衛」東条村南組名主徳之丞(印)・同断仁左衛門(印)・組頭左金治(印)・同断与左衛門(印)・長百姓甚兵衛(印)・同断常右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	寛政12申年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-17
譲渡申草山證文之事(大日堂南平草山年貢粉1斗4升代金6両) * (端裏貼紙)「寛政十二申十二月□[破損]日大日堂南草山山高壹斗四升代金六両荒町分 譲主練光寺」/(端裏貼紙)「三十三はん」 譲主練光寺(印)・(奥書)荒町村名主久左衛門(印)・組頭吉弥(印)→(八田)傳兵衛殿	寛政12申年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-18
譲渡申草山高之事(東条村北組草山御高辻の内名所前山山高6升5合立木共代金10両2分) * (端裏貼紙)「享和元酉年七月東条村北組名所前山山高六升五合木立共代金拾両貳分譲主東條村北組嘉平太 買主傳兵衛」/(端裏貼紙)「廿」 東条村北組譲主嘉平太(印)・名主仁左衛門(印)・組頭与左衛門(印)・長百姓常右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	享和元酉年7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-19
譲渡申草山證文之事(東条村南組草山高辻の内山高粉1斗2升3合代金11両) * (端裏貼紙)「東条村南組草山壹斗貳升三合代金拾壹両矢野式右衛門御役代九八より調申候 享和元酉年十一月」東条村南組出作矢野式右衛門役代譲主九八(印)・口入柳八(印)・名主徳之丞(印)・くみ頭左金治・長百姓治左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	享和元酉年11月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-20
譲渡申山證文之事(私所持牧内村高辻の内名所笠原割佐七分粉7升ほか4割代金27両立木代10両ノ金37両) * (端裏貼紙)「牧内村山買入證文写」東条村売り主仁右衛門・牧内村名主忠右衛門・組頭権蔵・長百姓佐左衛門・合地勘之丞→伊勢町傳兵衛殿	文化元子年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-23
譲渡申山證文之事(私所持牧内村高辻の内名所笠原割佐七分粉7升ほか4割代金27両立木代10両ノ金37両) * (端裏貼紙)「粉七升佐七分粉五升勘左衛門分粉六升源助分粉五升八合三夕与左衛門分右代金貳拾七両立木代拾両ノ三拾七両 譲主仁右衛門伊勢町傳兵衛 文化元子十二月」東条村譲主仁右衛門(印)・牧内村名主忠右衛門(印)・組頭権蔵(印)・長百姓佐左衛門(印)・合地勘之丞(印)→いせ町傳兵衛殿	文化元子年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-24
譲渡申山地證文之事(東条村南組草山御高辻の内名所皆神山北平山の内山高粉3斗2升7合代金10両2分) * (端裏貼紙)「名所皆神山北平之内山高粉三斗貳升七合代金拾両貳分 譲主東條村佐金次役代伊勢町傳兵衛」/(端裏貼紙)「廿番」東条村南組譲主佐金治(印)・同村口入又右衛門(印)・名主徳之丞(印)・くみ頭左金治(印)・長百姓治左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	文化元子年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-25

1.内方/4.土地経営/9.東条村

売渡シ申畑之事(東条村のうち畑4升4斗余代金9両) * (端裏貼紙)「正徳三年巳八月廿四日東条村之内名所石場畑高式斗九升九合山根畑高九升同所畑高六升三筆メ四斗四升九合代金九両讓主御主御安口七兵衛 八田孫左衛門」 「四十」 御安口売主七兵衛(印)・荒町肝煎園右衛門(印)・同所組頭与右衛門[印]・證乞金八(印)・同平右衛門(印)・口入与七(印)→八田孫左衛門殿	正徳3年巳8月24日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-2
売渡申田畑之事(東条村のうち田畑山代金33両) * (端裏貼紙)「正徳四年ノ四月十一日東条村田高壹石八斗本田畑高八斗高合式石六斗外ニ皆神根山高式斗五升八合代金三拾三両 讓主宇敷与右衛門八田孫左衛門」 売主宇敷与右衛門(印)・東条村肝煎清右衛門(印)・組頭又右衛門(印)・長百姓治右衛門(印)・口入徳之丞(印)→八田孫左衛門殿	正徳4年午ノ4月11日	堅繼紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-4
売渡シ申畑之事(東条村のうち畑1石1斗余を18両) * (端裏貼紙)「正徳四年午六月東条村之内荒町分名所梅観音畑三斗八升壹合同所畑高四斗六升九合同所畑高三斗三升三合三勺メ壹石壹斗八升三合代金拾八両 讓主中町権兵衛 八田孫左衛門」 「四十」 中町売主権兵衛(印)・荒町肝煎園右衛門(印)・同所組頭傳左衛門(印)・證乞金八・口入市之丞→八田孫左衛門殿	正徳4年午6月11日	堅繼紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-5
売渡申田畑之事(東条村のうち田畑代金6両) * (端裏貼紙)「正徳四年午六月東条村本田名所牛かわ畑高五斗八升六合水帳作兵衛分代金六両 御安口讓主七兵衛 孫左衛門」 売主御安口七兵衛(印)・東条村肝煎善左衛門(印)・同所組頭佐次兵衛(印)・同所長百姓由左衛門(印)・木町口入与七→(八田)孫左衛門殿	正徳4年午ノ6月20日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-6
覚(東条村のうち畑代金6両にて売渡証文) 御安口村七兵衛(印)→八田孫左衛門殿	正徳4年午6月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-7
売渡シ申田地之事(東条村の内荒町分の畑代金31両) * (端裏貼紙)「享保三年戌三月東条村之内荒町分山根畑高式斗式升式合道下畑高四斗八合四ツふたい同八斗五升子新田讓主木町与七」 木町売主与七(印)・あら町肝煎園右衛門(印)・同所組頭権左衛門(印)・惣百姓(印)→(八田)孫左衛門殿	享保3年戌3月29日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-10
売渡申田地之事(東条村高辻内の本新田代金新金8両) * (端裏貼紙)名所伊勢宮ほか売り渡しの旨/(端裏貼紙)「三之式」 田中村売主又左衛門(印)・荒町肝煎仁兵衛(印)・同所組頭文大夫(印)・同所口入権左衛門(印)→木町嘉介殿	享保12年未5月15日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-15
売渡申田之事(東条村高辻内の田代金11両2分) * (端裏貼紙)東条村名所透崎讓主松本又五郎の旨/(端裏貼紙)「三十」 こん屋町売主松本又五郎(印)・口入彦八(印)・東条村肝煎長右衛門(印)・組頭瀬太夫(印)・長百姓八郎右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保12年未2月15日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-16
売渡申田地之事(東条村高辻の内の2石余の田代金9両) * (端裏貼紙)東条村名所やち讓主東条村角右衛門の旨/(端裏貼紙)「三拾」 東条村売り主角右衛門(印)・同所同断市太夫(印)・同所肝煎長右衛門(印)・同所組頭太郎右衛門(印)・同所長百姓仁左衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保17年子ノ4月朔日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-21
売渡申田地之事(東条村の内荒町分の田1石6斗代金9両3分) * (端裏貼紙)名所やち九右衛門分高1石6斗内2斗3升4合書間違、残1石3斗6升6合有高代金9両3分の旨/(端裏貼紙)「三拾」 荒町村売主梅音[印]・同村肝煎藤蔵(印)・組頭助右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保17年子ノ4月13日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-22
売渡申田地證文之事(東条村のうち田代金13両) * (端裏貼紙)東条村内讓主鍛冶町傳六の旨/(端裏貼紙)「三十」 ち町売主傳六(印)・東条村肝煎安右衛門(印)・同所組頭彦右衛門(印)・同村長百姓与五右衛門(印)→菊屋長兵衛殿	元文6年酉之2月17日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-24

売渡シ申田地證文之事(東条村のうち田代金20両) * (端裏貼紙)「寛保元酉十月高式石四斗式升東条村御高辻之内代金貳拾兩讓主中町彦五郎 八田嘉助」 中町売主彦五郎(印)・鐘(鏡カ)屋町口入武兵衛(印)・東条村肝煎安右衛門(印)・組頭彦右衛門(印)・長百姓与五右衛門(印)→八田嘉助殿	寛保元年酉10月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-25
売渡申田地之事(東条村の田代金6両) * (端裏貼紙)「延享五辰四月高三斗式升東条村御高辻子新田代金六兩讓主荒町長崎市郎右衛門 八田嘉助」/(端裏貼紙)「十」 荒町売主長崎市郎右衛門(印)・東条村肝煎源左衛門(印)・組頭甚五兵衛(印)・長百姓忠左衛門(印)・立合久兵衛(印)→八田嘉助殿	延享5年辰4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-27
売渡申田地之事(東条村の田代金13両) * (端裏貼紙)「宝暦元年未三月東条村名所中やち高一石七斗式升合内壹斗八升跡々引方残て壹石五斗四升式合代金拾三兩讓主御安口勘左衛門 八田孫左衛門」 御安口売主勘左衛門(印)・東条村肝煎佐兵衛(印)・組頭嘉右衛門(印)・長百姓政之丞(印)・口入久兵衛(印)→八田嘉助殿	宝暦元年未之12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-28
売渡シ申田地之事(東条村のうち田を代金9兩3分) * (端裏貼紙)「明和元年申三月東条村御高辻之内名所透崎田高式石四斗内九斗永引残て壹石五斗本田代金九兩三分東条村讓主善右衛門・孫左衛門」/(端裏貼紙)「三十」 東条村売主善右衛門(印)・肝煎吉左衛門(印)・組頭彦助(印)・長百姓仙助(印)→(八田)孫左衛門殿	明和元年申閏12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-30
売渡申山之事(東条村草山高の内前山代金18兩売渡に付) 八田競内売主吉兵衛・東条村肝煎利兵衛(印)・組頭治郎太夫(印)・長百姓九右衛門(印)→菊屋傳兵衛殿	寛延3年午2月	堅紙/(え3991-1～3は一綴)・1通	え3991-1
譲渡申畑地證文之事(当寅年の月割り上納金に差し詰まり、異名畑など3筆の地所2兩2分) 東条村南組讓主小兵衛(印)・世話人藤左衛門(印)・名主友弥(印)・組頭吉右衛門(印)・帳百姓彦右衛門(印)→田町源右衛門殿	文政元年寅7月22日	堅紙/(貼紙あり)・1通	え3846
(御詔えの戸4本出来に付通知) * (端裏書)「尤東条村利兵衛殿被尋候ハ、此證文見セ印判消殺可申候 卯五月、馬場丁山預り之節東条村南組分致書替置候所卯五月右山返シ元之證文渡此證文ハ此方ニ置ク」 和多や甚五兵衛→幾久屋儀兵衛様	菖蒲10日	横切紙/(え3990-1～3は一綴)・1通	え3990-2
売渡申田地之事(東条村のうち畑を代金14兩) * (端裏貼紙)「明和七寅九月名所中屋地上畑貳石九斗式合東条村南組御高辻之内代金拾四兩讓主御安口藤右衛門買主利兵衛 御安口売主藤右衛門(印)・荒町口入庄兵衛(印)・東条村南組肝煎七左衛門(印)・組頭文右衛門(印)・長百姓仁右衛門(印)→利兵衛殿	明和7年寅9月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-32
覚(菊屋傳兵衛持分小作料年初1俵1斗2升5合納付状) * (端裏書)「東条村平二郎殿」 東条村平治郎(印)・口入伊七(印)→菊屋傳兵衛殿	安永3年午7月26日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-34
売渡シ申畑地證文之事(東条村のうちの畑代金2兩2分) * (端裏貼紙)「安永四年未四月東条村名所前山中畑高三斗式升御本田代金貳兩貳分讓主惣八此分当時不用證文伊勢町孫左衛門」/「三拾」/(端裏貼紙)「三拾」 売主惣八(印)・東寺尾村口入八右衛門(印)・東条村南組名主源七(印)・組頭文右衛門(印)・長百姓九右衛門(印)→伊勢町(八田)孫左衛門殿	安永4年未4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-38
一札之事(八田孫左衛門持分の東条村の実宗院の前山の小作料年初3俵半納付に付) 田町小兵衛(印)・新荒町伊野右衛門(印)→八田孫左衛門様御内大八殿	安永8年亥8月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-40

1.内方/4.土地経営/9.東条村

<p>売渡シ申畑地證文之事(東条村のうち田代金4両2分) * (端裏貼紙)「天明五巳年四月名所般若寺玄米四斗壹升七合九勺練光寺様御朱印地之内東条村分之内譲主木町寅之助代金四両貳分也 役代傳兵衛」(二十八) / (端裏貼紙)「二十八」 木丁売主寅之助(印)・請人又治郎(印)口入善藏(印)・同断仙助(印)、(裏書)練光寺納所(印)→伊勢町傳兵衛殿</p>	天明5年巳4月	<p>堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通</p>	え3666-45
<p>質入申畑地證文之事(東条村のうち畑金5両質入証文) * (端裏貼紙)「寛政三亥二月名所菅間東山手親高八斗四升之内御水帳市三郎分畑高三斗貳升東条村北組代金五両譲主中村岩左衛門殿 役代勇右衛門・役代傳兵衛」(端裏貼紙)「三番」 東条村中村岩左衛門役代置主勇右衛門(印)・名主仁左衛門(印)・組頭浅右衛門(印)・長百姓常右衛門(印)、(奥書)中村岩左衛門(印)→傳兵衛殿</p>	寛政3年亥2月	<p>堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通</p>	え3666-47
<p>譲渡申田地證文之事(東条村のうち田代金6両) * (端裏貼紙)「名所内田御水帳半七分一上田五間四十三間半七畝八歩分米壹石九升代金六両 寛政四子二月東條村北組東条村譲主与左衛門」 東条北組売主与左衛門(印)・名主仁左衛門(印)・組頭兵左衛門(印)・長百姓常右衛門(印)→八田孫左衛門様</p>	寛政4年子12月	<p>堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通</p>	え3666-48
<p>譲渡シ申田地證文之事(東条村のうち田代金6両1分) * (端裏貼紙)「名所薬師堂御水帳九右衛門分一田方壹石九斗八升東條村南組東条村譲主友弥寛政五年丑三月代金拾六両一分 東条村譲主友弥」 東条村譲り主友弥(印)・請人甚五兵衛(印)・名主小三郎(印)・組頭十左衛門(印)・長百姓伊左衛門(印)→傳兵衛殿</p>	寛政5年丑3月	<p>堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通</p>	え3666-49
<p>売渡シ申田畑證文之事(東条村の田畑代金14両) * (端裏貼紙)「寛政五丑年三月名所内田沖御水帳友右衛門分田高式石三斗同所同人分畑高式升四合御本田メ式石三斗式升四合代金拾四両 譲主荒町村久右衛門・東条村北組役代傳兵衛」 東条村分之内荒町村売主久右衛門(印)・同村口入又右衛門(印)・同村名主仁左衛門(印)・組頭徳治郎(印)・長百姓常右衛門(印)→傳兵衛殿</p>	寛政5年丑3月	<p>堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通</p>	え3666-50
<p>譲渡申證文之事(東条村のうち畑木立代金7両2分) * (端裏貼紙)「名所前山木立無役本田御免相壹ツ五分分米四斗七升五合同所木立無役本田御免相同断」 東条村南組譲主徳之丞(印)・世わ人又右衛門(印)・名主文治郎(印)・くミ頭兵右衛門(印)・長百姓久左衛門(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿</p>	文化5辰年9月	<p>堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3666-1～59は一綴)・1通</p>	え3666-51

1.4.10. 矢代村

<p>(善兵衛金子証文など綴)</p>		<p>綴/(え3867-1～3は一綴)・1綴</p>	え3867
<p>(包紙) * (包紙上書)「辰指し出し 柿崎善兵衛殿金五両かし手形」</p>		<p>包紙・1点</p>	え3867-1
<p>預り申金子之事(金5両預かり来る20日中返金に付) (矢代村)柿崎善兵衛(印)→八田孫左衛門殿</p>	享保9年辰12月29日	<p>堅紙・1通</p>	え3867-2
<p>田地引分證文事(長左衛門分売り捌き証文の内五助寅改新田高2石9斗8升4合柳原立木共代金23両にて売り渡しに付) 源左衛門(印)→(柿崎)善兵衛殿</p>	正徳3年巳極月26日	<p>堅紙・1通</p>	え3867-3
<p>(矢代村借用金関係綴)</p>		<p>綴/(え3785-1～22は一綴)・1綴</p>	え3785
<p>(袋) * (袋上書)「矢代村持地書類 絵図式巻」</p>		<p>袋・1点</p>	え3785-1
<p>御内借證文之御事(1両に付1ヶ月銀7分5厘懸にて金25両12月15日限り) * (端裏貼紙)「矢代村五郎右衛門金式</p>	享和2年戌7月	<p>堅継紙・1通</p>	え3785-2

拾五両享和二戌七月」矢代村御借主五郎右衛門(印)・請人直八(印)・名主弥兵衛(印)・組頭源五左衛門(印)・同断甚左衛門(印)・長百姓平九郎[印]→八田左仲様御役人中様			
御内借金證文之御事(金25両年1割5分にて子11月15日限り)＊(端裏貼紙)「亥十二月金貳拾五両矢代村三役人享和三」矢代村名主弥兵衛(印)・組頭源五左衛門(印)・同断甚左衛門(印)・長百姓平九郎[印]	享和3年亥12月	縦継紙・1通	え3785-3
御内借金證文之御事(金25両1両に付1ヶ月銀7分5厘懸にて当12月5日限り)矢代村御借主五郎右衛門・請人直八・名主弥兵衛・組頭源五左衛門・同断甚左衛門・長百姓平九郎→八田左仲様御役人中様	享和2年戌7月	縦継紙・1通	え3785-4
御内借金證文之御事(金25両年中1割5分にて子11月15日限り)矢代村名主弥兵衛・組頭源五左衛門・同断甚左衛門・長百姓平九郎	享和3年亥12月	縦継紙・1通	え3785-5
御借用申金子御事(金62両已3月中旬まで私所持の源左衛門分高2石8斗5升など引当)矢代村御借主太郎左衛門・請人幸吉・名主弥兵衛・組頭宇右衛門・同断兵右衛門・長百姓源六→八田嘉右衛門様	文化5年辰12月	縦継紙/(え3785-5とえ3785-7の間に挟込)・1通	え3785-6
御借用申金子御事(金62両已3月中旬まで私所持源左衛門分2石8斗5升など引当)＊(端裏貼紙)「文化五辰歳十二月金六拾貳両矢代村平九郎」矢代村御借主太郎左衛門(印)・請人幸吉(印)・名主弥兵衛(印)・組頭宇右衛門(印)・同断兵右衛門(印)・長百姓源六(貼紙「江戸御用ニ付無印御日延御願申上候」)→八田嘉右衛門様御内	文化5年辰12月	縦紙/(下札あり)・1通	え3785-7
御借用金證文之御事(金40両午11月15日限り)＊(端裏貼紙)「文化六巳年十二月金四拾兩矢代村平九郎」矢代村御借主平九郎(印)・名主四郎左衛門(印)・組頭勇左衛門(印)・同宇右衛門(印)・長百姓十郎兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化6巳年12月	縦紙・1通	え3785-8
御借用金證文之御事(金40両来る午11月15日限り)矢代村借主平九郎・名主四郎左衛門・組頭勇左衛門・同宇右衛門・長百姓十郎兵衛→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化6巳年12月	縦継紙・1通	え3785-9
御借用金證文之事(金20両金1両に付1ヶ月7分5厘にて来る12月中迄)御借用主幸左衛門(印)・御受人平九郎(印)→八田嘉右衛門様	文化8年未7月	縦紙・1通	え3785-10
御借用金證文之事(金20両1両に付1ヶ月7分5厘にて来る12月中迄)御借用主幸左衛門・御受人平九郎→八田嘉右衛門様	文化8年未7月	縦紙・1通	え3785-11
御時借申金子之事(金6両源左衛門發起無尽掛金の内調達しかね)矢代村御借用主平九郎・請人市之丞→八田嘉右衛門様御内	文政9戌年12月	縦紙・1通	え3785-12
御内借金一札之御事(金15両本家源左衛門内証無心にて金200両頼母子相企てにて私借財多く難洪にて掛金出来しかね)矢代村借用主平九郎(印)・同村受人四郎左衛門(印)→八田嘉右衛門様	文化10酉年12月	縦継紙・1通	え3785-13
御内借金一札之御事(本家源左衛門頼母子の掛金出来しかね金15両)矢代村借用主平九郎・同村受人四郎左衛門→八田嘉右衛門様	文化10酉年12月	縦紙・1通	え3785-14
添證文之御事(幸左衛門商売入用にて金20両内借の処病身にて返済滞り無尽にて返済の義御聞き済み有り難きに付)＊(端裏貼紙)「文化十一戌十二月五日幸左衛門在命中貸附金添證文」柿崎源左衛門(印)・平九郎(印)→八田嘉右衛門様御内	文化11戌年12月	縦紙/(下札あり)・1通	え3785-15
乍恐以口上書付奉願上候御事(粍60俵代金11両3分銀8	文化12年亥12月	縦紙・1通	え3785-16

1.内方/4.土地経営/10.矢代村

分8厘調達出来かね日延べ願い) 矢代村平九郎(印) →八田嘉右衛門様御役人中様			
差上申一札之御事(亥年御入上初取り延べ願い、上納 の処当月晦日迄日延べ願い) 矢代村平九郎(印)・證人 市之丞(印)→八田嘉右衛門様御役人中様	文化10年子(マ)9月24 日	縦紙・1通	え3785-17
借用金年賦證文之事(20両借用にて年金1両宛返済) * (端裏書)「去丑年先方へ遣置候案文」 何村借用人・受人・ 村役人→松代伊勢町傳兵衛殿	文政12丑年12月	縦紙・1通	え3785-18
①差上申一札之事(親半九郎不如意にて文化10酉年本 家柿崎源左衛門発起頼母子二番富圖金格別の御助 成有り難く終会にて金150両引き替えに付)、②借用 金證文之事(金4両2分銀9匁3分1厘当丑12月中迄) ①矢代村平九郎・五郎左衛門・柿崎源左衛門→伊勢町傳兵 衛殿、②矢代村御借主平九郎・受人五郎左衛門→松代伊勢 町傳兵衛殿	①②文政12丑年8月	縦継紙・1通	え3785-19
借用金年賦證文之事(借用金に付証文雛形) 矢代村借 用人一・受人一・同一・三役人→八田嘉右衛門様御内長崎 源吾様	天保	縦紙・1通	え3785-20
差上申一札之事(本家源左衛門金200両無尽の内150両 平九郎へ取り入れに付) * (端裏書)「天保5午年三月 廿五日丈左衛門殿罷越ニ候付差遣候下書」 →和七殿・ 丈右衛門殿	天保5午年3月	縦紙・1通	え3785-21
御時借申金子之事(金6両源左衛門発起無尽掛金の内 調達しかね借用に付) 矢代村御借用主平九郎(印)・請 人市之丞(印)→八田嘉右衛門様御内	文政9戌年12月	縦紙・1通	え3785-22
覚(当亥御入上初13表1斗の代金2両2分余の内2両御上 納、残りは来る春中まで御日延を願うに付) 矢代村 市之丞(印)→八田嘉右衛門様御役人中様	文化12亥12月	縦紙・1通	え3910
差上申一札之事(市之丞持地地面貰下たきに付1ヶ年 入上初13俵1斗手充の請書) * (端裏書)矢代村市之丞 持地役代替えにて地面貰い受けたく請書印書取置の旨 矢代村市之丞(印)→八田嘉右衛門殿御内	文政7申年9月	縦紙・1通	え3824

1.4.11. 東寺尾村

売渡申畑之事(東寺尾村高辻の内四郎兵衛の畑代金古 金3両2分銀7匁5分) * (端裏貼紙) 東寺尾村四郎兵衛分 高6斗6升名所宮前譲渡の旨 荒神町売主惣助(印)・東寺尾 村肝煎半之助(印)・組頭庄兵衛(印)・同断定右衛門(印)・長 百姓市太夫(印)→木町孫左衛門殿	元文3年午之3月28日	縦紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3666-1～59 は一綴)・1通	え3666-23
[] (虫損) 奉願候御事(東寺尾村の荒地21坪開発願 に付) 東寺尾村弥吉(印)→八田嘉右衛門様御内御役人 衆中様	文化11戌年2月	縦紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3666-1～59 は一綴)/(虫損甚 大)・1通	え3666-52
覚(東寺尾村畑代金13両にて売渡すに付) * (端裏書)「 木町甚左衛門殿東寺尾村畑式枚売渡證文西極月十八日」 孫左衛門→甚左衛門殿	(西極月18日)	縦紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3666-1～59 は一綴)・1通	え3666-58

1.4.12. 西寺尾村

売渡申田地證文之事(西寺尾村高辻の内の畑4両2分) ＊(端裏貼紙)「宗合高八斗式斗式合代金四両貳分西寺尾村 讓主三郎兵衛孫左衛門」/(端裏貼紙)「享保十二未年十二月 西寺尾村御高辻之内御浦畑壹斗式升九合寅改新田同所畑 五斗四升九合右同断内式斗式升八合午川欠残而三斗式升 二口六斗七升八合 一御浦畑高壹斗式升壹合八分午新田 同所畑式升四合壹合五分卯御檢地遺高」 西寺尾村地主三 郎兵衛(印)・請人三左衛門(印)、(裏書)西寺尾村肝煎武左 衛門(印)・組頭幾之丞(印)・長百性平介(印)→木町孫左衛 門殿	享保12年未12月19日	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3666-1～59 は一綴)・1通	え3666-17
売渡申田地之事(講金に指詰に付田畑代金4両) 西尾 村地主金兵衛(印)・立合弥五兵衛(印)、(裏書)西尾村肝煎 清右衛門(印)・組頭文左衛門(印)・長百姓彦右衛門(印)→ 久左衛門殿	延享3年寅12月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) ・1通	え3664
売渡申田畑之事(上納金に指詰り)に付田畑代金6両2 分) 西寺尾村地主奥右衛門(印)・請人勇右衛門(印)・御 藏本弥五兵衛(印)→久左衛門殿	寛延元年辰12月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) ・1通	え3665

1.4.13. 皆神山

売渡申田地之事(田代金28両) 田中村売主三右衛門 (印)・同村肝煎新兵衛(印)・同村組頭六兵衛(印)・同村長百 姓太郎兵衛(印)・同村證拠人吉之丞(印)・右同断七郎兵衛 (印)、(奥書)肝煎新兵衛(印)・組頭六兵衛(印)→浄福寺聖 知和尚様	元禄13年辰之12月26 日	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3662-1～5は 一綴)・1通	え3662-1
差上申御請一札之御事(不作にて荒町御高辻の内草山 持地代金10両にて御屋鋪様へ御譲りに付) 西条村 之内新御安口久右衛門(印)・関屋村親類名右衛門(印)・同 龍八(印)→八田嘉右衛門様御内	文化7午年2月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3719-1～29 は一綴)・1通	え3719-21
譲渡申草山證文之事(皆神山の内の草山代金12両) 荒 町村讓主民弥(印)・名主与市(印)・組頭儀兵衛(印)→八田 嘉右衛門様御内傳兵衛殿	文化12亥年12月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3666-1～59 は一綴)・1通	え3666-53
譲渡申畑山證文之事(皆神山の草山畑12両) ＊(端裏貼 紙)皆神山西平畑譲渡の旨 荒町村讓主傳藏(印)・名主与 市(印)・組頭儀兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内傳兵衛殿	文化12亥年12月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3666-1～59 は一綴)・1通	え3666-55
山譲渡證文之事(皆神山高1斗5升譲り渡しに付) ＊(端 裏貼紙)「文政八酉年十一月浄福寺持山返地渡二付譲渡證 文浄福寺一巻入置可申事」 八田嘉右衛門役傳兵衛・名主 一・組頭一・長百姓一→浄福寺様御役代傳右衛門殿	文政8酉年11月	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3719-1～29 は一綴)・1通	え3719-29
覚(浄福寺畑方御差引)	卯	横長半・1冊	え3911

1.4.14. 牧内村

永代売渡申山手形之事(牧野村上野山高1斗の所代 金8両2分) ＊(端裏貼紙)「正徳四年午十二月牧内村上野 山高一斗之処代金八両貳分 讓主牧内村源助・孫左衛門」 牧内村売主源助(印)・肝煎儀右衛門(印)・組頭金右衛門 (印)・五人組久之丞(印)・口入武助(印)・長百姓甚太夫(印) ・五人組七左衛門(印)→(八田)孫左衛門殿	正徳4年午ノ12月16日	堅紙/(え3659～ 3719は紙縫一括) /(え3719-1～29 は一綴)・1通	え3719-3
--	--------------	---	---------

1.内方/4.土地経営/14.牧内村

永代売渡證文之事(田代金6両)＊(端裏貼紙)「安永四年末四月牧内村御高辻之内名所虫歌免四ツ御高一斗五升四合新田代金六両 譲主宮沢兵太夫殿役代惣八 八田孫左衛門」/(端裏貼紙)「四拾」 宮沢兵太夫様御役代惣八(印)、(奥書)宮沢兵太夫(印)、(奥書)牧内村名主源左衛門(印)・組頭銀左衛門(印)・長百姓甚大夫(印)・会地甚右衛門(印)・東寺尾村立合八右衛門(印)→八田孫左衛門殿	安永4年末4月	堅紙紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-39
譲渡申山證文之事(名所前山脇林壺割林御年貢粉3升代金4両)＊(端裏貼紙)「文化十四年十二月廿七日名所前山脇林壺割粉三升林御年貢 売主牧内村傳藏代金四両 買主伊勢町傳兵衛源藏右差出遣ス酒壺升鳥目十疋祝儀役所へ遣ス」 牧内村譲主傳藏(印)・名主佐左衛門(印)・組頭忠左衛門(印)・長百姓嘉平治(印)→伊勢町傳兵衛殿	文化10酉年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-26

1.4.15. 清野村

覚(八田孫左衛門持分小作料年粉5俵納付状)＊(端裏貼紙)「清野村越し山指招證文五右衛門」 清野村越借り主五右衛門(印)・松代紙屋町請人九兵衛→八田孫左衛門殿御内傳兵衛殿	安永3年8月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-35
覚(八田孫左衛門持分小作料年粉3俵納付状)＊(端裏書)「清野村平野山差扣預ヶ置候ニ付北原村善蔵一札」 北原村預主善蔵(印)・同所請人源六(印)→菊屋傳兵衛殿	安永4年末7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-36
差出申一札之事(高2升7合4勺の新田地など2筆取失いに付新田高役元へ差出の旨約定)＊(端裏書)「天保四巳年二月差し出候下案」 八田嘉右衛門役代傳兵衛→清野村御役元	天保4巳年正月	堅紙・1通	え3899

1.4.16. 平林村

売渡申山之事(無姓田山壹平年貢1斗5升3合山代金4両にて永代)＊(端裏書)「忠兵衛手形」/(端裏貼紙)「正徳二年辰十月無姓田山御年貢老斗五升三合代金四両平林村譲主佐太夫 八田孫左衛門」/(端裏貼紙)「平林村山田買入證文」 平林村売主佐太夫(印)・肝煎九右衛門(印)・組頭龍右衛門(印)・長百姓又兵衛(印)→八田孫左衛門殿	正徳2年辰之10月24日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-2
乍恐口上書を以奉願候御事(北平林村御渡粉子の儀、困窮に付残りは15日前に上納したきに付) 北平林村肝煎惣右衛門(印)・組頭庄右衛門(印)・長百姓平四郎(印)→八田嘉助様御内衆中様	宝暦4年戌2月3日	堅紙・1通	え3853
指上申一札之事(戊年上納のための種切手紛失に付報告)＊(端裏貼紙)「納切手紛失ニ付書替認」 北平林村肝煎市左衛門(印)・組頭庄右衛門(印)・長百姓半左衛門(印)→八田競様野村忠兵衛殿	宝暦5年亥11月4日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-29
譲売渡山證文之事(山高粉1斗9升3合代金5両)＊(端裏貼紙)「寛政四子年十一月山高粉壺斗九升三合平林村代金五両 譲主関田庄助殿役代彦八・役代傳兵衛」/(端裏貼紙)「四拾五」 関田庄助役代売主彦八(印)・平林村名主三郎左衛門(印)・組頭久三郎(印)・長百姓万蔵(印)→八田傳兵衛殿	寛政4子年11月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-12
山売渡申證文之事(名所つくだ粉子高6升山地・立木代金9両)＊(端裏貼紙)「寛政十二申四月廿三日平林村名所ツクタ粉高六升並立木共代金九両凡立木代五両餘 譲主大嶋彦市殿役代四郎吉 役代傳兵衛」/(端裏貼紙)「四十六番」 大嶋彦市役代売主平林村四郎吉[印]・名主清三郎(印)・組頭孫左衛門(印)・長百姓久三郎(印)・立合三郎左衛門	寛政12申年閏4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-9

(印)→菊屋傳兵衛殿			
譲渡シ山地證文之事(山高初3升代金5兩2分、立木代金共) * (端裏貼紙)「寛政十二申年三月山高初三升立木代金共金五兩貳分譲主平林村市三郎 役代傳兵衛」/(端裏貼紙)「四十八」 平林村譲主市三郎(印)・世話人三郎左衛門(印)・名主清三郎(印)・組頭孫左衛門(印)・長百姓久三郎(印)→伊勢町菊屋傳兵衛殿	寛政12申年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-10
譲渡シ山證文之事(名所つくだ山高初3升代金7兩2分、立木代金共) * (端裏貼紙)「寛政十二申年十二月名所ツクタ山山高初三升草山御年貢代金七兩貳分立木共譲主平林村三郎左衛門 役代傳兵衛」/(端裏貼紙)「四十七番」 平林村譲主三郎左衛門(印)・名主清三郎(印)・組頭孫左衛門(印)・長百姓久三郎(印)→伊勢町菊屋傳兵衛殿	寛政12申年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-11
譲渡シ申山證文之事(名所つくた山高6升忠助分代金6兩) 平林村譲主忠助(印)・名主孫左衛門(印)・組頭重蔵(印)・長百姓惣助(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	文政2卯年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-27
譲渡木立新田證文之事(高2斗2升2合内5升8合1勺年季引にて1斗6升3合9勺代金1兩1分) * (端裏貼紙)「山高壹斗六升三合九勺譲主平林村伊三郎代金壹兩壹歩也 文政三辰十二月廿三日」 平林村譲主伊三郎(印)・名主重蔵(印)・組頭弥市右衛門(印)・長百姓与五右衛門(印)・組惣代伊宗太(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	文政3辰年12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-28

1.4.17. 赤岩村

年賦借用金之事(赤岩村分金200兩並びに質地書き入れ地所書上)		小切紙/(虫損甚大)・1通	え3953
---------------------------------	--	---------------	-------

1.4.18. 田中村

永代売渡し申田地之事(8石9斗余を代金37兩) * (端裏貼紙)「宝永八年卯二月田中村御高八石九斗八升内四石九斗五升御玉屋地下水除土手成引残而四石三升有高代金三拾七兩譲主田中村三右衛門 買主伊勢町孫左衛門四番」/(端裏書)「三」 田中村売主三右衛門(印)・肝煎小右衛門(印)・組頭六兵衛(印)・長百姓太兵衛(印)→伊勢町(八田)孫左衛門殿	宝永8年卯ノ2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3662-1～5は一綴)・1通	え3662-2
売渡申田地之事(田中村と田町の田地4石と長屋敷金100兩) * (端裏貼紙)「三田町下屋敷證六通」/「正徳三年巳十一月廿二日御高三石三斗八升町分御高辻之内壹斗壹升式合土手成引残て三石式斗六升八合有高御安口惣兵衛分御高壹石七斗六升八合田中村御高辻之内内八斗三升式合新屋敷高二引残九斗三升六合有高メ四石式斗四合但四壁屋祢共代金百兩□□(綴紐にて読めず)五分傳右衛門 買主八田孫左衛門」 売主宮下伊右衛門(印)・田中村肝煎小右衛門(印)・組頭六兵衛(印)・長百姓左兵衛(印)・東条村内町分肝煎惣右衛門(印)・大室村證拠人伊大夫(印)→八田孫左衛門殿	正徳3年巳11月22日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-1
(書状、田中村地所入用の節は証文通り金子持参などに付)	(文政3年)辰3月27日	横切紙/(え3990-1～3は一綴)・1通	え3990-1
口上覚(田中村浄福寺前田地用水崩れ修復に付) 出作人惣代万弥・傳五郎・久右衛門→伊勢町傳兵衛様	文政4巳年5月	堅紙/(え3991-1～3は一綴)・1通	え3991-2

1.4.19. 河原新田

<p>売渡申畑證文之事(河原新田畑1石5斗25兩) * (端裏貼紙)「寛政五丑年十一月御城裏河原新田御高一石五斗四ツ九分免代金貳拾五兩議主青柳十郎次七十 役代傳兵衛」議主青柳十郎治(印)・伊勢町加判甚左衛門(印)、(裏書)森山嘉藤太(印)→八田孫左衛門殿</p> <p>(河原新田寺町抱屋敷借家証文書類一括)</p> <p>(袋) * (袋上書)「木町惣兵衛より借地之分 河原新田寺町抱屋敷借屋證文書類 附河原新田芝町差口抱屋敷借屋證文共」</p>	寛政5丑年11月	<p>堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3662-1～5は一綴)・1通</p> <p>綴/(え3659～3719は紙縫一括) / (え3668-1～10は一綴)・1綴</p> <p>袋/(え3659～3719は紙縫一括)・1点</p>	<p>え3662-3</p> <p>え3668</p> <p>え3668-1</p>
<p>借屋請状之事(表間口5間、裏行8間半、2階付、戸14本、半障子4本の所を1ヶ年金5兩の割合にて、当寅6月より借用に付) * (端裏書)「不用」 西木町仁兵衛(印)・受人木町弥左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿</p>	文政元寅年7月	<p>堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-2
<p>借屋御請状之事(表間口3間、裏行2間半、2階付、戸10本、半障子2本、1ヶ年金2兩の割合にて、当卯4月より借用に付) * (端裏書)「与兵衛 不用」/(端裏貼紙)「西木町店請證文五通 当節不用分 辰二月改」 西木町与兵衛(印)・元木町請人民治(印)→伊勢町傳兵衛殿</p>	文政2卯閏4月	<p>堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-3
<p>借屋請状之事(表口3間、奥行4間半の所、家賃金子年2兩にて借用に付) * (端裏書)「不用」 借り主西木町惣兵衛(印)・受人関屋川添仙蔵(印)・同伊勢町長右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代柳右衛門殿・五人組衆中</p>	文政7申年2月	<p>堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-4
<p>借屋請状之事(表口3間、奥行2間半の所、家賃金2分2朱にて借用に付) * (端裏書)「不用」 借主五兵衛(印)・紺屋町受人傳八(印)・親類受人清左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代柳右衛門殿・五人組衆中</p>	文政7申年2月	<p>堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-5
<p>借屋御請状之事(表口3間、奥行2間、家賃金1兩2分) * (端裏書)「不用」 店借り主米吉(印)・田町親類受人久三郎(印)・田町請人栄吉(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代柳右衛門殿・五人組衆中</p>	文政7申年2月	<p>堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-6
<p>借屋請状之事(2間3間の所、家賃金2分2朱) * (端裏書)「そて 不用」 借主そて(印)・紺屋町受人喜四郎(印)・親類同清兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿御役代柳右衛門殿・五人組衆中</p>	文政7申年2月	<p>堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-7
<p>借屋請状之事(建家表口4間、奥行4間、裏行2間、家賃金2兩) 借屋御借主平五郎(印)、(奥書)鍛冶町万吉(印)・小嶋田村幸右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿</p>	天保3辰年2月	<p>堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-8
<p>指上申一札之事(今度山崎久右衛門様抱屋鋪に引越の所、普請未だ出来兼、家内の者今迄通り長屋に差置くこと願上に付) * (端裏書)「長屋藤吉より差出候書面」 願主藤吉(印)・紙屋町受人圓左衛門(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿</p>	天保4巳年9月	<p>堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-9
<p>借地證文之御事(下田町屋敷地間口4間2尺裏行18間の所借家致すに付) 神戸忠兵衛役代忠治(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿</p>	天保7申年12月	<p>堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通</p>	え3668-10

1.4.20. 浦新田

売渡し申田地之事(浦新田畑を代金8両) 荒神町売主勝右衛門(印)・中町請人治兵衛(印)→中町善左衛門殿	寛延元年辰12月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3663
---	----------	-------------------------	-------

1.4.21. 木町

覚(木町などの畑を代金18両にて売渡証文) 成本権兵衛(印)→八田孫左衛門殿	正徳4年午ノ6月11日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-3
--	-------------	---	---------

1.4.22. 西条村

売渡し申畑之事(西条村のうち畑高3石ばかり金150両) * (端裏貼紙)「御改後、御安口 一、上畑分米式石壺斗四升四合太田勝之助内武野右衛門、御安口 一、高三石七斗一升六合大林寺御朱印地八田孫左衛門」/(端裏貼紙)「享保三年戊七月後案喜左衛門分之内畑高四斗四升式合西条村本田御高辻之内也、畑高式石七斗式升三合同所新田御高代金百九拾両 但大林寺御朱印高之内定免三ツ五分大林寺御納所可被成候外ニ何れ諸役一切無御座候」[「四つや五十」 太田勝之介内武野右衛門(印)・治大夫(印)・西条村肝煎久右衛門(印)・同村平兵衛(印)→八田孫左衛門殿	享保3年戌7月朔日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-8
売渡し申田地之事(西条村のうちの畑代金24両) * (端裏貼紙)「享保三戌年三月廿九日西条村久太夫分内畑高一石一斗代金式拾四両譲主与七此証文当時不要売払申候 伊勢町孫左衛門」 売主与七(印)・西条村肝煎久右衛門(印)・合地芝町佐藤久右衛門(印)→伊勢町(八田)孫左衛門殿	享保3戌年3月29日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-9
譲渡し申畑之事(西条村の田の代金2分) * (端裏貼紙)「名所荒町村境 一、高壺斗式升本田西条村分代金式分天明四辰年三月譲主木町役代嘉兵衛」 木町喜右衛門跡売主嘉兵衛(印)・請人増田惣右衛門(印)・西条村組頭儀八(印)・名主又左衛門(印)→八田孫左衛門殿	天明4辰年3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-41
譲渡し申証文之事(皆神山西の割荒町村分草山御年貢粉2斗3升4合8勺代金10両にて) * (端裏貼紙)「文化七庚午二月朔日皆神山西之割草山荒町村粉式斗三升式合八夕代金拾両 譲主新御安口久右衛門」 西條村之内新御安口譲主久右衛門(印)・御安口親類龍八(印)・木町口入武左衛門(印)・荒町村名主与市(印)・組頭又八(印)→八田嘉右衛門様御役代伊勢町傳兵衛殿	文化7午年正月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3719-1～29は一綴)・1通	え3719-22
借地請証文之事(間庭庄蔵殿所持の建屋譲受けに付貴所持の西条村高辻の内枳2俵1斗6升の所借地請証文) 借主藤蔵(印)・請人嘉兵衛(印)・同民治(印)→伊勢町傳兵衛殿	文化14丑年2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3716

1.4.23. 岩野村新田

売渡し申畑手形之事(岩野村新田の畑代金新金16両) * (端裏貼紙)「享保六年丑四月畑高三ツ一分御高壺石九升九合五勺岩野村新田四枚代金新金拾六兩譲主堤七郎兵衛 右売払当時不用証文八田孫左衛門」 売主堤七郎兵衛(印)・口入小林圓四郎(印)・岩野村肝煎左右衛門(印)・組頭太兵衛(印)・同浅右衛門(印)・長百性利右衛門(印)・同市右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保6年丑4月12日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-11
---	------------	---	----------

1.4.24. 会村

売渡申田地之事(会村・刈新田内の田代金新金2両2分にて) * (端裏貼紙)「享保七年寅三月会村高九斗一升大沢田六拾五束刈新田代金式両式分会村議主宇右衛門 紺屋町六兵衛 当時不用證文」 会村売主宇右衛門・同断六郎右衛門・肝煎儀野右衛門・組頭弥三郎→こんや町六兵衛殿	享保7年寅之12月20日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-12
売渡申田地之事(会村の内の田代金新金2分銀7匁5分) * (端裏貼紙)「享保七寅十二月会村御高之内式ツ五分高三斗六升名所古町此畑一丁鍬新田代金式分七匁五分会村議主七野右衛門 紺屋町六兵衛 当時不用證文」 会村売主七野右衛門(印)・証拠人宇右衛門(印)・同断六郎右衛門(印)・肝煎證拠人儀野右衛門(印)・組頭同断弥三郎(印)→紺屋町六兵衛殿	享保7年寅12月20日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-13
売渡シ申畑地證文之事(東会村の畑木立代金8両2分) * (端裏貼紙)「天明五巳四月名所般若寺御水帳義兵衛分三筆メ分米三石四升六合代金八両式分議主木町寅之助」 木町売主寅之助(印)・口入善藏(印)・同断仙助(印)・請人又治郎(印)・東条村名主兵左衛門(印)・組頭善左衛門(印)・長百姓市郎左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天明5年巳4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)/(貼紙あり)・1通	え3666-44

1.4.25. 東荒町村

覚(八田孫左衛門持分小作料年初3俵納付に付) * (端裏書)「東荒町吉兵衛(マ)殿」 東荒町村吉左衛門(印)→御安口源五郎殿	安永3年午7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-33
--	---------	---	----------

1.4.26. 中条村

議渡申畑地證文之事(中条の田の代金2両) * (端裏貼紙)「宝暦十二午十二月御高請場 一、高壺石三斗三升三合免式ツ本口粉壺石四升九合式勺代金式両中条横道下木町役代議主嘉兵衛」 八田喜右衛門跡役代嘉兵衛(印)・請合増田惣右衛門(印)・(裏書)東条与一郎(印)→伊勢町傳兵衛殿	天明4年辰4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-42
--	---------	---	----------

1.4.27. 荒町村

売渡申畑證文之事(荒町村本田の屋敷畑代金30両) * (端裏貼紙)「一、屋敷高九斗三升式合但土蔵有来之通り一棟 一、屋敷添高壺石七斗三升六合 一、高壺斗四升四合皆神腰畑 一、高式斗七升同所畑荒町村分 天明四辰年三月代金三拾兩 木町役代嘉兵衛」 木町喜右衛門跡手代嘉兵衛(印)・同所口入増田惣右衛門(印)・荒町村五人組仲右衛門(印)・同文右衛門(印)・同勝右衛門(印)・圓学院(印)・名主新七(印)・組頭金七(印)→菊屋傳兵衛殿	天明4辰年3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-43
売渡シ申畑地證文之事(荒町村分の田代金4両3分) * (端裏貼紙)「荒町村分田山買入證文」/(端裏貼紙)「天明八申年四月下畑分米三斗四升名所東やち下畑分米一斗七升三合ト四斗七升七合荒町分代金六両議主荒町村歙喜寺役代傳兵衛」/(端裏貼紙)「三十」 荒町村歙喜寺(印)・同村名主久左衛門(印)・組頭金七(印)→八田孫左衛門殿役代傳兵衛殿	天明8申年4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-46

1.4.28. 御安口村

借地手形之事(御案(マ)口村畑の内小作年貢2俵2斗にて) * (端裏書)「河原屋敷 平田一郎左衛門」 平田一郎左衛門(印)・小富士村請人小右衛門(印)・浄庭村請人重右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保3年戌7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3686～3702は紙縫一括)/(虫損)・1通	え3687
--	---------	--	-------

1.4.29. 新御安口村

(新御安口村借地関係綴)		綴/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3718-1～25は一綴)・1綴	え3718
借地手形之事(新御案口村畑の内小作年貢2俵借地にて家作に付) * (端裏書)「新御安口村小左衛門借地手形」 新御案口村借り主小左衛門・十川半蔵同所請人文七(印)・紙屋町請人重介(印)→八田孫左衛門殿	享保3年戌7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-1
借地手形之事(新御案口村畑の内小作年貢4斗4升借地にて家作に付) * (端裏書)「新御安口村権兵衛借地證文」 新御案口村借り主権兵衛(印)・木町請人清右衛門(印)・荒神町請人重右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保3年戌7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-2
借地手形之事(新御案口村畑の内小作2表1升借地にて家作に付) * (端裏書)「新御安口村清六借地證文」 新御案口村借り主清六(印)・玉川吉太夫内請人儀左衛門(印)・紙屋町請人由兵衛[印]→八田孫左衛門殿	享保3戌歳7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-3
借地手形之事(新御案口村小作年貢1俵5升借地にて家作に付) * (端裏書)「新御安口村彦八借地證文」 新御案口村かり主彦八(印)・柴丁請人助右衛門(印)・河原長右衛門内平左衛門→八田孫左衛門殿	享保3年戌7月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-4
借地請状之事(表4間裏行6間の所地代金1両1分3朱にて借用に付) * (端裏書)「荒神町借屋吉兵衛」 荒神町借り主吉兵衛(印)・同町請人小兵衛(印)・同断重蔵(印)→八田孫左衛門殿・五人組衆中	元文5年末(マ)之2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-5
借地請状之事(表口4間の所地代金2分銀6匁6厘にて借用に付) * (端裏書)「荒神町借屋吉兵衛」 荒神町借り主吉兵衛(印)・同町受人小兵衛(印)・同断重蔵(印)・(裏書)関屋村明德寺[印]→大屋八田孫左衛門殿・五人組衆中・肝煎長五郎殿	享保20年卯3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-6
借地手形之事(新御安口村畑の内1俵3斗7升5合借地にて家作に付) * (端裏書)「新御案口村銀右衛門借地手形」 新御安口村借主銀右衛門(印)・同村受人孫八(印)・荒町村同断茂兵衛(印)→八田孫左衛門殿	宝暦11巳年5月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-7
借地請證文之事(新御案口村畑の内3俵地借用にて家作に付) * (端裏書)「宮沢嘉平殿借地證文」 借地主宮沢嘉平(印)・請人荒井喜右衛門(印)→八田孫左衛門殿	宝暦13未年4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-8
借地請證文之事(新御案口村畑の内3俵4斗5升地借用にて家作に付) * (端裏書)「中条三郎治殿借地證文」 借主中条三郎治(印)・受人福沢忠五郎(印)→八田孫左衛門殿	安永4未4月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-9
借地手形之事(新御案口村小作年貢3斗5升の所借地にて家作に付) * (端裏書)「新御案口村林蔵家請證文」 新御安口村林蔵(印)・同所受人喜一郎(印)・清野村同断重三郎(印)・同村同断吉左衛門(印)→八田孫左衛門様内重助殿	天明3年卯2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-10

1.内方/4.土地経営/29.新御安口村

借地證文之事(新御案口村小作入初1俵2斗2升の所借用にて家作に付) 借用小林彦太夫(印)・受人長岡左平太(印)・同断片岡彦左衛門(印)→八田孫左衛門殿	天明5巳年9月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-11
借地請證文之事(新御安口村畑の中初1俵半の地所借用にて家作に付) * (端裏書)「新御安口屋敷之内武左衛門借地證文」 新御安口村御借り主武左衛門(印)・会村受人弥左衛門(印)・同所受人弥野右衛門(印)→八田孫左衛門殿御役代傳兵衛殿	天明8年申10月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-12
借地請證文之事(新御案口村畑の内初4俵2斗の地借用にて家作に付) * (端裏書)「小林喜惣治殿」 借主小林喜惣治(印)・受人小林喜祖之助(印)・受人半田善五郎(印)→八田孫左衛門殿	天明8年申2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-13
借地證文之事(新御案口畑の内初2俵半の地借用にて家作に付) * (端裏貼紙)「寛政三亥十月新御安口畑之内式俵半地所借地 清右衛門」 新御案口御借主清右衛門(印)・関屋村御受人藤蔵(印)・御安口同断文右衛門(印)→八田孫左衛門殿	寛政3年亥10月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-14
借地證文之事(新御安口村畑の内初1俵2斗5升の地所借用にて家作に付) * (端裏書)「多忠治殿借地證文」 小山田主膳同心借主多忠治(印)・請人小林喜惣治(印)・同小林小助(印)→八田孫左衛門殿	寛政3年亥2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-15
借地證文之事(新御安口村畑の内初2俵の地借用にて家作に付) * (端裏貼紙)「寛政三亥年十月新御安口村畑之内式俵地喜右衛門借地證文 宛所八田孫左衛門」 御借主喜右衛門(印)・御請人松岡村磯右衛門(印)・竹花弥一左衛門(印)→八田孫左衛門殿	寛政3亥年10月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-16
借地證文之事(新御安口村畑の内初2俵の地所御借用にて家作に付) * (端裏書)「新御安口屋敷之内清十郎家請證文」 玉川左門同心借主清十郎(印)・赤柴村受人孫四郎(印)・平林村同断伊惣治(印)→八田孫左衛門殿	寛政7卯年6月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-17
借地請證文之事(西条村御高辻の内新御安口村畑の内初2俵の処借地にて家作に付) * (端裏貼紙)「享和三亥五月新御安口畑之内初式俵之処和助借地證文」 借主和助(印)・受人惣左衛門(印)・(奥書)團野武兵衛(印)→(八田)傳兵衛殿	享和3癸亥5月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-18
借地御證文之事(西条村御高辻の内新御安口村畑の内初2俵1斗6升の所借地にて家作に付) * (端裏貼紙)「享和三亥五月新御安口村畑之内初式俵壹斗六升之処間庭庄司殿借地證文」 借り主間庭莊治(印)・片桐元吉(印)・小林小助(印)→(八田)傳兵衛殿	享和3亥年5月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-19
借地請證文之事(西條村御高辻の内新御安口畑の内初2俵の所借地にて家作に付) * (端裏貼紙)「享和三亥年五月新御安口村畑之内初式俵之処武惣治借地證文」 西条村之内新御安口村借主武惣治(印)・紺屋町請人六右衛門(印)・(奥書)新御安口多忠治(印)→(八田)傳兵衛殿	享和3亥年5月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-20
借地請證文之事(西条村御高辻の内新御安口村畑の内初6斗の所借地にて家作に付) * (端裏貼紙)「文化三寅年二月新御安口村畑之内初六斗之処伊三郎借地證文」 借主伊三郎(印)・請人彦治郎(印)・(奥書)吉原大八(印)→(八田)傳兵衛殿	文化3寅年2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-21
借地請證文之事(西条村御高辻の内新御安口村畑の内初1俵2升の所借用にて家作に付) * (端裏貼紙)「文化四卯年二月新御安口村畑之内壹俵式斗之処藤右衛門へ借地證文」 借主藤右衛門(印)・受人兵左衛門(印)・受人藤蔵(印)→伊勢町(八田)傳兵衛殿	文化4卯年2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-22

借地請證文之事(西條村御安口村畑高の内枳1俵2斗の所借地に付) 借地主長岡助右衛門(印)・請人小林量吉(印)→八田嘉右衛門殿御役代傳兵衛殿	文化9申年2月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-23
借地請證文之事(西条村御高辻の内御安村畑の内枳1俵2斗5升の所借用に付) * (端裏書)「新吾(マ)安幸八後家借地請状」 幸八後家(印)・荒町村御請人佐市(貼紙「江戸詰ニ付無印」)・東寺尾村御請人瀧治(印)・佐市忒弥平(印)→八田嘉右衛門殿御役代傳兵衛殿	文化14丑年12月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-24
借地請證文之事(西條村御高辻の内新御安口村畑の内枳1俵2斗の所借用に付) 大熊勝土内借主柳沢卯右衛門(印)・請人荒町村又八(印)・同断同所与市(印)→伊勢町(八田)傳兵衛殿	文化11戌年9月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3718-25
借地請状之事(表口3間裏行10間のところ1ヶ年金1両) * (端裏書)「享和二戌年 中町嘉兵衛」 中町借り主嘉兵衛(印)・いせ町受人儀右衛門(印)・中町同断彦五郎(印)→大屋金弥殿・五人組衆中	享和2戌年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3717

1.4.30. 荒町

売渡し申新屋敷高之事(丑の新屋敷田地代金1両2分) * (端裏貼紙)「享保十四酉二月兵左衛門水帳之内高七斗四升八合丑之新屋敷引高議請代金壹兩貳分荒町売主権左衛門 八田嘉助」 あら町売主権左衛門(印)・同所せうこ政右衛門(印)→八田嘉助殿	享保14年酉之2月28日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-18
譲渡申田畑證文之事(名所十人町上ほか田畑代金32両2分) 矢野七郎兵衛殿役代西沢九八(印)・町分名主源左衛門(印)・組頭忠五郎(印)・(裏書)矢野七郎兵衛(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	文化12亥年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-54
譲渡申證文之事(名所十人町上ほか畑長屋代金25両) 矢野七郎兵衛役代讓主九八(印)・荒町村名主与市(印)・組頭儀兵衛(印)・(裏書)矢野七郎兵衛(印)→八田嘉右衛門様御役代伊勢町傳兵衛殿	文化12亥年2月	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-56

1.4.31. 浄行寺

売渡し申畑之事(浄行寺分本田新田のうち畑代金12両) * (端裏貼紙)「享保十四年酉十二月名所瀬端高四石内五合残三石九斗九升五合浄行寺分本高申有高 一、高貳石三升三合内貳升五合残而壹石九斗八升八合孕新田申川欠有高、讓主東福寺村桜井善次郎、残金拾貳兩」「六十」 東福寺村売主桜井善次郎(印)・請人甚兵衛(印)・御蔵本勘右衛門(印)・肝煎宇右衛門(印)・組頭長太夫(印)・同断元右衛門(印)・長百姓与左衛門(印)他2名→野中新兵衛殿・八田嘉助殿	享保14年酉之12月日	堅継紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-19
--	-------------	--	----------

1.4.32. その他

売渡し申田地之事(四ツ屋前貳つ六分新田2石余の田地金5両) * (端裏貼紙)「享保十四年酉八月高貳石壹斗貳升三合名所四ツ屋前貳つ六分新田地金五両、讓主片岡文蔵内徳右衛門」 片岡文蔵内売主徳右衛門(印)・東福寺村肝煎寅右衛門(印)・組頭長太夫(印)・同断元右衛門(印)・長百姓与左衛門(印)他2名→木町孫左衛門殿	享保14年酉之8月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-20
---	-----------	---	----------

1.内方/4.土地経営/32.その他

覚(伊勢宮上の私所持の山を貴殿取扱に付山境違乱しない旨一札) 小林八之丞(印)→両角平左衛門殿	寛延4年未ノ9月朔日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-26
乍恐以口上書奉願候御事(関屋川添え高辻土砂入りに付歟入れ願ひ)	文政3辰年2月	堅紙/(え3991-1～3は一綴)・1通	え3991-3
神明之(マ) (譲り主佐吉分田書出) 譲り主佐吉・親類儀兵衛	(近世) 酉年6月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-57
(切紙)「三之壺」*どこかの史料に付着していた貼紙	(近世)	貼紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3666-1～59は一綴)・1通	え3666-59

1.5. 金融

1.5.1. 預り金・借入金

預り申金子之事(当地殿様御用金才覚のため110両借用証文、利金新金3両2分銀10匁) 松代預り主八田嘉右衛門(印墨消)・同所請人八田孫左衛門(印墨消)、(奥書)原半兵衛(印墨消)・竹内庄左衛門(印墨消)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印墨消)他2名→小諸神津清助殿・同所神津太左衛門殿、(奥書)八田嘉右衛門殿(印墨消)	享保4亥年10月	堅紙紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3628
預り申金子之事(抛無き要用のため100両御預りに付、新金5両加え返済) *本文墨消 松代預り主八田嘉右衛門(印墨消)・同所請人八田孫左衛門(印墨消)、(奥書)原半兵衛(印墨消)・竹内庄左衛門(印墨消)、(裏書)矢沢刑部左衛門(印墨消)・大熊四郎左衛門(印墨消)・望月治部左衛門(印墨消)→小諸大田佐右衛門殿・同所大井清四郎殿、(奥書)八田嘉右衛門殿	享保4亥年10月	堅紙紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3629
指上申一札之御事(私売買仕入に付元利金226両銀14匁8分7厘6年賦借用、担保建家并間口47間1尺9寸裏行19間1尺、屋舗所東条村11石8斗・荒町7石・清野村5石2斗合24石、入上納粉120俵に付) 八田鐵次郎、(奥書)木町請合八田嘉三郎・中町検断請合中川三郎左衛門→矢野式左衛門様御役所・前嶋源蔵様御役所	宝暦8年寅11月	堅紙紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3617
質置申家屋敷之事(御年貢并商売の仕入金に差詰まりに付300両借用、質入期間8ヶ月、借賃1ヶ月4両2分御渡し質入地中町御役儀1軒半前表45間3尺5寸裏行30間1尺5寸他) *え3612・え3620と関連 埴科郡松代伊勢町置主菊屋孫左衛門(印切取)・請人菊屋儀兵衛(印切取)・町年寄八田喜右衛門(貼紙「他出ニ付印判不仕追而致可申候」)・町年寄八田孫左衛門(印切取)→東叡山御用達宮沢恒右衛門殿	明和6壬(マ) 丑年9月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3621
覚(増田宗右衛門高祖母月牌免畑売払金預り証文、入用の節は返済の旨) * (端裏書)「此金子安永三年八月元利返済申候以上」 八田孫左衛門(印墨消)→西念寺様	明和7庚寅歳12月25日	堅紙・1通	え3483
(東叡山御用達より金子借用関連綴)		綴/(え3612～3630は括紐一括)/(え3620-1～3は一綴)・1綴	え3620
質置申家屋敷之事(御年貢并商売の仕入金に差詰まり金300両借用、質入期間10ヶ月、借賃1ヶ月4両2分御渡し、質入地松代伊勢町東角間口23間3尺裏行43間他) *え3612と関連 埴科郡松代伊勢町置主菊屋孫左衛門(印墨消)・請人菊屋儀兵衛(印墨消)・町年寄八田喜右衛	明和7庚寅7月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3620-1

門(印墨消)・町年寄八田孫左衛門(印墨消)→東叡山御用達宮沢恒右衛門殿			
寛(質入地酒蔵他9ヶ所明細書上添證文) 八田孫左衛門(印墨消)→宮沢恒右衛門殿	明和7寅年7月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3620-2
(東叡山貸付金書類貼付一括)		貼付一括/(え3612～3630は括紐一括)/(え3620-3-1～2は貼付一括)・1点	え3620-3
質置申家屋敷之事(御年貢并商売の仕入金に差詰まりに付金300両借用、質入期間10ヶ月、借質1ヶ月4両2分御渡し、質入地松代伊勢町東角間口23間3尺裏行43間居屋敷他ならび質物書上添證文添付)* (端裏書)「下書御扣」 埴科郡松代伊勢町置主菊屋孫左衛門・請人菊屋儀兵衛・町年寄八田喜右衛門・町年寄八田孫左衛門→東叡山御用達宮沢恒右衛門殿	明和7寅年7月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3620-3-1
寛(質入地酒蔵他9ヶ所明細書上) 八田孫左衛門→宮沢恒右衛門殿	明和7寅年7月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3620-3-2
奉拝借御金之事(九条様三所春日御鎮守御修理金の内300両借用に付、1ヶ月金100両に1両1分の利足、来る6月晦日限り、書入地松代中町家屋鋪表口47間3尺裏行35間の所・紺屋町家屋鋪表口45間2尺裏行26間の建家差出に付) 埴科郡松代木町拝借人八田喜右衛門(印墨消)・同所請合人八田孫左衛門(印墨消)→九條様御内山村求馬様・安藤勘解由様・御取次市村作左衛門殿	明和7寅年4月	堅繼紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3613
奉拝借御金之事(九条様三所春日御鎮守御修理金の内300両借用、書入地御金に応じて御望みの通り所持田畑差出に付) 埴科郡松代木町八田喜右衛門(印墨消)・同所請合人八田孫左衛門(印墨消)→九條様御内山村求馬様・安藤勘解由様・御取次市村作左衛門殿	明和7寅年10月	堅繼紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3618
寛(要用に付御懸り合御用御繰廻金の内30両拝借證文、引当東条村御高辻の内、年中2割御礼金付) 八田孫左衛門・御請合八田喜右衛門→堤左次兵衛殿	明和8卯年12月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3615
質置申家屋敷之事(御年貢并商売の仕入金に差詰まりに付金300両借用、質入期間12ヶ月、借質1ヶ月4両2分御渡し、質入地松代伊勢町東角間口23間3尺裏行43間居屋敷他)* え3612・え3620・え3621と関連 埴科郡松代伊勢町置主菊屋孫左衛門・請人菊屋儀兵衛(貼紙「又次郎」)・町年寄八田喜右衛門・町年寄八田孫左衛門→東叡山御用達宮沢恒右衛門殿	明和8年卯3月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)/(下札あり)・1通	え3622
奉拝借御金之事(九条様三所春日御鎮守御修理金の内300両借用、書入地御金に応じ望みの通り所持田畑差出に付)* (端裏書)「辰正月大八為待差遣候」 埴科郡松代木町八田喜右衛門(印墨消)・同所請合人八田孫左衛門(印墨消)→九條様御内山村求馬様・安藤勘解由様・御取次市村作左衛門殿	明和8卯年8月	堅繼紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3619
寛(要用に付105両7年賦借用証文、書入地清野村7石・東福寺村5石9斗8升合12石9斗8升徳粉75俵に付)* (端裏書)「山越氏無尽差出候證文之写」 八田孫左衛門・請合八田喜右衛門→志津幸治郎殿	安永元年辰12月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3616
(菊屋孫左衛門東叡山御用達より金子借用関連綴)		綴/(え3612～3630は括紐一括)/(え3612-1～3は一綴)・1綴	え3612

質置申家屋敷之事(御年貢并商売の仕入金に差詰まりに金300両借用、質入地松代伊勢町東角間口23間3尺裏行43間居屋敷他) * 写/括紐共/継紙「江戸三河丁四丁目取次升や小兵衛殿 此名前恒右衛門殿次江相載申候」埴科郡松代伊勢町置主菊屋孫左衛門・請人菊屋又次郎・町年寄八田喜右衛門・町年寄八田孫左衛門→日光御門主様御内宮沢志津摩殿・筑摩郡仁熊村口入宮沢恒右衛門殿	明和9年辰6月	堅継紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3612-1
質置申家屋舗之事(御年貢并商売の仕入金に差詰まりに付金300両借用、質入地松代伊勢町東角間口23間3尺裏行43間居屋敷他) * (貼紙①)「日光准后宮様御内宮沢志津摩殿・江戸三河丁四丁目升屋小兵衛殿・仁熊村口入宮沢恒右衛門殿」/(貼紙②)「四月よりいなり山徳兵衛方迄差遣候此処張付置也」 埴科郡松代伊勢町置主菊屋孫左衛門(印墨消)・請人菊屋又次郎(印墨消)・町年寄八田喜右衛門(印墨消)・町年寄八田孫左衛門(印墨消)→日光御門主様御内宮沢志津摩殿・筑摩郡仁熊村口入宮沢恒右衛門殿	明和9年辰6月	堅継紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3612-2
一札之事(借入金明和9年5月迄御取延の件承知に付)松代八田孫左衛門(印墨消)→東叡山御用達宮沢恒右衛門殿	明和9年辰3月28日	堅継紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3612-3
質置申家屋敷之事(質代金300両、質入期間12ヶ月、借賃1ヶ月3両3分御渡し、質入地松代伊勢町東角間口23間3尺裏行43間居屋舗他、御年貢并商売の仕入金に差詰まりに付) * え3612・え3620・え3621・え3622と関連 埴科郡松代伊勢町置主菊屋孫左衛門(印墨消)・請人菊屋又次郎(印墨消)・町年寄八田喜右衛門(印墨消)・町年寄八田孫左衛門(印墨消)→日光御門主様御内宮沢志津摩殿・筑摩郡仁熊村口入宮沢恒右衛門殿・江戸三河丁四丁目取次升屋小兵衛殿	安永2年巳5月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括9・1通	え3623
覚(よんどころ無き要用に付内借金20両受取書、書入は東木町に所持の建家土蔵2棟) * (端裏書)「祇津要左衛門様西十二月木町御内借二付差出し候一札下書」 御内借主八田孫左衛門・御請合みのや茂兵衛→祇津要左衛門様御取次中	安永6酉12月	堅紙・1通	え3603
御預申金子之事(菊屋孫左衛門家屋敷賃金受取り商売のところ要用に付仁熊村宮沢恒右衛門口入にて東叡山より金200両借用、年利1割5分) * え3612・え3620・え3621・え3622・え3623と関連 埴科郡松代木町預主八田喜右衛門(印)・同木町請人菊屋又次郎(印)・同中町請人菊屋善治(印)→日光准后宮様御内宮沢志津摩殿・江戸三河丁四丁目取次小兵衛殿・仁熊村宮沢恒右衛門殿	安永6年酉ノ5月	堅継紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3624
指上申一札之事(八田孫左衛門見世名代条助造酒仕入に差し詰まり御奉行様工面上元利109両内借に付、引当八田孫左衛門家屋舗土蔵及び所持山田地) * (端裏書)「亥四月返上済切證文消印済」 八田孫左衛門見世名代条助(印墨消)・御請合八田孫左衛門(印墨消)・同断字佐美清十郎(印墨消)・(奥書)小野喜多右衛門(印墨消)・山越六郎右衛門(印墨消)→水井久太夫様・徳嵩甚蔵様	安永7戌歳10月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3626
一札之事(川合村善橋寺及び文広寺和尚さま急借金元金5両返済に付) 田中村富岡文左衛門(印)→八田孫左衛門様	安永9年子5月4日	堅切紙・1通	え3562
借入金證文之事(御寺修復料金のうちより金130両借用に付、年利1割、返済期間来る12月15日迄の10ヶ月半) 菊屋傳兵衛(印墨消)・菊屋又次郎(印)・(奥書)八田孫左衛門(印墨消)→江戸浅草一乗院様・篠原玄理様・御口入竹内三太夫殿	明和9年辰2月	堅継紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3627
覚(金30両縁女持参金請取書) 綿内覚之進(印)・(奥書)与良弥門(印)・平林縫殿進(印)→与良弥門殿・平林縫殿進殿・(奥書)宮沢長四郎殿	文化5戊辰年9月	堅紙・1通	え3744

(御預金受取証文綴)		綴/(え3469-1~9 は一綴)・1綴	え3469
覚(御趣意御預金1000両受取証文、来年11月中返上) * (端裏書)「文政五壬午年三月十四日御證文替御懸り兩所ニ 相成候ニ付式本ニ相成調印致候而差出ス、文談格別義も 無之候付下案留置不申候 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門 (印墨消)→大嶋武左衛門殿・斎藤善九郎殿	文化12亥年11月	堅紙・1通	え3469-1
覚(御趣意御預金90両受取証文) * (端裏書)「済切證文文 政五年三月引戻 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消) →大嶋武左衛門殿・斎藤善九郎殿	文化13子年4月	堅紙・1通	え3469-2
覚(御趣意御預金30両受取証文) * (端裏書)「金三拾兩文 政二卯閏四月二日返證文 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門 (印墨消)→大嶋武左衛門殿・斎藤善九郎殿	文化14丑年11月8日	堅紙・1通	え3469-3
覚(御用付御内借御繰廻金70両受取証文) * (端裏書)「 金七拾兩文政二卯年閏四月二日二遺證文 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・斎藤善九郎殿	文化15寅年3月	堅紙・1通	え3469-4
覚(御預金300両受取証文、来年11月中返済) * (端裏書) 「済切證文 文政五年三月引戻」 八田嘉右衛門(印墨消)→ 大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政3辰年12月	堅紙・1通	え3469-5
覚(御預金279両2分銀6分受取証文、来年11月中返済) * (端裏書)「済切證文 文政五年三月引戻 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政4巳年11月	堅紙・1通	え3469-6
覚(御預金404両2分銀3匁6分8厘受取証文、来年11月中 返済) * (端裏書)「済金證文 文政五年三月引戻 八田嘉 右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池 孝助殿	文政4巳年11月	堅紙・1通	え3469-7
覚(御預金291両2分銀5匁5分2厘受取証文、来年12月中 返済) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝 助殿	文政元寅年12月	堅紙・1通	え3469-8
覚(御預金300両受取証文、来年11月中返済) * (端裏貼 紙)「金三百兩御趣意を以御預之分儲請取申候、返済之儀者 来未十一月中年中八分利足相加元利無相違可致返上候、後 日證文仍如件 文政五年年三月 八田嘉右衛門 十二月廿三 日 大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿 中嶋氏頼ニ而致調印」/ (端裏書)「文政十二丑年八月四日辰三郎、此方より證文持 参、入安兵衛殿引替いたし候付致消印」 八田嘉右衛門(印 墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年12月	堅紙・1通	え3469-9
覚(趣意金300両借用証文) * (端裏朱書)「文政三辰十一 月元金之内江三拾兩御預増ニ相成候付三百三拾兩證文与 引替ニ相成 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武 左衛門殿・斎藤善九郎殿	文化12亥年11月	堅紙・1通	え3741
(御預り金の内より預り証文一括)		綴/(え3464-1~7 は一綴)・1綴	え3464
覚(御預り金の内より100両借用証文、12月中返上) * (端裏書)「七月 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印)→大嶋 武左衛門殿・斎藤善九郎殿	文化13子年7月	堅紙・1通	え3464-1
(證文3通分メ金393両書付)		小切紙・1通	え3464-2
覚(御預り金の内より50両借用証文、来年12月中返上) 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斎藤善九郎殿	文政元寅年12月	堅紙・1通	え3464-3
覚(原村小出重三郎へ御預け金の分250両請取書) 八 田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斎藤善九郎殿	文政元寅年12月	堅紙・1通	え3464-4
覚(御預り金の内より90両借用証文、来年11月中返上) 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斎藤善九郎殿	文政元寅年12月	堅紙・1通	え3464-5

1.内方/5.金融/1.預り金・借入金

覚(御預り金の内より367両3分と銀1匁9分8厘借用証文、来年11月中返上) * (端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政3辰年12月	堅紙・1通	え3464-6
覚(御預り金の内より254両と銀6匁借用証文、来年11月中返上) * (端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政3辰年12月	堅紙・1通	え3464-7
覚(200両時借証文、御用の節差図次第に返上) 八田嘉右衛門(印墨消)→菊池伊惣治殿・菊池孝助殿・海沼八十郎殿	文化13子年10月	堅紙・1通	え3503
覚(御預り金の内より229両と銀6匁借用証文、来年12月中返上) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文化14丑年12月	堅紙・1通	え3466
覚(預り金利息12両請取証文) 矢代村四郎左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文化14丑年11月	小切継紙・1通	え3746
(御趣意御預り金返上一件書類綴)		綴/(え3461-1~5は一綴)・1綴	え3461
覚(卯年分御趣意御預り金の利足受取証文) * 黄紙 斉藤善九郎(印)・大嶋武左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政2卯年12月	横切継紙・1通	え3461-1
覚(金30両御中借の内へ上納金10両請取書) 斉藤善九郎(印)・大嶋武左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政元寅年12月21日	横切紙・1通	え3461-2
覚(御預り金の内より210両借用証文、来年12月中返上) * (端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政元寅年12月	堅紙・1通	え3461-3
覚(御預り金の内より301両余借用証文、来年12月中返上) 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政元寅年12月	堅紙・1通	え3461-4
覚(御預り金の内より300両借用証文、来年11月中返上) * 表に文政7年12月付入安兵衛・大嶋武左衛門の利金受取証文添付/(端裏貼紙)「文政二卯年十一月大嶋武左衛門殿頼候付正金手元より不差出候而金三百両御用達候趣証文請取、此方よりも大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿江三百両借用証文差出置候処、文政七甲申年十二月五日双方証文取戻申候、為覚致消印残置候事、同利潤受取印書残置候」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政2卯年12月	堅紙・1通	え3461-5
覚(御預り金の内より500両借用証文、来年12月中返上) * 残金分新規証文替の旨の貼紙付/(端裏書)「金五百両内四百拾両残而九拾両新証文指出古証文取戻ス」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政元寅年12月	堅紙・1通	え3462
覚(御預り金の内より150両借用証文) * (端裏書)「十二月廿五日金百五拾両返証文」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政元寅年12月14日	堅紙・1通	え3465
覚(御預金200両受取証文、12月中返上) * (端裏貼紙)「御預金差引入用書類」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政元寅年7月	堅紙・1通	え3468
(預かり金関係書類綴)		綴/(え3481-1~6は一綴)・1綴	え3481
覚(借入金のうち持出し分差引勘定書、文化14年3月~文政元年5月分) * (端裏貼紙)「午三月七日到来指引書」		横切継紙・1通	え3481-1
(預り切手返上の旨用状) * (端裏書)「切手」 「大嶋磯右衛門」(端裏書)→「八田嘉右衛門様」(端裏書)	10月27日	横切継紙・1通	え3481-2
覚(元利金受取書) 入安兵衛・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政10亥年12月21日	横切紙・1通	え3481-3
(御借入金残金差引勘定書)		横切継紙・1通	え3481-4

(預り金・拝借金勘定の上、新証文交付願)		横切継紙・1通	え3481-5
覚(要用に付御繰廻金のうち250両時借証文、来月上納) 一→西村源藏殿・古岩十右衛門殿・海沼八十郎殿	文政元寅年11月	堅紙・1通	え3481-6
覚(繰廻し金のうち250両借用証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→西村源藏殿・古岩十右衛門殿・海沼八十郎殿	文政元寅年11月	堅紙・1通	え3743
覚(御預り金の内より231両借用証文、11月中返上) * (端裏朱書)「文政三辰三月引替証文貳拾三両六匁御預増ニ相成候付金貳百五拾四両六匁御證文ニ替ル」/(端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政2卯年12月	堅紙・1通	え3458
覚(取替金50両受取、12月中返上) * (端裏貼紙)「拝借金証文之處近藤弥市殿壹割五拾兩證文に引替ニ相成候間反古ニ致間敷候事」/(端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政2卯年11月	堅紙・1通	え3459
覚(取替金337両3分銀1匁9分8厘受取、来年11月中返上) * (端裏朱書)「文政三辰十二月引替三拾兩御預増ニ相成候付、金三百六拾七兩三匁九分八厘御證文与引替ニ相成候」/(端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政2卯年12月	堅紙・1通	え3460
覚(御内御用金30両中借証文) * (端裏書)「辰二月三日此方より三拾兩證文遣候付引替ニ相成候 卯十二月廿五日 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・斉藤善九郎殿	文政2卯年12月	堅紙・1通	え3467
覚(預り金100両預り証文下案) * (端裏書)「恩田鞠負殿御預金差出印書下案」 八田嘉右衛門→恩田鞠負殿御内	文政2卯年7月	堅紙・1通	え3487
口上(繰廻金卯年利分金1両請取証文) 吉兵衛(印)→和七殿	文政2年辰(マ)2月	小切紙・1通	え3745
覚(御預け金元利受取証文) 同心町嘉平治内方(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七殿	文政□□(虫損)丑2月	小切紙/(虫損甚大)・1通	え3951
覚(金105両預り証文) * (端裏書)「文政四巳十月證文認替遣候」/後欠 松代家中預り主八田嘉右衛門(印墨消)→法華堂御房	文政3辰年6月	堅紙・1通	え3597
覚(御預り金の内より1200両借用証文、来年11月中返上) * (端裏書)「文政五年三月廿七日三分之利足ニ相成候付證文替出ス 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政3辰年12月	堅紙・1通	え3454
覚(御預り金の内より330両借用証文、来年11月中返上) * (端裏書)「辰十二月廿八日、元金三百兩利分之處御中借証文ニ而式通ニ認直指出候、追而元帳右心得を以相直可申候事」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政3辰年12月	堅紙・1通	え3455
覚(御預り金の内より530両借用証文、12月中返上) * (端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿	文政3辰年7月	堅紙・1通	え3457
覚(300両時借証文、12月中に返上) * (端裏書)「辰十二月九日上納相済申候」/本文墨消 八田嘉右衛門(印)→大嶋磯右衛門殿・菊池孝助殿	文政3辰年11月	堅紙・1通	え3502
覚(御繰回し金150両借用証文) 八田嘉右衛門(印)、(裏書)伊東与右衛門→望月頼母殿御内伊東與右衛門殿・轟五郎右衛門殿	文政3辰年3月	堅紙・1通	え3737
覚(御繰回し金150両借用証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→望月頼母殿御内伊東与右衛門殿・轟五郎右衛門殿	文政3辰年12月	堅紙・1通	え3739

1.内方/5.金融/1.預り金・借入金

覚(金300両を11月より12月まで2ヶ月年1割の利足をもって御時拝借証文) →大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政3辰年11月	縦紙・1通	え3900
覚(御預り金の内より100両借用証文、11月中返上) * (端裏書)「済切証文 文政5午三月引戻 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政4巳年11月	縦紙・1通	え3453
覚(御預り金の内より390両借用証文、来年12月中返上) * (端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消) →大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政4巳年11月	縦紙・1通	え3463
覚(御預り金の内より1200両借用証文、来年11月中返上) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年12月	縦紙・1通	え3447
覚(御預り金の内より300両借用証文、当月下旬返上) * (端裏書)「十二月十九日御拝借証文帰リ」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年12月6日	縦紙・1通	え3448
覚(御預り金の内より700両借用証文、来末年12月中返上) * (端裏書)「文政6未年三月廿三日元利済切ニ付印證受取申候」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年12月	縦紙・1通	え3449
覚(御預り金の内より300両借用証文、今年12月中返上) * (端裏貼紙)「金五百三拾両金三百両金千弍百両、右者先達而證文指出之、此方へも右三通金高證文大島武左衛門殿・菊池孝助殿より借用証文受取置候処、今度證文双方取替相済申候、文政6未年十一月九日菊池孝助殿へ遣ス、追而元帳消可申事」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年3月	縦紙・1通	え3450
覚(御預り金の内より500両借用証文、11月より年々御礼金上納) * (端裏書)「天保十二丑年閏正月四日引替済 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年正月	縦紙・1通	え3451
覚(御預り金の内より500両借用証文、11月より年々御礼金上納) * (端裏書)「天保十二丑年閏正月四日引替済 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年正月	縦紙・1通	え3452
覚(御趣意金200両借用証文) 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年正月	縦紙・1通	え3738
覚(御趣意金600両借用証文) * (端裏書)「文政五午十二月廿七日此方より千八百両證文指遣流ニ相成候為心得送此證文残置候中嶋公へ遣ス 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印)→大嶋武左衛門殿・菊池孝助殿	文政5午年正月	縦紙/(貼紙あり)・1通	え3740
覚(御趣意御預り金50両受取証文) * 後筆あり/(端裏貼紙)「金五拾兩未十一月中渡邊武左衛門より預り金證文此方へ請取可申答之処是亦□被差送候処申八月廿三日法華堂源海法印持參受取申候右一件差引相済不申之候義も有之候付群神山主預之趣而此方へ受取置候為覚若斯印置候」 八田嘉右衛門(印墨消)→渡辺武左衛門殿	文政6未年11月	縦紙・1通	え3486
(時借証文綴)		綴/(え3500-1~3は一綴)・1綴	え3500
覚(150両時借証文、12月上旬に上納) * (端裏書)「文政九戌五月八田氏」 八田嘉右衛門(印擦消)→大嶋磯右衛門殿	文政9戌年5月	縦紙・1通	え3500-1
覚(300両内借証文、正月上旬に上納) 八田嘉右衛門(印切裂)→大嶋武左衛門殿	文政6未年12月	縦紙・1通	え3500-2
覚(80両内借証文、12月中旬に上納) 八田嘉右衛門(印切抜)→大嶋磯右衛門殿	文政8酉年12月	縦紙・1通	え3500-3

御時借申金子證文之事(金297兩3分と銀10匁2分、返済期限来る25日) 八田嘉右衛門内笠井和七(印)→吉松四郎左衛門様	文政8酉年12月	堅切紙・1通	え3560
御内借金證文之事(拠無きなため金12兩2分内借りに付、返済期限来る11月15日迄、引当粉7俵) * (端裏貼紙)「文政八酉年四月金拾貳貳貳歩也、念仏寺村仁左衛門五歩利附」/(御礼金15年賦成崩返上に付御極証文)共 念仏寺村借り主仁左衛門(印)・受人平兵衛(印)・名主五左衛門(印)・組頭秀之助(印)・長百姓惣左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文政8酉年4月	堅継紙・1通	え3563
覚(御用向取計いに付100兩内借、来月中までに返済) * (端裏書)「文政九戌九月糸買入ニ付和七奉願拝借被成下候処文政十亥正月拂代金和七より入元金百兩亥二月廿九日辰三郎を以御内借江上納尤利分出方少々有之候右者糸会所江預り置追而評儀之上取計可申趣」 八田嘉右衛門(印)→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政9戌年9月	堅紙・1通	え3495
覚(200兩時借証文、28日に上納) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政9戌年12月23日	堅紙・1通	え3501
覚(預け金50兩年受取書) 八田嘉右衛門(印)→轟五郎右衛門殿・轟市右衛門殿・小林与惣治殿	文政11子年12月	堅紙・1通	え3583
覚(39兩時借証文、来年3月中に返上) * (端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印切抜)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿・入安兵衛殿	文政13寅年12月	堅継紙・1通	え3504
覚(御預り金の内より100兩借用証文、来11月返上) * 表に50兩上納済の旨天保4年11月付片桐重之助貼紙添付/(端裏貼紙)「八田内借引替分 一御元メ進切千兩也返り次第此證文遣事 拝借高一千六百拾四兩壹分拾三匁貳分八厘正錢下候 此外二十壹兩三分五匁持出しニ而都合此證文高有之候」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿	天保3辰年12月	堅紙・1通	え3441
覚(御預り金の内より750兩借用証文、当暮返上) * 表に370兩上納済の旨天保3年付片桐重之助貼紙添付/(端裏貼紙)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿	天保3辰年9月	堅紙・1通	え3442
覚(御預り金の内より200兩借用証文、来年11月中返上) * (端裏書)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿	天保3辰年12月	堅紙・1通	え3445
(内借金ほか受取証文綴)		綴/(え3477-1~10は一綴)・1綴	え3477
覚(要用に付内借金200兩受取証文、晦日上納) * 辰正月引替済などの旨後筆あり 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保3寅(??)年11月「六日」(後筆)	堅紙・1通	え3477-1
覚(御趣意御預金100兩受取証文、当月下旬上納) 八田嘉右衛門(印切裂)→水野友作殿	天保8酉年4月	堅紙・1通	え3477-2
覚(御口入下賜金100兩受取証文、来丑12月中上納) 八田嘉右衛門(印切裂)→水野友作殿	天保元「元子年12月」(貼紙)	堅紙・1通	え3477-3
覚(御趣意御預金150兩受取証文、来丑9月中上納) 八田嘉右衛門(印切裂)→水野友作殿	天保11子年6月	堅紙・1通	え3477-4
覚(金130兩預かり証文、片桐重之助殿へ貸付) * (貼紙)「内六兩卯年正月廿日進之、此分金百貳拾四兩」 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保13寅年正月	堅紙/(帳はずれ)・1通	え3477-5
覚(要用に付内借金95兩受取証文、当月中上納) 八田嘉助(印切裂)・八田嘉右衛門(印切裂)→水野友作殿	弘化2巳年4月9日	堅紙・1通	え3477-6

1.内方/5.金融/1.預り金・借入金

覚(要用に付内借金30両受取証文、当月中上納) 八田嘉助(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	弘化2巳年7月「朔日」(後筆)	縦紙・1通	え3477-7
覚(要用に付内借金95両受取証文、12月中上納) 八田嘉助(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	弘化2巳年10月「14日」(後筆)	縦紙・1通	え3477-8
覚(要用に付内借金100両受取証文、4月中上納) 八田嘉助(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	弘化2巳年3月23日	縦紙・1通	え3477-9
覚(内借金300両受取証文、引当東條村南組山地の内、12月中上納) * 朱書入/本文墨消 八田嘉右衛門→水野友作殿	天保14卯年8月	縦紙・1通	え3477-10
(預り金請取証文綴)		綴/(え3480-1~9は一綴)・1綴	え3480
覚(御預金231両御礼金受取証文) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保5午年12月	縦紙・1通	え3480-1
覚(御預金100両御礼金受取証文) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保6未年12月	縦紙・1通	え3480-2
覚(御預金御礼金100両受取証文) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保3辰年12月	縦紙・1通	え3480-3
覚(御預金御礼金100両受取証文) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月	縦紙・1通	え3480-4
覚(御礼金50両受取証文) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保6未年12月	縦紙・1通	え3480-5
覚(御礼金150両受取証文) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保7申年5月3日	縦紙・1通	え3480-6
覚(御礼金105両受取証文) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保7申年12月	縦紙・1通	え3480-7
覚(御預金御礼金158両余受取証文) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保7申年正月3日	縦紙・1通	え3480-8
覚(御預金御礼金105両受取証文) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保8酉年12月	縦紙・1通	え3480-9
覚(趣意金100両借用証文) * (端裏書)「未十二月元利上納済」 八田嘉右衛門(印)→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿	天保3辰年閏11月	縦紙・1通	え3742
覚(御預金当辰年分利足受取書) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保3辰年12月	縦紙・1通	え3921
覚(御預り金300両借用証文、来月11月中返済) 八田嘉右衛門(印切裂)→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿	天保7申年11月	縦紙・1通	え3438
覚(御預り金の内より200両借用証文、当暮返済) * 本文墨消 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿	天保7申年11月	縦紙・1通	え3439
覚(金200両借用証文、当暮返上) * 本文墨消 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿	天保7申年10月	縦紙・1通	え3440
(御趣意御預金受取証文綴)		綴/(え3476-1~3は一綴)・1綴	え3476
覚(御趣意御預金100両受取証文、来年正月中上納) 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保7申年12月	縦紙・1通	え3476-1
覚(御趣意御預金200両受取証文、来年正月中上納) * 後筆あり 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保7申年12月	縦紙・1通	え3476-2
覚(御趣意御預金200両受取証文、来年正月中上納) * 後筆あり 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保7申年12月	縦紙・1通	え3476-3

覚(御預り金の内より45両借用証文、当7月中返上) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿	天保8酉年2月	縦紙・1通	え3443
覚(金23両預り証文) * (後筆)「弘化二巳年十二月新證文と引替」 八田嘉助(印墨消)→岡嶋御袋様	天保8酉年12月	縦紙・1通	え3485
覚(御趣意御預金200両受取証文、当月下旬上納) * (端裏書)「天保九戌年十二月廿七日元利皆済」 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保9戌年12月	縦紙・1通	え3473
覚(御趣意御預金100両受取証文、当月下旬上納) * (端裏書)「天保九戌年十二月廿七日元利皆済」 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保9戌年12月	縦紙・1通	え3474
覚(御趣意御預金100両受取証文、3月中上納) * (端裏書)「丑閏正月十三日御引替済」 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保9戌年2月	縦紙・1通	え3475
覚(御預り金の内100両借用証文、3月中返済) * (端裏書)「引替下案入」 八田嘉右衛門→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿・池田良右衛門殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3436
(拝借金証文綴)		綴/(え3470-1~24は一綴)・1綴	え3470
覚(100両内借証文) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿・池田良右衛門殿	天保10亥年12月28日	縦紙・1通	え3470-1
覚(270両内借証文、返済日切りを越える場合8分利1ヶ月分上納) 八田喜兵衛(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保11子年5月29日	縦紙・1通	え3470-2
覚(御預金260両受取証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保12丑年閏正月	縦紙・1通	え3470-3
覚(100両内借証文、9月中上納) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保12丑年5月16日	縦紙・1通	え3470-4
(切紙)「御金銀取計御貸出分」		小切紙・1通	え3470-5
覚(御趣意御預金150両受取証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保12丑年閏正月	縦紙・1通	え3470-6
覚(150両内借証文、6月中返済) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保12丑年5月「7日」(後筆)	縦紙・1通	え3470-7
覚(産物貸下金100両中借証文、12月中返済) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保12丑年11月「5日」(後筆)	縦紙・1通	え3470-8
覚(100両内借証文、12月中返済) * 朱墨使用 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保13寅年正月	縦紙・1通	え3470-9
覚(200両内借証文、12月中返済) * (朱書)「御礼金之分寅十二月上納済、御元金之分卯正月十二日上納皆済」 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保13寅年3月	縦紙・1通	え3470-10
覚(70両内借証文、12月中返済) * 本文墨消 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保13寅年7月「5日」(後筆)	縦紙・1通	え3470-11
覚(増田孫兵衛産物代金御貸下金100両中借証文) * 本文墨消/(朱書)「内五拾両進之、残金五拾両拾四文者」 八田嘉助(印墨消)・八田辰三郎(印)・八田喜兵衛(印)、(奥書) 八田嘉右衛門(印抹消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保13寅年7月5日	縦紙・1通	え3470-12

1.内方/5.金融/1.預り金・借入金

覚(増田孫兵衛産物代金御貸下金150両中借証文) * 本文墨消 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保13寅年12月3日	縦紙・1通	え3470-13
覚(増田孫兵衛産物代金御貸下金100両中借証文) * 本文墨消 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保13寅年12月「3日」(後筆)	縦紙・1通	え3470-14
覚(増田孫兵衛産物代金御貸下金70両中借証文) * 本文墨消 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保13寅年正月	縦紙・1通	え3470-15
覚(200両内借証文、7月中返済) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保14卯年6月	縦紙・1通	え3470-16
覚(200両内借証文、来年3月中返済) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保14卯年11月	縦紙・1通	え3470-17
覚(100両内借証文、来年12月中返済) * (後筆)「水井忠蔵殿へ元利上納済」「利三分五匁、元利ノ百兩三分五匁辰正月晦日」 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保14卯年12月	縦紙・1通	え3470-18
覚(100両内借証文、来年3月中返済) * (後筆)「御礼金壹兩貳分式朱式匁五分、御元利共辰正月廿五日返上」 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保14卯年12月	縦紙・1通	え3470-19
覚(150両内借証文、12月中返済) 八田嘉助(印墨消、印切裂)・八田喜兵衛(印墨消、印切裂)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保14卯年12月	縦紙・1通	え3470-20
覚(200両内借証文、12月中返済) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保14卯年12月「28日」(後筆)	縦紙・1通	え3470-21
覚(御趣意御預金200両受取証文、来年正月中返済) 八田嘉助(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保15辰年12月	縦紙・1通	え3470-22
覚(200両内借証文、来年12月中返済) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保14卯年12月	縦紙・1通	え3470-23
覚(70両内借証文、来年3月中返済) 八田嘉助(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→吉沢十助殿・池田良右衛門殿・入久左衛門殿・宮沢善治殿	弘化2巳年12月28日	縦紙・1通	え3470-24
覚(御趣意御預金100両受取証文、当暮上納) * 下部破損 八田嘉右衛門(印切裂)→水野友作殿	天保10亥年11月	縦紙・1通	え3472
覚(御預金御礼金受取証文) 池田良右衛門・西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保10亥年正月	縦紙・1通	え3478
覚(御預金御礼金受取証文) 池田良右衛門・西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3479
覚(御趣意御預り金10両受取証文、来年3月までに返済) 八田嘉右衛門(印切抜)→水井忠蔵殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3489
覚(御趣意御預り金100両受取証文、来年3月までに返済) 八田嘉右衛門(印切裂)→水井忠蔵殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3490
覚(御預り金の内300両借用証文、来月5月中返済) 八田嘉右衛門(印切裂)→大嶋磯右衛門殿・吉沢十助殿・池田良右衛門殿	天保11子年12月28日	縦紙・1通	え3437

覚(河内屋慶吉の跡相続に付家付借財の内10両受取証文) * (端裏書)「松代伊勢町傳兵衛」 菊屋傳兵衛(印墨消)→竹房村孫右衛門殿	天保11子年11月	縦紙・1通	え3493
覚(差掛り入用に付口入金300両受取証文、来年12月中までに返済) * (端裏書)「卯七月五日引替済」 八田嘉右衛門(印墨消)→金児丈助殿	天保11子年12月	縦紙・1通	え3496
覚(御預り金の内より50両借用証文、当暮返上) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿	天保12丑年7月	縦紙・1通	え3444
覚(要用に付拝借金70両受取証文、晦日までに返済) 八田嘉右衛門(印墨消)→八田喜兵衛殿	天保12丑年7月	縦紙・1通	え3492
(水井忠蔵より借入関係綴)		綴/(え3491-1~17は一綴)・1綴	え3491
覚(要用に付御預り金100両受取証文、来年2月までに返済) 八田嘉右衛門(印切裂)→水井忠蔵殿	天保13寅年12月	縦紙・1通	え3491-1
覚(御礼金16両受取証文) 片桐重之助(印)・高野覚之進→八田嘉助殿	弘化4未年正月12日	横切継紙・1通	え3491-2
覚(取替2口200両分利分16両受取証文) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	弘化4未年正月2日	切紙・1通	え3491-3
覚(去極月中師岡様無尽金の内14両受取証文) * (下札)「印形之義は当廿五日迄御日延奉願上候」 根越組助左衛門→八田嘉右衛門様御内	未正月18日	切紙・1通	え3491-4
覚(要用に付御預り金35両受取証文、来年12月までに返済) * 後筆あり 八田嘉右衛門(印墨消)→水井忠蔵殿	天保13寅年12月	縦紙・1通	え3491-5
覚(要用に付御預り金30両受取証文、来年12月までに返済) 八田嘉右衛門(印朱墨消)→水井忠蔵殿	天保13寅年10月	縦紙・1通	え3491-6
覚(差掛りに付御預り金50両受取証文、来年12月までに返済) 八田嘉右衛門(印墨消)→水井忠蔵殿	天保14卯年12月	縦紙・1通	え3491-7
覚(要用に付御預り金50両受取証文、4月までに返済) 八田嘉右衛門(印墨消)→水井忠蔵殿	天保15辰年2月	縦紙・1通	え3491-8
覚(要用に付内借金100両受取証文、来正月までに返済) 八田嘉右衛門(印墨消)→水井忠蔵殿	天保15辰年12月	縦紙・1通	え3491-9
覚(要用に付内借金10両受取証文、当月中に返済) 八田嘉助(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→水井忠蔵殿	弘化2巳年7月	縦紙・1通	え3491-10
覚(元利金支払願) (水井)忠蔵→(八田)嘉助様	9月11日	切紙・1通	え3491-11
覚(要用に付内借金30両受取証文、4月中に返済) 八田嘉助(印切裂)・八田嘉右衛門(印切裂)→水井忠蔵殿	弘化2巳年3月	縦紙・1通	え3491-12
覚(要用に付内借金30両受取証文、当月中に返済) * 後筆あり 八田嘉助(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→水井忠蔵殿	弘化2巳年7月4日	縦紙・1通	え3491-13
覚(差掛り拝借金受取証文、来年正月に返済) * 借用金額部分切抜 八田喜兵衛(印)・八田嘉助(印切抜)・八田嘉右衛門(印切抜)→水井忠蔵殿	弘化4未年12月19日	縦紙・1通	え3491-14
覚(要用に付内借金50両受取証文、来年正月3日までに返済) 八田喜兵衛(印切裂)・八田嘉助(印切裂)・八田嘉右衛門(印墨消)→水井忠蔵殿	弘化4未年12月21日	縦紙・1通	え3491-15
覚(要用に付拝借金20両受取証文、17日までに返済) 八田嘉助(印墨消)→水井忠蔵殿	嘉永3戌年7月11日	縦紙・1通	え3491-16
覚(要用に付拝借金15両受取証文、17日までに返済)	嘉永3戌年7月12日	縦紙・1通	え3491-17

1.内方/5.金融/1.預り金・借入金

八田嘉助(印墨消)→水井忠蔵殿 (才覚金借用関係書類綴)		綴/(え3498-1~11は一綴)・1綴 縦紙・1通	え3498 え3498-1
覚(要用に付才覚金30兩借用、扶持方のうち玄米を引当) 八田辰三郎(印)・加判人八田嘉助(印)→春日儀左衛門殿	弘化元辰年12月	縦紙・1通	え3498-1
一札之事(春日儀左衛門より借入金に付引当の扶持米御渡の旨頼一札) 八田辰三郎(印)→御賄所掛り御役人中	弘化元辰年12月	縦紙・1通	え3498-2
覚(要用に付才覚金15兩借用、扶持方のうち玄米を引当) 八田辰三郎(印)・加判八田嘉助(印)→水井忠蔵殿	弘化元辰年12月	縦紙・1通	え3498-3
一札之事(水井忠蔵より借入金に付引当の扶持米御渡の旨頼一札) 八田辰三郎(印)→御賄所掛り御役人中	弘化元辰年12月	縦紙・1通	え3498-4
覚(要用に付才覚金5兩借用、扶持方のうち玄米を引当) 八田辰三郎(印)・加判八田嘉助(印)→片桐重之助殿	弘化3午年8月	縦紙・1通	え3498-5
一札之事(片桐重之助より借入金に付引当の扶持米御渡の旨頼一札) 八田辰三郎(印)→御賄所	弘化3午年8月	縦紙・1通	え3498-6
覚(要用に付才覚金5兩借用証文) * 返済内訳の旨後筆あり 八田辰三郎(印)→佐竹周蔵殿	天保15年正月	横切紙・1通	え3498-7
覚(要用に付才覚金6兩借用証文) 八田辰三郎(印)→八田嘉助殿	午年4月22日	横切紙・1通	え3498-8
覚(要用に付才覚金1兩借用証文) 八田辰三郎(印)→八田嘉助殿	午5月2日	横切紙・1通	え3498-9
覚(要用に付才覚金4兩借用証文) 八田辰三郎(印)→八田嘉助殿	午5月9日	横切紙・1通	え3498-10
覚(要用に付1兩借用証文) 八田辰三郎(印)→八田嘉助殿 (才覚金借用関係書類綴)	弘化2巳7月	横切紙・1通	え3498-11
一札之事(下小嶋田村柳吉より借入金に付引当の扶持米御渡の旨頼一札) 八田辰三郎(印)→御賄所	弘化5申年3月	綴/(え3499-1~3は一綴)・1綴 縦紙・1通	え3499 え3499-1
差出候日延書之事(間違いに付去年上旬の借入金50兩を29日返済の旨約定) 八田辰三郎(印)→下小嶋田村柳吉殿	嘉永元年3月	縦紙・1通	え3499-2
借入金子証文之事(要用に付才覚金50兩借用、利分として扶持方のうち玄米を相増し返済) 八田辰三郎(印)・(裏書)下小嶋田村量吉(印)・立入人三崎藤吉(印)→御賄所掛り御役人中、(裏書)八田嘉助様	弘化元辰年12月	縦紙・1通	え3499-3
覚(金23兩預り証文、午年12月中とも返上) * 朱書あり 八田嘉助(印墨消)→岡嶋御袋様	弘化2巳年12月	縦紙・1通	え3484
覚(要用に付拝借金100兩受取証文、12月25日までに返済) * (端裏書)「八田嘉助殿 八田喜兵衛殿」 八田嘉助(印墨消)・八田嘉兵衛(印墨消)→菊池孝助殿・水井忠蔵殿・片桐重之助殿	嘉永元年11月10日	縦紙・1通	え3494
覚(要用に付借入金50兩受取証文、来月中までに返済) 八田嘉助(印切抜)→浄福寺方丈	嘉永3戌年3月26日	縦紙・1通	え3497
覚(御礼金勘定書)		横切紙・1通	え3446
(書状、御勝手方御繰廻金の証文認め替えに付証文二通差上げ等) 大嶋武左衛門・菊池孝助→八田嘉右衛門様	12月28日	横切紙・1通	え3456

覚(産物会所年賦金など拝借御内借メ6545両余り他金銭書上) * (端裏書)「安政六未年八月十二日竹村金吾殿より御尋被申候よし二而御元メ水井忠蔵殿より惣拝借高相認差出候様申来候二付同十三日御同人御手へ出候扣也」八田慎蔵	8月	横切紙・1通	え3553
借用金一札之事(拠無き入用のため金300両、返済期限卯5月15日まで、引当私所持白地高15石3斗8升) 佐久郡三塚村借用主箕輪新八印・同所同断瀬下七左衛門印・同郡岩村田宿受人渡辺武左衛門印・同郡上塚原村同断池田寛蔵、(奥書)驚見藤兵衛印・熊谷儀八印・川村鉾司印・由原伊兵衛印→松代町傳兵衛殿	寅5月	堅切紙・1通	え3561

1.5.2. 貸付金

預り申金子之事(御公義様御年貢金取立に差詰りに付金16両2分預り証文、返済遅滞の節は預り主請人田地・家財・人頭他いかよの質物取り売流しの旨約定) 寒沢村預り主金右衛門(印)・同所請人左衛門(印)・同所名主善左衛門(印)→八田孫左衛門殿	正徳2年辰11月	堅切紙・1通	え3638
(八田孫左衛門宛金子借用証文関係一括)		綴/(え3786-1~8は一綴)・1綴	え3786
借用申金子之事(金12両2分に付) 紺屋町かり主六兵衛(印)・請人紙屋町五人組与四兵衛(印)・右同断庄右衛門(印)、(奥書)紺屋町かり主六兵衛(印)、(裏書)紺屋町肝煎清兵衛(印)・同町長町人清右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保4年亥11月3日	堅紙・1通	え3786-1
年賦金預り覚(乾金10両子の極月より辰の極月まで1年2両宛返済に付) 前嶋助之進(印)・請人同四郎左衛門[印]→八田孫左衛門殿	享保5年子ノ5月3日	堅切紙・1通	え3786-2
一札之事(乾金4両2分銀3匁6分1厘同姓藤右衛門細物買い掛り代金不勝手にて御訴訟申し上げ4年賦にて返金に付) 紺屋町傳右衛門(印)・請人藤兵衛(印)→八田孫左衛門殿	享保6年丑ノ極月16日	堅紙・1通	え3786-3
借用申金子之事(来る7月まで新金15両に付) 近藤権右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保8年卯3月2日	堅紙・1通	え3786-4
預り金之事(今般発足に付金1両取替証文) 借主高山源右衛門(印)・小池五兵衛(印)・組頭斎藤由右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保9年辰8月24日	堅切紙・1通	え3786-5
覚(金子1両2分家普請にて借用に付) 丸山伊平(印)→八田孫左衛門様	享保16年亥5月	堅紙・1通	え3786-6
証文之事(細物代残金日延べ下され訴訟の処罷出に付) 高島新右衛門[印]→八田孫左衛門殿御手代文助殿	享保18年丑9月	堅切紙・1通	え3786-7
預り申金子之事(金20両に付) 荒神町預り主吉左衛門(印)・五人組七兵衛(印)他3名→八田嘉右衛門殿・同孫左衛門殿	正徳3年巳10月	堅紙・1通	え3786-8
(金子借用証文関係綴)		綴/(え3722-1~9は一綴)・1綴	え3722
借用仕候金子之事(50両借用、1ヶ月15両に1分の利足、来年3月に返金) 松本忠左衛門印・松本九郎左衛門印→八田孫左衛門殿	享保元年申11月17日	堅紙・1通	え3722-1
御預り申金子之事(50両借用、1ヶ月15両に1分の利足、来年4月に返金) 借主松本忠左衛門印・證拠人松本九郎左衛門印→八田孫左衛門殿	享保元年申12月	堅紙・1通	え3722-2
一札之事(10両2分借用、1ヶ月10両に1分の利足、岩野	享保5年子12月29日	堅紙・1通	え3722-3

1.内方/5.金融/2.貸付金

村の田地持分新田1石9升余を質入) 借り主堤七郎兵衛(印)・請人小林圓四郎(印)→八田孫左衛門殿			
借用申金子之事(旦那足金15兩借用、当卯10月中返済) 十河半蔵内鈴木興右衛門(印)、(奥書)十河半蔵(印)→八田孫左衛門殿	享保8年卯ノ8月23日	堅紙・1通	え3722-4
借用申金子之事(4兩借用、正月晦日に返済) かり主長崎市郎左衛門(印)・請人小出武兵衛(印)→八田嘉助殿	享保8年卯12月21日	堅紙・1通	え3722-5
一札之事(御地頭原伊兵衛買物代金の内、粉子拾壹俵返済、残金は10月中に返済の旨約定) 原伊兵衛同心西条村赤塚文四郎(印)・原伊兵衛百性三井兵蔵[印]→八田嘉介殿	享保8年卯12月28日	堅紙・1通	え3722-6
御預り申たね金之事(1兩借用、月2割の利子にて来年6月中返済、東福寺村畑高1石8斗4升の持分を抵当) 五反田村預り主有賀新左衛門(印)・請合山口六兵衛(印)→八田孫左衛門殿	享保12年未之12月29日	堅紙・1通	え3722-7
(金30兩借用仮証文) 岡野甚十郎(印)→近藤権右衛門殿	享保14年酉12月26日	堅紙/(え3722-8・9は綴紐脱)・1通	え3722-8
御預り申金子之事(地頭入用に付金子1兩借用、地頭取替われども急度返済) 山中原市場村関山源右衛門百姓小右衛門(印)・同氷熊村同断甚兵衛(印)・いせ町口入佐平次(印)・小池五郎兵衛(印)、(裏書)関山源右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保20年卯6月12日	堅紙/(え3722-8・9は綴紐脱)・1通	え3722-9
(木町より増田家江取替証文綴)	(享保5年～元文3年)	綴/(え3534-1～16は一綴)・1綴	え3534
(袋) * (袋上書)「木町より増田家江取替証文并拙家外宝暦六酉子年調帳面附込ミ借金安久居士天明六午年死去後差引帳別ニ有」		袋・1点	え3534-1
覚(御恩借金10兩受取書) 増田惣右衛門→八田惣三郎様	元文2年巳12月11日	横切紙・1通	え3534-2
覚(拝借初お届き迄の金5兩御恩借書) 増田惣右衛門(印)→八田喜右衛門様・同惣三郎様御使清六殿	元文3年午11月12日	横切紙・1通	え3534-3
覚(古金2兩文金13兩恩借書) 増田惣右衛門→八田惣三郎様	(元文2年)巳11月4日	小切紙・1通	え3534-4
(10月4日願に付新金20兩御時借書) * 本文に増田徳左衛門の印あり 増田徳左衛門(印)→八田嘉右衛門様	卯ノ十一月四日	横切継紙・1通	え3534-5
覚(金15兩時借りに付) 増田徳左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	辰之12月晦日	横切紙・1通	え3534-6
覚(古金15兩預書) 増田信六[印「増田」]→八田武助様	酉5月11日	小切紙・1通	え3534-7
覚(金36兩借用書、繰綿を預け) 増田宇兵衛(印)→八田武助様	申4月27日	横切継紙・1通	え3534-8
覚(文金50兩古金39兩預書) 増田三右衛門[印]→八田武助様	5月8日	横切継紙・1通	え3534-9
覚(金20兩の内5兩酒造入に付恩借証文、酒売買次第返済) 増田徳左衛門(印)→八田長左衛門様・八田喜右衛門様	享保14年酉12月23日	堅切紙・1通	え3534-10
覚(7兩酒造入に付恩借証文、酒売立次第返済) 増田徳左衛門(印)→八田長左衛門様・八田喜右衛門様	享保14年酉12月12日	堅切紙・1通	え3534-11
覚(8兩酒造入に付恩借証文、酒売立次第返済) 増田徳左衛門(印)→八田長左衛門様・八田喜右衛門様	享保14年酉12月16日	堅切紙・1通	え3534-12
覚(中澤孫兵衛方へ時借金30兩請取証文) 増田徳左衛	享保5年子9月21日	堅切紙・1通	え3534-13

門(印)→八田嘉右衛門殿・同孫左衛門殿			
一札之事(初代金2口ノ乾金79両3分銀8匁5分の内10両上納に付) 増田徳左衛門(印)・請人同喜左衛門(印)→春原十兵衛殿	享保7年寅9月	堅紙・1通	え3534-14
覚(西條村東條村両所の草山代金の内金30両請取に付仮証文) 増田徳左衛門(印)・同喜左衛門(印)→八田嘉右衛門殿・八田孫左衛門殿	享保12年未4月19日	堅切紙・1通	え3534-15
覚(金10両恩借証文、粉子にて返済) 増田徳左衛門(印)→八田長左衛門様・八田孫左衛門様	丑11月3日	堅切紙・1通	え3534-16
借用申金子之事(金2両借用に付) 佐久間一学(印「福」)→八田孫左衛門殿	享保8年卯8月20日	堅切紙・1通	え3631
借用申金子之事(3年分の公儀へ未進分) 東福寺村か主半右衛門(印)・請人勘右衛門(印)・同断勝右衛門(印)→紺屋町八田や出店世吉兵衛殿	享保17年子4月	堅紙・1通	え3547
一札(金5両御時借りに付) 鈴木宇左衛門[印]→八田喜右衛門殿	享保17年子7月29日	堅切紙・1通	え3550
覚(金11両受取証文、卯の暮まで返済) 岡野甚十郎(印)、(奥書)三澤万右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保20年卯7月4日	堅紙・1通	え3720
(江戸表の岡野甚十郎への貸金3両受取証) 三沢万右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享保20年卯9月29日	堅紙・1通	え3721
(借入金関係綴)		綴/(え3724-1～14は一綴)・1綴	え3724
借用申金子之事(地頭先納金に差詰まり金4両借用、返済までは地頭に諸役上納せず) 牛嶋村庄蔵(印)、浅右衛門(印)→八田孫左衛門殿	元文2年巳6月17日	堅紙・1通	え3724-1
覚(勤番に付金20両借用、当暮私知行の物成粉をもって返金) 岡野甚十郎(印)→八田孫左衛門殿	元文2年巳7月20日	堅紙・1通	え3724-2
覚(午年の種手金差引勘定の上36両ほか借用、遅滞の場合持ち分田畑買証文をもって引渡し) 西寺尾村市太夫(印)・政右衛門(印)・弾蔵(印)→八田長兵衛殿	元文3年午11月晦日	堅紙・1通	え3724-3
覚(旦那江戸表より帰国の初代金不足に付金3両借用、不足初代埒明け次第返済) 岩崎四兵衛内宮原徳右衛門(印)・請合桜井六左衛門(印)→八田孫左衛門殿	元文4年未4月2日	堅紙・1通	え3724-4
預申麻代金之事(3両借用) 山中新町村西沢甚五郎(印)→松代木町八田孫左衛門殿・同喜兵衛殿	元文3年午9月	堅切紙・1通	え3724-5
一札之事(種手金1両1分と300文を御城裏畑書入にて借用) かうしん町借り主加兵衛(印)・同請人藤兵衛(印)→八田長兵衛様	元文4年未ノ3月	堅紙・1通	え3724-6
覚(金2両借用、年中2割半利足で7月中元利とも返済) 借り主大内久右衛門(印)・口入三崎吉郎左衛門(印)→菊や長兵衛殿	元文4年未ノ2月	堅切紙・1通	え3724-7
御預り申金子之事(金3両借用、年中2割半利足で酉の6月中元利とも返済) 柴村預り主久右衛門(印)・同村同断請人伊左衛門(印)→松代木町長兵衛殿・利兵衛殿	元文5年申12月27日	堅紙・1通	え3724-8
預り申金子之事(50両借用、入用次第返済) * (奥書)「右之金子利足之儀年中一わりニ相定申候、元利勘定仕何時成共御返済可仕候、以上」 預り主上田原町増田八郎兵衛(印)・同断同三右衛門(印)→八田太助殿	元文5年申之7月朔日	堅紙・1通	え3724-9
覚(立身に付支度金として金4両借用、酉年中返済) 町田伊左衛門(印)→八田嘉介殿	元文5年申12月29日	堅紙・1通	え3724-10

1.内方/5.金融/2.貸付金

御借り申金子之事(金14両借用、来る6月中種出来次第返済) * (端裏書)「東福寺村宇右衛門」 東福寺村宇右衛門(印)→八田御内長兵衛殿	元文5年申12月10日	堅紙・1通	え3724-11
御預り申金子之事(来る酉年の種手として金7両借用、元利とも相場をもって種にて返済) * (端裏書)「柴村伊左衛門」 柴村預り主伊左衛門(印)・同村請人甚兵衛→長兵衛殿	元文5年申12月8日	堅継紙・1通	え3724-12
種手預申證文之事(種手として2両借用、来る酉6月中2割半の利足で元利とも返済) * (端裏書)「伊太夫」 西寺尾村預り主伊太夫(印)・請人次左衛門(印)→菊屋長兵衛様	元文5年申之12月	堅紙・1通	え3724-13
年賦證文之事(去る申年まで種手勘定残金5両余を5ヵ年の内に返済の旨約定) 東寺尾村又五郎(印)・東条村請人勘左衛門(印)→八田長兵衛殿	元文6年酉之2月18日	堅紙・1通	え3724-14
一札之事(中野へ持参の金50両紛失に付借用、勢州表家屋敷を引当) 清兵衛(印)→太助殿・太七殿	元文3年午正月	堅紙・1通	え3723
覚(抛無き急入用のため御才覚御口入金6両請取に付) 宮下伝蔵[印]→八田嘉助殿	元文5年申11月27日	堅切紙・1通	え3555
(預かり証文関係綴)		綴/(え3634-1~9は一綴)・1綴	え3634
預り申金子之事(よんどころなき要用に付金50両預り証文、何時成とも御入用次第急度御返済仕べき旨) * 奥書あり 預り主上田原町増田八郎兵衛(印)→八田孫左衛門様	元文5年申之正月13日	堅紙・1通	え3634-1
預り申金子之事(金子小判50両請取預早速返済すべきところ10年賦にて返済仕るに付証文) 上州富岡町預り主十右衛門(印)・證人吉三郎(印)・同又次郎(印)→信州松城菊屋庄助殿	延享4年卯9月日	堅紙・1通	え3634-2
借用申金子之事(要用の義30両借用に付証文) 佐藤惣兵衛(印)・惣太郎(印)→八田嘉助様	宝暦4甲戌年4月	堅紙・1通	え3634-3
口上書を以奉願上候御事(私方店に相続覚束なくに付金100両拝借願) 佐藤惣兵衛(印)・惣太郎[印「佐藤」]→八田嘉助様・八田嘉右衛門様	戌3月	堅紙・1通	え3634-4
覚(借入金10両借用証文) 若林庄兵衛(印)→八田文助様	亥8月24日	堅紙・1通	え3634-5
覚(金10両借用証文) 増田羽四郎(印)→八田孫左衛門様	宝暦12年午6月27日	堅紙・1通	え3634-6
(借財の片付け期間延期などに付書状) 松山町馬場→沼田屋大蔵殿	9月21日	横切継紙・1通	え3634-7
借用方覚(山崎道元様より金182両他、金3100両3分2朱銭1貫955文銀16匁6分2厘借用に付書付) 増田重右衛門→各々様	戌正月	横長半・1冊	え3634-8
覚(金30両受取仮証文、預り証文は小諸表より認め仮証文と取替) 佐藤惣兵衛(印)・惣太→八田儀兵衛殿	戌ノ3月15日	横切紙・1通	え3634-9
(寛保年間借用証文関係一括)		綴/(え3633-1~12は一綴)・1綴	え3633
借用申金子之事(金1両1分借用に付、種換金にて返済) 東寺尾村借り主又五郎(印)・東条村請人勘左衛門(印)→八田清六殿	寛保元年酉之12月27日	堅切紙・1通	え3633-1
覚(金1分時借証文) 池田孫右衛門(印)→八田七兵衛様	西5月2日	横切紙・1通	え3633-2
覚(金3両借用証文、種手金借用し返済) 荒神町加右衛門(印)・忠助(印)→八田長兵衛殿	寛保元年酉9月24日	堅切紙・1通	え3633-3

戌種手金御借り申證文之事(種手前金21兩2分借用、来年6月中種物にて返済) 西寺尾村かり主四兩壹分惣左衛門(印)・同断三兩貳分六大夫(印)・同断壹兩壹分源内(印)・同断壹兩貳分定右衛門(印)・同断壹兩三分源六(印)・同断壹兩也園右衛門(印)・同断壹兩貳分金兵衛(印)・同断壹兩也清左衛門(印)・同断六兩貳分市大夫(印)、小以貳拾壹兩貳分也→菊屋清六殿・同善七殿	寛保元年酉12月	堅紙・1通	え3633-4
借用申金子之事(種前金10兩借用証文、種物にて返済) 柴村伊左衛門(印)→いせ町菊屋清六殿	寛保元年酉12月28日	堅紙・1通	え3633-5
借用申金子之事(御地頭様江戸御用に付御心入をもって2兩借用証文、粉子にて返済) 東福寺村銀右衛門(印)・彦右衛門(印)・吉次右衛門(印)・曾野右衛門(印)→松代八田屋長兵衛殿	寛保元年酉ノ6月	堅紙・1通	え3633-6
借用申金子之事(年貢差し詰まりに付1兩2分借用証文、来る6月中元利とも種物にて返済) 借り主嘉右衛門(印)・請人重蔵(印)→菊屋清六殿	寛保2戌年極月	堅紙・1通	え3633-7
年府(マ)證文之事(満水に付種手金12兩2分余当年返済を4年賦に切替、書入変更の旨書入証文) 東福寺村かり主宇右衛門(印)・請人長蔵(印)→八田孫左衛門様御内(菊屋)清六殿	寛保2年戌之12月	堅紙・1通	え3633-8
一札之事(私弟其元様御家内物盗み取りの件私共過言など赦免に付其元様別儀の時何分にも仰せ付けらるべき承知の旨) 彦内借や七右衛門・惣左衛門・下田町請人長助→源七殿・八田孫左衛門殿家守小兵衛殿	寛保3年亥4月	堅紙・1通	え3633-9
一札之事(木70駄代金2兩2分受取証文) 大室村千右衛門(印)・傳五郎(印)→八田清六殿	寛保元年酉12月	堅紙・1通	え3633-10
年賦證文之事(種手借借金2兩錢893文此度皆済の所満水のため4年賦に切替に付証文) 荒神町借り主弥五左衛門(印)・請人定右衛門(印)→(菊屋)清六殿	寛保3年亥ノ12月	堅紙・1通	え3633-11
種手金御預り申證文之事(金2兩錢300文借用に付) 荒神町借主忠兵衛(印)・請人新八(印)→八田吉左衛門様・菊屋清六様	寛保3年亥之11月	堅紙・1通	え3633-12
借用申金子之事(商元手に差詰りに付金1兩借用、返済遅滞の場合請人方より勘定) 借主栗佐村与四郎(印)・請人藤右衛門(印)・元助(印)→八田孫左衛門殿御内善七殿	寛保3年亥ノ4月	堅紙・1通	え3632
(金子借用証文綴)		綴/(え3636-1~4は一綴)・1綴	え3636
寛(江戸表の周伯金3兩借用証文) 中村左膳(印)・竹内勘右衛門(印)→八田嘉介殿	延享元甲子年4月日	堅紙・1通	え3636-1
御借り申種手金之事(御公儀様御上納に差詰まりに付金1兩2分借用証文、返済期間延享2年6月の7ヶ月) 大室村借り主惣兵衛(印)・同村請人七郎兵衛(印)・肝煎甚助(印)→菊屋清六殿	延享元年子12月	堅紙・1通	え3636-2
金子證文之事(心入れをもって金1兩2分錢460文6年賦切替借用証文、書入地名所伊勢宮畑高1斗小作入1俵2斗の場所) 東条村かり主野村太七(印)・同村請人土渡平助→菊屋清六殿	延享2年丑之5月	堅紙・1通	え3636-3
一札之事(延享3年酒代残金2分借用証文) 牧内村肝煎佐兵衛(印)・請人銀左衛門(印)→きくや清六殿	延享4年卯8月日	堅紙・1通	え3636-4
借用申金子之事(大峯入のため諸旦方勸化不足のため金2兩御恩借りに付、返済金は毎月御奉楽并八幡様御代参等にて差引) 鏡屋町梅元(印)→八田孫左衛門様	延享3年寅ノ6月23日	堅切紙・1通	え3551

1.内方/5.金融/2.貸付金

覚(金15兩御取替金、知行所北高田村ほか140石物成をもつて返済) 樋口弥兵衛(印)→八田嘉助様 (八田庄助殿宛金子借用証文一括)	延享4年卯之5月25日	堅切紙・1通	え3635
(包紙) * (包紙表書)「金百拾五兩若林庄兵衛佐藤惣兵衛右かし金證文四通」/(包紙裏書)「金百拾五兩若林庄兵衛證文三通」		包紙一括/(え3556-1~5は包紙一括)・1点	え3556
		包紙・1点	え3556-1
預り申金子之事(金115兩、利足年1割、返済は何時なりとも御用次第御返済) 若林庄兵衛(印)・佐藤惣兵衛代佐藤喜兵衛(印)、(奥書)若林庄兵衛(印)→八田庄助殿	延享5年辰正月	堅切紙・1通	え3556-2
預り申金子之事(金55兩、利足年1割、返済期限寛延2年暮) 若林庄兵衛(印)・佐藤宗兵衛代佐藤喜兵衛(印)→八田庄助殿	寛延2年巳正月	堅切紙・1通	え3556-3
預り申金子之事(金50兩、利足年1割、返済期限寛延2年暮) 若林庄兵衛(印)・佐藤宗兵衛代佐藤喜兵衛(印)→八田庄助殿	寛延2年巳正月	堅切紙・1通	え3556-4
預り申金子之事(金10兩、利足年1割、返済期限寛延2年暮) 若林庄兵衛(印)・佐藤宗兵衛代佐藤喜兵衛(印)→八田庄助殿	寛延2年巳正月	堅切紙・1通	え3556-5
覚(金7兩富岡安左衛門殿11月中迄返済に付) 富竹村直兵衛(花押)→菊屋庄助殿	延享5戊辰年正月26日	堅紙・1通	え3806
一札之事(買物代金16兩2分借用証文) 四ッ屋村久兵衛(印)→八田庄助殿 (寛延年間借金関係綴)	寛延2年巳ノ12月	堅切紙・1通	え3637
		綴/(え3639-1~4は一綴)・1綴	え3639
覚(馬喰町引越のため源六家質残り請合に付金3分銭550文借用) 鍛冶町請人佐右衛門(印)→八田嘉助殿	寛延2年巳2月	堅紙・1通	え3639-1
御預り申金子之事(年貢差問のため金2兩2分借用に付) 田中村役代預り主喜右衛門(印)→菊屋傳兵衛殿	寛延3年午12月2日	堅紙・1通	え3639-2
覚(金2兩2分証文取置に付書上)	(近世)午12月2日	横切紙/(3紙に剥離)・1通	え3639-3
覚(金5兩借用に付、寛延4年7月まで返済) 坂原兵左衛門(印)→きくや又兵衛殿	寛延4年未7月	堅紙・1通	え3639-4
借用申金子之事(愚寺建立借金返済廻り所なく御無心にて金12兩来る霜月上旬まで返済に付) 借主願行寺(印)・證人詮的(印)→八田嘉助殿	寛延2年巳2月	堅紙・1通	え3791
一札之事(預り金は残金を1ヶ年金1兩1分銀11匁2分5厘宛返済にて赦免願) 四ッ屋村借り主久兵衛(印)→相原宗右衛門殿	寛延2年巳4月24日	堅紙・1通	え3866
覚(廻無き要用のため金6兩御時借書) 菅木之進→八田嘉助殿	寛延3年年10月26日	横切紙・1通	え3549
覚(円右衛門の返済残金勘定書) * (端裏貼紙)「右等之證文者差遣候入用之書類も無之候得共何款懸合向之節入用之儀も可在之候間覚置可申事」 八田嘉助	寛延4年未7月	堅紙・1通	え3857
借用申金子事(金2分来る10月中まで借用に付) 小嶋田村借主五右衛門(印)・請人伊平次(印)→きくや庄助殿	寛延4年未之4月26日	堅紙・1通	え3865
一札之事(廻無き義のため金3兩御時借に付) 竹内新五右衛門(印)→菊屋庄助殿・清六殿	宝暦2年申12月晦日	堅紙・1通	え3548

(年賦など返済繰延証文綴)		綴/(え3657-1～22は一綴)・1綴	え3657
指上申一札之事(御用判代残り金2両1分2匁8分9厘返済延期に付借用証文) 岩草村肝入弥二右衛門・組頭七兵衛→八田競様御内野村忠兵衛様	宝暦2年申ノ12月	堅紙・1通	え3657-1
指上申一札之事(金11両8匁4分2厘当9月中まで延納に付借用証文) 小松原村肝煎平右衛門(印)・組頭平左衛門(印)他2名・長百姓源之助(印)→八田嘉介殿	宝暦2年申4月	堅紙・1通	え3657-2
差上申一札之事(金5両2分6匁8分4厘当9月中まで延納に付借用証文) 倉科村借主肝煎友右衛門(印)・受人組頭喜太夫(印)・同同断源次郎(印)・同長百姓太郎兵衛(印)→八田嘉助殿	宝暦2年申4月	堅紙・1通	え3657-3
指上申一札之事(金5両1分7匁9厘当9月中まで延納に付借用証文) 伊織村肝煎五郎右衛門(印)・組頭惣左衛門(印)・長百姓喜兵衛(印)→八田嘉助殿	宝暦2年申ノ4月	堅紙・1通	え3657-4
年賦証文之事(種手残金4両を酉之年より子之年迄1ヶ年に金1両分代粉をもって返済) 東福寺村借り主重次郎(印)・同断長蔵(印)→八田屋清兵衛殿	宝暦2年申12月	堅紙・1通	え3657-5
覚(金5両借用証文) 竹内新五右衛門(印)→菊屋庄助殿	宝暦2年申6月13日	堅紙・1通	え3657-6
一札之事(金8両来る3月中まで借継に付借用証文) 入山村太郎兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	宝暦3年酉ノ極月27日	堅紙・1通	え3657-7
借用申金子之事(金15両来戌3月中まで借用証文) 鎌原兵庫内唐沢三郎治(印)・坂上三郎兵衛(印)→幾久屋儀兵衛殿	宝暦3年酉ノ6月	堅紙・1通	え3657-8
一札之事(申酒代残り金3両3分当暮借用証文) 東福寺村肝煎傳左衛門(印)・組頭小太夫(印)・長百姓次右衛門(印)他1名→木町清兵衛殿	宝暦3年酉5月	堅紙・1通	え3657-9
借用申金子之事(金5両亥6月まで月1両の地方相当を引当) 下横田村借り主儀七(印)・受人茂左衛門(印)他1名→菊屋清兵衛殿	宝暦4年戌12月	堅紙・1通	え3657-10
一札之事(金12両子6月まで2割の利足にて借用証文、種にて返済) 西寺尾村預り主宇兵衛(印)→菊屋清兵衛殿	宝暦5年亥ノ12月	堅紙・1通	え3657-11
御借用申金子之事(上納金に指詰り金子6両子2月まで借用証文) 東福寺村借り主平蔵(印)・請人清左衛門(印)・喜平次(印)・同与五左衛門(印)→菊屋清兵衛殿取次	宝暦5年亥12月	堅紙・1通	え3657-12
一札之事(地頭祢津三十郎調物無心に付金2両1分当11月上旬まで借用証文) かり主宮原五郎兵衛(印)・通主太兵衛→菊屋傳兵衛殿	宝暦6年子ノ10月	堅紙・1通	え3657-13
借用申金子之事(借入金16両銀8匁6厘返済延期に付当子之暮より16年賦にて借り継ぎ) 真嶋村かり主千右衛門(印)・小河原村受人三郎兵衛(印)・西条村同断善蔵(印)→八田嘉助殿御手代菊屋傳兵衛殿、(奥書)馬喰町受合祖右衛門	宝暦6子年6月	堅紙・1通	え3657-14
借用申金子証文之事(金31両1分年々少々宛返済) 松木岩五郎(印)→八田新十郎殿・同鉄治郎殿	宝暦7丑之2月13日	堅紙・1通	え3657-15
御借用申金子事(金子30両、来る寅種子をもって返済) 専之助(印)・権左衛門(印)・孫三郎(印)→菊屋太七様	宝暦7年丑12月28日	堅紙・1通	え3657-16
一札之事(揚酒商売仕りたきに付金子借用証文) 杵淵村弥五右衛門(印)・受人市右衛門(印)他1名→菊屋久兵衛殿・同太七殿	宝暦7年丑ノ3月	堅紙・1通	え3657-17

1.内方/5.金融/2.貸付金

一札之事(子の飯米金2両2分催促の所金子出来かね来る辰6月中1両1分借用、11月中1両1分上納) 中御所村岡田組肝煎平七(印)・組頭勝右衛門(印)・長百姓金左衛門(印)、(奥書)大嶋武左衛門(印)→八田孫左衛門様	宝暦9年卯8月	縦紙・1通	え3657-18
預り申金子之事(金2両2分借用、来る巳の6月中年中2割を加え返済) 山王嶋村半兵衛(印)→松城八田藤吉殿	宝暦10年辰極月26日	縦紙・1通	え3657-19
借用申金子之事(金6両1分銀4匁5分樋口三八様御入用にて年中1割5分の利息、来る未10月3ヶ村物成の内にて返済) 樋口三八様御蔵本北高田村團右衛門(印)・請合曾右衛門(印)・同断北長池村御蔵本清兵衛(印)・請合儀左衛門(印)・同断杵刈村御蔵本孫右衛門→八田孫左衛門様	宝暦12年12月	縦紙・1通	え3657-20
預申金子一札之事(御奉公にて金6両時借にて借用証文、当秋中才覚返上) 片岡源左衛門(印「富雅」)・有上清七(印)→菊屋平助殿	宝暦13年未5月	縦紙・1通	え3657-21
御預り申金子之事(金子10両、1割5分の利息を添え借用証文、来る申極月返金) 江戸留守預り主小野松次郎・代判小野四郎兵衛(印)、(奥書)八田競(印)・小野四郎兵衛(印)→塩崎村天用寺・松平与五郎様御内清水只右衛門殿	宝暦13年未11月	縦紙・1通	え3657-22
差上ヶ申一札之事(未納御用初厳しく催促に付繰延金5両1分7分9厘借用、月2割半利息にて返済) 念仏寺村南組肝煎曾右衛門(印)他1名・組頭友右衛門(印)他1名・長百姓五兵衛(印)他1名→八田嘉助殿	宝暦2年申ノ4月	縦紙・1通	え3658
証文之事(金25両10年賦御無心に付) 矢沢帯刀内大野惣吉(印)、(裏書)矢沢帯刀(印)→八田鉄治郎殿	宝暦6年子12月	縦紙・1通	え3790
一札之事(御用初代相滞につき金12両2分未10月まで借用証文) * (端裏書)「宝暦八寅年十二月小松原村惣五郎金拾貳貳分年賦証文」 小松原村肝煎惣五郎(印)・組頭要助(印)・同惣左衛門(印)・長百姓源之助(印)・頭立平右衛門(印)→八田鉄次郎殿	宝暦8年寅12月	縦紙・1通	え3656
覚(巳年物成先納を書入をもって金5両借用につき) 大嶋武左衛門	宝暦10辰年6月	縦紙・1通	え3655
覚(初48俵は今夜払うべきところ相談の通り来巳2月10日までに払うに付) 宮尾安左衛門(印)・伊丹喜右衛門(印)、(裏書)池村八大夫(印)→傳兵衛殿	宝暦10年辰12月晦日	縦紙・1通	え3852
(借用関係書類一括)		綴/(え3533-1~5は一綴)・1綴	え3533
覚(保崎氏へ金1両返金ほか金銭書付)		横切紙・1通	え3533-1
覚(木町宗右衛門母、私方へ引取の旨届) 御奉行所	西6月26日	横切紙・1通	え3533-2
指上申一札之事(木町惣右衛門拝借金返金支障に付借入金108両内借に付) 馬喰町借主宇右衛門・荒神町同新兵衛、(奥書)馬喰町忠蔵・荒神町忠右衛門、(末書)杭全平左衛門・伴伊右衛門→矢野哉左衛門様御役所・前嶋源蔵様同断	宝暦11年巳12月	横切紙・1通	え3533-3
(金1両2分御恩借願書) 宗右衛門→源右衛門様	7月13日	小切紙・1通	え3533-4
(金30両の借用首尾よきなどに付書状) 増田徳左衛門→八田孫左衛門様・同嘉助様	卯月19日	横切紙・1通	え3533-5
借用申金子証文之事(出府費用のため金3両お取替に付、借家賃より返済) 増田助之丞(印)、(奥書)借家請人藤兵衛(印)・同断伊八(印)→八田孫左衛門殿・八田嘉三郎殿	宝暦12年午10月	縦紙・1通	え3552
借用申金子之事(金1両2分、種出来の節その勘定にて返済、明和2年5月まで返済) 肴町借主利右衛門(印)・	明和元年申閏12月	縦紙・1通	え3653

請人甚右衛門(印)→菊屋兵吉殿 (明和年間金銭貸借関係文書綴)			
預り申金子之事(金6兩借用証文) 預り主増田宗右衛門(印)・請人高久吉右衛門[印]→八田孫左衛門殿御手代藤吉殿	明和元年申11月	綴/(え3654-1~10は一綴)・1綴 堅紙・1通	え3654 え3654-1
覚(金7兩2分銀14匁5分9厘10ヶ年賦にて借用証文、返済は切米で) 借主中沢郡蔵(印)・請人松本又五郎(印)・妻科村請人徳兵衛(印)→八田孫左衛門殿御手代八弥殿	明和元年申12月	堅紙・1通	え3654-2
覚(返済不能に付借用金6兩を当秋中まで時借の旨添証文) 増田宗右衛門(印)→さく屋平助殿	明和3年戌3月20日	堅紙・1通	え3654-3
年賦証文之事(重三郎上納金指し詰りに付金3分7匁5分村借として4ヶ年賦にて借用証文) 東福寺村名主吉兵衛(印)・組頭儀太夫(印)・長百姓喜平次(印)・同断彦太夫(印)→八田孫左衛門殿御内平助殿	明和3戌年12月	堅紙・1通	え3654-4
覚(金1分680文借用証文) 借主藤右衛門(印)・請人小七(印)→菊屋傳兵衛殿	明和3年戌3月	堅紙・1通	え3654-5
借用申金子証文之事(拝領の切米を引当に金1兩、明和5年10月まで返済) 関口源右衛門(印)→八田孫左衛門殿	明和4年亥12月	堅紙・1通	え3654-6
借用申種手金之事(金10兩借用に付、種にて返済、明和5年6月まで返済) 西寺尾村預り主彦四郎(印)・受人瀬左衛門(印)→菊屋小七殿	明和4年亥12月	堅紙・1通	え3654-7
借用申金子之事(金10兩借用に付) * (端裏貼紙)「明和四亥十二月金拾兩 宮沢佐助殿」綿内村借り主宮沢佐助(印)→八田孫左衛門殿・八田喜右衛門殿	明和4年亥12月	堅紙・1通	え3654-8
御借用金証文之事(私持分のうち名所菅間西を書入にて金2兩、明和9年3月10日まで返済) 東条村借り主長太夫(印)・同村請人文右衛門(印)・同村肝煎平助(印)・組頭長太夫(印)・長百姓善蔵(印)→小山田主膳様御内富岡四郎治殿・小林吉左衛門殿	明和8年卯12月	堅紙・1通	え3654-9
一札之事(家賃金2兩借用に付) * (端裏貼紙)「かミや町甚左衛門かし証文」/後欠 甚左衛門(印)・久八(印)→八田孫左衛門殿役代甚助殿	明和9年辰之6月	堅紙・1通	え3654-10
指上申一札之御事(金1兩3分銭202文年々返済に付) 木町清左衛門(印)→菊屋平助殿	明和2年酉之3月	堅紙/(え3659~3719は紙綴一括)/ (え3666-1~59は一綴)・1通	え3666-31
(御領方返済仰せつけられ祖母老衰にて御赦免成し下されに付) * 下書 西条村之内新安口勘五平印→西念寺様御役人中	明和4亥年9月	堅紙/(虫損)・1通	え3809
御預り申金子証文御事(商売仕入方にて本金130兩を年1割の利足にて受取御預りに付) 御預り主菊屋平助(印墨消)・菊屋儀兵衛(印墨消)、(奥書)八田孫左衛門(印墨消)→篠原玄理様・竹内三太夫殿	明和4年亥2月	堅紙・1通	え3892
覚(家の代金9兩3分受取証文) 祐津三十郎内両角友右衛門(印)・立合儀兵衛(印)→小越町藤五郎殿	明和6年丑2月18日	堅紙・1通	え3651
一札之事(甚助借用金ほか差引金75兩を15ヶ年賦にて返済に付証文) * 写 みの屋大二郎印→美濃屋茂右衛門殿	明和7寅年	堅紙・1通	え3822
覚(金10兩受取証文) * (端裏書)「卯十二月廿一日致進返之 八田孫左衛門」 八田孫左衛門(印墨消)→山越六郎右衛門様	明和7寅年12月	堅紙・1通	え3943

1.内方/5.金融/2.貸付金

金子証文事(金30両借用に付、明和8年11月上旬まで返済) * (端裏書)「卯正月 八田」 八田喜右衛門(印)・八田孫左衛門(印)・宇佐美清十郎(印)、(奥書)小野喜太右衛門(印)→水井久太夫殿	明和8年卯之正月	堅紙・1通	え3649
年賦金證文之事(金3分479文5ヶ年賦にて借用に付) * (端裏貼紙)「中町ニ罷在候年賦證文六弥」 下小嶋田村 借り主六弥(印)・同村受人幸助(印)→菊屋傳兵衛殿	明和9年辰3月	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括) /(え3666-1～59 は一綴)・1通	え3666-37
(安永・寛政年間貸借関係文書綴)		綴/(え3648-1～31は一綴)・1綴	え3648
覚(金30両借用証文、安永3年11月まで返済) 小野喜太右衛門(印)→八田孫左衛門殿	安永3年午2月2日	堅紙・1通	え3648-1
別書一札之事(勘右衛門恩借の本証文に組判・村役判は迷惑至に付別書へ押印の旨添證文) 紺屋町忠太夫(印)・離山忠左衛門(印)→八田孫左衛門様御内	安永3年午9月	堅紙・1通	え3648-2
御金借用證文之事(商売仕入金差し詰まりに付仙仁村温泉入湯代を引当に金18両、安永6年12月まで返済) 紺屋町借主勘右衛門(印)・同丁受人忠太夫(印)・離山受人忠左衛門(印)→八田孫左衛門様御内	安永3年午9月	堅紙・1通	え3648-3
覚(地頭へ年貢金差詰まりに付八幡宮者修復金のうちより金300両借用証文、安永4年3月まで返済) * 写/矢部の裏書は安永5年6月28日付 信州伊那郡弥勒村祖助印他1名、(奥書)大和田利右衛門印他3名、(裏書)青山七藏印他1名、(裏書)矢部通俊印→更科郡八幡村神宮寺様御役僧宗眼寺様・御口入八田喜右衛門殿	安永3甲午年12月	堅紙・1通	え3648-4
覚(金15両借用仮証文、3月中旬百姓証文差出す旨、安永5年3月まで返済) * (端裏書)「赤沢」 赤沢内蔵進(印)→八田喜右衛門殿	安永4年未之閏12月	堅紙・1通	え3648-5
覚(金4両借用に付、安永5年暮まで返済) 樋口民衛(印)→八田孫左衛門殿	安永5年申9月10日	堅紙・1通	え3648-6
覚(百両無尽発起定まり兼に付来る二番会までに発起などの約定の旨一札) * (端裏貼紙)「宇佐美清十郎殿無尽頼印證」/奥書あり 宇佐美清十郎(印)・よしのや仲人卯右衛門(印)→八田孫左衛門殿	安永5年申12月朔日	堅紙・1通	え3648-7
御借用申金子證文之事(上納金差し詰りに付田地入初15俵を引当に金15両、安永6年10月晦日まで返済) 矢代村御借り主源之助(印)・名主文左衛門(印)・組頭左右衛門(印)・同断曾左衛門(印)・長百姓宇右衛門(印)→山越五百之助様御口合志津幸治郎殿	安永5年申12月	堅紙・1通	え3648-8
借用申金子證文之事(東條村田地を引当に金3両、安永6年12月まで返済) 木町名主仙助(印)・馬喰町請人奥右衛門(印)→菊屋大八様	安永5年申極月	堅紙・1通	え3648-9
月懸り御内拝借證文之御事(商売仕入入用に付土蔵書入にて金20両、安永5年7月25日まで返済) よしのや卯右衛門(印)、(奥書)八田喜右衛門(印)→岡部治右衛門様	安永5年申年4月27日	堅紙・1通	え3648-10
借用申金子之事(商売庭の儀に付金50両、安永6年3月20日まで返済) 菊屋嘉兵衛[印文「本店信州松代木町住八田」、(奥書)八田喜右衛門(印)、(奥書)菊屋嘉兵衛[印文「本店信州松代木町住八田」]→大澤佐左衛門殿、(奥書)菊屋伊左衛門殿	安永6年西正月	堅紙・1通	え3648-11
覚(西念寺和尚より諸道具を金3両で売払い代金受取証文) 中町善十郎借屋善三郎・代判儀左衛門(印)、(奥書)西念寺(印)→八田孫左衛門様	安永7年戌7月	堅紙・1通	え3648-12
覚(知行所のうち郡村高10石を引当に金1両2分借用に	安永7年戌12月	堅紙・1通	え3648-13

付、安永8年12月上旬まで返済) 里見多膳(印)→八田孫左衛門殿			
御借用引請一札之事(勘右衛門恩借金18両返済繰り延べ返済のため引請に付) 紺屋町忠太夫(印)・与惣右衛門(印)→八田孫左衛門様	安永8年亥年3月	縦紙・1通	え3648-14
覚(造酒仕入金に付金20両2分借用証文、安永8年中まで返済) 預り置善五郎(印)・證人嘉兵衛[印「本店信州松代木町住八田」]→伊左衛門殿	安永8年亥11月	縦紙・1通	え3648-15
御借用金証文(清野村八丁東山5表を場所を引当に金3両、安永8年11月10日まで返済) * (端裏貼紙)「(朱書)「安永八亥年」金三両安藤筑後殿」/(端裏書)「安藤筑後殿」 離山御借主安藤筑後[印]・同所受人忠左衛門(印)、(奥書)坂本常左衛門(印)	安永8亥年2月	縦紙・1通	え3648-16
指上申一札之御事(金6両時借証文) 御平川村源三郎(印)→大瀬登様	安永8年亥12月	縦紙・1通	え3648-17
一札之事(御蔵より酒代金借用中のため急度返済するべきに付売払の屋敷返却願) 紙屋町清蔵(印)→八田孫左衛門様	安永8年亥2月	縦紙・1通	え3648-18
差上申拝借証文之御事(東條村田地の入租4俵を引当に金3両、安永9年11月15日まで返済) 木町拝借人仙助(印)・同町請人治助(印)、(奥書)東条村南組名主文治郎(印)・組頭文右衛門(印)・長百姓清五郎(印)→高橋傳治様・岡部治右衛門様・橋本永助様御役所	安永8年亥12月	縦紙・1通	え3648-19
一札之事(金5両8ヶ年に切替え借用証文) * (端裏貼紙)「金五両小林門右衛門様」 借主小林門右衛門(印)・請人平林吉之助(印)→八田孫左衛門殿	安永9年子12月	縦紙・1通	え3648-20
指上申金子御借証文之事(切米書入にて金1両、安永9年暮まで返済) * (端裏貼紙)「併内證人 利助」 竹山丁借り主利助(印)・真嶋村受人兵左衛門(印)→八田孫左衛門様	安永9子年3月	縦紙・1通	え3648-21
差出申一札之事(千助欠落により千助家内の者差置下さる様願に付) * え3648-23と関連 親類吉蔵(印)・請人治助(印)・家請源兵衛(印)・同断勘六(印)→大屋万助殿・五人組中	安永9年子12月	縦紙・1通	え3648-22
指出申一札之御事(引当の畑を差出に付欠落した千助の借金返済の旨取成し願) * え3648-22と関連 木町千助子千次郎・親類吉蔵(印)・同断治助(印)→東条村三御役人中	安永9年子12月	縦紙・1通	え3648-23
覚(メ金5両1分の分勘定書上)	(近世)9月	横切紙・1通	え3648-24
御借用金証文之御事(金3両、天明元年3月まで返済) * (端裏書)「(朱書)安永九子十二月」/(端裏貼紙)「元金之内老歩九りん辰暮取」/(端裏貼紙)「金三両布施高田村千右衛門」 布施高田村御借主千右衛門(印)、(奥書)新馬喰町受人義七(印)・布施高田村八郎兵衛(印)→坂本常左衛門様	安永9年子12月	縦紙・1通	え3648-25
覚(坂本常右衛門より口入金の内金8両請取に付) 菊屋友吉(印)→山田藤右衛門様御内喜八殿	(近世)未11月20日	小切紙・1通	え3648-26
御借用金証文之事(金5両借用に付、天明7年2月晦日まで返済) * (端裏貼紙)「(朱書)「天明六巳年」金五両寺町證蓮寺」 寺町御借主證蓮寺(鼎型印)・請人坂本常左衛門→師岡十郎右衛門様	天明6年子12月	縦紙・1通	え3648-27
覚(金2両借用証文、天明8年3月まで返済) * (端裏貼紙)「(朱書)「天明七未年」金貳両坂原兵助殿」 坂原兵助(印)→坂本常左衛門様	天明7未12月23日	横切紙・1通	え3648-28

1.内方/5.金融/2.貸付金

借用仕金子證文之事(金1兩2分借用に付、天明3年5月中旬まで返済) * (端裏貼紙)「(朱書)「天明二寅年」金壹兩貳分町川田村弥兵衛」 町川田村借り主弥兵衛(印)・右同村請人弟半治郎(印)→坂本常左衛門様	天明2寅年12月	縦紙・1通	え3648-29
口上書以奉願候御事(御口合金難渋のため無利足返済に付) 荒町村伊平治(印)→坂本常左衛門殿	寛政9巳年12月	縦紙・1通	え3648-30
口上覚(引当の家屋敷を平作方へ売払いに付八田嘉助よりの借入金元金返済にて御聞済下さるに付御礼一札) 伊勢町喜三郎(印)・同町宇八(印)・佐藤十治郎(印)→八田孫左衛門殿	安永10丑年2月	縦紙・1通	え3648-31
金子證文之事(去年中身上必至に付借用金130兩返済不能のため10年賦に切替、引当は鏡屋町に所持の家屋敷) * (端裏書)「北村茂兵衛殿へ年賦金證文扣未八月」 預主八田孫左衛門・請合八田喜右衛門・請合宇佐美清十郎→北村茂兵衛殿	安永4未歳8月	縦紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3625
覚(金30兩2分銀10匁利息御免にて当6月中根津要左衛門より内拝借返済にて残金この度返上の処金子調達難渋に付借用金引請証文) 引請人善助[印]・右同断嘉兵衛[印]・證人大八→八田孫左衛門様・美濃屋茂兵衛様	安永6年酉12月	縦紙・1通	え3793
(青柳善兵衛名目借用金関係綴)		綴/(え3884-1～4は一綴)・1綴	え3884
覚(金2兩1分9匁山布施村ほか各村年賦金残金差引勘定書) * (端裏書)「孫左衛門様」 (青柳)善兵衛		横切継紙・1通	え3884-1
(包紙) * (包紙上書)「青柳木善兵衛方差引書当不用之書類候得共先年銭指引之義ニ付残置」		包紙・1点	え3884-2
(借用金返済分差引勘定を確認願) * (端裏書)「青柳善兵衛殿方差引当時不用書類」 十郎治→(八田)孫左衛門様	寅閏11月	横切継紙/(貼紙あり)・1通	え3884-3
口上書ヲ以申上候御事(借用金5兩滞納のため本金返済につき利足支払免除の旨金主様へ伝達願) * (端裏貼紙)「安永七年戌十一月網懸村弥次兵衛金五兩青柳善兵衛名目を以借証文尤古證文戸当時不用」 網掛村弥治兵衛(印)→青柳善兵衛様	安永7年戌11月	縦紙・1通	え3884-4
覚(金20兩年1割5分にて中借証文) 伊左衛門(印)・善五郎(印)→八田孫左衛門様	安永9年子3月15日	縦紙・1通	え3792
(金子借用証文綴)		綴/(え3647-1～16は一綴)・1綴	え3647
御借用金證文之事(よんどころ無き要用に付当社地借地代初を引当に金4兩1分) * (端裏書)「安藤筑後」/(端裏貼紙)「(朱書)「天明元年丑」金四兩壹歩 安藤筑後」 離山村安藤筑後[印]・同所惣代受人弥五郎(印)他1名→御口合坂本常左衛門殿	天明元年丑12月	縦紙・1通	え3647-1
覚(旦那要用にて金7兩2分借用証文) * (端裏貼紙)「金七兩貳分 小山惣大夫殿」 鎌原司馬内小山惣大夫(印)→八田孫左衛門殿	天明元年丑閏5月	縦紙・1通	え3647-2
覚(旦那要用にて金5兩借用証文) * (端裏貼紙)「金五兩 鎌原司馬様御内小山惣大夫殿」 鎌原司馬内小山惣大夫(印)→八田孫左衛門殿	天明元丑6月	縦紙・1通	え3647-3
一札之事(弟形付に付金1兩無利息借用証文) * (端裏貼紙)「金壹兩 小林門衛門様」 小林門衛門(印)→八田孫左衛門殿	天明元年丑5月	縦紙1通	え3647-4
覚(よんどころ無き要用にて金4兩1分借用証文) 宮下傳藏(印)→八田孫左衛門殿	天明2歳寅之12月	縦紙・1通	え3647-5

覚(よんどころ無き御無心にて金3兩借用手形証文、来春尾萱売払い返済) 坂原兵助(印)→八田孫左衛門殿	天明2寅年12月24日	縦紙・1通	え3647-6
覚(よんどころ無き要用にて金15兩借用証文) 宮下伊右衛門代印宮下傳蔵(印)→八田孫左衛門殿	天明2歳寅12月	縦紙・1通	え3647-7
借用仕金子借用証文之御事(上納金差し詰まりにて皆神山御修復金のうち金10兩御口入にて借用、引当は借主持高名所姫塚の入上初15俵) * (端裏書)「市村幾右衛門」市村南組御借主幾右衛門(印)・親類御請合林左衛門(印)・御請人藤治郎(印)・合地五人組代御受人清兵衛(印)・(奥書)市村南組名主太野右衛門(印)・組頭又右衛門(印)・長百姓武右衛門(印)→八田鍵之助様御役人中	天明3卯年11月	縦継紙・1通	え3647-8
借用仕金子証文之御事(商売方入用にて元利ノ金6兩銀12匁、来る11月25日限り返上に付) * (端裏貼紙)「金六兩木町伊左衛門」御借主菊屋伊左衛門(印)・證人増田惣右衛門(印)→大嶋小左衛門様・徳嵩甚蔵様	天明3卯年10月5日	縦紙・1通	え3647-9
借用申金子証文之御事(金1兩2分1ヶ月銀7分5厘の利息にて口入れ下さり、当11月中元利とも返上に付) * (端裏貼紙)「金壹兩貳分肴町嘉左衛門」肴町借主嘉左衛門(印)・五人組甚三郎(印)・同断市松(印)・同断助三郎(印)・同断十蔵(印)→御口入伊左衛門殿	天明3年卯2月	縦継紙・1通	え3647-10
借用申金子証文之事(私所持の畑の入上初68俵を引当に金50兩1ヶ月銀9分の利息にて口入れ下さり借用、当9月下旬限り元利とも返上に付) 上平村借主瀬左衛門(印)・名主弥右衛門(印)・組頭文蔵(印)・長百姓新八(印)→坂本常左衛門様・御口入菊屋条助殿	天明4年辰6月	縦紙・1通	え3647-11
覚(差懸り入用にて御手前より口入れ下さり金6兩借用証文元利とも返済に付) * (端裏貼紙)「(朱書)「天明五巳四月」金六兩小野喜太右衛門様」小野喜太右衛門(印)→八田孫左衛門殿	天明5年巳4月27日	縦紙・1通	え3647-12
覚(去る巳年御発起金50兩無尽加入にて当年圖当てにて懸戻金1割5分廻し廣田村奥右衛門殿引請金15兩2分銀4分9厘御渡し残金10兩2分銀14匁5分1厘に付) * (端裏貼紙)「差当不用印證」八田孫左衛門→関田源丞殿	天明7未年12月	横切継紙・1通	え3647-13
覚(去る巳年発起金50兩差引残金10兩2分銀14匁5分1厘に付) * (端裏貼紙)「関田御氏無尽取かわせ」関田源丞(印)→八田孫左衛門殿	天明7未年12月	縦紙・1通	え3647-14
覚(無尽懸金1兩2分借用証文、1割5分加え来たる申12月返上に付) * (端裏貼紙)「返し證文金壹兩貳分友野園八様」借主友野園八(印)・請人樋口伊八(印)→八田孫左衛門殿	天明7年未12月	縦紙・1通	え3647-15
御借用金証文之事(私所持屋敷引当にて金5兩1ヶ月7分5厘内借、11月中元利とも返上に付) * (端裏貼紙)「五兩中町与惣治(朱書)「天明八申年九月」」中町御借主与惣治(印)・五人組御立合覚左衛門(印)他2名→菊屋傳兵衛殿	天明8申年9月	縦紙・1通	え3647-16
覚(亥酉12月中御預り金10兩利息の内2分銀5匁返上せども金3兩1分銀10匁の勘定は御取り延べ願) 坂原兵助(印)→八田鍵之助様	天明元丑年12月	縦紙・1通	え3794
借用金子証文之事(上納金差詰まりにて名所糶尾の入上初7俵余を引当に金6兩借用に付) * (端裏書)「市村六右衛門」/(端裏貼紙)「(朱書)「天明二寅年」金六兩市村六右衛門」市村南組借主六右衛門(印)・同断幸左衛門(印)・請人藤左衛門(印)・(奥書)同村(市村南組)太野右衛門(印)・組頭又右衛門(印)・長百姓武右衛門(印)→坂本常左衛門様	天明2寅年12月	縦継紙・1通	え3644

1.内方/5.金融/2.貸付金

一札之事(押田村坂原兵助よんどころ無き要用にて金6両借用仮証文)＊(端裏貼紙)「元金六両 増田惣右衛門」 預り主増田惣右衛門(印)、(奥書)八田鍵之助(印)→坂本常左衛門殿	天明2年寅12月	縦紙・1通	え3645
(八田嘉右衛門宛金子借用証文関係綴)		綴/(え3728-1～50は一綴)・1綴	え3728
覚(船細工料5両借用証文、細工料をもって追々返済)＊(端裏貼紙)「金五両相沢郷助殿 鍛冶細工所普請入用ニ付」 相沢郷助(印)→八田嘉右衛門殿	文化5年辰6月	横切継紙・1通	え3728-1
覚(2両2分受取借証文) 樋口角右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化7年7月	横切継紙・1通	え3728-2
覚(要用に付金1両借用証文)＊(端裏貼紙)「午十二月 金壹両 春原六左衛門殿」 春原六左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化7年午3月	横切継紙・1通	え3728-3
覚(よんどころなき要用に付金10両借用証文) 森木唱(印)→八田嘉右衛門殿	丑6月	横切紙・1通	え3728-4
覚(半鐘代金不足に付金1両時借証文)＊(端裏貼紙)「金壹兩貳分辰三郎手元より出ス 荒町願共庵宝寿房へ貸切手」 荒町村願共庵宝寿→八田辰三郎様	文化9申年11月12日	横切紙・1通	え3728-5
覚(具足1領代金5両借用証) 八田競内野村安右衛門印→群村繁太郎殿	文化10酉年4月	横切紙・1通	え3728-6
覚(郡村繁太郎、5両返済困難に付具足預け置きに付) (八田)競→(八田)嘉右衛門様	文化10酉年4月	横切紙・1通	え3728-7
覚(要用に付2両借用証文、11月に返済) 宮下八郎左衛門(印)→八田孫左衛門殿	天明4年辰9月14日	横切紙・1通	え3728-8
覚(要用に付金12両借用証文、引当として貸付金元金12両) 宮下八郎左衛門(印)→八田孫左衛門殿	天明4年辰4月	横切継紙・1通	え3728-9
覚(要用に付2両時借証文) 宮下八郎左衛門(印)→八田孫左衛門殿	天明4年辰7月9日	横切継紙・1通	え3728-10
覚(要用に付2分時借証文) 無印宮下八郎左衛門→八田孫左衛門殿	天明4年辰7月朔日	横切紙・1通	え3728-11
覚(要用に付金1両1分借用証文、年1割5分の利足) 宮下傳藏(印)→八田孫左衛門殿	天明2年寅12月	横切紙・1通	え3728-12
御時借仕金子證文御事(口合にて金3分借用証文、3月下旬に返上)＊(端裏貼紙)「未十二月金三分同心町幸右衛門」 同心丁御借主幸右衛門(印)・同所請人源右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	寛政11未年12月	横切紙・1通	え3728-13
(時借金他差引勘定書)		横切継紙・1通	え3728-14
覚(よんどころなき要用に付金10両借用証文)＊(端裏貼紙)「文化十酉年二月 金拾両 松本源八殿」 松本源八→八田嘉右衛門殿	文化9酉(マ)年2月8日	横切紙・1通	え3728-15
覚(入用に付26両借用証文) 松本源八(印)→八田嘉右衛門殿	文化9申年12月	横切紙・1通	え3728-16
覚(金2分内々時借証文)＊(端裏貼紙)「文化十一亥年十月 金貳分 飯嶋理左衛門印書」 飯嶋理左衛門(印)→八田辰三郎様	文化11年戌10月	横切継紙・1通	え3728-17
覚(今晚出金に付金5両借用証文、引当として暮の無尽会の掛金差引分)＊(端裏貼紙)「文化十二亥年十二月 西村弥作殿貸金滞ニ付及懸合所当子暮無尽懸金差継呉候様印書」 正村弥作(印)→八田嘉右衛門殿	文化12年亥12月18日	横切紙・1通	え3728-18

覚(よんどころなき要用に付金1両2分時借、正月下旬返済) 河野与左衛門(印)→八田嘉右衛門様	文化12亥12月	横切紙・1通	え3728-19
覚(私発起無尽差引残金返上金3分余借用) * (端裏貼紙)「文化十四丑十二月窪田小右衛門殿無尽付借證文」 窪田小右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化14年丑12月	横切紙・1通	え3728-20
覚(借入金残金返済猶予願) (窪田)小右衛門	(文化15年)寅正月	横切継紙・1通	え3728-21
覚(よんどころ無き要用に付金5両借用) 森木唱(印)→八田辰三郎殿	文政元寅7月	横切紙・1通	え3728-22
覚(よんどころ無き要用に付2分取替借用証文) 安藤劉庵(印)→八田嘉右衛門殿	文政4年巳正月	横切紙・1通	え3728-23
覚(よんどころ無き要用に付2分借用証文) * (端裏貼紙)「里見勘二郎殿式分」 勘治郎→(八田)嘉右衛門様	丑12月	横切紙・1通	え3728-24
覚(金2両余借用証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文政5年午12月22日	横切紙・1通	え3728-25
覚(残金5両は預り置くに付) * (端裏書)「長谷川公午暮指引書入用物」 長谷川善兵衛	文政5年午12月	横切紙・1通	え3728-26
覚(金5両時借にて受取証文) 樋口角右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	午3月9日	横切継紙・1通	え3728-27
(よんどころ無き要用に付金1両借用証文) 樋口角右衛門(印)→八田孫左衛門殿	酉12月	横切紙・1通	え3728-28
覚(要用に付金1両借用証文) 正村弥作(印)→八田嘉右衛門殿	文政5年午7月5日	横切紙・1通	え3728-29
覚(大小1通ほか2品にて金5両借用証文) * (端裏貼紙)「巳十二月五両也 又二郎懸り鍛冶町喜兵衛」 かし町喜兵衛(印)→菊屋又治郎様	寛政9丁巳12月27日	横切紙・1通	え3728-30
(残金1両2分引次勘定済み願い証文) 兵助	酉6月2日	横切紙・1通	え3728-31
覚(御内借金35両のうち金8両引替証文) 小山田采女内小嶋庄一(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七殿	文政9戌年2月	横切継紙・1通	え3728-32
覚(よんどころ無き要用に付金10両借用証文) * (端裏貼紙)「拾両 宇佐美清十郎殿」 宇佐美清十郎(印)→八田孫左衛門殿	安永7年戌極月	横切紙・1通	え3728-33
覚(金4両2分受取証文) * (端裏貼紙)「済切丑三月請取」 八田嘉右衛門(印墨消)→木内求喜殿	文政6未年12月20日	横切紙・1通	え3728-34
覚(金4両取替金受取証文) * (端裏書)「済切丑正月請取」 八田嘉右衛門(印墨消)→関田守之丞殿	文政8酉年5月25日	横切紙・1通	え3728-35
覚(相預置候方、御借用方書上) 守之丞	丑4月	横切継紙・1通	え3728-36
覚(古証文1通受取証文) * (端裏貼紙)「文政九戌年四月金百両證文一通石渡村三良右衛門二借遣候印書」 石渡村三左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	文政9戌年4月	横切継紙・1通	え3728-37
覚(金2分借用証文) * (端裏貼紙)「酉十二月 内方 金式分荒町下屋敷与左衛門」 荒町下御屋敷与左衛門(印)→八田御内金七様	酉12月21日	横切紙・1通	え3728-38
覚(肴屋角左衛門ほか2名計5両借用証文) 願人木村与兵衛・拝借人磯右衛門	丑9月	横切紙・1通	え3728-39
覚(金2分借用証文) * (端裏貼紙)「金式分 小林門右衛門様」 小林門右衛門(印)→八田孫左衛門殿	申5月7日	横切紙・1通	え3728-40
覚(よんどころ無き要用に付金3両借用証文) 彦村嘉左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	閏4月2日	横切紙・1通	え3728-41

1.内方/5.金融/2.貸付金

覚(元借用金3両2分返済勘定書) 治左衛門→孫左衛門様	12月	横切紙・1通	え3728-42
覚(金2両借用証文) * (端裏貼紙)「(朱書)「子四月」式両 安藤筑後殿」 安藤筑後[印]→八田孫左衛門様	子4月19日	横切紙・1通	え3728-43
覚(よんどころ無き要用に付金1両借用証文) * (端裏 貼紙)「申暮時貸手形 金壹両 里見武右衛門様」 里見武右 衛門(印)→八田孫左衛門殿	寛政12年申12月20日	横切紙・1通	え3728-44
覚(よんどころ無き要用に付金6両借用証文) * (端裏 貼紙)「巳大晦日 金六両也 前嶋作左衛門様」 前嶋作左衛 門(印)→八田嘉右衛門殿	巳12月大晦日	横切紙・1通	え3728-45
覚(金3両借用証文) 樋口民衛(印)→八田嘉右衛門殿	申8月12日	横切紙・1通	え3728-46
覚(よんどころ無き要用に付金5両借用証文) * (端裏 貼紙)「(朱書)「卯三月廿日」 五両 祢津三十郎様」 →八 田嘉右衛門とのへ	卯3月晦日	横切紙・1通	え3728-47
覚(金1両借用証文) 樋口伊八→八田嘉右衛門様	寛政11年未12月	横切紙・1通	え3728-48
覚(金3両借用証文) * (端裏朱書)「済切」 松木源八(印) →八田嘉助殿	天保2卯年10月3日	横切紙・1通	え3728-49
覚(金1両借用証文) * (端裏朱書)「済切」 笠原源兵衛定 國(花押)→笠井和七殿	寅2月15日	横切紙・1通	え3728-50
一札之事(江戸表八田鍵之助方よりよんどころ無き要 用にて金3両借用証文) * (端裏貼紙)「金3両 増田氏」 借り主増田惣右衛門(印)・木町請合又治良(印)→坂本常 左衛門様	天明3年卯9月	堅切紙・1通	え3646
借用申金子之事(金2分路用金として時借りするに付) 白子屋嘉兵衛(印)→松坂屋善五郎様	天明5巳年8月20日	堅紙・1通	え3842
御借用金證文之事(当午上納金差し詰まりにて金10両 年1割5分にて来る未11月中旬まで借用に付) * (端 裏貼紙)「拾両東条村徳左衛門、(朱書)天明六午年」/(端裏 貼紙)「金拾両東条村三役人借未ノ十一月中旬迄」 東条村 南組御借り主名主徳左衛門(印)・組頭十左衛門(印)・長百 姓藤吉(印)→八田孫左衛門殿	天明6午年12月	堅紙・1通	え3804
御借用金證文之事(当村上納金差し詰まりにて金15両 年1割5分にて来る申11月15日限り借用に付) * (端 裏貼紙)「(朱書)「天明七未年」拾両東条村徳左衛門」 東条 村南組借主名主徳左衛門(印)・同断組頭喜惣治(印)・同断 長百姓仁平治(印)→坂本常左衛門殿	天明7未年12月	堅紙・1通	え3805
覚(金50両借用金1ヶ年金5両宛返済に付) * (端裏貼 紙)「廣田氏金五拾両證文請取」 廣田筑後代吉村嘉右衛門 (印)→八田孫左衛門殿	天明7年未年6月24日	堅紙・1通	え3810
御借用仕金子證文御事(具足1領を引当として金2両借 用に付) 五反田御借主長太夫(印)・離山御請人源兵衛 (印)→大瀬登様御内御役人中様	天明8申年12月	堅紙・1通	え3929
(寛政期金子借用証文関係綴)		綴/(え3643-1～ 36は一綴)・1綴	え3643
年賦金證文之事(名所半のふ田100俵取りの場所を書 入れ金100両10ヶ年賦にて借用に付) 坂原兵助(印)、 (奥書)治太夫(印)・組頭七郎兵衛(印)・百性代平蔵(印)→ 八田孫左衛門殿	寛政元酉年3月	堅紙・1通	え3643-1
覚(金3両6ヶ年賦にて借用に付) * (端裏貼紙)「(朱書) 「寛政二戌十二月」三両大沢宗壽老」 加判吉田源左衛門 (印)・大沢宗壽(印)→八田嘉右衛門殿	寛政2年戌12月	堅紙・1通	え3643-2
添證文之事(東条村徳左衛門借財金25両私引受に付一	寛政2年戌5月	堅紙・1通	え3643-3

札) 清野村引請人武平(印)・東条村御請人仙助(印)→八田孫左衛門殿			
御借用金證文之事(村中上納金に差支えのため名所鍋屋敷沖の入上粉50俵を引当に金50兩、寛政2年11月15日まえ返済) 吉田村御借主名主佐左衛門(印)・同断組頭武左衛門(印)・同断長百姓重治郎(印)・惣代頭立大蔵(印)→御口入坂本常左衛門様	寛政2戌年3月	堅継紙・1通	え3643-4
覚(無心に付金7兩1分2朱借用仮証文、百姓差し越し本証文取り替わし、引当は隠居免、寛政4年正月20日まで返済) * (端裏貼紙)「返し證文金七兩壹分式朱友野園八様」 友野園八(印)・請合畑新左衛門(印)→八田孫左衛門殿	寛政3年亥12月	堅紙・1通	え3643-5
覚(金5兩借用に付、寛政3年3月下旬まで返済) * (端裏貼紙)「(朱書)「寛政三亥正月十日」金五兩師田丈右衛門様」 師田丈右衛門(印)→八田孫左衛門殿	寛政3亥正月10日	堅紙・1通	え3643-6
一札之事(金12兩1分銀7匁5分4ヶ年賦にて借用に付仮証文) * (端裏貼紙)「寛政四子十二月金拾貳兩貳分七匁五分友野園八殿」/(端裏貼紙)「古借方證文」 借用主友野園八(印)・加判長谷川男也(印)→八田孫左衛門殿	寛政4年子12月	堅紙・1通	え3643-7
借用申金子證文之事(入上粉8俵半の地所を書入にて金7兩、寛政5年11月まで返済) * (端裏貼紙)「七兩鍛冶町重三郎」/(端裏貼紙)「内式兩済残元金五兩段々難渋ニ付相引候分散割三分にて[] (紙縊にて見えず) 切手遣取切切手遣御座候」 鍛冶町借り主重三郎(印)・十人町請人善八(印)、(奥書)東条村之内町分名主傳左衛門(印)・組頭新右衛門(印)→八田孫左衛門様御内傳兵衛殿	寛政4子年11月	堅継紙・1通	え3643-8
口上覚(万端相慎みに付女ばかりで引き続き借地願いたき旨親類一同連印一札) 木町三左衛門後家(印)・同人役代半十郎(印)・同人親類紺屋町半四郎(印)→大屋宗右衛門殿御後室様御役代太七殿	寛政4子年9月	堅紙・1通	え3643-9
一札之事(去年12月譲り渡しの虫歌の山を請返したき旨願書) 紺屋町願主勇蔵(印)・いせ町立合吉左衛門(印)→菊屋傳兵衛殿	寛政5丑年7月	堅継紙・1通	え3643-10
覚(無尽講金5兩返済受取証文) * (端裏貼紙)「金五兩木町助右衛門」/(端裏貼紙)「文化十二亥年四月改差当不用之印書ニ候得共致一覽置可申候」 木町助右衛門(印)→八田孫左衛門様	寛政5丑年12月	堅紙・1通	え3643-11
借用申金子證文之事(借り主持分のうち入上粉2俵2斗5升分を引当に金1兩2分、寛政7年12月上旬まで返済) * (端裏貼紙)「元金済證文」 東条村貸主惣左衛門(印)・受人徳治郎(印)・名主仁左衛門(印)・組頭徳治郎(印)・長百姓常右衛門(印)→小野□(虫損)左衛門様御内	寛政6年寅12月	堅紙・1通	え3643-12
御借用申金子證文之事(真綿仕入金に差し支え金20兩、引当は家屋敷・土蔵、寛政6年10月まで返済) * (端裏貼紙)「(朱書)「内方」式拾兩中野町甚左衛門」 中野村借用人甚左衛門(印)・同断善太郎(印)・同所請人幸八(印)→八田孫左衛門様代伊七殿	寛政6年寅6月	堅継紙・1通	え3643-13
御借用申金子之事(私持分の地所入上粉4俵余を引当にて金2兩2分、寛政7年12月上旬まで返済) * (端裏貼紙)「此金子卯大廿日見世へ請取候由此方へ相済不申候詮議之上本證文返し可申事尤見世ニ請取候事実正ニ付辰差引ニ除遣ス 東条村半右衛門殿」 東条村北組御借主半右衛門(印)・請人峯松(印)・名主仁左衛門(印)・組頭徳治郎(印)・長百姓常右衛門(印)→八田孫左衛門様	寛政6年寅12月	堅紙・1通	え3643-14
覚(金2兩借用証文、寛政7年12月まで返済) * (端裏貼紙)「式兩吉村嘉右衛門殿」 廣田筑後代吉村嘉右衛門(印)	寛政6寅年2月	堅紙・1通	え3643-15

1.内方/5.金融/2.貸付金

・同嘉吉(印)→八田孫左衛門殿			
借用申金子之事(継目願上京のため金4兩借用) * (端裏貼紙)「四兩内山礪美殿(朱書)「寛政六寅四月」」 借主内山礪美(印)・請人森左近(印)・伊勢町同断勇左衛門(印)・同町同断太右衛門(印)→八田孫左衛門様	寛政6年寅4月	縦紙・1通	え3643-16
御借用申金子證文之御事(御馬出の方建屋・酒道具書入にて商売仕入のため金10兩借用に付、寛政7年3月まで返済) * (端裏貼紙)「拾兩中町傳右衛門」 中町御借主傳右衛門(印)・小越町請人新兵衛(印)・伊勢町同断善五郎(印)→伊勢町菊屋傳兵衛殿	寛政6年寅閏霜月日	縦紙・1通	え3643-17
御借用仕金子證文御事(難渋に付私所持家屋敷を書入れ金4兩、倅塗師細工商売開始のため有難く、寛政8年12月まで返済) * (端裏貼紙)「(朱書)「寛政七卯年」四兩肴町名主甚左衛門」 肴町御借り主甚左衛門(印)・倅御請合喜左衛門(印)・御請合組合清兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	寛政7卯年12月	縦紙・1通	え3643-18
借用申金子證文之事(入上初8俵余の粉を引当にて金12兩、寛政9年10月中旬まで返済) * (端裏貼紙)「森村八郎左衛門古證文」/(端裏書)「済」 森村借主八郎左衛門(印)・名主八左衛門(印)・組頭勘右衛門・長百姓善四郎(印)→菊屋伊七殿	寛政8辰年7月	縦紙・1通	え3643-19
御借用金證文之事(元利とも相応の品引当にて金5兩、寛政10年11月10日まで返済) * (端裏貼紙)「(朱書)「巳」金五兩坂本氏御口入新馬喰町音吉」 御借主新馬喰町音吉(印)・かミヤ町御受人長五郎(印)・同断明王院[印]→八田競様御役人衆中様	寛政9(年)巳4月	縦紙・1通	え3643-20
寛(細工御前借りとして金1兩2分、返済遅滞の節は鬻金にて支払) * (端裏貼紙)「みそか貸付金壹兩貳分鍛冶町勇八」 鍛冶町御借り主勇八(印)・同所受人新蔵(印)他1名→菊屋傳兵衛殿	寛政9年巳12月	縦紙・1通	え3643-21
御借用金證文之事(入上初6俵の地所引当にて金5兩、寛政10年11月15日まで返済) * (端裏貼紙)「金五兩橋詰村仁兵衛」 橋詰村名主御借主仁兵衛(印)・組頭兵左衛門(印)・長百姓藤右衛門(印)・頭立惣代与右衛門(印)・(奥書)紺屋町御町宿藤吉(印)→坂本常左衛門様	寛政9巳年12月	縦継紙・1通	え3643-22
御借用金證文之事(御蔵継初10俵引当にて金2兩2分、寛政11年11月15日まで返済) * (端裏貼紙)「坂本氏御口合金貳兩貳分新吉」 坂本忠太組新吉(印)・同断受人善八(印)→八田競様御役人中	寛政10午年12月	縦紙・1通	え3643-23
御借用金證文之事(上納金に差詰り当村名所鳴子沖入上初10俵余を引当に上金13兩、残金11兩1分を9ヶ年賦にて返済) * (端裏貼紙)「未暮年賦證文後町村弥市」後町村御借り主弥市(印)・親類受人仁左衛門(印)・組合久七(印)・名主六左衛門(印)・組頭善右衛門・長百姓七右衛門(印)・頭立伊左衛門(印)他1名→八田競様御役人中様	寛政11未年12月	縦継紙・1通	え3643-24
御内借金證文之御事(上納金に差詰り山神山1割を引当にて上金10兩、寛政11年12月下旬まで返済) * (端裏貼紙)「未十一月出金拾兩内方牧内村武平次殿遣七左衛門」/(端裏貼紙)「右者元金拾兩相済、右借主難渋可有候間利分致用捨呉候様申聞候得共仍之当人江遣候二日分ト呉可申心得二候得共当年二月何処江付も有候手形も遣出候」牧内村借主名主七左衛門(印)・組頭新五左衛門(印)・長百姓源左衛門(印)・請人武左衛門(印)→八田競様御取次中様	寛政11年未11月	縦継紙・1通	え3643-25
御借用金證文之事(上納金に差詰りなど川端西沖ほか入上初10俵引当にて金10兩、寛政12年11月15日まで返済) * (端裏貼紙)「未十二月金拾兩北高田村義平次太兵衛」 北高田村借り主儀平次(印)・同断太兵衛(印)・名主佐	寛政11年未12月	縦継紙・1通	え3643-26

五兵衛(印)・組頭久兵衛(印)・長百姓文左衛門(印)→八田競様御役人中様			
御借用申金子之事(屋敷・無役高入上昶4俵を引当にて金3両2分借用に付、寛政12年3月15日まで返済)＊(端裏貼紙)「寛政十一未十二月金三両式分内方東条村半右衛門」東条村御借主半右衛門(印)・請入与惣治(印)・名主仁左衛門(印)・組頭与左衛門(印)・長百姓常右衛門(印)→八田孫左衛門様	寛政11年未12月	縦紙・1通	え3643-27
覚(忤拝領2カ村内の私隠居料を引当に金4両借用証文付、寛政12年12月上旬まで返済)＊(端裏貼紙)「未十二月金四両原治左衛門様」原治左衛門(印)→八田孫左衛門殿	寛政11年未12月	縦紙・1通	え3643-28
借入金証文之事(扶持米を引当に金3両借用に付、寛政12年11月15日まで返済)＊(端裏貼紙)「寛政十一未年笠原軍平殿金三両也」笠原軍平(印)、(奥書)窪田内蔵右衛門(印)→平林縫殿進殿、(奥書)平林縫殿進殿	寛政11(年)未12月	縦紙・1通	え3643-29
御内借証文之御事(上納金に差詰り名所水揚場の入上昶14俵を引当に金15両、寛政12年11月15日まで返済)＊(端裏貼紙)「寛政十二申三月金拾五兩羽尾村運右衛門」金子御借主羽尾村運右衛門(印)・請入弥右衛門(印)・名主善次郎(印)・長百姓佐次右衛門(印)他1名→八田孫左衛門様御内玉井傳兵衛殿	寛政12年申3月	縦紙・1通	え3643-30
覚(借金元利金80両2分銀9匁の利分を差引、元金のみにて御用捨下されるに付御札の旨添証文)久兵衛(印)・卯兵衛(印)→八田嘉右衛門様	寛政12年申3月	縦紙・1通	え3643-31
覚(金3両借用に付一札)＊(端裏貼紙)「寛政十二申三月金三両松坂屋久兵衛」/(端裏書)「此金卯兵衛より受取申候済切証文」御借主久兵衛(印)・受人卯兵衛(印)→八田嘉右衛門様	寛政12年申3月	縦紙・1通	え3643-32
覚(金20両借用に付添証文)＊(端裏貼紙)「申暮金貳拾両競様御両所様御貸添証文」八田競(印)→八田嘉右衛門殿	寛政12申年12月	縦紙・1通	え3643-33
御借用仕金子証文之御事(家業取続きがたきに付金20両10ヶ年賦にて借用)＊(端裏貼紙)「寛政十二申三月金貳拾両松坂屋久兵衛」御借主久兵衛(印)・請入卯兵衛(印)→八田嘉右衛門様	寛政12年申3月	縦紙・1通	え3643-34
差上申一札之御事(忤直七多病商売方不仕合に付願の通り聞き届けの旨札の添証文)＊え3643-36と関連直七親市右衛門(印)・同人兄佐平次(印)→八田嘉右衛門様	寛政13酉年正月	縦紙・1通	え3643-35
(私儀多病のため諸代呂物お引き受けくだされ代金10両受取証文)＊え3643-35と関連直七(印)・佐平次(印)→八田嘉右衛門様御内傳兵衛殿	寛政13酉年正月	縦紙・1通	え3643-36
覚(具足1領引当として金2両借用の日延願い)五反田組長太夫(印)・御請人和吉(印)→大瀬登様御内御役人中様	寛政元年酉年12月	縦紙/(貼紙あり)・1通	え3927
覚(具足1領を引当として借入金2両の日延願い)五反田組長太夫(印)→大瀬登様御内御役人中様	寛政元酉年6月	縦紙・1通	え3928
(借入金関係綴)		綴/(え3727-1～22は一綴)・1綴	え3727
御借用申金子証文之御事(口入金3両借用、引当は東山畑上昶3俵)＊(端裏貼紙)「申三月金三両伊勢町馬方牧野文五郎」牧内村御借り主文五郎(印)・伊勢町御受人弥右衛門(印)・鏡屋町同断長三郎(印)・牧内村名主七左衛門(印)・長百姓孝右衛門(印)・組頭嘉平治(印)→野村忠藏様御内衆中	寛政12申12月	縦紙・1通	え3727-1
借入金証文之事(口入内借金50両借用、引当は持分の	享和元酉年12月	縦紙・1通	え3727-2

1.内方/5.金融/2.貸付金

うち初50俵)＊(端裏貼紙)「酉年三月 金五拾兩 布野村忠兵衛 関田公」布野村御借主忠兵衛(印)・同断仁左衛門(印)・名主又右衛門(印)・組頭藤四郎(印)・長百姓庄八(印)→関田庄助様			
御借金證文之御事(年寄よりの口入金10兩三役人請合証文、ひき妻科村入作田地の内入上初10俵)＊(端裏貼紙)「享和元酉年三月吉原氏 金拾兩 妻科村半左衛門」善光寺西町妻科村入作御百姓御借り主半左衛門(印)・妻科村請人四郎右衛門(印)、(奥書1)妻科村名主曾兵衛(印)・組頭与市(印)・長百姓与右衛門(印)、(奥書2)吉原大八(印)→吉原大八様、(奥書2)八田嘉右衛門殿	享和元酉年12月	縦継紙・1通	え3727-3
一札之事(田地調整の金子調わずに付金5兩借用、引当は田地)＊(端裏貼紙)「(朱書)「寛政2戊年」五兩 郡村八左衛門」郡村御借主八左衛門(印)→菊屋傳兵衛殿	寛政2戊年12月	縦紙・1通	え3727-4
御借用申年賦金證文之御事(よんどころ無き事情により村方引請の内借金20兩分年賦返済、引当は内借請の人別の田地)＊(端裏貼紙)「申十二月吉原氏 金貳拾兩貳分・銀三目五分四りん 下宮野尾村三役人」下宮野尾村名主富五郎(印)・組頭利右衛門(印)・長百姓弥兵衛(印)・頭立治郎右衛門(印)・同断久治郎(印)・小前惣代吉郎兵衛(印)→吉原大八様	寛政12申年12月	縦継紙・1通	え3727-5
借用申金子之事(要用に付金1兩二分、利足は1割5分)＊(端裏貼紙)「酉八月貸付 金壹兩貳分 押田左平次 内方」押田借り主左平次(印)・請人藤吉(印)→八田孫左衛門様	享和元酉年8月日	縦紙・1通	え3727-6
御借金證文之事(差し懸りに付金10兩借用、書入は田地のうち町東沖2石)＊(端裏貼紙)「享和元酉年八月 一金拾兩也 吉田村名主与市江かし印書」/(端裏書)「吉田村」吉田村名主与市(印)・組頭弥九郎(印)・長百姓武左衛門(印)→松代八田孫左衛門様	享和元年酉8月22日	縦紙/(帳はずれ)・1通	え3727-7
一札之事(商売方入用に付銭借御無心に付20兩借用、前田沖20俵) 吉田村借主幸三郎(印)・名主与市(印)・組頭弥九三郎(印)・長百姓武左衛門(印)→松代伊勢町傳兵衛殿	享和元年酉12月	縦継紙・1通	え3727-8
御借用申金子證文事(時借4兩2分)＊(端裏貼紙)「吉原氏借附 金四兩 土口村又次郎」土口村御借主又次郎(印)・片岡常八役代請人甚蔵(印)→吉原大八様	享和2戊年12月晦日	縦紙/(帳はずれ)・1通	え3727-9
御借用申金子證文之御事(拙僧要用に付金2兩2分を4年賦で借用、引当は拙僧往来一通)＊奥書あり 諦定僧、(奥書)御安口武左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化3寅年10月	縦紙・1通	え3727-10
御借用申金子之事(差し懸り要用に付口入金12兩借用) 更級郡下氷鉦村借主池翁寺(印)→松代八田嘉右衛門様	文化14丑年3月	縦紙・1通	え3727-11
借用申金子之事(差し懸り要用に付金20兩借用、利足は1割5分) 関屋村借主明德寺(印)→八田嘉右衛門殿	文化14丑年12月29日	縦紙・1通	え3727-12
覚(差し懸り入用に付金7兩2分借用、引当は阿仏掛物など)＊(端裏貼紙)「文政二年卯十二月 金七兩貳歩也 釜師定之助借 引当黒葉茶盆一・阿仏懸物六・玉川手鏡一帖」吉野屋永左衛門宿釜師定之助(印)→八田嘉右衛門様御役人中	文政2(年)卯12月	縦紙・1通	え3727-13
差上申御借金證文之事(よんどころ無き要用に付3兩2分時借、来年3月に返済)＊(端裏貼紙)「金七承り 金三兩貳分 東条村七右衛門」東条村七右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内中村金七様	文化2丑年12月	縦紙・1通	え3727-14

一札之事(普請など仕入に付借入金7両の返済を来年3月中まで延期願) 荒町村弥左衛門(印)	文化元子年3月	縦紙・1通	え3727-15
御借用申金子證文之事(よんどころ無き儀に付金1両2分借用、引当は屋敷地内3俵地のところ) * (端裏貼紙)「金七両貳分」 中條神主御借主富岡兵部亮(印)・右同断同安之進(印)・荒町村請人唯八(印)→八田嘉右衛門様御内	文化2年丑12月	縦紙・1通	え3727-16
御借用申金子證文之事(よんどころ無き儀に付金1両2分借用、引当はわたくし牧内村のうち2俵分) * (端裏貼紙)「辰四月金壹両貳分 牧内村孝右衛門」 牧内村備主孝右衛門(印)・受人恒太郎(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中村金七様	文化5辰年4月	縦紙・1通	え3727-17
御借用金證文之事(よんどころ無き要用に付金1両2分借用、引当は私所持の建屋) * (端裏貼紙)「文化八未年十二月金壹両貳分新御安口武左衛門」 新御安口御抱屋敷御借主武左衛門(印)・同村受人又平(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛様	文化8未年12月	縦紙・1通	え3727-18
差上申添一札之事(不作のため難渋に付返済困難のため年賦金願) * (端裏貼紙)「申十一月廿八日金拾五兩添證文羽根尾村運右衛門」 羽根尾村運右衛門(印)・同村請人弥右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化9申年11月	縦紙・1通	え3727-19
御拝借仕候金子事(上納金差詰まり3両、4ヵ年賦にて返済) 須坂太子町栄蔵(印)・同人親金治(印)→八田嘉右衛門様御内六右衛門殿	文政2(年)卯11月	縦紙・1通	え3727-20
借用申金子之事(よんどころなき要用に付金6兩借用、引当として拙寺領内物成金) * (端裏貼紙)「文政二卯年十二月三日金六兩 明徳寺」 関屋村借主明徳寺[印]・寺領役人官蔵(印)→伊勢町傳兵衛殿	文政2卯年12月	縦紙・1通	え3727-21
借用金年賦證文之事(御口入をもって金3兩無利足年賦借) 宮下安之助(印)、(奥書)(山寺)藤左衛門→山寺藤左衛門様、(奥書)(八田)嘉右衛門様	文政8酉年6月	縦継紙・1通	え3727-22
一札之事(仕入金1両1分借用に付、寛政4年6月4日まで返済) 荒神町土蔵(印)→菊屋(八田)嘉右衛門様	寛政4年2月23日	堅切紙・1通	え3642
(年賦割合金請取関係綴)		綴/(え3868-1~18は一綴)・1綴	え3868
(袋) * (袋上書)「文政四辛巳年五月十七日伊勢町吉左衛門名跡儀兵衛先年買取置候家屋敷家賃地代其外五兩貸附金之儀致嘆願候付年賦割合金請取遺候本證文并嘆願年賦割合紙面等一卷入六右衛門懸り合二而取計遺候」		袋・1点	え3868-1
口上覚(年貢上納難渋に付借地の年貢金12兩2分と内借金支払猶予など願書) 伊勢町儀兵衛(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛様	文政4卯(マ)年5月	横切継紙・1通	え3868-2
覚(養父借金返済10年賦に切替のうえ屋敷譲り渡し證文など返却に付返済約定証文) 伊勢町儀兵衛(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	文政4巳年5月	横切継紙・1通	え3868-3
覚(亥年賦割合金2兩受取証) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印)→伊勢町儀兵衛殿	文政10亥年4月	小切紙・1通	え3868-4
覚(年賦金2兩受取証) 八田嘉右衛門内数右衛門→儀兵衛殿	丑7月13日	小切紙・1通	え3868-5
覚(当酉年年賦金2兩受取証) 伊勢町傳兵衛(印)→伊勢町儀兵衛殿	酉3月26日	小切紙・1通	え3868-6
覚(宗與彫目貫代金1兩3分代金受取証) いせ町吉左衛門(印)→きくや傳兵衛殿	卯12月22日	小切継紙・1通	え3868-7

1.内方/5.金融/2.貸付金

覚(金1両3分受取証) 伊勢町傳兵衛(印)→伊勢町儀兵衛殿	文政7申年12月	小切紙・1通	え3868-8
覚(当卯割合ほか金5両他メ金10両受取証) 伊勢町傳兵衛(印)→木町太右衛門殿	寛政7卯年12月	小切紙・1通	え3868-11
覚(当巳年賦割合金1両3分受取証) 八田嘉右衛門内傳兵衛(印)→伊勢町儀兵衛殿	文政4巳年12月	小切紙1通	え3868-9
覚(年賦割合金2両受取証) 菊屋傳兵衛(印)→伊勢町儀兵衛殿	文政11子年3月	小切紙・1通	え3868-10
覚(無利息10年賦割合金返済約定請書の請求書)		横切継紙・1通	え3868-12
覚(寛政6寅年2月屋敷請代金12両2分ほか貸付金差し滞りに付書入の屋敷地引渡しの旨)	5月28日	小切継紙・1通	え3868-13
覚(年賦割合金1両3分受取証) 八田嘉右衛門内傳兵衛(印)→伊勢町儀兵衛殿	文政5午年12月28日	小切紙・1通	え3868-14
覚(当未年割合金1両3分受取証) 伊勢町傳兵衛(印)→伊勢町儀兵衛殿	未12月	小切紙・1通	え3868-15
覚(亡父吉左衛門御内借金上納相済み借用証文返済に付請書) 伊勢町吉左衛門(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛様	文政13寅年2月	堅紙・1通	え3868-16
一札之事(吉左衛門難渋に付私名面にて当人へ代金2口金25両借用に付返済請合) 木町太右衛門(印)→八田嘉右衛門様	寛政6寅年2月	堅紙・1通	え3868-17
御内借金證文之事(金拵えの大小を代物にしてもって金7両借用) * (端裏貼紙)「辰之金七両伊勢町吉左衛門、(朱書)「寛政八辰年」」 伊勢町御借主吉左衛門(印)・受人卯兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	寛政8辰年12月	堅紙・1通	え3868-18
御借用申金子證文之事(金1両2分来る11月中旬限り1割5分利息にて借用に付) 大英寺屋敷御借主祐左衛門(印)・木町請人太右衛門(印)→近藤惣左衛門様	寛政7卯年4月	堅紙・1通	え3883
借用申金子證文之事(拝領扶持方引当として金4両2分来11月15日限り) * (端裏貼紙)「四両貳 笠原軍平殿」/(端裏貼紙朱書)「卯暮元 □カ ○」 笠原軍平(印)、(奥書)加藤勘作(印)→小林門右衛門殿(印)、(奥書)小林門右衛門殿	寛政7(年)卯12月	堅継紙・1通	え3932
(借用金関係綴)		綴/(え3507-1～53は一綴)・1綴	え3507
御借用金證文之事(上納金指詰りに付御口入を以て借主地所を引当に内借金3両2分借用) * (端裏貼紙)「酉十二月金三兩貳分平林公東河田村佐左衛門」 東川田村御借主佐左衛門(印)・御請人友左衛門(印)・名主茂兵衛(印)・組頭善五郎(印)・長百姓万助(印)→平林縫殿之進様御取次中様	享和元年酉之12月	堅継紙・1通	え3507-1
借用仕候金子年賦證文之事(金子借用人出奔に付引負金20両を25年賦にて20両借用) * (端裏貼紙)「子年より金貳拾兩 久木村三役人」 久木村名主吉郎右衛門(印)・組頭伊惣治(印)・長百姓弥平治(印)・頭立惣代佐左衛門(印)・小前惣代甚五郎(印)→平林縫殿之進様御内山川藤兵衛様	享和3亥年12月	堅継紙・1通	え3507-2
御借用金年賦御證文之事(よん所無き儀に付口入を以て借主地所を引当に金子25両を15年賦にて借用) * (端裏貼紙)「寅年より壹割拾五ヶ年賦金貳拾五兩 平林村惣右衛門・常左衛門」 平林村御借主惣右衛門(印)・同断常左衛門(印)・相地要左衛門(印)・名主伊宗太(印)・組頭万五郎(印)・長百姓久三郎(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化3寅年2月	堅継紙・1通	え3507-3

御借用金年賦御證文之事(よん所無き儀に付て借主地所を引当に金子5両を10年賦にて内借) * (端裏貼紙)「寅年より壹割拾ヶ年賦 金五兩平林村平左衛門・九平治」 平林村御借主平左衛門(印)・御借主九平治(印)・受人組合孫左衛門(印)・名主伊宗太(印)・組頭万五郎(印)・長百姓久三郎(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化3寅年4月	豎継紙・1通	え3507-4
御借用金證文之御事(年貢指詰りに付口入をもって借主地所を引当に金1兩内借、返済遅滞の節は地代金をもって返上) * (端裏貼紙)「子十二月金壹兩 瀬原田村久八」 布施五明村瀬原田組御借主久八(印)・五人組惣代受人三郎治(印)・名主市郎右衛門(印)・組頭嘉右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化元子年12月	豎継紙・1通	え3507-5
御内借金證文之事(上納金不調に付口入をもって金10兩内借、引当は借主地所地代金、借主欠落の節は地所差配の上返上) * (端裏貼紙)「午十二月金拾兩 瀬戸川村名主金右衛門」 瀬戸川村成就組御借主名主金右衛門(印)・組頭弥四郎(印)・長百姓恒左衛門(印)・頭立権之丞(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化7午年12月	豎継紙・1通	え3507-6
御借用金證文之事(上納金指詰りに付金3兩借用、引当は借主地所、返済遅滞の節は地代金にて返上) * (端裏貼紙)「酉十二月金三兩 平林公 専納村為右衛門」 専納村御借り主為右衛門(印)・同断勝右衛門(印)・請人源左衛門(印)・同断助左衛門(印)・名主嘉右衛門(印)・組頭五左衛門(印)・長百姓定右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	享和元年酉12月	豎継紙・1通	え3507-7
御借用金證文之御事(年貢指詰りに付口入をもって借主地所を引当に金3兩内借、返済遅滞の節は地代金をもって返上) * (端裏貼紙)「未年金三兩 布施五明瀬原田与五右衛門 平林公」 布施五明村瀬原田組御借主与五右衛門(印)・同断名主斧右衛門(印)・長百姓五郎右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	寛政11未年12月	豎継紙・1通	え3507-8
御借用金證文事(御上納金に詰り口入をもって金8兩内借、引当は借主地所、身上異変の節も後役へ年賦の件引き継ぎ) * (端裏貼紙)「寅十二月壹割貳分五りん金八兩 妻科村作右衛門」 妻科村御借り主作右衛門(印)・名主清右衛門(印)・組頭仁左衛門(印)・長百姓文次郎(印)・頭立次右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化3年寅12月	豎継紙・1通	え3507-9
御借用金證文之事(御上納金指詰りに付口入をもって金22兩を借用、引当は借主地所、身上異変の節も後役へ年賦の件引き継ぎ) * (端裏貼紙)「金貳拾貳兩 妻科村作右衛門」 妻科村御借主作右衛門(印)・受人市右衛門・同断与惣治(印)・名主四郎右衛門(印)・組頭幸七・長百姓文治郎(印)→平林縫殿進様御取次中様	享和3亥年12月日	豎継紙・1通	え3507-10
借用申金子證文之事(御上納金指詰りに付口入をもって金8兩を借用、引当は借主地所、身上異変の節も後役へ年賦の件引き継ぎ) * (端裏貼紙)「亥年 金八兩 妻科村市右衛門・作右衛門」 妻科村借り主作右衛門(印)・同断市右衛門・名主四郎右衛門(印)・組頭幸七・長百姓文治郎(印)→平林縫殿進様御取次中様	享和3亥年11月	豎継紙・1通	え3507-11
御内借金證文之御事(御上納金指詰りに付口入をもって金5兩を内借、引当は借主地所、返済遅滞の節は地代金をもって返上) * (端裏貼紙)「辰十二月金五兩 妻科村久左衛門」 妻科村御借主久左衛門(印)・親類請人市右衛門・名主仁左衛門(印)・組頭曾兵衛(印)・長百姓清右衛門(印)→平林縫殿進様御内	文化5辰年12月	豎継紙・1通	え3507-12
御借用金證文之事(御上納金指詰りに付口入をもって金7兩を借用、引当は借主地所、身上異変の節も後役へ年賦の件引き継ぎ) * (端裏貼紙)「壹割貳分五りん金七兩 久保寺村惣吉ト引代り倉右衛門」 久保寺村御借	文化3寅年12月	豎継紙・1通	え3507-13

1.内方/5.金融/2.貸付金

主倉右衛門(印)・請人惣吉(印)・名主庄左衛門(印)・組頭権左衛門(印)・長百姓伴蔵(印)→平林縫殿進様御取次中様			
御借用金年賦證文之事(当村弥兵衛御屋敷様より借用のところで欠落し返上差支えに付金子16兩1分借用、引当は借主地所、身上異変の節も後役へ年賦の件引き継ぎ) * (端裏貼紙)「無利足拾三ヶ年賦金拾六兩壹分 伊折村三役人」 伊折村名主惣左衛門(印)・組頭弥忠治(印)・長百姓嘉右衛門(印)・同断与惣治(印)・頭立吉郎右衛門(印)他2名→平林縫殿進様御取次中様	文化3寅年12月	豎継紙・1通	え3507-14
御借用金證文之事(上納金指詰りに付金8兩借用、引当は借主地所、返済遅滞の節は地代金にて返上) * (端裏貼紙)「申 泉平村 金八兩 常左衛門」 泉平村御借主常左衛門(印)・名主受人九右衛門(印)・組頭同断治右衛門(印)・長百姓同断佐右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	寛政12申年12月	豎継紙・1通	え3507-15
御借用金證文之事(上納金指詰りに付口入をもって金子7兩借用、引当は借主地所、身上異変の節も後役へ年賦の件引き継ぎ) * (端裏貼紙)「寅十二月 壹割式分五りん 金七兩 岩草村 金弥代 源治郎」 岩草村借主源治郎(印)・受人金弥(印)・名主伊右衛門(印)・組頭弥左衛門(印)・同断九右衛門(印)・長百姓与惣右衛門(印)・頭立善四郎(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化3年寅12月	豎継紙・1通	え3507-16
御借用金證文之事(上納金不調に付口入をもって金子20兩内借、引当は借主地所、返済遅滞の節は地代金にて返上) * (端裏貼紙)「未 平林公 金貳拾兩 五十平村与市」 五十平村御借り主名主与市(印)・組頭安右衛門(印)・同断清蔵(印)・長百姓長蔵(印) →平林縫殿進様御内御取次中様	寛政11未年12月	豎継紙・1通	え3507-17
御借用仕金子證文之事(勤方要用の儀に付3兩借用、引当として御蔵継粉・扶持方差出、身上異変の節は小頭・受人より返済) * (端裏貼紙)「午口入候 金三兩 酒井丈兵衛組 繁之助」 酒井丈兵衛組繁之助(印)・同組御請人龍八(印)、(奥書)酒井丈兵衛(印)→平林縫殿進様御内御取次	文化7午年12月	豎継紙・1通	え3507-18
御借用金證文之事(より所なき儀に付4兩借用、引当として土蔵間口3間行・間2間半を五人組に預け置く) * (端裏貼紙)「午四月 平林様 金四兩 肴町 利右衛門 (朱書)「□カ〇」 肴町御借主利右衛門(印)・中町受人左源治(印)、(奥書)五人組勇蔵(印)・同与四郎(印)→平林縫殿進様御内御取次中様	寛政10午年4月	豎継紙・1通	え3507-19
御内借金年賦御割合證文之事(内借金弁済仕り兼ねに付残金41兩余を30年賦にて返上、長年賦に付證文替の件後役へ送り等) * (端裏書)「元金四拾五兩證文引替」/(端裏貼紙)「申十二月下宮野尾村 金四拾壹兩壹分式匁七分四り」 下宮野尾村名主富五郎(印)・組頭利右衛門(印)・長百姓弥兵衛(印)・小百姓惣代吉郎兵衛(印)他2名→平林縫殿進様御取次中様	寛政12年申12月	豎継紙・1通	え3507-20
御借用金證文之事(上納金不調に付口入をもって金子3兩内借、引当は借主地所、返済遅滞の節は地代金にて返上) * (端裏貼紙)「辰十二月金三兩小堀村 伊兵衛」 小堀村借主名主伊兵衛(印)・組頭源左衛門(印)・長百姓九兵衛(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化5年辰12月	豎継紙・1通	え3507-21
御借用金證文之事(上納金指詰りに付口入をもって金子20兩内借、4兩宛返済、引当は借主地所、返済遅滞の節は地代金にて返上) * (端裏貼紙)「文化六年より梅木村 金貳拾兩 瀧右衛門」 「引替證文」 梅木村上組御借主名主瀧右衛門(印)・組頭甚兵衛(印)・長百姓富右衛門(印)・頭立治郎兵衛(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化5辰年12月	豎継紙・1通	え3507-22

御借用金年賦證文之事(当村難洪に付心入をもって金子12両内借、引当の借主地所の入上糊を村役元へ預け置く) * (端裏貼紙)「文化六巳年より金拾貳両 小嶋村曾右衛門」 小島村御借主曾右衛門(印)・名主要右衛門(印)・組頭久兵衛(印)・長百姓権蔵(印)・頭立惣代幸左衛門(印)→平林縫之進様御取次中様	文化6巳年3月	縦継紙・1通	え3507-23
御内借金證文之御事(上納金不調に付御年寄御方様より口合せにより金2両2分内借) * (端裏貼紙)「西十二月平林公 金貳兩貳分内壹兩貳分返候分 小松原村直左衛門」 小松原村御借主直左衛門(印)・名主留右衛門(印)・組頭安左衛門(印)・長百姓次郎兵衛(印)→平林縫殿進様御取次中	享和元年酉12月	縦継紙・1通	え3507-24
御借用金證文之事(上納金不調に付御年寄御方様より口合せにより金20両内借) * (端裏貼紙)「未十一月 金貳拾兩 南堀村幸左衛門」 南堀村名主幸左衛門(印)・組頭久蔵(印)・長百姓作左衛門(印)・頭立佐五右衛門(印)他1名→平林縫殿進様御取次中様	寛政11年未之11月	縦紙・1通	え3507-25
御借用年賦證文之御事(難洪に付無利足年賦金3両銀3匁内借、引当は借主持地の内上糊二俵余) * (端裏貼紙)「金三兩三匁 小島村曾右衛門」 小島村御借主曾右衛門(印)・名主要右衛門(印)・組頭久兵衛(印)・長百姓権蔵(印)・頭立惣代幸左衛門(印)→平林縫之進様御取次中様	文化6巳年3月	縦継紙・1通	え3507-26
御内借金證文之事(御上納金不調に付御年寄口入により金4兩1分受取、借主持高の内相応の場所を引当) * (端裏貼紙)「金四兩壹分 平林様梅木村清右衛門」 梅木村御借主名主清右衛門(印)・組頭富右衛門(印)・長百姓弥惣右衛門(印)→平林縫之進様御取次中様	享和元酉年9月	縦紙・1通	え3507-27
御借用金證文之事(上納金不調に付口入内借金20兩受取、引当は借主持高の御金相応) * (端裏貼紙)「未口合金貳拾兩 上野村三役人」 上野村御借主名主佐五右衛門(印)・組頭仁右衛門(印)・長百姓惣右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化8未年12月	縦継紙・1通	え3507-28
御借用金證文之事(要用に付御年寄口入により金10兩受取、借主持分の内相応の場所を引当) * (端裏貼紙)「金拾兩 上野村忠右衛門」 上野村御借り主忠右衛門(印)・名主仁右衛門(印)・組頭幾右衛門(印)・長百姓佐五右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化7午年12月	縦継紙・1通	え3507-29
御内借金證文之事(要用に付御口入により金24兩受取、借主持高の内御金相応に引当) * (端裏貼紙)「文化七午年十二月金貳拾四兩 上野村仁右衛門」 上野村御借主名主仁右衛門(印)・組頭幾右衛門(印)・長百姓佐五右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化7午年12月	縦継紙・1通	え3507-30
御借用金證文之事(要用に付御年寄口入により金4兩受取、借主持分の内相応の御金を引当) * (端裏貼紙)「金四兩 上野村政右衛門」 上野村御借り主政右衛門(印)・名主仁右衛門(印)・組頭幾右衛門(印)・長百姓佐五右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化7午年12月	縦紙・1通	え3507-31
御借用金證文之事(要用に付御年寄口入により金66兩1分受取、借主持分の内相応の御金を引当) * (端裏貼紙)「午年引替金六拾六兩壹分 上野村三役人」 上野村名主仁右衛門(印)・組頭幾右衛門(印)・長百姓佐五右衛門(印)・頭立桑太郎(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化7午年12月	縦継紙・1通	え3507-32
御内借證文之事(よんどころ無き義に付御年寄口入により金9兩受取、当村高辻の内上糊9俵引当) * (端裏貼紙)「午暮引替金九兩 上野村佐五右衛門」 上野村名主仁右衛門(印)・組頭幾右衛門(印)・長百姓御借主佐五右衛門(印)→平林縫殿進様御内	文化7午年12月	縦紙・1通	え3507-33

1.内方/5.金融/2.貸付金

御内借證文之御事(よんどころ無き義に付口入により金4両受取、借主持分の内上初4俵引当) * (端裏貼紙)「巳九月 金四両 平林公 上野村 仁右衛門」 上野村御借主名主仁右衛門(印)・組頭幾右衛門(印)・長百姓佐五右衛門(印)→平林縫殿進様御内山川藤兵衛様	文化6巳年9月	縦紙・1通	え3507-34
御内金年賦證文之事(よんどころ無き義に付口入により金17両格別の利安にて受取、借主持分の内上初16俵引当) * (端裏貼紙)「金拾七両 上野村 但シ老割拾年賦壹ヶ年金貳両三分壹厘ツ、卯暮より返済極」 上野村名主御借主幾右衛門(印)・組頭御借主仁右衛門・長百姓御借主佐五右衛門(印)・頭立御借主久米太郎(印)・御借主蔵左衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化3寅年12月	縦継紙・1通	え3507-35
御借用金證文之事(上納金指詰りに付金1両受取、借主持高の内東沖田の上初1俵引当) * (端裏貼紙)「戌年 金壹両 平林公上松村佐左衛門」 上松村御借り主佐左衛門(印)・受人善右衛門(印)・名主藤左衛門(印)・組頭清右衛門(印)・長百姓源左衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	享和2年戌ノ12月	縦継紙・1通	え3507-36
御借用金證文之事(上納不調に付年寄方よりの口合により金12両受取、借主持高の内お金相応分引当) * (端裏貼紙)「戌三月 金拾貳両 平林公 梅木村 次郎兵衛」 梅木村上組御借主名主治郎兵衛(印)・同断組頭清右衛門(印)・同断長百姓富右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	享和2年戌12月	縦継紙・1通	え3507-37
御借用金證文之事(上納指詰りに付口入により金7両受取、私持高の内本村東沖の上初8俵余り引当) * (端裏貼紙)「平林様御口入已貸付 金七両 上松村平次郎」 上松村本郷借り主平次郎(印)・請人徳弥(印)・名主平次郎(印)・組頭篠右衛門(印)・長百姓茂右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	寛政9年巳12月	縦継紙・1通	え3507-38
御借用金證文之事(上納金指詰りに付口入により金5両受取、借主持高の内かまぶた東沖の上初5俵引当) * (端裏貼紙)「申 金五両 竹生村 嘉兵衛」 竹生村御借主組頭嘉兵衛(印)・受人長百姓与右衛門(印)・名主専右衛門(印)・長百姓五郎左衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	寛政12申年11月	縦継紙・1通	え3507-39
御内借金證文之御事(上納金指詰りに付口入により金5両受取、引当として請人方より43坪に建家など差入) * (端裏貼紙)「卯六月 平林公 金五両 矢代村直八」 矢代村御借主直八(印)・同断丈右衛門(印)・同村請人源左衛門(印)他1名→平林縫之進様御役人中様	文化4年卯6月	縦紙・1通	え3507-40
寛(潰れ借財多く取続きがたきに付金77両譲り請け仮証文) * (端裏貼紙)「平林縫殿進殿へ金子致助情遣候付印書一通」 平林縫殿進(印)→八田嘉右衛門殿	文化元子年12月23日	縦紙・1通	え3507-41
御借用金證文之事(上納金指詰りに付口入により金2両内借受取、借主持高小作入初3俵引当) * (端裏貼紙)「寅十二月 金貳両 郡村市太夫 老割五分」 郡村御借主市太夫(印)・作人弥五右衛門(印)・同断喜兵衛(印)・名主嘉蔵(印)・長百姓助三郎(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化3年寅12月	縦継紙・1通	え3507-42
御借用金證文之事(上納不調に付年寄様口合により金5両内借受取、借主人別持ち高の内相応の地所を引当) * (端裏貼紙)「平林様 金五両也 中ノ御所村 清兵衛」 中野御所村名主清兵衛(印)・組頭利左衛門(印)・長百姓弥平(印)→平林縫殿進様御取次中様	寛政9巳年12月	縦紙・1通	え3507-43
御借用申證文之事(上納指詰りに付口入により金15両内借受取、借主持高の内東沖の入上初14俵引当) * (端裏貼紙)「未 平林公 金拾五両 中沢村 平蔵」 中沢村御借主平蔵(印)・名主友左衛門(印)・組頭長右衛門(印)・長百姓三郎右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	寛政11年未12月	縦紙・1通	え3507-44

御借用金證文之事(要用のため指詰りに付年寄口合により金25兩受取、私持分の内入上納粉25俵を引当) *(端裏貼紙)「寛政十一未年金貳拾五兩上野村明松寺」 上野村明松寺役代元右衛門(印)・名主弥右衛門(印)・組頭佐五右衛門(印)・長百姓幾右衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	寛政11未年	縦紙・1通	え3507-45
借用金證文之御事(よんどころ無き儀に付御口入御内借5兩受取、借主持分の内入上納粉5俵引当) * (端裏貼紙)「申二月 金五兩 上野村明松寺」 上野村御借主明松寺(印)・名主弥右衛門(印)・組頭佐五右衛門(印)・長百姓幾右衛門(印)→平林縫殿進様御内山川藤兵衛殿	寛政12申年12月	縦紙・1通	え3507-46
覚(よんどころ無き要用に付金5兩受取、私拝領の切米を引当) * (端裏貼紙)「亥年金五兩 中山氏」 中山有之助(印)・受印平林縫殿進(印)→金児総左衛門殿	享和3亥年3月	縦継紙・1通	え3507-47
御借用金證文之御事(上納金指詰りに付口入により金3兩内借受取、借主持高のうち塩本沖の入上納粉3表引当) * (端裏貼紙)「金三兩 奈良井村 喜傳次・与市」 奈良井村御借主喜傳次(印)・受入与市(印)・名主仲右衛門(印)・組頭治兵衛(印)・長百姓佐五兵衛(印)・頭立新左衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	享和3亥年12月	縦継紙・1通	え3507-48
御借用金證文事(上納金指詰りに付口入により金7兩内借受取、借主持高のうち小作粉7俵半引当) * (端裏貼紙)「文化三寅年十二月 金七兩長井村 倉吉」 長井村かり主倉吉(印)・受人重郎治(印)・名主岩右衛門(印)・組頭吉郎兵衛(印)・長百姓喜七(印)・頭立久治郎→平林縫殿進様御取次中様	文化3寅年11月	縦継紙・1通	え3507-49
御借用金年賦證文之事(上納金指詰りに付口入により金9兩2分内借受取、借主持高のうち小作粉7俵半引当) * (端裏貼紙)「文化四卯年十二月 金 金九兩貳分 長井村幾五郎」 長井村御借主幾五郎(印) 同断権之丞(印)・受人武七(印)・名主岩右衛門(印)・組頭吉郎兵衛(印)・長百姓喜七(印)・頭立武左衛門(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化4年卯12月	縦紙・1通	え3507-50
御借用證文之事(当村久治郎借用金高金に成り組合にて田地引き受けに付年賦割合聞き済みに付、私持分の小作粉4俵書入) * (端裏貼紙)「文化三寅十二月 金四兩貳分 年賦證文 長井村平三郎」 長井村御借主平三郎(印)・御借主庄治郎(印)・受人武七(印)・名主岩右衛門(印)・組頭吉郎兵衛(印)・長百姓喜七(印)・頭立友七(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化3寅(年)12月	縦継紙・1通	え3507-51
御借用金證文之事(難渋に付口入により金7兩2分内借受取、借主持高のうち小作粉4俵3斗書入) * (端裏貼紙)「文化四卯年十二月 無利足年賦 金七兩貳分 長井村久次郎」 長井村御借主久治郎(印)・名主岩右衛門(印)・組頭吉郎兵衛(印)・長百姓喜七(印)→平林縫殿進様御取次中様	文化4卯年12月	縦継紙・1通	え3507-52
御内借金年賦證文之事(年賦金借主出奔に付年賦安にて村方弁金、名主の小作入粉4俵の地所書入) * (端裏貼紙)「午十二月 金四兩 郡村名主恒吉年賦證文」/(端裏貼紙)「壹ヶ年利分受取当未年より年賦願二付引替證文」 郡村御借主名主恒吉(印)・同断長百姓恒左衛門(印)・頭立与惣右衛門(印)他4名・小前惣代伴右衛門(印)他3名→平林縫殿進様御内御役人中様	文化7午年12月	縦継紙・1通	え3507-53
(借用金関係綴)		綴/(え3753-1～46は一綴)・1綴	え3753
御借用金證文之事(金50兩、無利足15ヶ年賦) * (端裏貼紙)「文政三辰年十一月 金五拾兩 無利足拾五ヶ年賦 伊勢町惣八」 伊勢町借用人惣八(印墨消)・御受人五兵衛(印墨消)・組合惣代重助(印墨消)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文政3辰年11月	縦継紙/(貼紙あり)・1通	え3753-1

1.内方/5.金融/2.貸付金

借用申年賦證文之事(金18兩3分、10ヶ年賦) * (端裏書)「無尽別紙」八丁村真光寺・鏡屋町代判万吉(印)・西木町受合喜惣治(印抹消)→小山源治殿	文政3辰年12月	堅紙・1通	え3753-2
御借用仕金子證文之事(金28兩銀48匁、8ヶ年賦) * (端裏貼紙)「文政三辰歲十二月 小山田御頼付金貳拾八兩銀四拾八匁也、無利足八年賦 西寺尾村与右衛門」 西寺尾村神明組御借主与右衛門(印)、(奥書)西寺尾村名主徳右衛門(印)・組頭弥平(印)・長百姓平助(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文政3辰年12月	堅繼紙・1通	え3753-3
借入金證文之事(来ル6月まで金50兩借用証文写) * (端裏書)「文政五午年六月小縣郡丸子村庄五郎江松井店喜介より金五拾兩借付証文写」 小縣郡上丸子村庄五郎印→松代中町松井喜助殿	文政5午年6月日	堅紙・1通	え3753-4
覚(御助情殘金のうち引き分け分10兩借用証文) 八田競(印)→八田嘉右衛門殿	文政6未年2月	堅紙・1通	え3753-5
覚(御助情殘金のうち引き分け分金23兩3分余借用証文) 八田競(印)→八田嘉右衛門殿	文政6未年7月	堅紙・1通	え3753-6
覚(村方引当書入証文差し出すまでの金50兩借用仮証文) 松木源八(印)→八田嘉右衛門殿	文政6未年3月6日	堅紙・1通	え3753-7
御内借金證文之事(借主持4石1斗2升余の持地を引当に金19兩を25ヶ年賦にて) * (端裏朱印)「丙申」 千田村御借主御蔵本兵右衛門(印)・同断加判御蔵本七左衛門(印)・名主七左衛門(印)・組頭嘉右衛門(印)・長百姓金八(印)→八田嘉右衛門様御役人中様・御口合長岡助右衛門様御内	文政6未年正月	堅繼紙・1通	え3753-8
御内借申金子證文之事(商売仕入金に付来月20日まで金4兩) * (端裏貼紙)「申十一月廿二日金四兩荒神町喜左衛門来ル廿日迄時貸六より口入」 荒神町御借主喜左衛門(印)→伊勢町様御取次中	文政7申年11月	堅紙・1通	え3753-9
御□□(虫喰)申金子證文之事(来る3月まで金3兩) 中町御借主六郎兵衛(印)・荒神町受人喜左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文政7申年閏8月	堅紙・1通	え3753-10
御恩借仕金子證文之事(商売仕入に付畑10俵のところに書入にて来酉3月15日まで金13兩) * (端裏貼紙)「文政七壬申十一月廿三日金拾三兩新町村徳之丞へ借證文和七口入」 新町村御借主徳之丞(印)・同村御受人倉吉(印)→八田嘉右衛門様御内和七殿	文政7年申11月	堅紙・1通	え3753-11
御借用金證文之御事(建屋・家賃など1兩2分を書入にて当申11月20日まで金6兩) 妻科村新田組借り主吉郎治(印)・組合受人太七(印)・惣代磯右衛門(印)・名主与兵衛(印)・組頭重左衛門(印)・長百姓曾兵衛(印)→八田辰三郎様御内山田忠七様	文政7年申7月	堅紙・1通	え3753-12
借用申金子證文之事(来月下旬まで金1兩2分を時借) 證蓮寺(印)・受人西木町元二(印)→菊屋傳兵衛殿	文政8乙酉年4月	堅紙・1通	え3753-13
覚(内山氏無尽掛繼金の差引殘金3兩3分受取証文) * (端裏貼紙)「文政九丙戌年十一月二日関田守之丞殿内山権頭方頼母敷加入之内難渋ニ付懸繼此方ニ而引受置候付右懸年分別紙指引書之通此方二兩三分致出金遣ス」 関田守之丞(印)→八田嘉右衛門殿	文政9戌年11月	堅紙・1通	え3753-14
覚(首座職勤務の際の扶助金10兩受取証文) 大林寺副守[印]→淨福寺御宿寮祖戒首座	戌4月2日	切紙・1通	え3753-15
覚(当夏拙僧出世に付入料金6兩余借用、出世修了後返済) 祖戒(印)、(奥書)淨福寺智泉(印)→八田嘉右衛門様	文政9戌年3月	堅繼紙・1通	え3753-16

御内借金證文之御事(20俵取りの地所書入を来亥年11月15日まで金20両) 粟佐村御借主佐右衛門(印墨消)・名主傳十郎(印)・組頭嘉惣太(印墨消)・同断佐右衛門(印墨消)・長百姓市左衛門(印墨消)・頭立吉右衛門(印墨消)・矢代村御口入幸吉(印墨消)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文政9戌年12月	縦継紙・1通	え3753-17
覚(糸売捌利潤金3両1分銀5匁8分受取証文) 八田辰三郎(印)→菊屋和七	文政10亥年3月	縦紙・1通	え3753-18
御借用金證文之事(金2両1分2朱を無利足18ヶ年賦) 伊勢町借主忠左衛門(印)・請人徳次→八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	文政亥年3月	縦紙・1通	え3753-19
借用申金子事(閏10月まで金2両、返納遅滞の際には店仕入物有次第) 借用主銀之助(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	文政11年子2月	縦紙・1通	え3753-20
覚(返済金17両1分2朱を20ヶ年賦も切替証文) * (端裏貼紙)「文政十一子年正月金拾七両壹分式朱 但五分利付式拾ヶ年賦 大嶋磯右衛門殿」/(端裏貼紙朱印)「丙申」大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政11子年正月	縦紙・1通	え3753-21
御借用金證文之御事(関田守之丞名面にて借用金14両の返済残金を無利足28ヶ年賦返済に付借用証文、引当は借主地所上粉3俵) * (端裏貼紙朱書)「(朱印)「丙申」 上野村」 上野村御借主与兵衛(印)・名主傳右衛門(印)・組頭五郎右衛門(印)・長百姓佐五右衛門、(奥書)関田守之丞(印)→八田嘉右衛門様御内、(奥書)八田嘉右衛門殿	文政12丑年12月	縦継紙・1通	え3753-22
御内借金年賦證文御事(返済残金24両を無利足16ヶ年賦に切替、当村下田沖田の入上粉6俵余) 桜村御借主藤左衛門(印)他3名・名主文十郎(印)・組頭久米右衛門(印)・同断太兵衛(印)・長百姓弥惣右衛門(印)→八田嘉右衛門様御役人中様・御口合長岡助右衛門様	文政11子年12月	縦継紙・1通	え3753-23
借用申年賦證文之事(私発起の無尽金調達しかねに付金6両3分を無利足10ヶ年賦にて) * (端裏貼紙)「(朱書)文政十二丑十二月 一金六両三分 矢代村柿崎源左衛門 但無尽懸不足金無利足拾ヶ年賦」 借用主柿崎源左衛門(印)・受人丈右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文政12丑年12月	縦紙・1通	え3753-24
覚(当月下旬まで金1両借用証文) 関田慶左衛門(印)、(奥書)関田守之丞(印)→八田嘉右衛門殿	文政12丑年12月	縦紙・1通	え3753-25
御借用金年賦證文之御事(内借金返済残金33両を無利足22ヶ年賦に切替返済証文、本田高のうち持地高上粉8俵を書入) * (端裏朱印)「丙申」 新町村御借主喜右衛門(印)・組合請人利吉(印)・名主久右衛門(印)・組頭佐助(印)・長百姓治右衛門(印)他1名→八田嘉右衛門様御役人中様・御口合長岡助右衛門様	文政12丑年正月	縦継紙・1通	え3753-26
御借用金年賦證文之御事(佐七潰欠落に付内借金返済残金48両3分を無利足30ヶ年賦にて返済、借主持地10俵を書入) * (端裏朱印)「丙申」 新町村佐七親類富之助(印)・同人組合宗作(印)・名主彦右衛門(印)・組頭佐助(印)・同断藤右衛門(印)・長百姓音吉(印)・同断久右衛門(印)→八田嘉右衛門様御役人中様・御口合長岡助右衛門様	文政12丑年3月	縦継紙・1通	え3753-27
御借用金證文事(妻科村新田組の居屋敷を引当に繰廻金のうちの内借金10両を来卯年11月15日まで) * (端裏貼紙)「寅三月 妻科村佐吉 金拾両清切 壹割式分」 妻科村新田組借り主佐吉(印)・後町村受人清八(印)・組合受人八郎右衛門(印)・御蔵本吉郎次(印)・名主仁左衛門(印)・組頭曾兵衛(印)・長百姓四郎右衛門(印)→八田嘉右衛門様御役人中様	文政元年寅12月	縦継紙・1通	え3753-28
覚(増田徳左衛門殿よりの質入証文の加判差仕えに付	文政12丑年8月	縦紙・1通	え3753-29

加判人替えに付一札) 関田守之丞(印)→八田嘉右衛門殿役代傳兵衛殿			
借用申金子之事(勝手向要用に付来申の3月まで金100両) * (端裏貼紙)「[虫喰]請取[虫喰]先方より請取印[虫喰]」 内藤豊後守内犬井条左衛門(印)→皆神山和合院殿	文政6未年12月	縦紙・1通	え3753-30
覚(来戊夏まで銭5貫文借用証文) 長岡助右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政8酉年12月29日	縦紙・1通	え3753-31
御日延証文之事(当人長々煩い等に付当組七郎兵衛質地上金6両2分上納来正月中まで延引の旨) 後町村七郎兵衛組合弥吉(印)他3名・名主桂作(印)・組頭重兵衛(印)・長百姓長右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	文政5年午12月	縦継紙・1通	え3753-32
御借用仕金子証文之事(書入として居屋敷・建屋差出に付来卯12月15日まで金5両を6年賦にて) * (端裏貼紙)「文政元年寅三月 金五両 清水長十郎」御借り主清水長十郎(印)・組合請人弥兵衛(印)・同断林之丞(印)→八田辰三郎様	文政元年寅12月	縦紙・1通	え3753-33
借用申金子証文之御事(諏訪宮へ奉納角力入用多きにつき金3両無利足6ヶ年賦にて) * (端裏貼紙)「文政元寅八月 金三両 荒神町武左衛門・六郎兵衛 相撲棧敷取捲入料貸無利足六ヶ年」/(端裏朱印)「丙申」 荒神町御借り主六郎兵衛(印)・同武左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	文政元寅年8月	縦紙・1通	え3753-34
御内借金証文之事(田町源右衛門所持の地所を引当に来卯11月まで金1両を年中1割2分の利足にて) * (端裏貼紙)「文政元寅年三月 金壹両 御安口恒吉・受人源右衛門 引当田地添証文有」/(端裏朱印)「丙申」 御安口借主恒吉(印)・田町受人源右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文政元寅(年)12月	縦継紙・1通	え3753-35
一札之御事(来8月上旬まで金20両時借証文の加判人替えに付) 伊勢町惣八(印)→八田辰三郎様	文政元寅年6月	縦紙・1通	え3753-36
御借用申金子証文之事(店を自普請に付金5両) * (端裏貼紙)「文政元寅年十二月廿九日 金五両西木町儀作 居宅繕普請料借」 錦町義作(印)→中嶋三右衛門様御取次中様	文政元年寅12月	縦紙・1通	え3753-37
御借用金年賦証文御事(高辻のうち宮野下入上上初5俵のところ金20両無利足20ヶ年賦) * (端裏貼紙)「文政元寅年十二月 金貳拾兩新田村源八 無利足卯より二十ヶ年賦」/(端裏書)「新町村源八」 新町村借主源八(印)・名主音吉(印)・組頭恒八(印)・同断源右衛門(印)・長百姓六左衛門(印)・頭立次右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文政元寅年11月	縦継紙・1通	え3753-38
覚(金6両借用の上納切手紛失に付届) 森村八郎左衛門(印)→菊屋傳兵衛殿	寛政11年未10月	小切紙・1通	え3753-39
乍恐以口上書奉申上候御事(当村八郎左衛門拝借片付一件に付民左衛門心入れず借用人再願の件赦免願) 森村民左衛門(印)・金兵衛(印)・戸左衛門(印)→岡川左十郎様御内・八田嘉右衛門様御内	文政元寅年11月	縦紙・1通	え3753-40
借用金証文之事(金5両を1ヶ月金1両につき6分掛の利足にて来卯4月まで) * (端裏貼紙)「文政元寅年三月 金拾五両 清水名三右衛門・藤井安右衛門」 清水名三右衛門(印)・藤井安右衛門(印)→松代傳兵衛殿	文政元戊寅年11月	縦紙・1通	え3753-41
御恩借申金子証文之御事(家屋敷買入代金として金25両無利足にて来巳年まで借用につき) * (端裏貼紙)「文政二卯五月 金貳拾五両 茂右衛門江無利足借附」 柴町茂右衛門(印)・増田徳左衛門(印)→八田嘉右衛門様御取	文政2卯年5月	縦紙・1通	え3753-42

次中様			
覚(鎌原兵庫要用につき御預り金のうち金30両来辰正月まで5分の利足にて借用仮証文) 鎌原兵庫内宮本条左衛門→八田嘉右衛門様	文政2卯年12月	縦紙・1通	え3753-43
借用金証文之事(名所2ヶ所のうち引当に天周院本堂普請費用等借用残金50両当卯年より14ヶ年にて返済) * (貼紙)「一金五拾両壹分六匁九分四りん 卯金」/下書 吉田村天周院役代たれ・同村たれ・且中惣代たれ・たれ、(奥書)名主たれ・組頭たれ・長百姓たれ→八田嘉右衛門様御内浦野忠七殿	文政2卯年8月	縦紙・1通	え3753-44
覚(金15両借用仮証文) 小山田又六郎(印)→八田嘉右衛門殿	文政3辰年6月	縦紙・1通	え3753-45
御恩借証文之事(人少なく町方にての御用宿経営支障に付宿方割増金御預ヶ之内金利安にて10両借用) * (端裏貼紙)「文政二卯七月 金拾両 中町五兵衛 壹割宿方預金之内」/(端裏朱印)「丙寅」 中町拝借主五兵衛(印)・五人組喜代八(印)他6名、(奥書1)名主忠三郎(印)、(奥書2)伴三郎右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文政2卯年7月	縦紙・1通	え3753-46
借用金子証文之事(金10両来る申4月まで借用証文) 善光寺良性院(印)→八田嘉右衛門殿	寛政11未年極月	縦紙・1通	え3795
覚(又治郎婚姻持参金5両受取証文) 水野七郎兵衛(印)→藤田専蔵殿	寛政12庚申年4月11日	縦紙・1通	え3751
(享和年間借用証文綴)		綴/(え3641-1~14は一綴)・1綴	え3641
借用申金子証文之事(借主持分のうち入上初8俵を引当にて金10両内借、享和2年11月20日まで返済) * (端裏貼紙)「西十二月金拾両関田公山上条村彦右衛門」 山上條村かり主彦右衛門(印)・同断善蔵(印)・名主利平治(印)・組頭清八(印)・同断七郎右衛門(印)・長百姓彦右衛門(印)・頭立弥兵衛(印)→関田庄助様	享和元年酉12月日	縦紙・1通	え3641-1
御借用仕金子証文之事(貴殿口入をもって借主田地5斗8升7合を引当に金2両借用に付、享和元年11月20日限り返済) * (端裏貼紙)「西十月貸付金式両坂本氏新馬喰町柳左衛門」 新馬喰町御借り主柳左衛門(印)・清野村名主祖兵衛(印)・組頭榮左衛門(印)・同断恒左衛門(印)・長百姓佐治右衛門(印)→八田競様御役人中様	享和元酉年10月	縦紙・1通	え3641-2
御時借証文之事(商売仕入に付金1両2分借用に付、享和元年4月25日まで返済) * (端裏貼紙)「西四月金壹両式分伊勢町武兵衛済切証文」 借主河内屋武兵衛(印)・請人菊屋角左衛門(印)→菊屋傳兵衛殿	享和元酉年4月2日	縦紙・1通	え3641-3
御内借金証文之事(所持地のうち入上初8俵4斗を引当に金20両借用に付、享和元年7月中旬まで返済) * (端裏貼紙)「西三月金貳拾両土口村与三郎済切証文」 土口村御借主与三郎(印)・受人仁左衛門(印)・名主佐傳治(印)・組頭瀬左衛門(印)・同断仁三郎(印)・長百姓八郎治(印)→八田孫左衛門様御内菊屋傳兵衛殿	享和元辛酉年3月	縦紙・1通	え3641-4
御内借金証文之事(内借金借入のところ返済遅滞の上引当の地所売捌き兼に付金12両1分を無利足10ヶ年賦にて借用に付) * (端裏貼紙)「享和三亥五月金拾貳両壹分土口村新右衛門」 土口村御借主新右衛門(印)他4名→八田嘉右衛門様御内中村金七殿	享和3亥年4月	縦紙・1通	え3641-5
覚(金5両を利下げに直し利分加えにて10ヶ年賦にて借用証文、引当は切米初) * (端裏貼紙)「亥十二月金五両壹割拾ヶ年賦片岡要人様」/(端裏貼紙)「加」 受合保科右橋(印)・片岡要人(印)→平林縫殿進殿	享和3癸亥年12月	縦紙・1通	え3641-6

1.内方/5.金融/2.貸付金

覚(御口入をもって切米粉を引当に金5兩借用に付、享和4年11月15日まで返済) * (端裏貼紙)「亥十二月金五兩小林隼太殿」小林隼太(印)・加判小林円四郎(印)→平林縫殿進殿	享和3亥年12月	縦紙・1通	え3641-7
借用金年賦證文之御事(御口入をもって金10兩10ヶ年賦にて借用、引当を借主持分のうち入上初10俵分の地代金) * (端裏貼紙)「亥三月金拾兩外鹿谷村済切證文か、そ」/(端裏貼紙)「亥三月證文替御口入関田庄助(印)」/(端裏書)「外鹿谷村弥次右衛門」外鹿谷村名主御借主弥治右衛門(印)・組頭受人佐治右衛門(印)・長百性同断久左衛門(印)・頭立惣代同断与五左衛門(印)→関田庄助様	享和3年亥3月	縦継紙・1通	え3641-8
借用金年賦證文之事(御口入をもって金11兩1分銀1匁3分3厘10ヶ年賦にて借用につき、引当は借主持分入上初10俵分の地代金) * (端裏貼紙)「金拾壹兩壹分壹匁三分三リン羽根尾村忠次」/(端裏貼紙)「は済切」/(端裏貼紙)「亥暮證文替御口入関田庄助(印)」/(端裏書)「羽尾村忠次」羽尾村御借り主忠治(印)・組合請人寅蔵(印)・名主小右衛門(印)・長百姓直左衛門(印)・同断与五兵衛(印)→関田庄助様	享和3亥年12月	縦継紙・1通	え3641-9
金子證文之御事(金1兩借用に付、享和3年暮まで返済) * (端裏貼紙)「亥閏正月金壹兩梅野房」借り主梅野坊(印)・親類受人幸助(印)・五人組義兵衛(印)他2名→八田嘉右衛門様御内中村金七殿	享和3亥年閏正月	縦紙・1通	え3641-10
借用仕金子證文之事(商仕入金手支え難渋のため金15兩借用に付、享和3年7月まで返済) * (端裏貼紙)「亥金拾五兩伊勢町角左衛門」菊屋御借主角左衛門(印)・菊屋御請人已之作(印)→菊屋傳兵衛殿	享和3亥年3月	縦継紙・1通	え3641-11
差上申一札之御事(金1兩1分借用に付) * (端裏貼紙)「亥十二月金壹兩壹分鍛冶町勇八」鍛冶町勇八(印)→八田嘉右衛門様御内中村金七殿	享和3亥年12月	縦紙・1通	え3641-12
差上申一札之御事(当町祭礼無尽役本発起金のため借用金返金滞りのため土蔵1ヶ所差上げに付) * (端裏貼紙)「右之通願出候付土蔵壹ヶ所請取代金五兩と相定大蔵方へ売渡、残金七兩壹分七ヶ年賦相究證文受取候得共誠以難渋付右本證文呉遣候寅正月十六日」中町新之丞(印)・中町久三郎(印)・荒神町請人大蔵(印)・同町口入新兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内	享和3年亥6月	縦紙・1通	え3641-13
借用金年賦證文之事(借主居屋敷土蔵建家を引当に金165兩11ヶ年賦にて借用に付) 御借主杭全平左衛門(印)・杭全善右衛門(印)・御請合嶋屋弥兵衛(印)→八田嘉右衛門様	享和4子年2月	縦紙・1通	え3641-14
御内借金證文之御事(商売方仕入のため金5兩借用証文、享和3年11月15日まで返済) * (端裏貼紙)「金五兩戌十二月田村氏世話伊勢町惣蔵」伊勢町御借主惣蔵(印)・木町受人太右衛門→菊屋傳兵衛殿	享和2年戌12月	縦紙・1通	え3640
(八田嘉右衛門貸借関係書類綴)	(文化元年～9年)	綴/(え3754-1～55は一綴)・1綴	え3754
御借用金之年賦證文之事(西條村の内当寺御朱印地の内伊勢町傳兵衛持高収納分差し継ぎ返済にて金15兩借用に付) 大林寺役僧・御朱印地藏本受人磯左衛門、(裏書)大林寺	文化元寅(マ)年12月	縦紙・1通	え3754-1
御内借金證文之事(上納金差し詰まり名所皆神山山手南入上初8俵を引当に金10兩来る丑12月20日限り) * (端裏貼紙)「子十二月金拾兩荒町彦治」/(端裏朱印)「丙申」荒町村御借主彦治(印)・請人米山小右衛門(印)・名主民之丞(印)・組頭久左衛門(印)→八田左仲様御内	文化元年子12月	縦継紙・1通	え3754-2

一札之御事(細工代金3分借用) * (端裏貼紙)「子十二月金三分紺屋町庄二郎細工前貸」 紺屋町刷師庄次郎(印)→菊屋傳兵衛殿	文化元年子12月	縦紙・1通	え3754-3
御借用金年賦證文之御事(名所つくだ山高年貢を引当に金10両10ヶ年賦返済に付) * (端裏貼紙)「金拾両平林村伊惣太」/(端裏朱印)「丙申」 平林村御借主伊宗太(印)・名主新十郎(印)・組頭藤吾(印)・長百姓久三郎(印)・御口入三郎左衛門(印)→野村忠藏殿	文化元年子7月	縦紙・1通	え3754-4
借用金證文之御事(金4両) * (端裏貼紙)「金四両増田常之丞殿」 増田常之進(印)、(奥書1)請合蟻川久治郎(印)、(奥書2)北尾張部村九右衛門(印)→八田嘉右衛門殿、(奥書)八田嘉右衛門殿、(再奥書)八田嘉右衛門様	文化2年丑3月	縦継紙・1通	え3754-5
覚(金3両来る3月迄無利息にて借用証文) * (端裏貼紙)「文化二子年十二月金三両大日方勘助殿」 大日方勘助(印)、(奥書)小熊弥四郎(印)→八田嘉右衛門殿	文化2丑年12月	縦紙・1通	え3754-6
御借用仕金子證文御事(金5両来る寅の12月中旬まで) * (端裏書)「金五両鍛次町吉太郎」 鍛冶町御借主吉太郎(印)・同請人五左衛門(印)・同請人平八(印)→野村忠藏殿	文化2丑年12月	縦紙・1通	え3754-7
借用申金子之事(矢代村御高辻の内半軒分買置き田地譲り渡しにて建屋借家の分引当金12両内借) * (端裏貼紙)「丑十二月金拾貳両水野氏」 水野七郎兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化2丑年12月	縦紙・1通	え3754-8
借用金證文之事(10ヶ年年初10俵宛代銀にて皆済として金13両) * (端裏貼紙)「丑十二月拾三両證運寺」 證運寺(印)、(奥書)旦中惣代田中井右衛門(印)・西条村清左衛門(印)→野村忠藏殿	文化2乙丑年12月	縦継紙・1通	え3754-9
借用金證文之事(当村茂左衛門・嘉藤治金13両借用分・村方へ引き請け年賦返上に付、引当は私共持分入上村22俵の地所) * (端裏貼紙)「寅年金拾四両三匁四分八厘五十里村佐源太虎三郎」/「済切返シ證文御口入関田庄助」/(裏書)「五十里村」 五十里村名主佐源太(印)・組頭虎三郎(印)・同断政吉(印)・長百姓喜作(印)・同断勇右衛門(印)→関田庄助様	文化3寅年正月	縦継紙・1通	え3754-10
覚(大小一腰を引当に金1両3分来る3月中迄借用証文) * (端裏貼紙)「寅十二月金壹両三分田丁清右衛門」 外田町清右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内中村金七様	文化3寅12月28日	縦紙・1通	え3754-11
御借用申證文之御事(細工代金1両借用に付) * (端裏貼紙)「寅十一月金壹両紙屋町五郎七」 紙屋町五郎七(印)・請人喜兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内金七殿	文化3丙寅11月日	縦紙・1通	え3754-12
御内借仕金子證文事(細工代金3両) * (端裏貼紙)「金三両中町多喜次」 中町御借主多喜治(印)・鍛冶町受人勘右衛門(印)「茂矩」・同高田祖右衛門(印)・かじ町同清治郎(印)→八田嘉右衛門様御内中村金七殿	文化3年寅7月	縦紙・1通	え3754-13
借用申金子一札之事(私持分小作入12俵を引当に10ヶ年1割の利足にて金10両) 小森村御借主長右衛門(印)・受人庄治郎(印)・名主勘左衛門(印)・組頭三左衛門(印)・長百姓六左衛門(印)他1名→綿内村宮沢彦三郎殿	文化3年寅12月	縦紙・1通	え3754-14
覚(拝領切米金引当にて金11両借用) * (端裏貼紙)「寅十二月金拾壹両 中山有之助殿」 加判平林縫殿進(印)・中山有之助(印)→八田嘉右衛門殿	文化3寅年12月	縦紙・1通	え3754-15
覚(引当は知行所西和田村蔵本へ申渡しに付金6両借用証文) * (端裏貼紙)「丑十二月元関山三弥殿金六両年賦割合」 借主関山三弥(印)・請人飯嶋十左衛門(印)→平林縫殿進殿	文化3丙寅年5月	縦紙・1通	え3754-16

1.内方/5.金融/2.貸付金

御内借證文之御事(金10両) * (端裏貼紙)「文化四卯十二月金拾両 伊勢町助左衛門」 伊勢町助左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内中村金七様	文化4丁卯年12月	縦紙/(貼紙あり)・1通	え3754-17
御借用金證文之御事(2間3間土蔵引当として金2両2分) * (端裏貼紙)「田村氏金貳貳式分 中町長次」 中町借主長治(印)・同町受人金弥(印)他2名→八田嘉右衛門様御内中村金七様	文化4卯年12月	縦紙・1通	え3754-18
覚(拝領切米金引当として金5両借用に付) * (端裏貼紙)「卯年金五両 中山有之助殿」 中山有之助(印)・加判平林縫殿進(印)→八田嘉右衛門殿	文化4年卯10月	縦紙・1通	え3754-19
覚(金5両要用借用に付) * (端裏貼紙)「卯十二月金五両 与良弥門殿」/(端裏貼紙)「よ」 借主与良弥門(印)・請合津左盛(印)→平林縫殿進殿	文化4卯年12月29日	縦継紙・1通	え3754-20
御借用金證文之御事(商売仕入金として金5両) * (端裏貼紙)「辰十二月金五両木町伝左衛門」 伊勢町久蔵抱屋敷御借主傳左衛門(印)・かち町受人惣之丞(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化5辰年12月	縦紙・1通	え3754-21
御借用金證文事(居屋敷引当として金1両2分) * (端裏貼紙)「金壹貳式分辰十二月馬喰町彦右衛門」 馬喰町御借主彦右衛門(印)・五人組長蔵(印)・受人藤三郎(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化5辰(年)12月	縦紙・1通	え3754-22
御借用金證文之御事(居屋敷引当として金2両2分) * (端裏貼紙)「辰三月金貳貳式分紙屋町吉郎次」 紙屋町御借主吉郎治(印)・受人丈七(印)・五人組長蔵(印)他1名→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化5辰年12月	縦紙・1通	え3754-23
一札之事(引当金3分来る3月迄日延に付) * (端裏貼紙)「文化五辰年十二月金三分 米山小右衛門坂本名目不用印書」 御借主米山民右衛門(印)・荒町村受人庄三郎(印)→坂本恒左衛門殿	文化5辰年12月	縦紙・1通	え3754-24
覚(拝領切米金引当として金8両借用に付) * (端裏貼紙)「金八両 平林公片井喜太郎」 御鉄砲師片井喜太郎(印)・(奥書)片岡十郎右衛門(印)→平林縫殿進様	文化5辰8月	縦紙・1通	え3754-25
覚(当11月下旬まで金10両借用に付) * (端裏貼紙)「文化六巳年金拾両 興津半治殿済切印書」 興津半治(印)→八田嘉右衛門殿	文化6巳年2月	縦紙・1通	え3754-26
借用仕金子證文之事(大英寺朱印地書入として金13両借用に付) * (端裏貼紙)「金拾三兩小嶋田村八郎右衛門」/(端裏朱印)「丙申」 下小嶋田村御借主八郎右衛門(印)・合百性受人甚三郎(印)・大英寺様御地名主久三郎(印)→野村忠蔵様	文化2丑年12月	縦継紙・1通	え3754-27
御借用金年賦證文之御事(本田高1石4斗引当として金5両30年賦借用に付) * (端裏貼紙)「文化六巳年二月金五両無利足笹平村与惣治」/(端裏朱印)「丙申」/(端裏朱書)「長岡氏」 笹平村名主与惣治(印)・組頭平右衛門(印)・同断善左衛門(印)・長百姓金左衛門(印)・同断判兵衛(印)・頭立久左衛門(印)・(奥書)長岡助右衛門→長岡助右衛門様、(奥書)八田嘉右衛門殿	文化6巳年11月	縦継紙・1通	え3754-28
御借用金子證文之御事(借主持分高3石5斗引当として金14両借用) * (端裏貼紙)「金拾四兩瀬原田村斧右衛門」 布施五明村瀬原田組御借主斧右衛門(印)・名主市郎右衛門(印)・組頭善次郎(印)・(奥書)真田志摩内小山冲右衛門(印)→関田庄助様、(奥書)関田庄助様	文化6巳年12月	縦継紙・1通	え3754-29
御借用金年賦證文之御事(借主潰百姓となり御屋敷様借財金30両無利足15年賦) * (端裏貼紙)「文化六巳年正月金三拾兩無利足十五年賦吉田村名主弥兵衛」/(端裏朱	文化6巳正月	縦継紙・1通	え3754-30

印)「丙申」/(端裏朱書)「・」 吉田村名主弥兵衛(印)・組頭甚兵衛(印)・長百姓長左衛門(印)・頭立惣代惣助(印)・同断文蔵(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿			
御借用金證文之事(細工道具仕入のため金3両) * (端裏貼紙)「一金三両紙屋町太吉」 かミヤ町御借主太吉(印)・かち町御請人勝右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化7年午3月	縦紙・1通	え3754-31
御借用金證文之事(欠落人忠蔵借用金村請のため金7両3分) * (端裏貼紙)「金七両三分八午より十年賦郡村恒吉」 郡村御借主名主恒吉(印)・同断長百姓常左衛門(印)・御請合頭立与五右衛門(印)・右同断三郎右衛門(印)・右同断助三郎(印)・右同断新左衛門(印)・右同断宇左衛門(印)・右同断小前惣代新右衛門(印)・同久兵衛(印)・同平蔵(印)・同運右衛門(印)・(奥書)郡村名主与左衛門(印)・長百姓新左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化7年午2月	縦継紙・1通	え3754-32
御時借金子證文之御事(金3両商売仕入金に付) * (端裏貼紙)「文化七庚午二月一金三両鏡屋町代治郎」 鏡屋町大治郎(印)・中町御受人九兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	文化7年午正月29日	縦紙・1通	え3754-33
金子借用御證文之事(悴難渋のため居屋敷引当金1両) * (端裏貼紙)「文化七庚午二月長谷川公御口入金壹両紙屋町利右衛門」 紙屋町御借主利右衛門(印)・同町御受人勝右衛門(印)・(奥書)長谷川善兵衛→八田嘉右衛門様御取次衆中	文化7年午2月	縦紙・1通	え3754-34
御内借仕金子證文之御事(寺町證蓮寺本堂再建のため材木代金50両) * (端裏貼紙)「文政九丙戌年三月證蓮寺江差戻候証文写」 寺町證蓮寺提中惣代中町御借主杭全平左衛門他10名・(奥書)寺町證蓮寺→八田嘉右衛門様御内峯村吉兵衛殿	文化7年午5月	縦紙・1通	え3754-36
御内借仕金子證文之事(居屋敷引当として10月まで金7両2分) 嶋屋御借主要助印・肴町御受人角左衛門・(奥書)杭全平左衛門→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化8未年8月	縦紙/(下札あり)・1通	え3754-37
御借用金證文之御事(年1割の利足10年賦にて金6両) * (端裏貼紙)「文化八未年金六両東条村源左衛門壹割拾年賦」/(端裏朱印)「丙申」/(端裏貼紙)「御口入関口庄助(印)」 東条村南組御借主源左衛門(印)・組合惣代受人久左衛門(印)・同断仲八(印)・(奥書)東条村南組名主岸右衛門(印)・組頭仲八(印)・長百姓与左衛門(印)→関田庄助様御内	文化8未年12月	縦継紙・1通	え3754-38
御借用申金子證文之事(細工代金の内中借金2両) * (端裏貼紙)「八月十六日 一金貳両也鍛冶町吉太郎 中貸印書」 かち町吉太郎(印)→峯村吉兵衛様	文化8未(年)8月	縦紙・1通	え3754-39
御口入金證文之御事(村内高辻4石5斗引当として商売仕入金20両) 土口村御借主与三郎(印)・請人仁左衛門(印)・名主松右衛門(印)・組頭甚左衛門(印)・同六左衛門(印)・長百姓三郎右衛門(印)・(奥書)岡川左十郎(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化8辛未年11月	縦継紙・1通	え3754-40
差上申一札之御事(桶商売相体難渋のため借用金元利5両3分無利足20か年賦に付) * (端裏貼紙)「文化八未年金五両三歩 木町伝左衛門 年賦證文」 東木町御借主傳左衛門(印)・伊勢町受人吉左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化8未年閏2月	縦継紙・1通	え3754-41
御内借仕金子證文之事(居屋敷引当として金7両2分) * (端裏朱印)「丙申」 嶋屋御借主要助(印)・肴町御受人角左衛門(印)・(奥書)杭全平左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化8未年8月	縦継紙/(貼紙あり)・1通	え3754-42
御借用金證文之御事(本田高引当として金3両3分銀3匁8分7厘利足1割2分10ヶ年賦) * (端裏朱印)「丙申」/	文化9申年12月	縦継紙・1通	え3754-43

1.内方/5.金融/2.貸付金

(端裏書)「笹平村」 笹平村御借主嘉兵衛(印)・名主与惣治(印)・組頭長左衛門(印)・同断嘉藤治(印)・長百姓伊右衛門(印)他2名、(奥書)長岡助右衛門(印)→長岡助右衛門様、(奥書)八田嘉右衛門殿			
御借用金年賦證文之事(借用主潰欠落のため無利足長年賦にて金6両2分) * (端裏朱印)「丙申」/(端裏書)「上高田村」 上高田村名主平三郎(印)・組頭嘉右衛門(印)・長百姓忠右衛門(印)他4名、(奥書)長岡助右衛門(印)→長岡助右衛門様、(奥書)八田嘉右衛門殿	文化9申年12月	縦継紙・1通	え3754-44
御恩借申金子證文御事(無尽金2両2分) * (端裏貼紙)「山越様御無尽ニ付済切証文」/(端裏書)「済切証文」 三輪村弥惣治(印)→八田嘉右衛門様	文化9申年12月22日	縦紙・1通	え3754-45
御借用申年賦證文之事(本田高引当として金8両利足1割15ヶ年賦) * (端裏朱印)「丙申」/(端裏書)「山上条村」 山上条村御借主惣五郎(印)・親類富右衛門(印)・組合彦兵衛(印)・名主吉左衛門(印)・組頭善蔵(印)・長百姓甚九郎(印)・頭立彦右衛門(印)、(奥書)長岡助右衛門(印)→長岡助右衛門様、(奥書)八田嘉右衛門殿	文化9申年正月	縦継紙/(貼紙あり)・1通	え3754-46
覚(諏訪宮神職上京入用金12両借用に付) * (端裏貼紙)「申八月 金拾貳両 内山健治 官位上京付」 内山健治[印]、(奥書)元右衛門(印)他14名→八田嘉右衛門殿	文化9申年8月	縦継紙・1通	え3754-47
御借用申金子證文之事(金2分来酉4月まで借用に付) * (端裏貼紙)「文化九申十二月 金貳分 荒神町久四郎 印書」 荒町借主久四郎(印)→八田嘉右衛門様御内峯村吉兵衛殿	文化9申12月	縦紙・1通	え3754-48
借用金年賦證文之事(金100両利足5分10ヶ年賦) 大熊衛士内松本名右衛門(印)、(裏書)大熊衛士(印)→八田嘉右衛門様	文化9申年11月	縦紙・1通	え3754-49
御借用金證文之御事(家財引当として来3月まで金1両) * (端裏貼紙)「文化九申年 一金壹両 東木町友吉 三月中迄貸印書」 東木町御借主友吉(印)・御安口受人武左衛門(印)	文化9申年12月	縦紙・1通	え3754-50
以口上書奉願候御事(勝手向不如意のため借入金残金5両2分長年賦返済に付) 鍛冶町友左衛門(印)→八田嘉右衛門様御役人中様	文化9壬申年11月	縦紙・1通	え3754-51
御借用金年賦證文之御事(居宅消失田地水損などにより借用金7両7ヶ年賦に付) * (端裏貼紙)「文化九申年より 一金七両 無利足七年賦 牧嶋村平兵衛」 牧嶋村借主平兵衛(印)・受人喜代松(印)、(奥書)名主久左衛門(印)・組頭常左衛門(印)・長百姓七郎治(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化9年申10月	縦紙・1通	え3754-52
差上申年賦割添一札之御事(病身のため借用金5両3分8ヶ年賦) * (端裏貼紙)「文化九申年十二月 金五両三分 鍛冶町吉太郎 年賦添証文」 鍛冶町吉太郎(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化9申年12月	縦紙・1通	え3754-53
御借用申金子證文之御事(要用のため来月下旬まで金1両) * (端裏貼紙)「金壹両 鍛冶町吉太郎」 鍛冶町借主吉太郎(印)・木町請人清助(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化9申年5月晦日	縦紙・1通	え3754-54
御借用金證文之御事(来11月15日限り金2両借用に付) * (端裏貼紙)「申八月 金貳両 大嶋太右衛門様御長屋おつる久米吉」 大嶋太右衛門様御長屋久米吉→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化9年申8月	縦紙・1通	え3754-55
(金子借用証文綴)		綴/(え3771-1~38は一綴)・1綴	え3771

覚(金7両を1割5分の利足にて借用に付) *写 湯田中 村桜翁寺印→八田嘉右衛門殿	文化10酉年12月	堅紙・1通	え3771-1
差上申添一札之御事(金5両2分を無利足11ヶ年賦にて 借用に付) 藤岡甚右衛門様御抱地新御安口友左衛門 (印)→八田嘉右衛門様御内御役人衆中様	文化10酉年11月	堅紙・1通	え3771-2
覚(金10両を来る亥年小山田主膳様御無尽取番を以て 借用に付) * (端裏貼紙)「文化十酉年三月金拾両宮下佐 傳二殿」 宮下左傳治(印)・宮下堅十郎(印)・松本名右衛門 (印)・(奥書)町田彦佐(印)→八田嘉右衛門殿	文化10酉年3月	堅紙・1通	え3771-3
差上申金子證文之事(金5両を具足を引当とし利足を 1ヶ月金1両に付7分5厘にて借用に付) * (端裏貼紙) 「(朱書)文化十酉四月一金五両郡村繁太郎但具足質證文外 切手御返済此分流れニ相成候哉」 郡村御借り主繁太郎 (印)→八田競様御内野村安右衛門様	文化10年酉ノ卯月日	堅紙・1通	え3771-4
覚(金8両を利足年1割にて借用に付) * (端裏貼紙)「文 化十酉年十二月一金八両 中山有之助殿かし印書」 中山 有之助(印)・受印春原玄三(印)→八田嘉右衛門殿	文化10酉年12月	堅紙・1通	え3771-5
覚(金5両を引当・書き入れ・加判もないものの慥かに 借用に付) * (端裏貼紙)「文化十酉年十二月一金五両也 一色松三郎殿江かし印書」/(端裏朱印)「丙申」 一色松三 郎(印)→八田嘉右衛門殿	文化10年酉12月	堅紙・1通	え3771-6
御借用申金子證文之事(皆神山御領御山桑畑開発黒鍬 人足料差し詰まり、金3両を1両に1ヶ月銀7分5厘の 利足に付) * (端裏貼紙)「文化十酉年十二月金三両 東 荒町北組磯右衛門かし印書」 東あら町北組御借主儀右衛 門(印)・請人中沢村兵右衛門(印)・(奥書)皆神山和合院役 人山口與右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人衆中	文化10年酉12月	堅紙・1通	え3771-7
借用申金子證文之事(金1両2分を年1割5分の利足に 付) * (端裏貼紙)「文化十酉年十二月一金壹両貳分 原 三郎助殿かし印書」 原三郎助(印)→八田嘉右衛門殿	文化10酉年12月	堅紙・1通	え3771-8
乍恐以上口上書奉願候御事(去秋作不作のため御手充成 し下された御年賦割合の上納を当秋作相開き仕る 迄御取述べを願うに付) 土口村名主仁左衛門(印)・組 頭庄三郎(印)・組頭喜惣治(印)・長百姓藤治郎(印)→八田 嘉右衛門様御内領村吉兵衛様	文化11戌年4月	堅紙/(虫損)・1通	え3771-9
覚(金5両借用に付) * (端裏貼紙)「文化二丑年十二月 金 五両 大日方勘助殿」 大日方勘助(印)・(奥書)小熊弥四 郎(印)→八田嘉右衛門殿	文化2丑年12月	堅紙・1通	え3771-10
借用金子證文之事(金2両) 斎田正左衛門(印「斎田」)→ 八田嘉右衛門殿	文化11年戌3月	堅紙・1通	え3771-11
御内借仕金子證文之御事(商売仕入金差し詰まり金3 両を年に1割5分の利足にて借用) * (端裏貼紙)「文化 十一戌年十二月一、金三両也 伊勢町武兵衛貸印書」 伊 勢町武兵衛(印)・木町請人藤兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	文化11戌年12月	堅紙・1通	え3771-12
御借用申金子證文之御事(眼病治療代などに差支え 金2両借用に付) * (端裏貼紙)「戌三月金貳両 鍛冶町 五兵衛」 鍛冶町御借主五兵衛(印)・柴町御請人専左衛門 (印)・親類同三俣平右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内衆中	文化11戌年3月	堅紙・1通	え3771-13
御借用金證文之事(当村1石2斗の地所を引当として金 5両を無利足10ヶ年賦にて借用に付) * (端裏書)「 倉並村字八」/(端裏貼紙朱印)「丙申」 黒沼村御借主宇八 (印)・名主清兵衛(印)・組頭八郎右衛門(印)・長百姓覚之丞 (印)・頭立重郎治(印)・(奥書)長岡助右衛門(印)→長岡助 右衛門様・(奥書)八田嘉右衛門殿	文化11年戌正月	堅紙・1通	え3771-14

1.内方/5.金融/2.貸付金

御借用金證文之事(借主持高1石2斗の地所を引当として金5兩を年1割5分の利足にて借用に付) * (端裏貼紙)「(朱印)丙申」金五兩水内本郷名主重郎次 (朱書)天保三辰年閏十一月改」水内村本郷名主借主重郎治(印)・請人組頭傳兵衛(印)・同断長百姓覚左衛門(印)→関田庄助様御内	文化11戊戌年12月	堅継紙・1通	え3771-15
覚(百目玉筒鉄砲を引当として金5兩を1兩に付1ヶ月銀7分5厘を利足として借用に付) * (端裏貼紙)「文化十一戌年十二月一金五兩也 片井喜太郎殿来五月迄約諾かし印書」片井喜太郎(印)→久保永治郎殿	文化11年戌12月	堅紙・1通	え3771-16
覚(金3兩2分を月掛りで1割5分の利足にて借用に付) * 写 湯田中村梅翁寺印→八田嘉右衛門殿	文化11戊戌年12月	堅紙・1通	え3771-17
金子請取一札之御事(先年扶助金として成し下された残り金5兩) * (端裏貼紙)「文化十二亥十二月金五兩伊勢町武兵衛母へ助成金相渡候印書」伊勢町武兵衛(印)・同人母(印)・同人親類重左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御取次中様	文化12年亥12月	堅紙・1通	え3771-18
借借金一札之事(所持する35石余の地所を引当として金200兩を1兩に付1ヶ月銀6分の利足) 水内郡浅野村借用人九郎兵衛(印)・請人唯右衛門(印)→松城御城下伊勢町傳兵衛殿	文化12年亥12月	堅紙・1通	え3771-19
覚(倅藤四郎と御息女婚姻のため居宅普請入料として金10兩を無利足10ヶ年賦にて借用に付) * (端裏貼紙)文化12亥7月12日金10兩小山田又六郎殿へ貸證文委細訳ありにて略す旨 小山田又六郎(印)→八田嘉右衛門殿	文化12亥年7月	堅継紙・1通	え3771-20
御借用金證文之事(当御上納金不調にて金1兩2分を1兩に付1ヶ月銀7分5厘の利足) * (端裏貼紙)「文化十二亥十二月金壹兩貳分三月迄 石川村又左衛門」上石川村御借主又左衛門(印)・名主市三郎(印)・組頭藤四郎(印)・(奥書)五反田庄兵衛(印)・紺屋町岩七(印)→八田嘉右衛門様御内御取次中様	文化12年亥12月	堅継紙・1通	え3771-21
御借用金證文之御事(商売方仕入金差し詰まり金2兩を1兩に付1ヶ月7分5厘の利足) * (端裏貼紙)「文化十一戌年十二月金貳兩 伊勢町忠八」小越町忠八(印)→八田様御内久保栄治殿	文化12年12月	堅紙・1通	え3771-22
御内借金證文之御事(金15兩を年1割5分御礼金) 田村昌仙(印)→八田嘉右衛門様	文化12亥年11月	堅紙・1通	え3771-23
御借用金添證文之事(金2兩余を年1割5分の御利足) * (端裏貼紙)「文化十二亥二月金貳兩三匁 離山村彦右衛門」離山借主彦右衛門(印)・同受人彦兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内久保栄治郎様	文化12亥年2月	堅紙・1通	え3771-24
借用申一札之御事(金1兩を1ヶ月に銀7分5厘の利足) * (端裏貼紙)「亥七月金壹兩 伊勢町武兵衛」伊勢町借主武兵衛(印)・木町請人伊七(印)→菊屋傳兵衛殿	文化12年亥7月	堅紙・1通	え3771-25
覚(師岡七郎右衛門様発起無尽三番会御取入れ100兩の内初会掛金10兩二番目9兩都合19兩御引取残り金81兩借用に付) * (端裏貼紙)無尽三番会100兩取にて柏屋惣八方へ譲りに付懸戻證文 伊勢町惣八(印墨消)・組合久右衛門(印墨消)・親類御受合五兵衛(印墨消)→八田嘉右衛門様御内	文化12亥年12月	堅継紙・1通	え3771-26
覚(離山御宮普請払方不足のため、金15兩借用に付) * (端裏貼紙)「文化十三子年十二月金拾五兩 借主安藤常陸輔 伊木三郎右衛門 中村惣右衛門」安藤常陸(印)・伊木三郎右衛門(印)・中村惣右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化13子年12月	堅紙・1通	え3771-27
覚(金1兩を年1割5分の利足にて借用に付) * (端裏貼	文化13子年正月	堅紙・1通	え3771-28

紙)「文化十三子正月金壹両野村権蔵殿かし壹割五分」/(端裏貼紙朱印)「丙申」 加判桜井利右衛門(印)・野村雄蔵(印)→八田嘉右衛門殿			
借用金證文之事(金4両借用に付) * (端裏貼紙)「文化十三子年十二月金四両 清水長十郎 山越無尽二付時貸済」清水長十郎(印)→八田嘉右衛門殿御内和七殿	文化13子年12月	堅紙・1通	え3771-29
御借用金年賦證文之御事(金15両を無利足10ヶ年賦に付) * (端裏朱書)「済切 吉田村嘉兵衛」 吉田村御借主名主嘉兵衛(印)・組頭儀兵衛(印)・長百姓弥兵衛(印)・頭立良右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文化13子年12月	堅紙・1通	え3771-30
借用金證文之事(所持の家屋敷表口6間6寸裏行22間2尺を引当) * (端裏書)「柴津村幾之輔 差引入用印證文政二卯二月廿九日改 日延證文差懸不用印書」/下書 伊勢町傳兵衛・五人組源左衛門	文化13子年4月	堅紙・1通	え3771-31
覚(金15両借用に付) * (端裏貼紙)「文化十三子十二月一金拾五両也 片岡俊蔵殿かし印書」 片岡俊蔵(印)→八田辰三郎殿	文化13子年12月	堅紙・1通	え3771-32
御借用金證文之御事(御上様御繰り廻し金の内金20両を年1割2分の御礼金) * (端裏貼紙)「文化十四丑年十二月金貳拾両壹割貳分御繰廻金之内 栗佐村佐右衛門」(朱書)「済切證文」 栗佐村名主借主佐左衛門(印)・組頭助左衛門(印)・同六右衛門(印)・長百姓傳十郎(印)・頭立与惣右衛門(印)・同六郎左衛門(印)・矢代村口入四郎左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化14丑年11月	堅紙・1通	え3771-33
御内借金證文之事(当村御高辻の内13石5斗の所を引当として金50両) * (端裏貼紙)「文化十四丑年二月金五拾兩 八 壹割済切大室村 を」 大室村御借主要助(印) 他5名・名主仙右衛門・組頭甚右衛門・同断弥惣治(印)・長百姓新兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化14丑年2月	堅紙・1通	え3771-34
覚(口入亥元金の内金五両に利足300文を加えて請取に付) 関田庄助(印)→大室村新兵衛殿・要助殿	文化12亥年正月20日	切紙/(え3771-34の裏に貼付)・1通	え3771-35
差上申願之御事(御内借金として金8両) 小網新田村借主忠左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化14年丑3月	堅紙・1通	え3771-36
借用金證文之事(借主持分御高5斗4升などの所を引当として金4両借用) * (端裏貼紙)「文化十三子年三月金四両無利足四年賦 小網村忠左衛門」(端裏貼紙)(朱印「丙申」) 小網新田村御借主名主忠左衛門(印)・長百姓孫兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化14年丑3月	堅紙・1通	え3771-37
御内借金證文之御事(借主持分当村御高辻の内2石5斗などの所を引当として金6両2分を年1割2分の利足として借用に付) 布施五明村瀬原田組御借主長右衛門(印) 他2名・名主佐源治(印)・組頭善八(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化14年丑12月	堅紙・1通	え3771-38
(金子借用証文綴)		綴/(え3772-1~21は一綴)・1綴	え3772
御借用申上候金子證文之事(金1両1分2朱を無利足に付) * (端裏貼紙)「済切金壹両貳分式朱 宮野尾村義左衛門」 宮野尾村儀左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文化10酉年12月22日	堅紙・1通	え3772-1
覚(山上状村へ借り置きし金5両証文を引き当てとして金2両2分借用に付) * (端裏貼紙)「文化十酉年七月一金貳両貳分 藤田専蔵殿かし印書」/(端裏貼紙)(朱印「丙申」) 藤田専蔵(印)→八田嘉右衛門殿	文化10酉年7月	堅紙・1通	え3772-2
覚(樋口角右衛門殿発起無尽当戌懸辰金不調にて金7両2分にて借用に付) * (端裏書)「文化十一戌年十二月金七両貳分金井小忠太殿」 金井小沖太(印)→八田嘉右衛	文化11戌年12月	堅紙・1通	え3772-3

門殿			
(証文2通×金48両御内借下された金子引き当てとして御渡す旨証文) 関田庄助(印)→八田嘉右衛門殿	文化12亥年正月	縦紙・1通	え3772-4
御借用仕候金子證文之御事(当村御高辻の内御高9石の地所を引当として金28両を年1割5分の利足にて借用に付) * (端裏貼紙)「文化十二亥年正月金貳拾八両吉田村太兵衛」吉田村御借り主太兵衛(印)・名主秀左衛門(印)・組頭富右衛門(印)・長百姓良右衛門(印)、(奥書)小野唯右衛門(印)→関田庄助様	文化11戌年12月	縦継紙・1通	え3772-5
寛(御扶持方を引当として金3両を年1割2分の利足にて借用に付) * (端裏貼紙)「亥二月金三両 片岡俊藏殿中島三右衛門殿」高田孝七(印)・加判片岡俊藏(印)、(奥書)中島三右衛門(印)→中島三右衛門殿、(奥書)八田嘉右衛門殿	文化12乙亥年2月	縦継紙・1通	え3772-6
御借用金年賦證文之事(家屋敷を引当として金2両を無利足8ヶ年賦) * (端裏貼紙)「文化十四丑年十二月金貳両無利足壹分、八年賦 荒丁村又八」荒丁村御借主又八(印)・組合受人善治(印)→御口入坂本常左衛門様	文化14丑年12月	縦継紙・1通	え3772-7
御借用申金子證文之御事(西木町に所持する家屋敷を引当として金25両) 木町御借主弥左衛門(印)・五人組喜三郎(印)・西木町組合賀助(印)→八田嘉右衛門様御内	文化14丑年12月	縦継紙・1通	え3772-8
寛(金2両2分を無利足5ヶ年賦にて借用に付) * (端裏貼紙)「金貳両貳分 藤田専二郎殿」/(端裏貼紙)(朱印「丙申」) 借り主藤田専蔵(印)・御口合水野七郎兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化2丑年12月	縦紙・1通	え3772-9
寛(金5両を年1割の利足にて借用に付) * (端裏貼紙)「寅十二月金五両壹割 関口甚五右衛門殿」受合恩田十郎兵衛(印)・関口甚五右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化2丑年12月	縦紙・1通	え3772-10
御内借金證文之御事(所持する土蔵を引当として金3両を1両に付1ヶ月銀7分5厘の礼金) * (端裏貼紙)「卯五月金三両 中町宇左衛門田村氏口入候」御借主中町宇左衛門(印)・同町受人金弥(印)→八田嘉右衛門御内中村金七殿	文化4卯年5月	縦紙・1通	え3772-11
御内借金證文之事(当村御高辻の内御高2石5斗の地所を引当として、金15両を年1割5分の利足) * (端裏貼紙)「金拾五両妻科村清右衛門」妻科村御借主清右衛門(印)・受人清兵衛(印)、(奥書)名主仁左衛門(印)・組頭曾兵衛(印)・長百姓清右衛門(印)→御口合田村昌仙殿	文化5辰年12月	縦継紙・1通	え3772-12
日延一札之事(初7俵の御内借金返上仕り兼に付) 御手子小頭次左衛門(印)・同組受人吉弥(印)・右同断市右衛門(印)→御口入田村昌仙老	文化6巳年12月	縦紙・1通	え3772-13
御借用申金子證文之御事(御借主家財を引当として金3両を金1両に付1ヶ月銀7分5厘の礼金にて借用に付) * (端裏貼紙)「金三両 伊勢町与惣治」伊勢町御借主与惣治(印)・御安口請人伊七(印)→平林縫殿進様御内	文化6巳年4月	縦紙・1通	え3772-14
御借用金年賦證文之御事(金3両を無利足10年賦) * (端裏貼紙)「文化七庚午三月廿三日金三両 中町宇左衛門借金段々難渋ニ相成候付無利足拾年賦ニ而聞済遣候本證文茂留置候」中町御借主宇左衛門(印)・同断伊三郎(印)・荒神町親類受人吉左衛門(印)・中町同断常五郎(印)・同町口合受人金弥(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化7午年3月	縦継紙・1通	え3772-15
御借用仕候年賦證文之御事(御高辻の内御高6斗の地所を引当として金4両2分を無利足10年賦にて借用に付) 牧嶋村借主久蔵(印)・同断平兵衛(印)・借主名主久左衛門(印)・同断組頭藤七・同断長百姓平左衛門(印)→	文化8未年10月	縦継紙・1通	え3772-16

御口合御取次田村昌仙殿			
①覚(金3両借用に付)、②覚(片岡俊蔵殿義に付御無心に及び3両借用に付) * (端裏貼紙)「文化九申年十二月金三両」 ①片岡俊蔵(印)・受人中島三右衛門(印)→森木唱殿、②森木唱(印)→八田嘉右衛門殿	①②文化9申年12月	縦継紙・1通	え3772-17
御借用金年賦證文之事(当村治郎右衛門御借用金村方引請、当村御高辻の内高1石5斗5升の地所を引当として金6両銀14匁余りを1割の利足をつけ借用に付) * (端裏貼紙)「文化十三子年十二月金六両銀十四匁八分五厘也 ハ 一割六ヶ年賦 小島村久兵衛」/(端裏貼紙)朱丸有り 小島村借主名主久兵衛(印)・組頭要右衛門(印)・長百姓七左衛門(印)・頭立惣代権蔵(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化13年子12月	縦継紙・1通	え3772-18
御借用金年賦證文之事(御借主持分当村御高辻の内高4石8斗余の地所を引当として金10両を5分割合の利足を以て8ヶ年賦にて借用に付) * (端裏書)「裏書之通年々返上之小切手村方ニ御預置候 天保四巳年十二月為右衛門(印)」/(端裏貼紙)「文化十二亥元金拾兩五十分利付八年賦 古山村武左衛門 古山村御借主名主武左衛門(印墨消)・同断組頭為右衛門(印墨消)・同断組頭七郎治(印墨消)・同断長百姓仁兵衛(印墨消)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化12亥年12月	縦継紙・1通	え3772-19
覚(金10両証文11通、金子返済申し上げ本証文御戻し成し下されるに付) 古山村名主武左衛門(印)・組頭為右衛門(印)・同断七郎治(印)・長百姓仁兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内久保栄八様	文化13子年12月10日	横切紙・1通	え3772-20
御借用金證文之事(御借主持分当村御高辻の内御本高6斗5升の地所を引当として金4兩1分銀13匁余を無利足12ヶ年賦に付) 古山村御借主為右衛門(印)・名主七郎治(印)・組頭亀右衛門(印)・長百姓喜右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保4巳年12月	縦紙・1通	え3772-21
御借用金證文之事(金25兩年1割の利息にて) * (端裏書)「済切返シ證文泉平村」 泉平村借主市左衛門(印)他2名・名主佐右衛門(印)・組頭市左衛門(印)・長百姓仁左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化4年卯11月	縦継紙・1通	え3801
覚(金15両借用受取証文) * (端裏貼紙)「金拾五兩 徳嵩甚蔵殿 綿貫御氏御頼母布約定懸印書」 徳嵩甚蔵(印)→八田嘉右衛門殿	文化5辰年正月	縦紙・1通	え3939
覚(呉服商売相止なされ私方借家へ御店譲渡に付代金金900両借用証文) * 写 増田徳左衛門印→八田嘉右衛門様	文化6巳年2月	縦紙・1通	え3871
借用金證文之事(本田分米20石引当にて金250両借用受取に付) * (端裏貼紙)「文化七午年十一月金貳百五拾兩取入證文藤田傳左衛門殿」 海野宿借用主藤田傳左衛門(印)・上丸子村請人傳兵衛(印)、(奥書)海野村庄屋利兵衛(印)・同村年寄助之丞(印)他3名→松代御城下伊勢町傳兵衛殿	文化7年午11月	縦継紙・1通	え3594
(小野斎二借用金関係綴)		綴/(え3882-1~4は一綴)・1綴	え3882
覚(発起無尽当会半口取り入れ懸戻しに付引当として知行所南堀村へ本金15兩預かり置きに付) * (端裏書)「預り印書下案認候而矢野倉忠右衛門殿へ遣ス御世話人付」 八田嘉右衛門→小野斎二殿	文化9申年12月	縦紙・1通	え3882-1
御借用金證文之事(当村高辻8石余を引当に金36兩無利息6ヶ年賦にて) * (端裏貼紙)「文化九申年十二月小野斎治殿頼母敷継候以来取番付諸方より引当證文御預置	文化9申年正月	縦継紙・1通	え3882-2

1.内方/5.金融/2.貸付金

申候致紛乱鋪事」南堀村御借主与左衛門(印)・名主治兵衛(印)・組頭久右衛門(印)・長百姓久兵衛(印)→八田嘉右衛門様御役人中			
御預り申金子證文之事(当村高辻のうち5石余を引当に金15兩年1割5分にて屋敷繰り回し金預り)＊(端裏書)「申 南堀村与左衛門」南堀村御預り主御蔵本与左衛門(印)・仮名主幸左衛門(印)・組頭久右衛門(印)・長百姓久兵衛(印)→小野斎二様御内	文化9申年12月	堅紙・1通	え3882-3
御借用申金子證文之御事(家財書入にて金15兩無利息5年賦にて) 木町御借主已之作(印)・請人伊七(印)→小野斎二様御内御役人中様	文化9申年12月	堅継紙・1通	え3882-4
借入金一札之事(御才覚御口入の正金600兩受取に付、返済は金1兩につき1ヶ月銀6匁とし、引当は所持の御高3貫文にて譲渡金1200兩分の地所に付) 塩田組五加村甲田勝太郎(印)・同組手塚村山極八郎右衛門(印)・同組別所村受人倉澤七太夫(印)・田中組海野宿受人藤田市太夫(印)→松代御城下伊勢町傳兵衛殿	文化9年申12月	堅継紙・1通	え3607
借入金一札之事(御才覚御口入の正金300兩受取に付返済は金1兩につき1ヶ月銀6分にて来る酉11月限り、引当は御高3貫文の地所)＊(端裏貼紙)「文化九申年十二月金三百兩 甲田勝太郎殿」/(端裏貼紙)「右證文者認方不宜ニ付本紙到来之上返可申約束之処本證文到来残居候間追而返可申事」/(包紙上書)「證文」/(包紙貼紙)「亥十一月金貳百兩 倉沢甲田山極」/(包紙貼紙)「右借附金之義者岩村田御仕送金之内式百兩出金有之候処今度此方より右三人之衆江借附金貳百兩与為替ニ致遣候先方より出金之趣此方より印書差出置候哉不覚ニ付此方ニ先方借附證文留置申候外三百兩先方出金之分七拾五兩甲田分相残シ式百貳拾五兩倉沢山極両氏差出印書取」 塩田組五加村借用主甲田勝太郎(印)・同組別処村加判人倉澤七太夫・同組手塚村同断山極八郎右衛門(印)・(奥書)塩田組五加村庄屋甲田繁太郎(印)・海野宿引請人藤田市太夫(印)→松代御城下伊勢町傳兵衛殿	文化9歳申12月	堅継紙・1通	え3608
御借用金證文之事(金15兩を年賦金2兩1歩分銀11匁3歩6厘にて借用)＊(端裏貼紙)「金拾五兩五町役人貸附年賦證文」伊勢町名主甚三郎(印)・荒神町名主清左衛門(印)・中町名主七郎治(印)・肴町名主惣右衛門(印)・鍛冶町名主権左衛門(印)・(奥書)伴三郎右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文化9申年12月	堅継紙・1通	え3802
一札之事(元金800兩を無利足10ヶ年賦にて返済証文) 平林縫殿進(印)→八田嘉右衛門殿	文化10酉年5月	堅紙・1通	え3821
御借用申金子之事(名所平村のうち1石7斗5升にて金5兩利息1割5分にて来る酉11月10日限り) 山上条村借主弥惣右衛門(印)・借主善藏(印)・借主受人弥兵衛(印)・名主善藏(印)・組頭治郎左衛門(印)・同断忠右衛門(印)・長百姓幸左衛門(印)→藤田専藏様御内五明松五郎様	文化10申(マ)年12月	堅継紙・1通	え3870
差出申一札之事(御奉公相定めの処病氣にて御日間願いたく字石原田麦田5畝歩ほか2筆の処書き入れにて給金返済を当月25日迄日延べ願いに付) 小作年借主八郎左衛門・組頭徳右衛門・請人多左衛門→店尻村武藏様	文化11年9月日	堅紙・1通	え3788
御内借金證文之事(金36兩私持分いろいろ田高9斗6升ほか田地差し出しにて来る亥3月下旬まで) 矢代村御借用主源左衛門(印)・受人文左衛門(印)他2名・名主宇右衛門(印)・組頭林左衛門(印)・同断順兵衛(印)・長百姓勇左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人衆中	文化11戌年12月	堅継紙・1通	え3803
覚(倅治助縁女持参金80兩受取証文) 師岡七郎右衛門(印)・(奥書)平林縫殿進(印)・大草玄常(印)→大草玄常殿	文化12亥年4月	堅紙・1通	え3750

平林縫殿進殿、(奥書)八田嘉右衛門殿			
覚(金15両年中1割2分の利息にて来る丑年取番並びに中嶋三右衛門殿発起終会取り入れにて引当差し出しに付) * (端裏書)「文化十三年十二月金拾五両森木唱殿分壹割貳分」 森木唱(印)、(奥書)藤田右伸(印)→八田嘉右衛門殿	文化13子年12月	縦紙・1通	え3789
覚(預り金利足12両請取証文) 柿崎源左衛門(印)→八田嘉右衛門様	文化14丑年12月	小切紙・1通	え3748
覚(預り利足18両請取証文) 矢代村平九郎(印)→八田嘉右衛門様御内	文化14丑年12月	切紙・1通	え3749
覚(金8両差し懸かりにて急借の処当17日元利とも返済に付) * (端裏貼紙)「文化十四丑年十二月金八両関屋村明徳寺」 関屋村借主明徳寺[印]→八田嘉右衛門殿	文化14丑年12月8日	堅切紙・1通	え3778
借入金証文之事(金14両銀8匁2分3厘子年12月10日限り) * 下書/田15主苟ほか小作高書上帳紙背文書使用 荒神町御借主孝右衛門・同重左衛門・所有者請人音弥・→八田嘉右衛門様御内	文化14丑年4月	縦紙/(貼紙あり)/(下札あり)・1通	え3787
覚(岩村田様御仕送りの処差し支え名主御仕送りにて差し引き入れ込みご迷惑金150両元利ノ165両出金分お渡しに付) * 下書 →松代町傳兵衛殿	文化14丑年月日	横切縦紙・1通	え3808
乍恐以口上書奉願候御事(当村八郎右衛門勝手を以て酒造道具一式並びに土蔵、麴室その他借用に付、金子調達上納の節に差し戻しを願う旨) 森村地主讓主八郎左衛門(印)・親類唯七(印)・忤条吉(印)・御受人幸三郎(印)・同断戸左衛門(印)・同断金兵衛(印)・同断民左衛門(印)・同断孫兵衛(印)・名主孫左衛門(印)・同断弥忠太(印)・組頭八五郎(印)・同断善右衛門(印)・長百姓藤左衛門(印)・同断甚左衛門(印)・頭立金兵衛、(裏書)八田嘉右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文政元寅年8月	縦継紙・1通	え3610
覚(金10両未12月中預かりにて大沢久也証文差し出しの所同人死去にて8ヶ年利分10両1分銀9匁の内5両3分お渡し残金内談にてこの度受取なされに付) * (端裏書)「下案」 八田嘉右衛門→佐川又左衛門殿	文政2卯年12月	縦紙・1通	え3817
御借入金証文之事(掬元方入用金差支えのため、金100両を利足は年々助成との趣で借用に付) 塗師方世話方深美甚十郎(印)、(奥書)高野祖兵衛(印)・高田孝七(印)→八田嘉右衛門様	文政3辰年9月	縦継紙・1通	え3902
覚(津田転殿無尽御加入御取番の節金6両を無利足20年賦にて借用に付) * (端裏貼紙)「文政三辰年十二月金六両辰年より無利足式十ヶ年賦 入安兵衛殿」 入安兵衛(印)・加判柿崎喜作(印)→八田嘉右衛門殿	文政3辰年12月	縦紙・1通	え3845
覚(金15両恩借に付借用仮証文) 小山田又六郎(印)→八田嘉右衛門殿	文政3辰年5月	縦紙・1通	え3877
(真島村要五郎借入金に付師岡源兵衛口入証文関係一括)		綴/(え3830-1~5は一綴)・1綴	え3830
(惣兵衛より金1両1分他ノ金2両2分余金銭書上)		横切紙・1通	え3830-1
口上(介兵衛様より別紙相願受の旨に付) 徳左衛門→(八田)嘉助様		切紙・1通	え3830-2
覚(拙者方無心に要五郎への借入金15両受取証文) * (端裏書)「(印)「丙申」同年十二月元金受取済」(真島村)師岡源兵衛(印)→八田嘉助殿	天保5午年正月	横切紙・1通	え3830-3
覚(借入金12両受取証文) (真島村)師岡治助(印)→皆神	文政5年午12月	横切紙・1通	え3830-4

1.内方/5.金融/2.貸付金

山和合院殿			
借用申金子證文之事(金15兩受取に付) 師岡治助(印) →皆神山和合院殿	文政5午年7月	横切紙・1通	え3830-5
覚(金50兩石坂柳右衛門発起無尽初回懸金証文懸分元 利にて受け取り証文引き替えに付) *(端裏貼紙)「祢 津宮内殿御内石坂柳右衛門発起宛初五拾兩後三拾兩懸 口相成候無尽之書類元帳仕立入用書留」 和田九郎右衛門 (印)→八田嘉右衛門様	文政6未年12月	縦紙・1通	え3797
御借用金子證文之事(金3分2朱と5匁3分5厘無利息8ヶ 年賦にて養父和助是まで上納仕らず無心申し上げ 格別の御念入りにて当年より上納) 新御安口御借主 友作(印)・同所受人銀兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内浦野 忠七殿	文政8酉年3月	縦紙・1通	え3796
拝借金証文(来月20日迄金5兩借用に付) *(端裏貼紙) 「金五兩文政八酉年四月廿三日山極八郎右衛門へ借証文右 者相済哉とも覚居不分明ニ有之候穿鑿之上取斗可申事」 拝借人山極八郎右衛門(印)・右受人小野与左衛門(印)→皆 神山御役衆中様	文政8酉年4月23日	縦紙・1通	え3926
覚(借財利足払い方不足に付覚) 山越市之丞(印)・山越 恒五郎(印)→八田嘉右衛門殿	文政10亥年12月	縦紙・1通	え3850
覚(お頼みに付金30兩預り証文) 八田嘉右衛門内浦野忠 七→相之惣様	文政12丑年正月	縦紙・1通	え3858
乍恐以書付奉願候(借入金125兩返済不能に付書入の 酒蔵一式・屋敷払い下げの旨) 森村願主富作(印)・親 類惣代唯七郎(印)・富作実父条吉(印)→八田嘉右衛門様御 内	文政12年寅(マ)2月朔 日	縦継紙・1通	え3859
御借用金証文之事(金25兩を無利足10年賦) 八田嘉右 衛門抱屋敷役代東木町伊七(印墨消)・(奥書)八田嘉右衛門 (印墨消)→菊池孝助様御内・堀内與一右衛門様御内	文政13寅年12月	縦紙/(綴穴あ り)・1通	え3769
本書式通継左之文言書割割印之事(紙屋町九兵衛借 用金不如意にて、残金御流願い) *下書 紙屋町九兵 衛・親類たれ・組合・(奥書)名主・長町人→八田嘉右衛門様 御内	文政13寅年7月	縦継紙・1通	え3770
(金子借用証文綴)		綴/(え3773-1～ 37は一綴)・1綴	え3773
借用金証文(金7兩を借用に付) *(端裏貼紙朱書)「天保 元寅年十二月廿八日貸付金一金七兩 山極源右衛門殿 天保二卯年四月二日済切」 借用人善光寺山極源右衛門 (印)→松代町菊屋傳兵衛殿御口入	天保元寅年12月29日	縦紙・1通	え3773-1
覚(金2兩2分銀7分5厘借用に付) 長谷川藤五郎(印)→八 田嘉右衛門殿	天保2卯年12月	縦紙・1通	え3773-2
覚(金2兩1分3朱銀4分2厘借用に付) 長谷川藤五郎(印) →八田嘉右衛門殿	天保3辰年12月25日	縦紙・1通	え3773-3
借用金年賦証文之事(所持する家屋敷を引当として金 7兩を5分の利足15ヶ年賦にて借用に付) *(端裏朱 印)「丙申」 鍛冶町借主甚四郎(印)・同甚蔵(印)・組合受人 大野安左衛門(印)・同与七(印)→八田嘉右衛門様御内御役 人中様	天保3辰年3月	縦紙・1通	え3773-4
御内借証文之事(御借地代家賃など差滞り去年御渡 し下されし代金20兩の内の残金5兩無利足10年賦に て借用に付) 同心丁借主彦蔵(印)・親類受人御證人又 左衛門(印)他2名→伊勢町傳兵衛殿	天保3辰年12月	縦継紙・1通	え3773-5

覚(勝手向き今以て残らず片付申さず金3両借用に付) 澤守禮親敬(印)→八田嘉助殿	天保4年癸巳10月	堅紙/(差出に貼紙あり)・1通	え3773-6
覚(金3両借用に付) 関田守之丞(印)・加判関田慶左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月	堅紙・1通	え3773-7
乍恐以書付御日延奉申上候(借用金御延引願) 栗佐村佐五右衛門→長崎源吾様	天保4巳年12月	堅継紙・1通	え3773-8
指上申御日延證文之事(巳之御割合金返済仕兼ね22日迄御日延願書) 和佐尾村名主勘五郎(印)・組頭五郎右衛門(印)・長百姓善右衛門(印)他1名→八田嘉右衛門様御役人中様	天保4巳年12月	堅紙・1通	え3773-9
以書付御日延申上候(15日迄御日延願書) 古山村名主七郎治御用ニ付無印→八田嘉右衛門様	天保4巳年12月12日	堅切紙・1通	え3773-10
覚(借用元金60両当巳年より30ヶ年賦1ヶ年金2両2分づつ年々20ヶ年返済すれば、末10ヶ年は手充として返済方用捨致すべき旨) *写 長岡助右衛門印、(奥書)八田嘉右衛門→柳島市郎左衛門殿	天保4巳年11月	横切紙・1通	え3773-11
借用金年賦證文之事(文化8末年宿問屋御公儀御用筋にて江戸表へ罷り出、入料差支え関田守之丞様より金25両御内借するも返済できず元利×60両になるを長年賦にて借用となるに付) 丹波島村問屋御借主柳島市郎左衛門(印)・親類万兵衛(印)・組合宇兵衛(印)・名主勘助(印)・組頭嘉右衛門(印)他2名・宿年寄岡沢彦五郎(印)他1名→八田嘉右衛門様・御口入長岡助右衛門様	天保4巳年9月	堅継紙・1通	え3773-12
覚(金3両借用に付) 関田守之丞(印)・加判関田慶左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保5午年9月	堅紙・1通	え3773-13
御借用金子證文事(金2両) * (端裏貼紙)「天保六末年四月金式両也但壱割貳分 田中村源五兵衛数右衛門掛り」/(端裏貼紙朱印)「丙申」 田中村源五兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保6末年4月	堅紙・1通	え3773-14
覚(御扶持方玄米3俵を引当として金壱両借用に付) * (端裏貼紙)「天保六末年十二月金壱両也但壱割利付 大澤久慈殿」/(端裏貼紙朱印)「丙申」 大沢久慈(印)→八田嘉助殿	天保6末年12月	堅紙・1通	え3773-15
覚(午年取集金差し出す残金の分金14両2分銀4分7厘借用に付) 長岡助右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保6末年12月	堅切紙・1通	え3773-16
覚(金30両を1両に付1ヶ月銀6分の利足にて借用に付) * (端裏貼紙)「天保六末年九月金三拾兩也月掛り壱割貳分寺町唯助 九助」 寺町唯吉(印)・九助(印)→御口入伊勢町傳兵衛殿	天保6末年9月	堅紙・1通	え3773-17
添書之事(先年金10両1割の利足にて借用の所返済滞り15両2分に相成り10両2分を返上仕り残金5両は利足御免にて3年賦にて返済に付) 中町五兵衛後家もせ(印)・伊勢町惣八郎(印)→八田嘉右衛門様御内	天保6末年12月	堅継紙・1通	え3773-18
覚(金3両借用に付) * (端裏朱書)「未極月廿九日洛切」 関田守之丞(印)・加判関田慶左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保6末年8月	堅紙・1通	え3773-19
覚(金2両借用に付) * (端裏貼紙)「天保七申七月貸付金式両 関田守之丞殿」 関田守之丞(印)・加判関田慶左衛門(印)→八田嘉助殿	天保7申年7月	切紙・1通	え3773-20
覚(金1両借用に付) 関田守之丞(印)・加判関田慶左衛門(印)→八田嘉助殿	天保7申年10月	堅紙・1通	え3773-21
覚(金4両借用に付) 関田守之丞(印)・加判関田慶左衛門(印)→八田嘉助殿	天保7申年12月	堅紙・1通	え3773-22

1.内方/5.金融/2.貸付金

御借用申金子證文之事(町々出金出来兼ね靱子150俵を引当として金100両を金1両に付1ヶ月銀6分の利足にて借用に付) 御借主中町名主善兵衛(印)・荒神町名主庄右衛門(印)・肴町名主伊右衛門(印)・鍛冶町長町人久作(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	天保7申年12月	縦継紙・1通	え3773-23
借用仕金子證文之事(所持する土蔵を引当として金3両を年銀9分の利足にて借用に付) * (端裏貼紙)「天保七申正月金三両利足九分 中町善左衛門」 中町御借り主善左衛門(印)・同町請人惣之助(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保7申年正月	縦紙・1通	え3773-24
御借用金證文之御事(所持する東條村分地を引当として金1両を1ヶ月銀6分の利足に付) 袋町金治(印)・八町村善右衛門→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保7申年12月	縦紙・1通	え3773-25
借用申金子證文之事(家財諸道具を残らず引当として金3両1分を1ヶ月1両に付銀7分5厘の利足にて借用に付) 西木町御借主権左衛門(印)・請人亀三郎(印)→菊屋傳兵衛殿	天保8酉年3月	縦紙・1通	え3773-26
覚(金9両借用に付) * (端裏貼紙朱書)「天保八酉年十二月金九両関田守之丞殿江貸金戌十二月返済之印書」 関田守之丞(印)・加判関田慶左衛門(印)→八田嘉助殿	天保8酉年12月	縦紙・1通	え3773-27
借用申金子之事(溜仕入金として金25両借用に付) * (端裏朱書)「此分元利戌五月元日皆済尤切手差遣置候間追而引替可申候」 中町平兵衛(印)→菊屋勝之助殿	天保8酉年12月	縦紙・1通	え3773-28
御借用金年賦證文之御事(御高1石5斗などの地所を引当として金9両1分2朱を無利足15ヶ年賦にて借用に付) 中條村町組名主安左衛門(印)・組頭作兵衛(印)・同断清左衛門(印)・同断喜惣治(印)・長百姓又左衛門(印)・同断弥忠太(印)・頭立又左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保9戌年12月	縦継紙・1通	え3773-29
借用金證文(脇差1腰を引当として金2両を借用に付) 借用人山極半右衛門(印)→松代町菊屋傳兵衛殿	天保9年戌7月	縦紙・1通	え3773-30
御内借金子證文之事(所持する家屋敷を引当として、金6両を1両に付1ヶ月銀6分の利足にて借用に付) 荒神町御借主傳兵衛(印)・五人組惣代御受人文左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保9戌年12月	縦継紙・1通	え3773-31
御内借金年賦證文之事(所持する御町屋敷を引当として金10両を無利足20ヶ年賦にて借用に付) * (端裏貼紙)「天保九戌年金拾両無利足貳拾ヶ年賦 荒神町傳兵衛」 荒神町御借主傳兵衛(印)・五人組惣代御受人文左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保9戌年正月	縦継紙・1通	え3773-32
覚(西木町大黒屋平兵衛へ御口合金について貸付に付) 片桐重之助(印)→八田嘉右衛門殿	天保10亥年正月	横切紙・1通	え3773-33
覚(西木町平兵衛元利ノ26両余金銭書上)	亥正月調	横切継紙・1通	え3773-34
借用金證文之事(所持する建家を引当として、金25両を年1割の利足にて借用に付) * (端裏貼紙)「天保九戌年十二月金貳拾五両也 西木町平兵衛江貸付金證文右金子ニ付片桐重之助殿より茂添書有之」 西木町御借主平兵衛(印)・親類受人宗弥(印)・組合受人直八(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保9戌年12月	縦継紙・1通	え3773-35
覚(金20両御下げになられ請取に付) 東荒町初吉(印)・袋町親類金治(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾殿	天保9年戌12月29日	縦紙・1通	え3773-36
借用金證文之事(金10両を年1割3分の利足にて借用に付) 師岡源兵衛内安左衛門(印)→八田嘉助様御内	天保10亥年7月	縦紙・1通	え3773-37
一札之事(兵左衛門玉目50匁鉄砲1挺の引当を以て金	文政13寅歳5月	縦継紙・1通	え3851

子借用のところこの度隠居願うに付年賦金は正宅にて引き受けるに付) 坂原兵助(印)→八田嘉右衛門様			
覚(300兩時借証文、来年3月中に返上) 八田嘉右衛門(印擦消)→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿	天保2卯年12月	堅紙・1通	え3505
(片桐重之助貸借関係綴)		綴/(え3726-1~23は一綴)・1綴	え3726
覚(御口入金191兩借用、引当は私頂戴の御宛行と家屋敷など) 片桐重之助(印)→八田嘉助殿	天保13寅年正月	堅紙・1通	え3726-1
(金199兩借引渡証文、返済遅滞の節は私取立の旨) 片桐重之助(印)→八田嘉助殿	天保13寅年正月	堅紙・1通	え3726-2
覚(石見要用に付口入金10兩借用、12月に返済の旨) 鎌原石見守内朝日平右衛門(印)→片桐惣右衛門様	天保13寅年2月	堅継紙・1通	え3726-3
覚(手前より掛け合いにて金15兩借用、返済は来年12月の旨) 上八町村御借主清吉(印)・受人林右衛門(印)→片桐重之助様	天保9戌年12月	堅紙・1通	え3726-4
差上申御内借証文之事(手段金のうちより20兩借用、引当は村南沖高3石5斗のうちの粉) * (端裏書)「五太夫」 大岡根越組代村御借主五太夫(印)・名主市左衛門(印)・組頭吉右衛門(印)・長百姓助左衛門(印)→片桐重之助様	天保9戌年12月	堅継紙・1通	え3726-5
御借用金証文之事(口入金5兩内借、引当は村南沖高5石のうちの粉) * (端裏書)「入山村影山清吉」 入山村影山組名主御借主清吉(印)・長百姓御受人善次郎(印)→片桐惣右衛門様	天保8酉年4月	堅継紙・1通	え3726-6
御借用金証文之御事(口入金5兩内借、引当は村南沖高5石のうちの粉5俵) * (端裏書)「入山村清吉」 入山村影村組名主御借主清吉(印)・長百姓善治郎(印)→片桐惣右衛門様	天保8酉年3月	堅継紙・1通	え3726-7
御借用金子証文之事(上納金差し詰まり金5兩借用、引当は本郷前沖のうちの粉5俵) * (端裏書)「北郷村多文治」 北郷村御借主太文治(印)・名主請人七五郎(印)・組頭太文治(印)・長百姓政左衛門(印)→片桐重之助様御内	天保11子年12月日	堅紙・1通	え3726-8
御借用証文之事(上納金差し詰まり金5兩借用、引当は南三丁のうちの粉5俵) * (端裏書)「重右衛門」 北尾張部村御借主重右衛門(印)・名主清右衛門(印)・組頭三郎治(印)・長百姓磯右衛門(印)→片桐惣右衛門様	天保9戌年12月	堅継紙・1通	え3726-9
御借用金証文之御事(口入金10兩御内借、引当は北沖麻畑のうちの粉5俵) * (端裏書)「里穂苅栄助」 里穂苅村御借主栄助(印)・受人清左衛門(印)・組合惣代財助(印)→大嶋磯右衛門様	天保7申年12月	堅紙・1通	え3726-10
差上申御借証文之事(口入金3兩内借、引当は持分のうち粉3俵) * (端裏書)「内川村弥吉」 内川村御借主弥吉(印)・同所受人瀬兵衛(印)→御勘定御役所片桐惣右衛門様	天保4年巳11月	堅紙・1通	え3726-11
御借用金証文之御事(口入金5兩御内借、引当は持分のうち粉8俵) * (端裏書)「下宮野尾村伴右衛門」 下宮野尾村借主伴右衛門(印)・組頭佐兵衛(印)→片桐惣右衛門様	天保8酉年12月	堅紙・1通	え3726-12
差上申御内借金証文之事(御借入金のうち金10兩借用、引当は持分のうち粉10俵) * (端裏書)「北郷村」 北郷村名主御借主七五郎(印)・組頭惣左衛門(印)・長百姓喜藤太(印)・御受人石坂清左衛門(印)→片桐丈之助様	天保8酉年2月	堅紙・1通	え3726-13
差上申御内借証文之御事(借入金のうちより20兩借用、	天保5午年12月	堅継紙・1通	え3726-14

引当は村南沖高3石5斗のうちの粃) * (端裏書)「瀬戸川村」瀬戸川村馬曲組御かり主喜兵衛(印)・同断重次郎(印)・名主傳右衛門(印)・組頭喜兵衛(印)・長百姓重治郎(印)→片桐重之助様			
御借用證文之事(御口入にて金15兩借用、引当は切米10俵) 風間友吉組源右衛門(印)・朝日平右衛門(印)→大嶋磯右衛門様	天保11子年12月	堅紙・1通	え3726-15
差上申口御入金證文之事(口入金8兩借用、引当は村南仲のうち5俵) * (端裏書)「牧嶋」 牧嶋村借主圓右衛門(印)・請人平之丞(印)→片桐重之輔様	天保7申年12月	堅紙・1通	え3726-16
差上申御借用金證文之事(口入金8兩借用、引当は新開塚のうち4俵) * (端裏書)「弥吉」 内川村弥吉(印)・名主庄三郎(印)・組頭清右衛門(印)・長百姓佐右衛門(印)→片桐惣右衛門様	天保5午年6月	堅継紙・1通	え3726-17
覚(口入金2兩借用、引当は扶持方のうち2俵) 久保新左衛門(印)・加判佐藤兵助(印)→片桐重之助殿	天保9戌年12月	堅紙・1通	え3726-18
差上申御口入金證文之事(口入金15兩借用、引当は清水南沖御本田15俵) * (端裏書)「入山村半左衛門」 入山村清水組御借主名主半左衛門(印)・請人長百姓兵左衛門(印)→片桐惣右衛門様	天保7申年8月	堅継紙・1通	え3726-19
御借用申金子證文之事(商売仕入金として口入金7兩借用、引当は持分のうち粃6俵) * (端裏書)「町川田村清左衛門」 町川田村御借主清左衛門(印)・請人石深又三郎(印)→片桐重之助様	天保5午年12月	堅紙・1通	え3726-20
借用金證文之事(口入金5兩借用) 大野健左衛門(印)→片桐重之助殿	天保10亥年6月	堅紙・1通	え3726-21
御借用申金子證文之事(御年寄御内借金10兩借用、引当は市場東沖の地所) 橋詰村下組御借主嘉兵衛(印)・名主善五郎(印)・組頭傳左衛門(印)・長百姓嘉兵衛(印)→片桐重之助様御内	天保12丑年12月	堅紙・1通	え3726-22
覚(口入金3兩借用、引当は切米) 伊東栄治(印)→片桐重之助殿	天保7申年12月	堅紙・1通	え3726-23
差上申一札之御事(拝借年賦金穀物高値にて割金調達出来かね親類一同才覚出精の処難渋にて取り延べ下されたきに付) 御借主彦蔵(印)・西条村親類重吉(印)→八田嘉衛門様御内御役人中様	天保4巳年12月	堅紙・1通	え3798
御時借證文之事(金2分当12月中旬まで時借証文) 中町借主長兵衛(印)・紙屋町受人定吉(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保5午年5月	堅紙・1通	え3799
御店附金御預り證文之事(中町醬油店支配拜命のため仕入金に付御店附元金90兩御預り、年利8分の割合) * (端裏貼紙)「店付金九拾七兩之内九拾兩、年二八分利付、醬油方平兵衛請取」 中町平兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保7申年正月	堅紙/(え3612～3630は括紐一括)・1通	え3614
借用金證文之事(金2兩を利足1兩に付1ヶ月銀7分5厘) 田中村御借主源兵衛(印)・同人次男請人啓助(印)→菊屋傳兵衛殿	天保8酉年3月	堅紙・1通	え3765
覚(小林量吉跡目相続金預け金元利皆済受取) 池田良右衛門(印)→八田嘉助殿	天保8酉年12月28日	堅紙・1通	え3849
覚(金20兩長柄10筋など引当にて受取証文) 片岡主計(印)→八田嘉右衛門殿	天保9戌年4月日	堅紙・1通	え3800
乍恐以書付御絶奉願候(当組権左衛門恩借りの後家出、そのため加判の者都合金1兩1分などによって御聞き済まし下さる) 権左衛門親類甚左衛門(印)・組合惣	天保10亥年正月	堅継紙/(貼紙あり)・1通	え3760

兵衛(印)・同断瀧右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様			
覚(発起無尽当会取入れ金の内金2両銀12匁余御借用に付) 関田守之丞(印)→八田嘉助殿	天保10亥年6月	縦継紙・1通	え3761
借用金子證文之事(御地頭様御朱印御書替御入用金返済方差し詰まり、金2両、利足8分にて借用に付) * (端裏貼紙)「天保十亥年十二月金貳両也 大林寺様御蔵本助治江貸付金證文尤同寺末書有之」 大林寺様御蔵元助治(印)、(奥書)大林寺納所[印]→八田嘉右衛門様御役代	天保10亥年12月	縦継紙・1通	え3762
御借用金證文之事(金2両を1両に付1ヶ月銀7分5厘) 鍛冶町源兵衛(印)・御受人勇助(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	天保10亥年9月	縦紙・1通	え3763
差上申一札之事(借用金元利×金12両2分3朱余差し滞り、所持する土蔵を差上げ御聞き済ましに付) 西木町瀧右衛門(印)・立合平兵衛(印)→長崎源吾殿	天保10亥年正月	縦紙・1通	え3764
御内借金證文之事(金10両を1年に1割3分の利足に付) 地京原村上組御借主勘重郎(印)・合地重郎右衛門(印)・組合共兼名主勘兵衛(印)・組頭恒左衛門(印)・長百姓佐五兵衛(印)→岡野弥太郎様御内樋村多中助様	天保11子年12月	縦継紙・1通	え3758
覚(亥年蘭金半口分掛不足差引残金6両と銀2匁4分ほか受取に付) かし町発起源兵衛(印)・同断宝昌寺[印]→菊屋傳兵衛殿	天保11子年7月	縦継紙・1通	え3759
覚(金8両を1両に付1ヶ月銀5分の利足にて借用に付) 竹村熊三郎(印)→八田嘉助殿	天保12年丑6月	縦紙・1通	え3755
覚(金2両を1年に1割3分の利足にて借用に付) 依田多吉(印)・菅沼政之進→八田嘉助殿	天保12丑年5月	縦紙・1通	え3756
借用金證文之事(金13両を1両に付1ヶ月銀5分の利足) 西木町借主重兵衛(印)・木町請人佐吉(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保12年丑10月	縦紙・1通	え3757
御内借金年賦證文之事(御上様御預り御繰り廻し金の内、御内借りとして金9両余、無利足に付) 平林村名主御借主清兵衛(印)・組頭弥市右衛門(印)・長百姓文左衛門(印)→八田嘉左衛門様御内長崎源吾様	天保12丑年12月	縦継紙・1通	え3767
覚(金5両を1両に付銀5分の利足にて借用に付) 依田多吉(印)・菅沼源之進→八田嘉助殿	天保13寅年12月	縦紙・1通	え3768
一札之事(元米高95石7斗9升6合造米高1724石3斗2升8合の酒造り稼高中氷飽村源治郎へ50両で譲り渡しの規定対談に付) 当番掛り増田徳左衛門(印)→伊勢町徳右衛門殿	天保14卯年8月	堅切紙・1通	え3558
一札之事(極難に付御恩借金返済しか兼のところ返済免除の旨御札) 関田守之丞(印)・加判関田慶左衛門(印)→八田嘉右衛門殿・八田嘉助殿	天保14癸卯年3月	縦紙・1通	え3873
覚(取替金御差料黒柄拵附大小御預かり証文) * (包紙上書)「御大小預り印書 八田嘉助」 八田嘉助(印)→関田守之丞殿	天保午年2月晦日	横切紙・1通	え3874
(山田辰之助より屏風ほか預ヶ覚綴)		綴/(え3891-1~2は一綴)・1綴	え3891
覚(金地本間屏風1双他×35両当12月迄差上げ置く、尤も入用の節は金子入付け品々請取に付) 山田巳之助(印)	天保14年卯9月	縦継紙・1通	え3891-1
覚(谷翁筆巻物他を×13両にて当12月まで差上げ置く尤も入用の節は金子入付け品々請取に付) 山田巳	天保14年卯9月	縦継紙・1通	え3891-2

之助(印)			
(金子借用証文関係綴)		綴/(え3725-1～13は一綴)・1綴	え3725
差上申一札之事(三角環球残金20兩御下金に付受取証文) 力石村五左衛門(印)→春日儀左衛門様・八田嘉助様	弘化2巳年6月6日	堅紙・1通	え3725-1
奉差上候一札之事(伊勢参宮・京大坂諸社参詣に付掛捨て無尽金3兩受取証文) 山布施村清三郎・嘉藏→八田辰三郎様・八田嘉助様御取次中様	弘化 ^(マ マ) 巳2年3月14日	堅紙・1通	え3725-2
覚(品々冥加金6兩3分余受取証文) 野中喜左衛門(印)・堀内太一郎(印)→八田喜兵衛殿・八田嘉助殿	弘化3午年7月	堅紙・1通	え3725-3
御借用金證文之事(口入なし下され30兩借用、切米粉30俵、来年3月中) 御借主松本嘉十郎(印)・受人須田翁介(印)→八田嘉助殿	弘化3午年12月	堅継紙・1通	え3725-4
覚(30兩時借証文、来る3月限り返済) 松本嘉十郎(印)→八田嘉助殿	嘉永2酉年12月	堅紙・1通	え3725-5
奉差上證文之事(金3分拝借、来る4月中返済) 荒神町亀太郎(印)→八(田)鐵次郎様御内	嘉永2酉年3月	堅紙・1通	え3725-6
借用申金子之事(30兩借用、利足は1割、当12月までに返済) 善光寺上人家来借用人吉村隼人(印)・同断柄澤孝左衛門(印)・請人松本嘉十郎(印)→八田嘉助殿	嘉永3戌年9月	堅紙・1通	え3725-7
一札之事(悴徳三郎浪人相続仕りたく扶助金60兩にて世話願) 善光寺柄沢孝左衛門(印)・立合吉村隼人(印)→松本嘉十郎殿	嘉永3戌年9月	堅紙・1通	え3725-8
覚(調達しかねに付去暮返済の金子を当4月10日に受取証文) 中町和泉屋忠兵衛(印)・同亀屋左兵衛→伊勢町菊屋傳兵衛殿・代太之八殿	嘉永5子年4月23日	堅紙・1通	え3725-9
覚(同姓源左衛門、無利足・10ヶ年賦にて金5兩借用証文、引当は切米) 神戸革治(印)→八田慎藏殿	安政2卯年12月	堅紙/(帳はずれ)・1通	え3725-10
覚(他借のため返済悪しくに付扶持米にて金2兩返済の約定証文) * (端裏書)「三朱増」 矢(矢嶋)源左衛門(印)・親類加判官(宮嶋)守人(印)→菊屋傳兵衛との	安政2卯年12月	堅紙・1通	え3725-11
覚(金100兩にて返済金勘弁に付地所引当証文返却の旨約定証文) 堀内太一郎(印)→水井忠治殿	文久3亥年12月12日	堅紙・1通	え3725-12
借用申金子證書之事(要用に付金子200兩借用、地所を引当) 第三拾九区井上村借用主坂本亀之助(印)・請人坂本才右衛門(印)他1名→松代八田知道殿	明治5壬申年11月25日	堅紙・1通	え3725-13
覚(才覚金13兩受取に付証文) * 八田嘉助宛に利息年8分御渡しの証文共 春山磯治(印)・宮本慎助(印)・春日儀左衛門(印)、(奥書)竹村金吾(印)・磯田音門(印)→水井忠藏殿	嘉永2酉年12月	堅紙・1通	え3593
借用申金子證文之事(口合にて金12兩を当村4石等の地所を書き入れとして来丑3月まで) 小森村御借主吉左衛門(印)・組合受人久右衛門(印)・親類受人重蔵(印)、(奥書)松木束(印)→中村與三左衛門様・赤池善三郎様・町田甚右衛門様	嘉永5子年12月	堅継紙・1通	え3896
借用申年賦金證文之事(金130兩無利息にて13ヶ年年賦) 水内郡権堂村借用人栄左衛門(印)・組頭御請印久右衛門(印)・百姓代右同断喜右衛門(印)→松木源八様御内市川友左衛門様	明治元辰年12月	堅継紙・1通	え3862

證(金100円を第六十三国立銀行株券を抵当に借用に付) 松木重隆(印)→和田郡平殿	明治15年12月27日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3676
(明治18年岡野書類一括)		包紙一括/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3674-1～4は包紙一括)・1点	え3674
(包紙) * (包紙上書)「明治十八年岡野書類」	明治18年	包紙/(え3659～3719は紙縫一括)/証券界紙(20行)・1点	え3674-1
(封筒) 元賢→(八田)彦次郎様		封筒/(え3659～3719は紙縫一括)・1点	え3674-2
(明治16年6月9日岡野元賢殿金177円内利金29円72銭1厘ほか9月4日まで、元利ノ金436円82銭4厘、金銭書上)		横切継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3674-3
(無尽の事他書付)		横切紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3674-4
借用申金子事(古金1両) 芦沢林蔵[印]→八田孫左衛門様	巳6月13日	堅切紙・1通	え3554
(ノ金より差し引き残金勘定書き出し一括)		包紙一括/(え3557-1～6は包紙一括)/(紙縫共)・1点	え3557
(包紙) * (包紙裏書)「覚 坂原兵助」		包紙/(紙縫共)・1点	え3557-1
覚(酒造高凡70本代金650両他ノ910両より差し引き不足金145両程勘定書き出し)	9月25日	横切継紙・1通	え3557-2
覚(酒造高70本代金650両他ノ910両より差し引き不足金325両程勘定書き出し)	9月25日	横切継紙・1通	え3557-3
覚(飯米100石代金75両他ノ260両2分より差し引き残金208両2分程他勘定書き出し)		横切継紙・1通	え3557-4
覚(玄米代金630両他ノ870両より差し引き残金253両勘定書き出し)	10月2日積り	横切継紙・1通	え3557-5
覚(有金280両他ノ800両より差し引き残金50両程勘定書き出し)		横切継紙・1通	え3557-6
御日延一札之事(借入金差し滞りこの節々差し支えにて来る5日迄御日延べ願いに付) 矢代村勝次郎(爪印)→笠井和七様	11月1日	堅切紙・1通	え3807
差上申御日延證文之事(借入金返済当23日までに日延べしたきに付願書) 地京原村御借主勘十郎(印)→松木東様御内市川友左衛門様		堅紙・1通	え3823
覚(酒造株各面引分1坪入料金42両皆済状) 中町五兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	寅正月19日	小切継紙・1通	え3860
覚(八田嘉右衛門殿より貴院への助成金の10両受取証) 師岡源兵衛(印)→和合院御房	12月26日	横切紙・1通	え3872
覚(村方より徴収の御飯米133俵受取切手を調査のうえ近々返済の旨約定証) 提左次兵衛(印)・水井久太夫(印)・大嶋武左衛門(印)・佐藤新八・佐藤軍治→菊屋儀兵衛殿	丑4月17日	堅紙・1通	え3875

1.内方/5.金融/2.貸付金

覚(金1両別紙栗材木代金の内前借りに付) 平林村利助(印)・丈八(印)・栄助(印)→八田嘉助様御内	申3月16日	縦紙・1通	え3888
御日延一札之事(申年に御上納するべき御札金を当5月まで御日延を願うに付) 西条村清藏(印)→中嶋三右衛門様	西3月	縦紙・1通	え3894
預申金子之事(卯年の御年貢指詰まりのため金11両御無心申上御取替に付) 佐野村預主興右衛門(印)・請人七右衛門(印)、(奥書)興右衛門→松代八田孫左衛門殿	享保20年	縦紙・1通	え3542
覚(抛無き儀のため差し詰まり金1両御恩借書) 畑新左衛門(印)「重擁」→八田孫左衛門殿	元文2(年)巳12月	堅切紙・1通	え3543
借用申金子之事(金3両、書入地田中村の内北ノ田高3石8升3合小作入15俵の田) 田中村借り主喜右衛門(印)・請人伊兵衛(印)→八田孫左衛門殿	元文5年申12月	堅切紙・1通	え3544
一札之事(急に江戸へ指越し申したく金2分御時借りに付) * (端裏書)「申年分田中村新兵衛」 田中村かり主新兵衛(印)→八田嘉助様	元文5年申ノ6月25日	堅切紙・1通	え3546
山御預り証文(しへ木及び山立木寛延元年まで御1両にて売渡しに付) 清野村七郎兵衛(印)→八田嘉助殿	延享3(年)寅12月	縦紙・1通	え3545
覚(元利金309両返金請取書) 小布施御取次所市村作左衛門[印]→松代町八田嘉右衛門殿	明和7年寅正月	横切紙・1通	え3540
御借用金証文之事(20年賦返済の10両不作のため取替に付) 塚原兵助(印)→八田孫左衛門様	寛政3亥年5月	縦紙・1通	え3537
(預り金借用証文綴)		綴/(え3506-1~5は一綴)・1綴	え3506
覚(預り金100両借用証文、来年12月中に返済) 藤田右仲(印)→八田嘉右衛門殿	文政元寅年12月	縦紙・1通	え3506-1
覚(預り金のうち100両借用証文、来年12月中に返済) 佐藤左金吾(印)→八田嘉右衛門殿	文政元寅年12月	縦紙・1通	え3506-2
覚(預り金のうち87両2分借用証文、来年12月中に返済) 大嶋永左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政元寅年12月	縦紙・1通	え3506-3
覚(預り金のうち50両借用証文、来年12月中に返済) * 後欠カ 鼠宿村西沢泰助(印)	文政元寅年12月	縦紙・1通	え3506-4
日延一札之事(不都合に付35両返済日延の上返済約定) 並木甚右衛門(印)・並木七左衛門(印)・渡辺武左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政3辰年12月	縦継紙・1通	え3506-5
覚(よんどころ無き要用のため金15両借用証文、返済期限天保4年12月、引当捨付大小1通) (貼紙)「澤守礼」・親敬(印)→八田嘉右衛門殿・八田嘉助殿	天保4年癸巳10月	縦紙・1通	え3541
借用金証文之事(抛無き要用のため金45両、9ヶ年賦) 小林唯藏(印)→八田嘉助殿	天保5年12月20日	縦紙・1通	え3538
覚(玄米40俵拝借米請取書) 八田嘉右衛門(印墨消)→矢野倉惣之進殿・菊地孝助殿	天保8酉年2月	縦紙・1通	え3539

1.5.3. 無尽

覚(金25両貴様名代にて無尽金受取証文) 預り主大瀬弥門(印)・請合興津藤左衛門(印)→河原弥惣右衛門殿	明和2年酉12月	縦紙・1通	え3652
一札之事(鎌原司馬発起無尽、御手前様にて御掛け申分なき旨に付) * (端裏書)「鎌原無尽岩出証文」 岩出	明和8卯年3月	縦紙・1通	え3650

六右衛門(印)→八田孫左衛門殿			
指上申證文之御事(八田左仲様無尽金三會目掛金割返し) * (端裏貼紙)「馬場丁無尽ニ付戌年取番休節差引違ニ候今般利分相加割返遣し候右金高受取印書 八丁村 妻科村 小森村 長井村」 八町村仁右衛門(印)・妻科村又市(印)・小森村六左衛門(印)・長井村忠七(印)→八田嘉右衛門様御内	文化元子年12月	縦紙・1通	え3940
(無尽関係書類一括)		綴/(え3979-1-1 ~22は一綴)・1綴	え3979-1
覚(根村民右衛門殿3両掛発起無尽半口御加入の所、御名前御遠慮の筋あり、私名前にて御掛出し、この度1両2分請取掛出すに付) * (端裏貼紙)「文化十一戌年三月根村民右衛門殿発起三拾兩頼母半口加入之処名前故障付矢野倉惣之進殿相頼候付印書」 矢野倉惣之進(印)→八田嘉右衛門殿	文化11戌年2月	縦紙・1通	え3979-1-1
覚(高松養碩老存命中発起頼母敷繰廻送り金19両3匁8分2厘請取、来会にて元利差出すに付) * (端裏貼紙)「戌十二月廿日高松養碩老無尽繰廻金證文金拾九両3匁8分式厘片岡主計殿」 片岡主計(印)→八田嘉右衛門殿	文化11戌年12月	縦紙・1通	え3979-1-2
覚(東福寺5両3分ほか寄金勘定書) * (端裏書)「文化十一戌十二月柳町源之助発起無尽金寄」	文化11(年)戌12月	縦綴紙・1通	え3979-1-3
覚(戌八番会掛金などメ金20兩余受取書) 落合弾蔵手代七郎兵衛(印)→八田嘉右衛門様	戌4月8日	縦紙・1通	え3979-1-4
年賦金證文之事(この度頼母敷講発起相企てる所、御深志をもって御加入なされ、初会掛金40兩落手致すに付) 発頭駒澤式左衛門(印)・請人駒澤勇左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化7庚午年11月26日	縦紙・1通	え3979-1-5
覚(御口入金返済の所金70両1ヶ年の利分調達致しかね金7兩受取証文) * (端裏書)「成沢縫殿右衛門殿」 成沢縫殿右衛門(印)→関田庄助殿・八田嘉右衛門殿	文化12(年)亥12月	縦紙・1通	え3979-1-6
覚(去る戌年平出喜左衛門金70兩借用の所、返済難渋のため無利足年賦受取証文) * (端裏貼紙)「一札取置候事文政元寅年六月竹内金左衛門殿 片岡嘉兵衛殿」/(端裏貼紙)「平出喜左衛門殿金七拾兩真田志摩殿御発起同人取番金引当ニ而借附置候処一時引取候而者内證甚以差闊の筋有之候由を以親類中より達而被相頼候付右御無尽手前懸出金之分先方引受及示談無利足三ヶ年賦引取之積を以及申談候、尤三兩余茂不足ニ相成候へ共致用捨無尽之方致摺印相極候書付本證文差戻候為念親類中より」 片岡嘉兵衛(印)・竹内金左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政元年寅6月	縦紙・1通	え3979-1-7
覚(掛金メ金23兩余受取証文) 落合弾蔵(印)→八田嘉右衛門様	午10月23日	縦紙・1通	え3979-1-8
覚(六番会掛金メ21兩2分余相済に付) 落合弾蔵手代七郎兵衛(印)→八田嘉右衛門様	酉4月10日	縦紙・1通	え3979-1-9
午三月廿五日末会(終取番金175兩の残金差引勘定書) * (端裏書)「長井様御無尽」		縦紙・1通	え3979-1-10
覚(近年不勝手に付長井四郎右衛門発起無尽御取延ばし金15兩3年の内無利足にて借用証文) * (端裏貼紙)「長井四郎右衛門殿無尽付寺内甚九郎殿金拾五兩懸不足誤印書」 寺内甚九郎(印)→八田孫左衛門殿	天明6午年3月	縦紙・1通	え3979-1-11
覚(当申三番無尽御懸金19兩1分2朱受取証文) 大井百助→八田嘉右衛門様	4月15日	縦紙・1通	え3979-1-12
覚(御発起無尽岩村田領丸子村工藤伝兵衛四口加入するも当懸金調達できず借用証文、二番会で返済) 関	文化11戌年7月	縦紙・1通	え3979-1-13

1.内方/5.金融/3.無尽

田庄助(印)、(奥書)八田嘉右衛門(印)→成沢縫殿右衛門殿			
覚(未三番会掛金11兩他ノ23兩1分余受取証文) * (端裏貼紙)「根津岩村田両所頼母敷懸出金受取入」 会主落合弾蔵(印)→八田嘉右衛門殿	未10月23日	縦紙・1通	え3979-1-14
覚(申四番会掛金11兩他ノ22兩3分余受取証文) 落合弾蔵手代七郎兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	申4月8日	縦紙・1通	え3979-1-15
覚(千兩御無尽当未年八会目平懸金16兩2分2朱余請取に付) 岩村田割元出澤由次郎・篠沢佐五右衛門→松代八田嘉右衛門殿	未正月23日	縦紙・1通	え3979-1-16
差上申一札之御事(難渋に付御役代名目の伊勢町源左衛門方へ20兩無尽当年御勘当伊勢町源左衛門に支払のへの札) * (端裏貼紙)伊勢町源左衛門頼母布一口手前加入にて三番会取番、治助へ呉れ遣しの旨 鍛冶町治助(印)・木町巳之作(印)→八田嘉右衛門様御取次中様	文化3寅年11月	縦継紙・1通	え3979-1-17
御借用仕候年賦証文之事(御年貢金差し詰まり、当村高辻の内所持分高31石の地所を書き入れとして金165兩を11ヶ年賦にて) * 安永9年付の下札あり 北平林村名主御借主七右衛門(印)・組頭御請合茂兵衛(印)・長百姓同断久兵衛(印)・中越村名主御請合幸七(印)・組頭同断甚右衛門・長百姓同断忠蔵(印)、(下札)北平林村御借主平治郎・名主吉左衛門(印)・組頭忠兵衛(印)・長百姓清右衛門→長井四郎右衛門様御内衆中様	安永4年末3月	縦継紙・1通	え3979-1-18
覚(発起頼母敷当申二会目勘当たり金250兩受取証文) * (端裏書)「文化九申年十二月式百五拾兩小山田公御取入付手前へ殿町御知行証文受取綿内へ入証文下案」/(奥裏書)「文化八未年三月 一金式百兩也 但年中壹割貳分利分究 此利金式拾四兩」 八田嘉右衛門→堀内五十治殿	文化9申年12月	縦紙・1通	え3979-1-19
覚(金4兩を1兩に付6分掛の利足にて借用証文) 前嶋治兵衛(印)・請合神田甚八(印)→八田嘉右衛門殿	文化13子年12月	縦紙・1通	え3979-1-20
(申七番勘金150兩内99兩正金渡す旨書付)		横切紙・1通	え3979-1-21
覚(前嶋治兵衛殿無尽当会掛金不足のため日延承知に付返済約定) 中村仲右衛門(印)、(奥書)平出喜左衛門(印)・竹内三郎兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化9申年12月	縦継紙・1通	え3979-1-22
(無尽関係書類一括)		綴/(え3979-2-1～19は一綴)・1綴	え3979-2
覚(寅年利足金3兩3分受取書) 小幡助市内山岸作右衛門(印)→中村金七殿	文化3寅年12月18日	小切紙・1通	え3979-2-1
覚(午年利足金3兩3分受取書) 小幡助市内月岡万蔵(印)→八田嘉右衛門様御内	文化7年午12月	小切紙・1通	え3979-2-2
請取書(当未年冬九会目御掛金15兩3分2朱余受取書) 岩村田割元出沢由二郎・篠沢左衛門→松代八田嘉右衛門殿	未10月25日	小切紙・1通	え3979-2-3
(書状、縫殿右衛門殿方村請証文相返す旨他) * (端裏書)「印書入 庄助」	11月8日	小切継紙・1通	え3979-2-4
覚(発起無尽御加入並びに御掛金1兩2朱余り受取書) 中嶋祐左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	亥12月	横切紙・1通	え3979-2-5
覚(高松養碩老無尽当未の掛金2兩2分余請取に付) 小野唯右衛門(印)→工藤傳兵衛殿	未12月	横切紙・1通	え3979-2-6
(封金81兩他ノ163兩2分無尽取金書調) * (端裏貼紙)「綿内五郎兵衛殿無尽取金書調」		小切紙・1通	え3979-2-7

覚(八田嘉右衛門殿方に年来差引無尽金150両無尽6口受取、5両2分2朱返済の旨) 成沢縫殿右衛門→宮原莊藏殿	文政元年寅12月	横切紙・1通	え3979-2-8
覚(掛金メ24両ほど受取書) 落合禪藏世話人(印)→八田嘉右衛門様	未4月18日	横切紙・1通	え3979-2-9
覚(御掛金20両2朱余受取書) * (端裏貼紙)「金式拾両式朱鑑三拾文岩村田無尽受取書」 由次郎(印)・定之助(印)→八田嘉右衛門様	卯11月14日	横切継紙・1通	え3979-2-10
覚(畑小藤太殿無尽二会目御掛金4両2分受取書) 小野唯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	戌3月	横切継紙・1通	え3979-2-11
覚(去暮御渡し申し置きし200両の未年利足26両受取書) 関田庄助(印)→八田嘉右衛門殿	文化8未年12月25日	横切継紙・1通	え3979-2-12
覚(八田嘉右衛門殿よりの調物代金不足のため金5両借用証文) 松木源八(印)→八田競殿	辰6月13日	横切継紙・1通	え3979-2-13
覚(綿貫五郎兵衛殿発起150両無尽、去戌八会目御掛金御立替分6両3分受取書) 関田庄助(印)→八田嘉右衛門殿	文化12亥年2月24日	小切紙・1通	え3979-2-14
覚(預け金利分3両3分受取書) 小幡助市内山岸源吾(印)→八田嘉右衛門様御内嶺村吉兵衛殿	文化6巳年12月16日	小切紙・1通	え3979-2-15
覚(金42両余年1割2分預り証) 八田嘉右衛門・関田庄助(印)→成沢縫殿右衛門殿	文化11戌年12月	横切継紙・1通	え3979-2-16
脇吉之手取金辻調 * 表題は端裏書による		小切紙・1通	え3979-2-17
覚(飯山分1口など無尽金勘定書)		横切継紙・1通	え3979-2-18
(書状、潰れ防止のための無尽へ掛金願) (関田)庄助	11月8日	横切継紙/(下札あり)・1通	え3979-2-19
(木町太右衛門無尽関係綴)		綴/(え3887-1~6は一綴)・1綴	え3887
借用申金子證文之事(東条村南組のうち8斗余を書入に金15両利息年中1割5分にて来る巳12月中旬まで) 東条村借主友吉(印)・受人柳八、(奥書)南組名主徳之丞(印)・組頭重左衛門(印)・長百姓友左衛門(印)→太右衛門殿	寛政8辰年12月	堅紙・1通	え3887-1
借用年金賦證文之事(東条村北組のうちより相応の地所を書入に金39両利息10ヶ年賦) 東条村北組八田孫左衛門役代借主傳兵衛(印)・名主仁左衛門(印)・組頭与左衛門(印)・長百姓常右衛門(印)→松代木町太右衛門殿御連衆中	寛政7年卯12月	堅紙・1通	え3887-2
借用申金子證文之事(東条村の居屋敷を書入に金17両2分銀3匁利息年賦丑年まで9ヶ年) 東条村北組御借主又右衛門(印)・名主仁左衛門(印)・組頭与左衛門(印)・長百姓常右衛門(印)→木町御口入太右衛門殿	寛政8年辰12月	堅紙・1通	え3887-3
借用申金子證文事(東条村高辻のうち2石余分を書入に金17両2分銀3匁無利息にて丑年9月まで1ヶ年) 東条村御借り主銀右衛門(印)・請人名主伊左衛門(印)・組頭与左衛門(印)・長百姓常右衛門(印)→木町御口入太右衛門殿	寛政8年辰12月	堅紙・1通	え3887-4
御借用金證文之事(貴殿発起の無尽掛金30両を引当に金27両1分3匁無利息7年賦) 菊屋借主巳之作(印)・中頭村受人長右衛門(貼紙)「無印一両日御日延奉願候」→木町御口合太右衛門殿	寛政10年午12月	堅紙・1通	え3887-5

1.内方/5.金融/3.無尽

御借用金證文之事(金15兩、返済遅滞の節は木町太右衛門殿発起無尽二口と相殺) 木町御借主巳之作(印)・中頭村受人長右衛門(印)、(奥書)木町太右衛門(印)→御口合野村忠藏殿	寛政9巳年12月	縦継紙・1通	え3887-6
(無尽関係書類綴)		綴/(え3945-1～33は一綴)・1綴	え3945
覚(八田嘉右衛門様分丑12月積金・元利勘定書)		切紙・1通	え3945-1
覚(堀内五十治様分丑暮積金元利積金勘定書)		切紙・1通	え3945-2
覚(八田嘉右衛門様分丑暮積金元利勘定書)		切紙・1通	え3945-3
(八田嘉右衛門様分丑暮積金元利勘定書)		切継紙・1通	え3945-4
(藤田傳左衛門様分丑暮積金元利ノ3兩余、2兩2分掛分午年御取番分書上)		切紙・1通	え3945-5
(長岡銀右衛門分丑暮積金元利勘定書)		切継紙・1通	え3945-6
覚(当戌利足金3兩3分受取証文) 小幡助市内山岸作右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	享和2年戌12月	横切紙・1通	え3945-7
覚(柳沢忠左衛門発起無尽金10兩2分受取証文) 藤岡左司内寺沢彦右衛門(印)→長井村久治郎殿	酉12月15日	横切紙・1通	え3945-8
覚(手前発起無尽御懸金今年済切3兩1分など受取証文) 徳嵩甚蔵(印)→八田孫左衛門殿	寛政8年辰12月9日	横切紙・1通	え3945-9
口上覚(例の掛不足難渋に付当暮のところも御取延を願う旨) 弥四郎→(八田)嘉右衛門様	12月25日	横切継紙・1通	え3945-10
覚(長谷川利八殿去寅年発起無尽御加入御掛金4兩2分余受取書) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化4年卯12月4日	切紙・1通	え3945-11
指出覚(未年御内借金20兩の内15兩余閏2月上納ほか金子上納に付) 矢代村四郎左衛門	申5月3日	横切紙・1通	え3945-12
覚(山寺藤左衛門殿100兩発起無尽加入に付注意書) 宮下七左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化3年寅2月	横切継紙・1通	え3945-13
一札之事(殿堂焼失に付古畳其の外払物代金未12月受取証文) 田中村浄福寺[印「浄福」]→八田孫左衛門様	酉12月日	切継紙/(帳はずれ)・1通	え3945-14
覚(去戌年八田左仲殿御発起無尽、私取番の節右圖金受取不足の分金3兩2分余受取証文) 小野齋(印)→八田嘉右衛門殿	文化元甲子年12月17日	小切継紙・1通	え3945-15
口上(この間の御厚情の御礼に付) 前嶋作左衛門→八田嘉右衛門様	2月朔日	横切継紙・1通	え3945-16
覚(無尽金150兩受取証文、1ヶ年に金18兩3分づつ掛け戻すに付) 駒沢勇左衛門、(奥書)藤岡左司→杭全平左衛門殿	寛政6甲寅年11月	横切継紙・1通	え3945-17
覚(無尽御掛金御割返し金1兩2分の残金13兩2分ノ15兩受取証文) * (端裏貼紙)「祢津神兵衛様金拾三兩式分請取一枚」 柳沢惣左衛門(印)→八田競様御内御役人中	巳11月晦日	小切紙・1通	え3945-18
覚(当亥利足金3兩3分受取証文) 小幡助市内山岸作右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	亥12月10日	小切紙・1通	え3945-19
(書状、御機嫌伺い並びに御預一紙御落手下さるべき旨) (金井)善兵衛→(八田)嘉右衛門様	4月27日	横切紙・1通	え3945-20
覚(発起無尽御取遣金3兩預受取証文) * (端裏貼紙)「三兩 金井善兵衛殿発起無尽ニ付」 金井善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	辰4月26日	小切紙・1通	え3945-21

覚(小幡莊作無尽当戊の御掛戻金6両受取証文) 藤岡左司(印)→八田嘉右衛門殿	享和2年戌12月19日	小切継紙・1通	え3945-22
覚(坂原兵助殿へ御恩借の金9両受取仮証文) 昌禅寺内宗準→八田嘉右衛門様	申閏4月22日	横切継紙・1通	え3945-23
覚(明酉年分御助力金2両受取証文) 坂原兵助→八田嘉右衛門様	寛政12(年)庚申12月18日	小切継紙・1通	え3945-24
(書状、先日御約束した繰綿金1分吟味願) 久保瀬左衛門→八田条助様要用	巳2月18日	小切継紙・1通	え3945-25
(書状、右一物調達いたし兼ねるに付) 久保瀬左衛門→八田条助様用事	12月27日	小切継紙・1通	え3945-26
(書状、玄道老無尽掛金遣わさるに付別紙覚書を無尽記録へ張り置くに付)	6月29日	小切継紙・1通	え3945-27
覚(立川玄道老発起無尽へ加入しがたきに付市川四郎兵衛名にて1口分帳面へ記し金10両受取に付) 徳嵩甚蔵(印)→八田孫左衛門殿	寛政8辰年	横切紙・1通	え3945-28
口上(御厚志下されるも御無沙汰にて申し訳も無く年内揃い兼ね春中へ相廻しに付容赦願)	11月21日	横切継紙・1通	え3945-29
(無尽掛金勘定書)		折紙・1通	え3945-30
田地引替之訳(名所宮の前70俵地等の所、地代金30両差引方の地所分け合い書付)		折紙・1通	え3945-31
(藤田傳左衛門様分、丑暮積金元利ノ6両1分、半口分未年御取番分書上)		切継紙・1通	え3945-32
覚(厚木釣主老無尽御掛合の内去る暮れ御取替分金3分受取証文) 関田庄助→八田嘉右衛門様	享和3亥年正月	横切継紙・1通	え3945-33
覚(金30両3分銀3匁発起頼母敷圖金預証文) * (袋上書)「寛政六寅年木町多右衛門発起頼母敷請書付入置」伊勢町傳兵衛(印)→御連衆中御発起木町多右衛門殿	寛政11未年12月	横切紙・1通	え3886
覚(今般薬法広めたく御頼母敷懸戻し引当金利15両2朱余を利倍積み立にて受取証文) * (端裏貼紙)「申暮佐々木氏預金相渡付一札」佐々木隆廣(印)→八田嘉右衛門殿	寛政12申年12月	堅紙・1通	え3942
御内借金證文之御事(柿崎家酉年より巳年迄金157両余内借り、午年無尽金250両にて返上願いに付) * (端裏貼紙)「矢代柿崎家発起頼母敷恩田公江御頼申上候ニ付手前印形致置候、柿崎氏無尽終会之節右印書取戻可申事」	享和元酉年何月	堅紙・1通	え3936
(発起無尽積金請取綴)	(享和2年)	綴/(え3938-1~3は一綴)・1綴	え3938
(書状、別紙金子差出御落手下され度に付) 新二郎→(八田)嘉右衛門様	朧月晦	横切紙・1通	え3938-1
覚(金33両圖当金、取当懸金・積金受取を引き残金20両1分銀4匁8分書上)		堅紙・1通	え3938-2
覚(金井善兵衛発起無尽圖当金10両3分銀10匁7厘来る亥年懸け戻しの分積金受取証文) * (端裏貼紙)「金拾両三分拾匁七厘也、金井新六郎様発起頼母敷積金渡印書」金井善兵衛(印)→八田孫左衛門殿	享和2年戌12月	堅紙・1通	え3938-3
(無尽積金請取綴)	(文化元年)	綴/(え3937-1~2は一綴)・1綴	え3937
積金請取證文之事(八田左仲発起無尽圖当金4両2分請取に付) 木町巳之作(印)→小野斎様御内衆	文化元子年12月	横切紙・1通	え3937-1

1.内方/5.金融/3.無尽

積金御請取覚(8口分勘定)		堅紙・1通	え3937-2
覚(長谷川利八殿の5両掛発起無尽へ1口5両加入証文) *(端裏貼紙)「金五両 寅十二月長谷川無尽懸出印書」 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化3寅年12月	堅紙/(虫損甚大)・1通	え3944
(無尽金銭関係書類一括)		綴/(え4010-1～31は一綴)・1綴	え4010
覚(御無心申上げ御預かり置下された金子の利足金6両受取証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化6年巳12月8日	小切紙・1通	え4010-1
覚(長谷川利八殿発起無尽の当年御掛金4両1分受取証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化6年巳12月8日	小切継紙・1通	え4010-2
覚(御頼み申し上げ御預かり置きの子当年利足6両受取証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化8未年12月13日	小切紙・1通	え4010-3
覚(長谷川利八殿発起無尽当未御掛金3両2分2朱余受取証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化8未年12月13日	小切紙・1通	え4010-4
覚(金2両2分御時借証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化9年申12月15日	小切紙・1通	え4010-5
覚(午年発起金1両1分2朱余他メ7両2朱余無尽金受取証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化9年申12月16日	横切紙・1通	え4010-6
覚(御頼み申し上げ御預かり置き下された金子当申利足金6両受取証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化9年12月15日	小切紙・1通	え4010-7
覚(御預かり置き下さる金子当酉年利足6両受取証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化10酉年12月16日	小切紙・1通	え4010-8
覚(長谷川利八発起無尽当酉掛金2両2分受取証文) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	文化10酉年12月16日	小切紙・1通	え4010-9
覚(長谷川善兵衛より頼みの無尽金利分6両並びに脇掛当戌掛金1両1分合わせて7両1分受取証文) *(端裏貼紙)「長谷川善兵衛殿 文化六年より同十一戌年迄受取印書入」 平林縫殿進(印)→八田嘉右衛門殿	文化11年戌11月25日	横切紙・1通	え4010-10
覚(金23両3分2朱預り仮証文) 八田嘉右衛門(印)→長谷川善兵衛殿	文化4年12月5日	小切継紙・1通	え4010-11
覚(金12両2分余御預かり置くに付) *(端裏貼紙)「長谷川公江承合可申候事」 八田嘉右衛門(印)→長谷川善兵衛殿	文化5辰年12月10日	横切紙・1通	え4010-12
覚(金5両受取証文) 長岡祖母→八田嘉右衛門様	7月5日	横切紙・1通	え4010-13
(書状、金子5両借用証文) 長岡祖母→八田嘉右衛門様	7月5日	横切紙・1通	え4010-14
覚(金11両余受取証文) 長岡隠居(印)→八田嘉右衛門様	12月10日	小切継紙・1通	え4010-15
覚(金4両余受取証文) 長岡隠居(印)→八田嘉右衛門様	12月10日	小切紙・1通	え4010-16
(書状、7月中御借りの余りの元金の内4両3匁4分5厘御借り申したきに付) 長岡隠居→(八田)嘉右衛門様	12月10日	横切継紙・1通	え4010-17
覚(利金の内16両受取証文) 長岡隠居(印)→八田嘉右衛門様	戌11月26日	小切継紙・1通	え4010-18
(書状、利金御借り申したきに付) *(端裏書)「口上」(長岡)隠居→(八田)嘉右衛門様	11月26日	横切紙・1通	え4010-19
覚(利金16両受取証文) *(端裏貼紙)「長岡銀右衛門殿御袋より金子受取印書入」 長岡隠居(印)→八田嘉右衛門様	文化9申年12月16日	小切紙・1通	え4010-20

(田中井右衛門殿分1割3分8ヶ年分積金1ヶ年19兩づつ金103両余ほか無尽金銭書上)		折紙・1通	え4010-21
(卯正月御預かり金101両余ほか無尽金銭書上)		折紙・1通	え4010-22
(宮原庄左衛門殿分御出席無きに付辰5会分掛戻し金6両ほか無尽金銭書上)		切紙・1通	え4010-23
(辰五会分岡田戸左衛門分金4両余他合わせて3筆利足を1割2分として借用証文) 長岡助右衛門→八田嘉右衛門殿	文政5午年閏正月	横切紙・1通	え4010-24
覚(辰五会分金4両余借用証文) 江戸屋金作(印)幸四郎代判→八田嘉右衛門様	文政5午年閏正月	横切紙・1通	え4010-25
(辰五会分八田嘉右衛門分4両余×8兩8匁5分7厘無尽金銭書上) 八田嘉右衛門(印)		小切紙・1通	え4010-26
覚(辰年五会分金8兩8匁5分7厘借用証文) 八町村甚五郎(印)→八田嘉右衛門様御役人中様	文政5午年閏正月	小切紙・1通	え4010-27
覚(辰五会分金8兩8匁4分3厘借用証文) 大嶋永左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政5午年閏正月	小切紙・1通	え4010-28
覚(無尽掛金16兩1分余り借用証文) 伊東与右衛門(印)→八田嘉右衛門様	文政5午年閏正月	横切紙・1通	え4010-29
(今日出金致すべき所調達致し兼に付辰五会掛戻し分金12兩借用証文) 大林寺[印]→八田嘉右衛門殿	文政5午年閏正月	横切紙・1通	え4010-30
(辰五分発当分金7兩他×25兩無尽出金書上) 八田嘉右衛門(印)		切紙・1通	え4010-31
預金證文之事(貴殿発起頼母敷当未年分金500兩受取、来申年より1ヶ年金60兩宛5ヶ年の間懸戻に付) * (端裏書)「文化八末年十一月藤田市太夫殿発起頼母敷五百兩取入二而差出候證文下案」預り主八田嘉右衛門(印墨消)・請人工藤傳兵衛・同断甲田勝太郎→藤田市太夫殿	文化8末年11月	堅紙・1通	え3609
(宝昌寺無尽関係控証文類綴)		綴/(え4017-1~15は一綴)・1綴	え4017
(袋) * (袋上書)「無尽帳」 発起宝昌寺・豊屋源五兵衛	文化8(マ)西歳12月	袋・1点	え4017-1
西十二月十日初会金寄(金2兩浄福寺ほか10口出金×金22兩無尽覚)	(近世)西12月10日	堅継紙・1通	え4017-2
戌十一月九日式会目(金1兩3分9匁浄福寺ほか10口出金×金20兩無尽覚)	(近世)戌11月9日	堅継紙・1通	え4017-3
亥十一月廿七日三会目(金1兩発記寶昌寺・源五兵衛ほか10口出金×金20兩無尽覚)	(近世)亥11月27日	堅継紙・1通	え4017-4
子十二月十日四会目(金1兩発当寶昌寺・源五兵衛ほか10口出金×金20兩無尽覚)	(近世)子12月10日	堅継紙・1通	え4017-5
丑十一月廿三日五会目(金1兩発当寶昌寺・源五兵衛ほか10口出金×金20兩無尽覚)	(近世)丑11月23日	堅継紙)/(貼紙あり)・1通	え4017-6
寅十一月十一日六会目(金1兩発当寶昌寺・源五兵衛ほか10口出金×金20兩無尽覚)	(近世)寅11月11日	堅継紙・1通	え4017-7
卯十二月十二日七会目(金1兩発当寶昌寺・源五兵衛ほか10口出金×金20兩無尽覚)	(近世)卯12月12日	堅継紙・1通	え4017-8
辰閏十一月廿五日八会目(金1兩発当寶昌寺・源五兵衛ほか10口出金×金20兩無尽覚)	(近世)辰閏11月25日	堅継紙/(貼紙あり)・1通	え4017-9
巳年休午年九会目十二月十七日(金1兩発当懸寶昌寺・	(近世)午年	堅継紙・1通	え4017-10

源五兵衛ほか10口出金ノ金20両無尽覚)			
戌十二月十九日十会目(金1両寶昌寺・源兵衛ほか8口出金ノ金25両12匁無尽覚)	(近世)戌12月19日	縦継紙・1通	え4017-11
亥十二月十八日十一会目(金1両発当寶昌寺・源兵衛ほか9口出金ノ金22両2分6匁無尽覚) * (端裏書)「天保十亥年」	(天保10)亥12月18日	縦継紙・1通	え4017-12
子十二月十六日終会(金1両発当寶昌寺・源兵衛ほか10口出金ノ金25両無尽覚)	(近世)子12月16日	縦継紙・1通	え4017-13
覚(籤金取番廻しに付無尽金10兩受取証文、引当として寶昌寺祠堂金借用証文) * (端裏書)「丑年分」 圓福寺[印]→寶昌寺方丈・豊屋源五兵衛殿	文政12丑年11月	縦紙・1通	え4017-14
覚(関田守之丞をもって願のうえ金10兩借用証文) * (端裏書)「子年分」 かし町発記源五兵衛(印)、(奥書)発記寶昌寺[印]・菊屋傳兵衛(印)→八田嘉右衛門様御役人衆中、(奥書)八田嘉右衛門殿	文政9戌年11月9日	縦継紙・1通	え4017-15
(善光寺良性院無尽関係一括)		綴/(え3969-1~9は一綴)・1綴	え3969
(包紙) * (包紙上書)「善光寺良性院差引書」		包紙・1点	え3969-1
覚(頼母子懸戻し引当金67兩受取証文) 八田嘉右衛門(印)→良性院御房	文化12亥6月	横切紙・1通	え3969-2
覚(頼母小金残金84兩預り証文) 八田嘉右衛門→良性院御房	文化11戌11月24日	横切継紙・1通	え3969-3
(書状、頼母子預り辻繰回し依頼などに付) 一→良性院様貴下	5月2日	横切継紙・1通	え3969-4
(預り)金84兩ほか頼母子金勘定書)		小切継紙・1通	え3969-5
覚(蓮花院より金5兩他ノ金75兩ほか上納金書上)		折紙・1通	え3969-6
覚(頼母子小残金84兩預り証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→良性院御房	文化11戌年11月24日	横切継紙・1通	え3969-7
借用申金子証文之事(金30兩) * 後欠		縦継紙・1通	え3969-8
預申金子証文之事(金17兩) 良性院(印切抜)、(奥書)八田嘉右衛門(印抹消)→おおよ女	文化11年戌12月	縦紙・1通	え3969-9
掛金請取切手(善光寺良性院発起無尽)	文化11年戌11月吉日	横半半・1冊	え3970
(善光寺良性院仲介借用金書類一括)		綴/(え3966-1~6は一綴)・1綴	え3966
預り申金子証文之事(金100兩を9年賦にて) 衆談惣代預り主光明院(印)・同徳寿院(印)・同寶勝院・證印常德院(印)・同尊勝院(印)・口入人良性院(印)→八田嘉右衛門殿	文化12年乙亥年10月	縦紙・1通	え3966-1
預り申金子証文之事(高25石の地所を書入れ8年賦にて金100兩) 預り主二野宮藤兵衛(印)・證印堀内千吾(印)・同断半右衛門(印)→八田嘉右衛門殿・御口入良性院	文化13年子年10月	縦紙・1通	え3966-2
覚(引揚分御出金より差引分ほか受取証文) 良性院(印)→八田嘉右衛門殿	文政元年寅12月5日	縦継紙・1通	え3966-3
預り金一札之事(屋敷を書入れ金25兩を9年賦にて) 預り主瀧澤佐兵衛(印)・證印村田屋常右衛門(印)・同断清水名三右衛門(印)→八田嘉右衛門殿・御口入人良性院様	文化12乙亥年10月日	縦紙・1通	え3966-4
預り申金子証文之事(拙坊を書入れ金25兩を7年賦にて) * (端裏貼紙)「文化十四丑年十月金式拾五兩正定房」 預り主正定坊(印)・證人玄證坊(印)、(奥書)甚妙坊(印)→	文化14丑年10月	縦紙・1通	え3966-5

八田嘉右衛門殿・御口入良性院			
預り申金子證文之事(高3石の地所を書入れ7年賦にて金50兩借用に付) * (端裏書)「文化十四丑年十月金五拾兩池翁寺」下水鉤村預り主池翁寺[印]・引請請人明德寺[印]・塚田常平(印)・川田村同断大治郎(印)(貼紙)「此節故障之儀御座候間当廿三日迄ニ罷出印形可仕候」・良性院(印)→八田嘉右衛門殿	文化14丑年10月	豎紙/(貼紙あり)・1通	え3966-6
覚(甲田十左衛門発起無尽引受遣に付出金受取印書) * (端裏貼紙)「甲田十左衛門方発起無尽此方へ引受遣候ニ付追々懸出之付出金受取印書取置候」甲田十左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化13子年6月	横切継紙/(虫損)・1通	え3820
(浄福寺無尽金書類綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3520-1～6は一綴)・1綴	え3520
(封筒) * (封筒上書)柄沢孝左衛門無尽関係書類の旨/(封筒裏書)差引一卷、浄福寺寄合席上掛け合い書付の旨		封筒/(え3509～3526は括紐一括)・1点	え3520-1
(奉行衆中へ内々御届済みの旨一同喜び等に付書状) * (端裏書)「御口演書 後御受」	応鐘晩日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3520-2
乍恐以口上書奉願候(祠堂金一件、松屋八郎治ほか立入りと談に付聞流し願) 松代田中村浄福寺代大道同寺旦中惣代伊惣太・同村名主道右衛門→善光寺御役所	文化14丑年11月日	豎紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3520-3
(浄福寺祠堂金一件始末書) * (端裏書)「済口始末」		豎紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3520-4
内済證文之事(浄福寺より訴訟の柄沢彦太夫など借金滞納一件、私ほか立入り内済に付届) 大門八郎次・清水名三郎→御役所	文化13子年6月	豎継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3520-5
(浄福寺無尽金滞納一件関係書類綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(3520-6-1～4は一綴)・1綴	え3520-6
(柄沢孝左衛門無尽へ浄福寺加入の訳など浄福寺一件書上)	文政元寅10月	豎紙/(え3509～3526は括紐一括)/(下札あり)・1通	え3520-6-1
(無尽金など文化8年より浄福寺取入金・預り金書上)		半/(え3509～3526は括紐一括)/(下札あり)・1冊	え3520-6-2
(浄福寺借財減らし方の儀書上並び文化12年発起無尽記書上)		半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3520-6-3
(浄福寺中村厚民室無尽金滞納一件、知門和尚隠居後引渡の件奉行所への返答など書上)		半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3520-6-4
(関山宝蔵院発起無尽関係書類一括)		綴/(え3948-1～6は一綴)・1綴	え3948
(袋) * (袋上書)「関山寶蔵院発起無尽一卷入和七懸り合」/(袋上貼紙)「文化十三子年関山法蔵院五百兩頼母數三拾兩口三つ加入翌寅年三會目三百兩取入尤夫迄懸金先方よりかり入置当会返済引残り三兩壹分式朱式匁三分此方預り形ニ御座候其後卯四會此方ニ而三百兩取入之場ニ至無尽休會ニ相成候右巻書類入」		袋・1点	え3948-1
覚(関山寶蔵院無尽差引書) * (端裏貼紙)「文化十五寅五月 関山寶蔵院無尽差引書」 関山寶蔵院役人稽垣甲馬・村越牛兵衛・世話人→松代八田嘉右衛門殿	文政元寅5月	豎継紙・1通	え3948-2

1.内方/5.金融/3.無尽

預り金證文之事(宝蔵院様發起頼母のため御無心のところ正金110両受取証文) 関山寶蔵院役人佐藤弥惣治[印]・木下仁太夫(印)・世話人内田与惣兵衛(印)他4名→八田嘉右衛門殿御名代大木伊左衛門殿	文化13年子8月	堅紙/(下札あり)・1通	え3948-3
一札之事(御加入御積金当卯5月晦日御取番のところ院主より御日延御頼み申し付けられ御聞済に付) 関山宝蔵院内村越牛兵衛(印)・世話人佐藤政右衛門(印)→八田嘉右衛門殿御名代和合御院主	文政2卯年6月10日	堅紙・1通	え3948-4
覚(丑の御掛金99両の内にて差引利足受取証文) 関山世話人惣代佐藤政右衛門(印)・内田与惣兵衛(印)→松代菊屋傳兵衛殿	文化14丑ノ5月21日	堅紙・1通	え3948-5
頼母敷取極一札之事(関山寶蔵院様権現堂御再建に付) 関山宿寶蔵院無尽世話人内田与惣兵衛(印)他4名→松代八田嘉右衛門殿	文化13子年8月	堅紙紙/(下札あり)・1通	え3948-6
(宝蔵院無尽関係書類一括)		綴/(え3949-1~5は一綴)・1綴	え3949
覚(無尽関係書類移動書)	5月20日	横切紙・1通	え3949-1
預り金證文之事(寶蔵院様金500両御頼母敷御發起のため御無心申し上げ金99両分御加入に付) 関山宿寶蔵院役人佐藤弥惣治・木下仁太夫・世話人内田与惣兵衛(印)他4名→松代町傳兵衛殿	文化14丑年5月	横切紙綴・1通	え3949-2
覚(当丑年掛出金書上)	丑5月	横切紙・1通	え3949-3
①借用金證文事(寶蔵院様發起御頼母敷500両について当座掛出金差支え御無心申す所、御口入れ下され)、②預り金證文之事(宝蔵院金500両頼母敷發起無尽に金110両加入正金) ①松代町傳兵衛、(奥書)八田嘉右衛門→関山宿御神領御役人衆中、②関山宿宝蔵院役人誰・世話人――→八田嘉右衛門殿御名代大木伊左衛門殿	①文化13子年8月、②月日	横切紙綴・1通	え3949-4
(書状、金300両發起無尽、三口御加入御無心申上げ1口年金30両宛掛戻し申すこと並びに七番より圖当たり次第御渡し申すべきに付)		小切紙・1通	え3949-5
(大林寺無尽金銭関係書類一括)		綴/(え4011-1~20は一綴)・1綴	え4011
①覚(大林寺分金50両内差引残44両ほか無尽金銭差上げに付)、②覚(丑12月御預け申す金50両の利分金6両受取証文) ②大林寺[印]→八田嘉右衛門殿	②文政元寅12月	折紙・1通	え4011-1
(菅沼伊作殿無尽差引書) * (端裏書)「菅沼伊作殿無尽差引書」		横切紙・1通	え4011-2
(書状、田中氏無尽帳面に仕立て方などに付) * (端裏書)「申取」(関田)庄助	12月26日	横切紙・1通	え4011-3
覚(子12月金15両利足1両3分3匁ほか金銭書上)		横切紙・1通	え4011-4
覚(田中井右衛門殿發起100両無尽二口分掛出金の内15両借用仮証文) * 本文墨消 八田嘉右衛門(印墨消)→大林寺方丈	文化13子年12月28日	横切紙・1通	え4011-5
(大林寺無尽に付森村岡田戸左衛門へ金4両1分余り借附金書上)	卯12月	小切紙・1通	え4011-6
(工藤傳兵衛分金59両2分14匁金銭差引書上)		横切紙・1通	え4011-7
寛政八辰之暮取集金覚(清原田村三郎兵衛・伊左衛門年賦金2両2分2朱余ほか) 馬場丁→伊勢町様	大晦日	横切紙綴・1通	え4011-8

寛政八辰年十二月木町分取集金覚(年賦金市村南組分金2分余ほか差引金2両錢661文) 馬場丁→伊勢町様	辰大晦日	横切継紙・1通	え4011-9
(惣ノ金15両1分2朱余差引書上)	巳3月	横切継紙・1通	え4011-10
覚(無尽金差引勘定書)		横切継紙・1通	え4011-11
覚(菅沼九左衛門殿御発起無尽金調達致しかね金19両1分余御渡し旨報告書) 小野唯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	寅12月	横切紙・1通	え4011-12
(工藤傳兵衛分金59両1分13匁差引勘定書)		横切紙・1通	え4011-13
覚(菅沼九左衛門殿無尽私出金致分書付) (田中)井右衛門→(八田)嘉右衛門様	11月	横切継紙・1通	え4011-14
覚(菅沼九左衛門殿発起無尽金不調達に付金10両1分5匁借用証) 田中井右衛門(印)→工藤傳兵衛殿	文政元寅年12月	横切紙・1通	え4011-15
覚(当屋敷発起無尽掛不足の分のため仁礼村佐野右衛門金1両2分6匁ほか3月迄に取り上げ差上げ旨報告書) 菅沼伴御内坂口惣三郎(印)→八田嘉右衛門様御内	辰2月24日	横切紙・1通	え4011-16
覚(菅沼九左衛門殿御発起無尽掛戻し金の内不調達のため金7両1分13匁御日延願) 竹内三郎兵衛(印)→八田嘉右衛門殿	寅年12月24日	横切紙・1通	え4011-17
覚(卯年より亥年迄1ヶ年19両宛1割2分積金辻金101両1分差引残金の無尽金証文作成願)		横切継紙・1通	え4011-18
覚(大林寺へ口入にて金100両譲渡など書付) *(端裏書)「寅十二月廿九日大林寺江御口入百両相渡候節之差引覚」		横切継紙・1通	え4011-19
覚(田井右衛門より無尽預金元利差引残辰元御返済の件相談に付) (長岡)助右衛門→(八田)嘉右衛門様	正月19日	折紙・1通	え4011-20
借用申證文之事(無尽取入金を引当に御上御預金の内金12両あまり年中1割2分の利足にて) *(端裏貼紙)「文化十四丑年金拾貳両 大林寺寺割貳分」 御借主大林寺[印]・御受判中島三右衛門→八田嘉右衛門殿	文化14丑年12月	堅紙/(虫損)・1通	え4012
(善光寺良性院無尽入用関係一括)		綴/(え3967-1~22は一綴)・1綴	え3967
(書状、良性院無尽支障に付諸方へ助力願) *(端裏貼紙)「良性院無尽ニ付入用書類寅十二月」/下書 →善清院様玉床下	(文政元年寅12月)	横切継紙・1通	え3967-1
(懸け戻し金不足取調書ならびにその分算当願の旨下札) →八田嘉右衛門様御内	文政元寅年12月4日	横切継紙/(2枚)・1通	え3967-2
覚(脇野町御陣屋御支配大井平邑保坂又右衛門ほか名面書)		横切紙・1通	え3967-3
(書状、頼母子の事願の処加入聞済に付利合帳面下書作成願などに付) 乗庵差上→書鳩君座下へ	9月吉日	横切継紙・1通	え3967-4
覚(良性院無尽金8両3分10朱受取書) 足や村明心寺[印]→八田嘉右衛門様	文政元寅年12月17日	横切紙・1通	え3967-5
(書状、積立金も年々返済の様子に付貴家様御受取くださるべき事) 堀内文五郎→八田嘉右衛門様	12月7日	横切継紙・1通	え3967-6
(書状、良性院無尽手前分片付き兼ねる時分など貴家様にて分かる事あれば承りたきに付) 堀内文五郎→八田嘉右衛門様	12月7日	横切継紙・1通	え3967-7

1.内方/5.金融/3.無尽

(浄蓮寺隠居先月25日遷化当月3日葬送相済に付)		切紙・1通	え3967-8
(書状、無尽金を良性院へ才足などに付) *下書		横切継紙・1通	え3967-9
(書状、帳面差出しに付引当金子御下くださるべく) 良性院→八田嘉右衛門様玉床下	極月初五	横切継紙・1通	え3967-10
覚(金104両引揚分出金ほか差引勘定書)		横切継紙・1通	え3967-11
覚(無尽金懸戻し分など金8両2分2朱4匁2分1厘ほか受 取書) 新町村源八(印)・願人常八(印)→八田嘉右衛門様 御内	文政2卯年2月7日	横切継紙・1通	え3967-12
覚(金8両2分2朱4匁2分1厘ほか請取書) 新町村源八→ 八田嘉右衛門様御内	文政2卯年2月7日	横切紙・1通	え3967-13
覚(寅年元金62両3分及び貸付金差引勘定書)		横切紙・1通	え3967-14
覚(金110両を六右衛門へ渡しに付落手くださるべく) 良性院→八田御氏	文政元寅年10月23日	横切継紙・1通	え3967-15
覚(無尽掛金ほか金12両ほか受取くださるべく)	(文政元)寅年10月22 日	横切継紙・1通	え3967-16
覚(無籤人名面書)		折紙・1通	え3967-17
覚(金9両2分づつ6年にて支払いの場合の金額ほか問 合せ)		横切紙・1通	え3967-18
(掛金書上)		小切紙・1通	え3967-19
(八田氏ほか良性院無尽参加者書付) *墨消あり		小切紙・1通	え3967-20
(引揚出金書立)		折紙・1通	え3967-21
覚(無尽金出入勘定書)		折紙・1通	え3967-22
(善光寺良性院無尽入用関係一括)		綴/(え3968-1~3 は一綴)・1綴	え3968
一札(良性院無尽金向六会引揚金104両2分銀1匁5分6 厘受取の上御連中へ引渡し旨約定証文) 良性院 (印)・清水名三右衛門(印)・藤井安右衛門(印)→八田嘉右 衛門殿	文政元年寅11月	堅紙・1通	え3968-1
御時借用申金子事(金12両) 二宮藤兵衛代多八・受人大 治郎(花押)→良性院様・八田嘉右衛門様	文政元(年)寅10月22 日	堅紙・1通	え3968-2
口上(多病老衰の為会合引揚勘定了承への礼) 発当良 性院・證人清水名三右衛門・藤井安右衛門→惣御連中様	文政元寅11月	堅紙・1通	え3968-3
(産物無尽関係綴)		綴/(え3975-1~ 20は一綴)・1綴	え3975
(袋) *(袋上書)「産物無尽発起之節品々割合致し見候ニ付 下調之反古類追而見合ニ茂可相成哉与仕立置」	文政元寅12月	袋・1点	え3975-1
(金50両内31両1分藤岡甚右衛門・18両3分佐藤左金吾 跡引受八田嘉右衛門他10口分無尽金額書上)		横切継紙・1通	え3975-2
(書状、今年私よりの懸け戻し金出方なども差支え延 会仕りたきに付) 堀内・野村・藤岡他6名		横切紙・1通	え3975-3
(柳沢新右衛門殿午五会目預金残金書上)		小切紙/(え 3975-3と5の間に 挟込)・1通	え3975-4
(金2両2分7匁5分ほか受取書) *前欠 八田嘉右衛門 (印)→柳沢新右衛門殿	文政5午年12月	横切紙・1通	え3975-5

発当徳差引(金334両2分8文6分7厘初会発当徳金に付)	横切継紙/(貼紙あり)・1通	え3975-6
(寅より亥まで元利ノ金2087両3分8匁8分4厘無尽金書上)	横長半・1冊	え3975-7
(初回金400両ほか無尽金差引勘定書)	横長半・1冊	え3975-8
(申年377両9匁4分5厘ほか寅年まで7年無尽金勘定書)	折紙・1通	え3975-9
(12両1分2匁3分4厘他2~6回無尽金残金勘定書)	折紙・1通	え3975-10
(申年78両3分10匁6分2厘ほか寅年まで無尽金勘定書)	折紙・1通	え3975-11
(初会187両2分ほか無尽金残金勘定書)	横長半・1冊	え3975-12
(6会目金168両1分10匁4分6厘無尽金書上)	折紙・1通	え3975-13
(初会出金分137両2分ほか無尽金差引勘定書)	折紙・1通	え3975-14
(戌金68両7匁5分差引金ほか丑年まで無尽金勘定書)	折紙・1通	え3975-15
(未年97両1分13匁9分7厘ほか無尽金勘定書)	折紙・1通	え3975-16
預り懸戻し方(未残り377両9匁4分7厘寄りの無尽金勘定書)	折紙・1通	え3975-17
過不足金差引(六会目執行83両2匁3分3厘ほか無尽金勘定書)	折紙・1通	え3975-18
(766両3分1匁5分6厘1割7年賦金ほか無尽金残金勘定書)	折紙・1通	え3975-19
(1500両9分廻し他内訳金書上)	折紙・1通	え3975-20
覚(私発起無尽当四会目森村岡田戸左衛門名前の分掛不足金に付掛出願) * (端裏貼紙) 田中井右衛門殿大林寺発起無尽引当の旨 田中井右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政2卯年12月 堅紙・1通	え4013
(善光寺本願上人頼母敷関係書類一括)	袋一括/(え3901-1~3は袋一括)・1点	え3901
(袋) * (袋上書)「文政八酉年善光寺本願上人様頼母子之節規定書並其節当式会目半口取入引当ニ而金貳両五拾兩請取印書等入 文政九年十二月五日」	袋・1点	え3901-1
(無尽金貸借関係書類一括)	包紙一括/(え3901-2-1~7は包紙一括)・1点	え3901-2
(包紙) * (包紙上書)「文政八乙酉年十二月十六日上人様御発起御役人吉村富右衛門殿同五十次郎殿会主ニ而此方より大林寺方丈中島三右衛門殿此方より忠七遣候為引出和合院主江銀壹枚包熨斗大林寺方丈中島御氏手前へ右同断忠七江棧留袴地一反十七日四つ時忠七帰宅 金来曆 一幅」	包紙/(え3901-2-1~7は包紙一括)・1点	え3901-2-1
(書状、酉年上人様御発起無尽、去々戌年より差し滞り、御加入主より催促に付) * (端裏書)「善光寺懸合下案」八田嘉右衛門→吉村富右衛門様・吉村五十二郎様	12月23日 横切継紙・1通	え3901-2-2
覚(金200両を明後17日まで御時拝借に付) * (端裏書)「文政八乙酉年十二月十六日善光寺上人様御頼母敷初会当座懸出金時借證文返り」/本文墨消 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政8酉年12月15日 堅紙・1通	え3901-2-3
(書状、吉村よりの書状をお見せに成され、その上尊君よりの御草稿も拝見仕り腹臆なく加書別紙に相認	横切継紙・1通	え3901-2-4

めるに付) 學道→書鳩君			
(書状、御添簡差出す旨ならびに当暮れの彼御無尽御立合に付) * (封筒上書)「申上 呉島再拜 双魚」 呉島再拜	臘22日	横切継紙・1通	え3901-2-5
(書状、保科村藤右衛門、善光寺町佐々本源藏、金子与右衛門へ掛り候貸金滞一件に付) 弥右衛門→(八田)嘉右衛門様	3月22日	横切継紙・1通	え3901-2-6
覚(御無尽掛出金の内金200両を来戌二会迄1割の利合をもって借用に付) * (端裏書)「此般切手ニ而式百兩受取申候此内ニ御座候御證文江御印形被成下被遣可被下候」八田嘉右衛門、(奥書)中島三右衛門→吉村富右衛門殿、(奥書)吉村富右衛門殿	文政8酉年12月	堅紙・1通	え3901-2-7
規定之事(大本願上人様御勝手差えのため500両の頼母敷御発起に付御加入御無心の所四口半御加入に付) 御無尽世話方惣代藤屋平左衛門(印)・葛屋半藏(印)・紙屋磯右衛門(印)・金子與右衛門(印)・青沼喜八(印)・中野市十郎(印)・佐々本源藏(印)・矢嶋甚兵衛(印)・岩下庄左衛門(印)・清水順平(印)、(奥書)吉村五十二郎(印)・吉村富右衛門(印)→皆神山和合院様・越後高田倉石安之助殿・右加入御口入八田嘉右衛門様、(奥書)八田嘉右衛門殿	文政8乙酉年12月	堅継紙・1通	え3901-3
頼母鋪講帳(宝昌寺・豊屋源兵衛発起、天保11年まで鬺金受取証文など)	文政8酉年12月	美・1冊	え4022
金子御預證文之事(酉年3月の発起無尽鬺当たり金10両受取に付) 伊勢町儀兵衛(印)→水野大右衛門様	文政9戌年3月	堅継紙・1通	え3833
(伊勢町儀兵衛発起無尽御取金に付綴)		綴/(え3834-1~2は一綴)・1通	え3834
一札之事(伊勢町儀兵衛発起無尽御取金となり掛戻し金年々差し出すに付) * え3834-2の下書 →菊屋傳兵衛殿		横切継紙・1通	え3834-1
一札之事(伊勢町儀兵衛発起無尽10両御取金となり掛戻し金年々1両12匁差し出すに付) 水野大右衛門(印)・加判儀兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	文政9戌年3月	堅紙・1通	え3834-2
覚(当亥年無尽掛金の内50両受取、残り金30両は近々の内に下さるべきに付) 五口村口口左衛門(印)→八田嘉右衛門御内[]殿	文政10年亥11月20日	堅紙/(虫損甚大)・1通	え3955
(文政・天保期無尽講金貸借関係綴)	(近世)	綴/(え4021-1~8は一綴)・1綴	え4021
御借申金子證文之事(要用に付建屋を引当に文政11年11月15日まで祠堂金20両、長左衛門の別紙添書證文つき) 紺屋町長左衛門(印)・組合惣代惣兵衛(印)・口合人鍛冶町源五兵衛(印)→御幣川村寶昌寺様	文政10亥年11月晦日	堅継紙・1通	え4021-1
覚(来年取番廻しの無尽講鬺金20両金受取証文) * (端裏書)「丑年分」 善光寺豊屋茂助(印)、(奥書)伊勢屋傳兵衛(印)→寶昌寺様・豊屋源五兵衛殿	文政11子年12月	堅紙・1通	え4021-2
覚(来年取番廻しの無尽講金鬺金10両受取証文) 八田嘉右衛門役代傳兵衛(印)、(奥書)八田嘉右衛門(印)→寶昌寺様・豊屋源五兵衛殿	文政12丑年11月	堅紙・1通	え4021-3
覚(来年取番廻しの無尽講金鬺金10両受取証文) 八田嘉右衛門役代傳兵衛、(奥書)八田嘉右衛門→寶昌寺様・豊屋源五兵衛殿	文政13寅年11月	堅紙・1通	え4021-4
覚(来年取番廻しの無尽講金鬺金10両受取証文) 圓福寺[印]→寶昌寺方丈・豊屋源五兵衛殿	文政13寅年11月	堅紙・1通	え4021-5

覚(来年取番廻しの無尽講金蘭金20両受取証文) 圓福寺[印]・竹花重三郎(印)→寶昌寺方丈・晝屋源兵衛殿	天保2卯年12月	堅紙・1通	え4021-6
覚(来年取番廻しの無尽講金蘭金20両受取証文) 圓福寺[印]・菊屋傳兵衛→寶昌寺方丈・晝屋源五兵衛殿	天保3辰年閏11月	堅紙・1通	え4021-7
寶昌寺晝屋源兵衛寄合発記無尽ニ付取計方覚 (宝昌寺無尽講金関係貸借綴)	(近世)	半・1冊 綴/(え4018-1~9 は一綴)・1綴	え4021-8 え4018
(袋) * (袋上書)「寶昌寺源兵衛無尽諸差引書類入」	(近世)	袋・1点	え4018-1
覚(金7両12匁要用のため無尽講取入金を引当として借用に付、天保10年暮までに返済) 借主浄福寺(印)・請人寶昌寺[印]→八田嘉助殿	天保9戌年12月	堅紙・1通	え4018-2
覚(金7両12匁無尽講長左衛門掛金分御引受なさに付) 発起源兵衛(印)・寶昌寺[印]→八田嘉助殿	天保9戌年12月	横切継紙・1通	え4018-3
別紙一札之事(浄福寺の借用証文に私も加印、無尽講終会取入金を引当とする旨につき) 寶昌寺[印]→八田嘉助殿	天保9戌年12月	堅紙・1通	え4018-4
覚(金1両12匁の無尽講掛金が調べかねるため蘭金の内をもって元利差引にするに付) 竹花重三郎、(奥書)寶昌寺[印]・田中村源兵衛(印)→浄福寺方丈様・八田嘉右衛門様	天保9戌年12月	堅継紙・1通	え4018-5
御借用金證文之事(金2両要用のため無尽講取入金を引当として借用に付、12月までに返済) 田中村御借主源五兵衛(印)・悴請人啓助(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保9戌年9月	堅紙・1通	え4018-6
御借用金證文之事(金2両要用のため無尽講取入金を引当として借用に付、12月上旬までに返済) 田中村御借主源五兵衛(印)・悴請人啓助(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保8酉年8月	堅紙・1通	え4018-7
御借金證文之事(金3両要用のため無尽講取入金を引当として借用に付、天保10年11月15日までに返済) 田中村御借主源五兵衛(印)・受人寶昌寺[印]→八田嘉右衛門様御内長崎源吾殿	天保9戌年12月	堅紙・1通	え4018-8
借用金證文之事(金6両要用のため無尽講取入金を引当として借用に付、天保11年11月15日までに返済) 田中村浄福寺(印)・受人寶昌寺[印]→八田嘉右衛門殿	天保10亥年12月	堅紙・1通	え4018-9
(無尽講金関係貸借綴)	(近世)	綴/(え4019-1~12は一綴)・1綴	え4019
覚(不足分など蘭金差引勘定書)	(近世)	横切継紙・1通	え4019-1
覚(懸戻し金など無尽講金支払書付)	(近世)	折紙・1通	え4019-2
覚(金2両時借証文) 田中村源兵衛(印)→長崎源吾様	(近世)西正月16日	小切継紙・1通	え4019-3
覚(圓福寺懸不足分覚書)	(近世)	小切紙・1通	え4019-4
(無尽金掛金残金受取の旨願書) かし町源兵衛→関田守之丞様	(天保11年)3月	横切継紙・1通	え4019-5
(書状、無尽講の件明日参上のうえ報告に付) (関田)守之丞→(八田)嘉助様	(近世)12月16日	折紙・1通	え4019-6
寅年内割覚(無尽講金出入控)	(近世)	横長半/(貼紙あり)・1冊	え4019-7
辰年内割帳(無尽講金出入控)	(近世)	横長半/(貼紙あり)・1冊	え4019-8
午九会目(無尽講金出入控)	(近世)	横長半/(貼紙あり)・1冊	え4019-9

1.内方/5.金融/3.無尽

(嘉助より持出之分・発当より出金分控)	(近世)	横長半・1冊	え4019-10
覚(無尽講金勘定書)	(近世)	横切紙・1通	え4019-11
寶昌寺様源兵衛無尽差引控写	(近世)	横長半・1冊	え4019-12
(無尽関係綴)	(天保14年)	綴/(え3998-1～12は一綴)・1綴	え3998
(掛金元金鬻当たりの節差上げに付書付) 内川村良八	卯極月19日	小切紙・1通	え3998-1
(関口勝馬様無尽懸け不足分など書付)		小切紙・1通	え3998-2
辰年御取番卯年繰上ケ御預り(預り金勘定書)		横切紙・1通	え3998-3
覚(御地頭様発起無尽掛金受取書) 奎左衛門→八田様 御役代傳兵衛殿		小切紙・1通	え3998-4
(無尽金30両うち藤田傳左衛門3両のこり27両に付書付)		小切紙・1通	え3998-5
覚(無尽懸け出金1両1分余に付)	天保14卯年12月	小切紙・1通	え3998-6
覚(無尽残金16両1分に付)		小切紙・1通	え3998-7
覚(佐々木氏懸け戻し金3分銀3匁受取書) 田中佐右衛門(印)→堀内樹一郎殿		小切紙・1通	え3998-8
(無尽金3両2分受取書)		小切紙・1通	え3998-9
(金50両うち無尽掛金3両2分銀6匁残金など書付)		小切紙・1通	え3998-10
(無尽掛金八田分金25両うち金3分銀8匁3分4厘伊勢町源左衛門分ほか引き残金書付)	19日	小切紙・1通	え3998-11
覚(残金9両3分余預かり願) 廣左衛門		横切紙・1通	え3998-12
(切紙)「訳合有之手前無尽十二番会相除候善光寺大本願上人様頼母敷年発起有之候無尽十二番目取番式拾五両懸分右ニ引当置候」		切紙・1通	え3565
[](虫損)無尽入用書類入	(近世)	袋・1点	え3935-2
(法華寺無尽関係綴)		綴/(え3941-1～2は一綴)・1綴	え3941
覚(集会までの掛金勘定書)		横切紙・1通	え3941-1
(商売仕入金不都合に付矢代村市之丞分地所を引当として返済に付祠堂金のうち金子借用証文) * (端裏書)「矢代法華寺無尽取番ニ付預り証文下書 文化四卯年三月」→法花寺様并御世話人中		縦紙・1通	え3941-2
頼母敷講御名前帳 大井百助	文化7年3月	半/(虫損甚大)・1冊	え3950
覚(金20両受取証文) 大井百助(印)→久[]様	未4月24日	小切紙/(虫損甚大)・1通	え3954
證文金并時借通先金銭高扣帳(善光寺良性院発起無尽)		横長半/(下札あり)・1冊	え3971
(袋) * (袋上書)「大林寺田中井右衛門殿発起無尽ニ付入用書類右之外大林寺借附證文無尽調書岡田戸左衛門印書等入置」		袋・1点	え4009
(無尽講金等関係綴)	(近世)	綴/(え4020-1～9は一綴)・1綴	え4020
(浄福寺など無尽金勘定書)	(近世)	横切紙・1通	え4020-1

覚(無尽金渡し方書上)	(近世)12月20日	横切継紙・1通	え4020-2
(菊屋傳兵衛殿・浄福寺分無尽金書上)	(近世)	小切紙・1通	え4020-3
(二番取懸戻後の残金など書上)	(近世)	横切紙・1通	え4020-4
覚(無尽講金蘭金20両分差引後残金書上 * (端裏書)「寶昌寺源兵衛無尽」)	(近世)丑11月23日	横切紙・1通	え4020-5
(無尽蘭金取調書)	(近世)	横切紙/(え4020-6-1・2は紙縫一括)・1通	え4020-6-1
覚(無尽蘭金取調書)	(近世)亥11月27日	小切紙・1通	え4020-6-2
覚(無尽金取調書)	(近世)	横切紙/(貼紙あり)・1通	え4020-7
(銀は江戸京大坂銀座にて等引替え方に付触写)	(近世)12月	横切継紙・1通	え4020-8
(書状、金4両御仁恵下されたきに付) 柴町→伊勢町様	(近世)10月12日	横切継紙・1通	え4020-9

1.6. 飯山領

1.6.1. 質地

質地証文反別帳写 * 裏表紙端に朱筆で「九」とあり	(文化5～文化10年)	半・1冊	え3567
---------------------------	-------------	------	-------

1.6.2. 貸付金

(飯山領他借用証文綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3511-1～12は一綴)・1綴	え3511
借入金証文之事(年貢諸払方差詰りに付御口入により金40両内借受取、引当として書入の地所売渡し弁金) 水内郡小境村百姓代借用人政右衛門(印)・右村組頭同断同断常治郎(印)・右村庄屋同断善兵衛(印)→松代町傳兵衛殿	文政3辰年4月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-1
添書一札之事(村方御年貢諸払方差詰りに付金子借用、庄屋善兵衛加入の飯山町三四郎蘭金を引当) 小境村百姓代政右衛門(印)・同村組頭常次郎(印)・同村庄屋善兵衛(印)、(奥書)飯山本町大和屋三四郎(印)→松代町傳兵衛殿	文政3辰年4月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-2
御時借証文之事(要用に付金16両2分余時借、三四郎蘭金を引当) 水内郡小境村借用主善兵衛(印)・右請人榮之丞(印)、(奥書)飯山本町三四郎(印)→松代町和七殿	文政5午年5月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-3
差上申一札之事(頼母子講企て金150両返済遅滞に付柴津村幾之助無尽に引当替え) 飯山本町大和屋借用主三四郎(印)・右同断小山傳右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内笠井和七殿	文政4巳年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-4
借入金証文之事(村方年貢諸払い差詰まりに付御口入をもって金50両借用、名所沖田8石を書入) 中野御領水内郡西大瀧村借用主庄屋太左衛門(印)・右同断組頭重左衛門(印)・右同断百姓代市左衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文化14丑年4月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-5
添書一札之事(村方御年貢諸払方差詰りに付金子借用、庄屋善兵衛加入の飯山町三四郎蘭金を引当) 中野御領水内郡西大瀧村借用主庄屋太左衛門(印)・右同断組頭重左衛門(印)・右同断百姓代市左衛門(印)、(奥書)飯山本町大和屋三四郎(印)→松代町傳兵衛殿	文化14丑年4月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-6

1.内方/6.飯山領/2.貸付金

御口入金御取延證文之事(戸狩村菅之助借入金50兩返済引受の処返済滞滞に付収納手形引当にて取延し願) 飯山本町山岸三四郎(印)→松代町傳兵衛殿	文政5午年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-7
覚(鬪金より半口取入に付差引勘定書) * (端裏書)「文政二卯五月半口取入付差引紙面」 大和屋三四郎	(文政2年)う5月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)/(下札あり)・1通	え3511-8
添書一札之事(村方御年貢諸払方差詰りに付金子借用、飯山町三四郎鬪金を引当) 水内郡戸狩村借用主百姓代武右衛門(印)・組頭忠右衛門(印)・同治郎左衛門(印)・庄屋菅之助(印)、(奥書)飯山本町大和屋三四郎(印)→松代町傳兵衛殿	文政2年卯4月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-9
借入金證文之事(村方年貢諸払い差詰りに付御口入をもって金50兩借用、名所北田高10石余書入) 水内郡戸狩村借用主百姓代武右衛門(印)・組頭忠右衛門(印)・同治郎左衛門(印)・庄屋菅之助(印)→松代町傳兵衛殿	文政2年卯4月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-10
借入金證文之事(村方年貢諸払い差詰りに付御口入をもって金50兩借用、名所北田高10石余書入) 戸狩村借用主百姓武右衛門(印)・組頭忠右衛門(印)・同治郎左衛門(印)・庄屋菅之助(印)→松代町傳兵衛殿	文化15年寅4月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-11
御日延證文之事(戸狩村菅之助借入金日延願) * 取立方を決めた上で許可の旨の下札あり 飯山山岸三四郎(印)→八田嘉右衛門様御内	文政5年午6月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3511-12
(飯山領借入金書類綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3510-1～13は一綴)・1綴	え3510
覚(金44兩永557文余借用) 常田善助(印)→大和屋嘉兵衛殿	文政11子年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-1
預金一札之事(飯山藩発起頼母子講6会目鬪金500兩受取6年で返済) * (端裏書)「下案」 松代町傳兵衛、(奥書)八田嘉右衛門→飯山御城下町(山岸)三四郎殿	文政2卯年閏4月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-2
奉拝借金子證文之事(金3兩1分を1年借用) * (端裏貼紙)「文政九戌年十二月 金三兩毫分四匁八分九厘 飯山丁大和屋三四郎」 飯山本町拝借人三四郎(印)・同断嘉兵衛(印)→松代笠井和七様	文政9戌年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-3
(杓子200匁を大和屋三四郎借用願のところ相場あわずに付証文を当方へ預り置く旨書付)		小切紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-4
覚(無尽掛金不都合に付120兩借用) * (端裏書)「文政五壬午十一月廿九日山岸三四郎方五百兩無尽式口式拾□□入懸出證文下案」 松代伊勢町菊屋傳兵衛代喜助→山岸三四郎殿	文政5午11月29日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-5
一札之事(杓子返済年延願のため証文替えに付古証文消印願) 大和屋(山岸)三四郎(印)・同断嘉兵衛(印)→笠井和七様	文政9戌年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-6
覚(取替金元利共受取に付追って本証文に引替の旨約定) 大和屋吉右衛門(印)→松代笠井和七様	文政10年亥11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-7
借用申金子證文之事(要用に付146兩余借用飯山本町三四郎発会頼母子講取番金を引当) 松代村借用人傳兵衛・飯山本町受人(山岸)三四郎代嘉兵衛(印)→笠井和七様	文政11子年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-8
借入金證文之事(19兩借用引当は三四郎無尽鬪金) 飯山本町借用人吉右衛門(印)・同請人源八・同請人嘉兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内笠井和七様	文政11子年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-9

借用金證文之事(217両借用三四郎無尽取番金をもって返済) 飯山本町借用人吉右衛門(印)・同請人三四郎(印)・同請人源八(印)→八田嘉右衛門様御内笠井和七殿	文政11子年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-10
借用金證文之事(141両余借用引当は三四郎發起無尽に付操合金) 飯山本町借用人三四郎(印)・同断請人吉右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内笠井和七殿	文政11子年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-11
拝借粉子一札之事(物成の内より粉700俵借用) * (後筆)「式百表 戌年増」「戌 十一月」 松代いせ町拝借人和七・飯山受人吉右衛門・同受人三四郎→吉松四郎左衛門様・高田茂左衛門様	文政8酉年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-12
差上申御請書之事(貴殿御執り成し御加判にて物成粉500俵拝借、御加判への引当として家屋敷2ヶ所貴殿へ御渡し) 山岸三四郎(印)・親類源八(印)・同山岸又七(印)・同和兵衛(印)・同武助→八田嘉右衛門様御内笠井和七殿	文政7未(マ)年2月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3510-13

1.6.3. 無尽

(飯山領無尽他書類一括) * 紙綴綴		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3509-1～21は一綴)・1綴	え3509
(封筒) * (封筒上書)文政6年山岸三四郎大借にて取片付手段無く和七差遣取計方扣巻巻入の旨/(封筒裏書)申2月5日飯山 御上様より粉子500俵山岸三四郎一通り引当等も無く、證文和七加判にて、当人所持の家屋敷2ヶ所請取等の旨/(封筒裏書)吉松四郎左衛門様へ申上置の委細御聞届、取計置の旨		封筒/(え3509～3526は括紐一括)・1点	え3509-1
借用金證文之事(勝手向難渋に付金215両返済差延への礼、家屋敷引当) 借用主山岸三四郎(印)・請人親類源八(印)・同山岸又七(印)・同和兵衛(印)・同武助(印)→八田嘉右衛門様御内笠井和七殿	文政7未(マ)年2月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-2
御借用金證文之事(要用に付御城下町宿用金の内をもって金140両借用、引当は飯山本町構屋敷) 飯山本町借用人山岸三四郎(印)・同町組合長兵衛(印)・同町組頭惣代吉右衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文政5午年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-3
覚(粉900俵預け証文) 廣田甚五郎(印)→笠井和七殿	子11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-4
拝借粉子御請書之事(要用に付粉200俵、来年六月代金上納) * (端裏書)「下案」 拝借人大和屋(山岸)三四郎(印墨消)・八田嘉右衛門内笠井和七(印墨消)、(奥書)笠井和七→高(高田)茂左衛門様	文政9戌年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-5
借用申金子證文之事(金8両3分借用) 飯山本町借用人嘉兵衛(印)・受人同断吉右衛門(印)→松代伊勢町浦野忠七様・笠井和七様	文政11子年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-6
覚(飯山藩発起の頼母子亥年四会目繰金1000両受取、12月20日まで本証文へ引替) * 「預金一札之事」の表題で、丑年六会目の繰金受取の旨を加筆/(端裏貼紙)「飯山無尽 別二一帳写有之候」 加判八田辰三郎・同断八田喜兵衛(印墨消)・預り主八田嘉右衛門→本多豊後守様御内吉松四郎左衛門殿・高田茂左衛門殿・浅山仁兵衛殿	文政10亥年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-7
①覚(入上粉396俵受取)、②覚(粉1650俵拝借) ①松代町傳兵衛和七代判→蓮村御役人中・静岡村御役人中、②八田嘉右衛門内笠井和七→高田茂左衛門様	①②文政11子年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-8

1.内方/6.飯山領/3.無尽

譲渡申家屋敷之事(代金75両) 譲渡シ主本町五人組頭三四郎(印)・親類吉右衛門(印)・組合長兵衛(印)・同伴六(印)・同弥兵衛(印)、(裏書)深堀長左衛門(印)・町年寄小山傳右衛門(印)→浅野村理左衛門殿・同九兵衛殿・同文左衛門殿	文政7申年申7月	竖継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-9
家屋鋪質入證文之事(金8両、3年季) 借用主本町吉十郎(印)・組合庄兵衛(印)・同宗純(印)・同定七(印)・同長吉(印)・同弥次兵衛(印)・同仁左衛門(印)→本又五郎様御取次大和屋三四郎殿	文化7年午5月	竖継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-10
差上申御請書之事(物成粉500俵拝借1年季) 拝借人山岸三四郎・加判人八田嘉右衛門内笠井和七→三橋新五右衛門様・吉松四郎左衛門様・高田茂左衛門様	文政7申年2月	竖紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-11
売渡申家屋鋪證文之事(代金60両) 売主肴町甚左衛門(印)・組合五人組頭孫助(印)・組合長治郎(印)・組合戸隠新田村代印同町権蔵甚三郎(印)・町内組頭孫左衛門(印)→山岸三四郎殿	文政6年癸未3月	竖紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-12
奉拝借證文之事(物成粉200俵代金にて返済) 拝借人本町(山岸)三四郎(印)・同断嘉兵衛(印)「信州飯山大和屋」・請人同町親類吉右衛門(印)・同断和兵衛(印)、(裏書)町庄屋名左衛門(印)→御取次常田善之助様・八田嘉右衛門御内笠井和七様	文政9戌年11月	竖継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-13
乍恐以口上書奉歎願候(大借のため困窮に付粉1000俵上納にて山岸三四郎の咎赦免) 八田嘉右衛門内笠井和七→三橋新五右衛門様・吉松四郎左衛門様・高田茂左衛門様	文政6未年12月	竖継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-14
預金一札之事(飯田藩頼母子講圖金500両受取、6年返済) 加判人八田辰三郎・同八田喜兵衛・預り主八田嘉右衛門→高田茂左衛門殿・浅山仁兵衛様・松原勝太夫殿	文政12丑年11月	竖紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-15
覚(無尽金返却受取分ほか印書預り証文) 八田嘉右衛門内笠井和七→高田茂左衛門様	文政11子年11月	竖紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-16
拝借金證文之事(家屋敷ほか引当にて7ヶ年賦借借金受取、返済滞りの節は無尽掛金をもって差継ぎ) * (端裏貼紙)「金式百五拾両大和屋三四郎・高井屋傳右衛門江借附證文 文政二年卯二月」 飯山大和屋拝借人三四郎(印)・同所高井屋傳右衛門(印)、(奥書)飯山五人組頭次郎吉(印)・同所同断長兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内笠井和七殿	文政2年卯3月	竖継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-17
①預金一札之事(飯山藩頼母子講二会目圖金500両受取10年返済)、②預金一札之事(飯山藩頼母子講金三會目圖金500両受取10年返済) ①真田伊豆守(幸貫)内加判人八田辰三郎・同八田喜兵衛・預主八田嘉右衛門→本多豊後守(助賢)様御内、②同断同断→同断→同断	①文政12丑年11月、②文政9戌年11月	竖紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-18
永代売渡申家屋敷之事(代金14両) 五人組平八(印)・同組弥兵衛(印)・同嘉右衛門(印)・同長兵衛(印)・同三四郎(印)・売主文左衛門(印)、(奥書)深堀長左衛門(印)・田中市郎右衛門(印)→本町三四郎殿	寛政2年庚戌4月	竖紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-19
預金一札之事(飯山藩頼母子講五会目圖金500両受取10年返済) 真田伊豆守(幸貫)内加判人八田辰三郎・同八田喜兵衛・預主八田嘉右衛門→本多豊後守(助賢)様御内	文政11子年11月	竖紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-20
一札之事(裏土蔵の間通り3尺分借用証文) 借用主富一郎代長兵衛(印)・五人組頭立合平八(印)→大和屋三四郎殿	寛政2庚戌年	竖紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3509-21

(飯山無尽一件綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/ (え3518-1～10は一綴)・1綴	え3518
(封筒) * (封筒上書)「文政十三寅三月廿日調置候 当座入用無之書類入」/(封筒裏墨消抹消)「文政七申御発起飯山様御無尽一卷右ニ拘候書類入」	文政13寅3月20日調置候	封筒/(え3509～3526は括紐一括)・1点	え3518-1
借用申金子之事(金30両時借証文、当月26日返済) * (端裏貼紙)「元金済切印書ニ候得共松井清八殿右三拾両印書指出置候間右印書被引替可申事入用印證粉乱□」大和屋(山岸)三四郎(印)・高井屋栄助(印)→八田嘉右衛門様御内和七殿	文化13子年11月18日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-2
日延書一札之事(粍子100俵手形上納延期に付来年正月粍子壳却代金上納約定) * (端裏貼紙)「御城米百俵大和屋三四郎へ借附代金上納ニ可相立之处当節懸り合居当不申候付此方ニ而上納正日延印書」大和屋(山岸)三四郎(印)・同断嘉兵衛(印)→笠井和七様	文政9戌年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-3
覚(当子物成舂1650俵拝借証文、来月20日限り上納) 八田嘉右衛門内笠井和七(印墨消)→高田茂左衛門様	文政11子年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-4
覚(無尽四会目出金調書) * (端裏書)「文政十亥年二月四会目出金調書」		堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-5
覚(飯山米屋権蔵殿より金50両借入証文未返済に付近日返済の旨約定書) * (端裏書)「芝津吉右衛門殿返進可致印書」飯山大和屋吉右衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文政8年酉8月24日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-6
御時借証文之事(金50両当10月中返済) 八田嘉右衛門内笠井和七(印墨消)→常田善之助殿	文政7申年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-7
拝借粍子一札之事(物成舂900俵拝借来年11月に手形で上納) * (端裏書)「文政十一子年十一月如斯受書差出し候」松代伊勢町拝借人和七(印墨消)・飯山受人吉右衛門(印墨消)・同受人三四郎(印墨消)→高田茂左衛門様	文政9戌年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-8
借用申金子之事(金20両時借、来る4月15日返納) * (端裏書)「文政二卯年正月廿五日 金貳拾兩 四月十五日ニ時借」大和屋三四郎(印)・高井屋伝右衛門(印)→笠井和七殿	文政2卯年3月20日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-9
借用金証文之事(大和屋三四郎発起頼母子会合取金を引当に金30両借用) 八田嘉右衛門内笠井和七・芝津村吉右衛門→出野伊左衛門殿・大助殿	文政12丑年6月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3518-10
(頼母子圖当金受取預金証文綴)		綴/(え3606-1～4は一綴)・1綴	え3606
覚(御寄合御発起頼母子当五番会圖当金1000両受取、来会より終辰年迄一会に金120両宛掛け戻し申すべく旨別紙証文) 藤田傳左衛門代印八田嘉右衛門(印墨消)、(奥書)松代八田嘉右衛門(印墨消)→飯山三橋新五右衛門殿	文化10酉年閏11月	堅紙・1通	え3606-1
覚(御寄合御発起頼母子当四番会圖当金1000両受取、来会より終辰年迄一会に金120両宛掛け戻し申すべく旨別紙証文) 江戸本郷喜福寺代印浄福寺[印墨消]・松代浄福寺[印墨消]、(奥書)松代八田嘉右衛門(印墨消)→飯山吉松四郎左衛門殿	文化9申年11月	堅紙・1通	え3606-2
覚(其御許様御発起御頼母鋪当亥圖当三ヶ寺分、正金250両預金証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→三橋新五右衛門殿	文化12亥年11月	堅紙・1通	え3606-3

1.内方/6.飯山領/3.無尽

御預金一札之事(去年御発起御頼母鋪当十会目蘭金515両受取預置、来卯年より辰年まで2ヶ年金60両宛懸け戻し申すべき旨一札) * (貼紙)「和七代判」 預主 八田嘉右衛門(印墨消)・請人八田喜兵衛(印墨消)→三橋新五右衛門殿・吉松四郎左衛門殿	文政元寅年11月	縦紙・1通	え3606-4
(柴津村斧右衛門無尽一件綴)		綴/(え3568-1~21は一綴)・1綴	え3568
芝津村斧右衛門無尽一卷戸隠山證文類其外書類		袋・1点	え3568-1
覚(金343両余受取に付) 三四郎(印)・傳兵衛(印)→笠井和七殿	文政2卯年3月	横切継紙・1通	え3568-2
覚(柴津村斧右衛門発会の無尽、文化10年より13年迄4ヶ年の内と承知なされたきに付)	閏9月11日	横切紙・1通	え3568-3
覚(先年柴津村幾之助殿へ為替の件、各受人引き受けの証文など差し戻すべき処、幾之助一件にて差し戻し兼ねるに付) 八田嘉右衛門内笠井和七(印)→大和屋三四郎殿・高井屋傳右衛門殿	文政元寅年12月	横切継紙・1通	え3568-4
飯山御出張付(飯山芝津無尽金書上)		横切継紙・1通	え3568-5
覚(文化9年から13年の証文の種類メ9通書上)		横切継紙・1通	え3568-6
覚(浄福寺無尽に関し善法院主小川氏出張にて示談に及び、追って証文并金子取替致すべく申し聞くに付) * (端裏書)「文政十二丑年九月廿六日善光寺於良性院差引相済」	8月29日	横切継紙・1通	え3568-7
差(無尽金115両銀12匁差引金7両1分2朱銀10匁7分請取に付) 大和屋三四郎(印)・高井屋傳右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七殿	文政3辰年6月	横切継紙・1通	え3568-8
御日延一札之事(当11月中金100両借用、元利期月当月のところ来酉の3月まで日延、来酉3月中月掛り割合を以て元利上納仕るに付) 飯山高井屋借り主栄助(印)・同所大和屋請人三四郎(印)→八田嘉右衛門様	文化9申年12月	縦紙・1通	え3568-9
添證文之事(無尽帳面取り決めの通り年々相違無く寄せ合うに付、引当として戸隠山徳善院二番会御取入金) 柴津村無尽発記清水斧右衛門(印)・同村請人幾之助、(奥書)飯山高井屋栄助印・同所大和屋三四郎(印)→松代八田嘉右衛門様	文化9申年10月	縦継紙・1通	え3568-10
乍恐以口上書奉申上候(芝津村斧右衛門へ金550両貸し付けの件、引当書取入金に分渡しくれ候様に付) 和七	丑10月	縦継紙・1通	え3568-11
覚(金70両内借、返済は来10月中月掛1割2分を以て返納するに付) 松代浄福寺[印]→三橋新五右衛門殿・吉松四郎左衛門殿	文化10酉年4月	縦紙・1通	え3568-12
覚(三橋新五右衛門様へご返金として金72両銀3匁7分8厘請取、来6月4日迄に御印書請取差し出すに付) 柴津村清水斧右衛門(印)→浄福寺様	文化10年酉5月28日	堅切紙・1通	え3568-13
御借用金證文之事(扨所なき要用に付金350両内借、返済は来10月中、引当は私貸付金500両証文1通差し出し置くに付) 柴津村御借主清水斧右衛門(印)・飯山本町請人大和屋三四郎(印)・同断高井屋栄助(印)、(奥書)浄福寺→松代八田嘉右衛門様	文化10酉年4月	縦紙・1通	え3568-14
覚(私共兩人去酉年金600両借用、内150両の元利は去暮れまで、450両の元利は当4月中ご返済仕るべきの処、150両の元利は当11月中迄、450両の分は当暮れより利足を返済、元金は善光寺無尽にて返済するよ	文化11年戌7月	縦紙・1通	え3568-15

う返済日延に付) 飯山本町高井屋拝借人栄助(印)・右同断大和屋右同断三四郎(印)→八田嘉右衛門様			
借用金證文之事(抛ん所なき要用に付金500兩請取、返済は10月中旬、引当は私所持鏡屋町家屋敷差し出すに付) 松代伊勢町御借主傳兵衛(印墨消)・組合受人六右衛門(印墨消)、(奥書)名主左兵衛(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→飯山町井清八殿・戸隠山徳善院主・善法院主・小川録兵衛殿	文化12亥年10月	縦継紙・1通	え3568-16
覚(柴津村幾之助頼母敷金500兩の内寄金として金460兩預かりに付) 松代八田嘉右衛門内和七(印墨消)→戸隠山徳善院様・善法院様・小川録兵衛様	文化13子年11月	縦紙・1通	え3568-17
御規定書一札之事(先年柴津村幾之助兄斧右衛門出奔に付御元様より御借用を私共引受、来16日までに差し出すに付) * (端裏貼紙)「文政元寅十一月廿九日芝津借付金内済口ニ付大和屋三四郎高井屋傳右衛門兩人より十六日迄式百五拾兩十二月十六日迄持参致候管規定書」大和屋三四郎(印)・高井屋傳右衛門(印)→八田嘉右衛門様・笠井和七殿	文政元寅年12月	縦継紙・1通	え3568-18
差上申済口一札(柴津村斧右衛門拝借金滞納一件の義、和合院立ち入り金250兩返上し斧右衛門拝借金は皆済、書類残らず返し請取に付) * (端裏貼紙)「芝津村斧右衛門跡幾之助借附金済口一札文政二卯年三月」大和屋三四郎(印)・高井屋傳右衛門(印)→八田嘉右衛門様	文政2卯年3月	縦紙・1通	え3568-19
覚(金82兩請取に付) * 本文墨消 八田嘉助(印墨消)・八田辰三郎(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→山崎久右衛門殿・大塚孝三郎殿	天保7申年12月	堅切紙・1通	え3568-20
和談内済規定一札(金250兩差し出すべきところ調達し兼ね来16日まで日延べし、返済の節は斧右衛門幾之助関連書類其の方へ差し戻すに付) * (端裏書)「下案」八田嘉右衛門代判笠井和七→大和屋三四郎殿・高井屋傳右衛門殿	文政元寅年12月	縦継紙・1通	え3568-21

1.7. 上田領

地所改證文之事(駒之助所持の字長畑3斗蒔田御高800文及び当村値段金150兩の地所差出に付) 松平伊賀守領分塩田組主塚村庄屋曲尾市之丞(印)・組頭庄左衛門(印)他1名→松代伊勢町傳兵衛殿	文化12年亥11月	堅切紙・1通	え3530
地所改添證文之事(倉澤愛之助所持の字三王田3斗蒔田御高800文及び当村値段金150兩の地所差出に付) 松平伊賀守領分塩田組別所村庄屋兵右衛門(印)・同村組頭忠蔵(印)他3名→松代伊勢町傳兵衛殿	文化12年亥霜月	堅切紙・1通	え3531
地所改添證文之事(甲田清右衛門所持の字池下3斗蒔田御高800文及び当村値段金150兩の地所差出に付) 松平伊賀守領分塩田組五加村庄屋甲田清右衛門(印)・同村組頭源兵衛(印)他3名→松代伊勢町傳兵衛殿	文化12年亥霜月	堅切紙・1通	え3532

1.8. 岩村田領

1.8.1. 勝手御用

(岩村田藩より扶持方下賜の謝礼書) * 写 (内藤)正縄(花押)→八田嘉右衛門殿	文政5午年12月	縦紙・1通	え3839
(岩村田藩より扶持方下賜の謝礼書) * (端裏書)「は印」	文政5午年12月	縦紙・1通	え3840

(内藤)正縄(花押)→八田嘉右衛門殿			
--------------------	--	--	--

1.8.2. 仕送金

(受取関係一括)		巻込一括/(え3600-1~2は巻込一括)・1点	え3600
覚(金2500両の証書は来春預かり一札と引替の旨通知書) 八田嘉右衛門→小泉源三郎殿・工藤左一兵衛殿	文化12年亥12月26日	横切紙・1通	え3600-1
(後閑藤右衛門より仕送金返済関係一綴)		綴/(え3600-2-1~4は一綴)・1綴	え3600-2
覚(仕送金の内300両ご返済受取書) 松代町傳兵衛(印墨消)→後閑藤右衛門様	文化11年11月5日	横切紙・1通	え3600-2-1
覚(金400両受取書、追て差引仕るべき旨) 松代町傳兵衛(印墨消)→後閑藤右衛門様・後閑元吾様・藤田百助様	文化11戌年12月朔日	横切紙・1通	え3600-2-2
覚(金6□(虫損)5両余り受取書証文預け置く旨) 松代町傳兵衛(印墨消)→後閑藤右衛門様・後閑元吾様・藤田百助様	文化11戌年12月30日	横切紙・1通	え3600-2-3
覚(御仕送金の内300両受取書) 松代町傳兵衛代印栄次郎(印墨消)→後閑元吾様	文化11戌年12月21日	横切紙・1通	え3600-2-4

1.8.3. 小作

田地下作證文之事(中下田5反1畝3分) * (端裏書)「佐久郡岩村田町利七より引請地所小作證文写」 信濃国佐久郡岩村田町小作人[] (破損)・同町請人元右衛門、(奥書)右町名主佐五右衛門→同国埴科郡松代町傳兵衛殿	天保3辰年3月	縦継紙/(え3509~3526は括紐一括)/(え3515-1~2は一綴)/(一部欠損)・1通	え3515-2
---	---------	--	---------

1.8.4. 貸付金

(松代伊勢町傳兵衛宛金子借用証文綴)		綴/(え3536-1~4は一綴)・1綴	え3536
借用申金子之事(金50両返済期限文政2年12月) 金子借用主池田源助(印)・後閑彦三(印)→松城町(八田)傳兵衛殿	文政元寅年12月	堅紙・1通	え3536-1
借用申金子之事(金10両書入地畑5畝、返済期限文化13年6月) 小県郡中丸子村借主長福寺(印)・請人直末国昌寺(印)・同上丸子村佐一兵衛(印)→松城町(八田)傳兵衛殿	文化12亥年4月	堅紙・1通	え3536-2
借用金證文之事(金20両書入地金高相当の地所、返済期限文化13年4月) 佐久郡上塚原村金子借用主寛蔵(印)・小県郡手塚村證人駒之助(印)→松城町(八田)傳兵衛殿	文化12亥年4月	堅紙・1通	え3536-3
借用金證文之事(金62両返済期限文政3年5月) * (端裏貼紙)「文政二卯年四月金六拾貳兩後閑彦三殿割、右者及亡家候得共受人も有之候儀付懸合方可遣之哉」 請人上丸子村工藤佐一兵衛・請人野沢村並木晋右衛門(印)・請人岩村田町篠澤佐五右衛門(印)・借用主岩村田家中後閑彦三(印)→松城町(八田)傳兵衛殿	文政2卯年4月	堅継紙・1通	え3536-4
添書一札之事(このたび領主勝手向要用に付金300両借用、来たる11月限り8分の割合にて返済、引当は所持田地御高55石余徳粉126俵に付) 佐久郡岩村田町法華堂・同所受人晋平・同郡野沢村受人晋右衛門→松代町	文政8酉年8月	堅紙・1通	え3611

(八田)傳兵衛殿			
覚(金105両を1両に付1ヶ月銀5分掛りの利足を以て請取預り置くに付) * (端裏書)「文政三辰年六月六日法花堂預り金付指出候印書扣」 松代家中八田嘉右衛門→法華堂御房	文政3辰年6月	縦紙・1通	え3844
覚(岩村田町・野沢村金67両来る卯年2月中借地引渡の上の残金請取ほか対談の通り請取に付) * (端裏書)「請取之下書 岩村田町式人外六ヶ村より金子請取之扣寅年十二月」 松代町傳兵衛代平兵衛(印)・(増田)徳左衛門(印)→御立入依田弥五右衛門殿・池田弥助殿	文政13寅年12月	縦継紙・1通	え3885
(金子延証文等書類一括)		綴/(え3903-1~6は一綴)・1綴	え3903
(包紙) * (包紙上書)「平塚村忠右衛門より受取書仮議定在中 二月十八日」		袋・1点	え3903-1
仮議定之事(佐久郡上塚原村政十郎借用年賦金滞り分この度金10両差し出し皆済の積もりに付) 佐久郡平塚村惣代名主忠右衛門(印)・證人源助(印)→松代町沖八殿・栄助殿		縦紙・1通	え3903-2
差出申金子延証文之事(去る巳年源助借用金仕り返済出来兼来る3月まで御猶予を願ひ上げ御承知に付) 池田新田源太郎(印)・口入人赤岩利八郎(印)→松代町傳兵衛殿	天保10亥12月	縦紙・1通	え3903-3
(金森与左衛門御掛りになるに付内伺いなどは此方にて致す旨書上)		切紙・1通	え3903-4
(金森与左衛門・河野五郎右衛門・山室弥兵衛・服部源左衛門、氏名書上)		切紙・1通	え3903-5
(書状、明日中に下調べが出来、明後朝利八に頼み一同此の方へ参られるようにとの旨百人殿申し付けられるに付) * (端裏書)「南八丁堀二丁目家主忠蔵店野村や半兵衛方ニ而」 松代留守居方役所→沖八殿・栄八殿	2月25日	横切紙・1通	え3903-6

1.9. 田野口領

(田野口村質地金に付奉行所へ出訴の件一括)		綴/(え3535-1~3は一綴)・1綴	え3535
内済金証文之事(七左衛門・新八の質地金並びに又右衛門・瀬左衛門作徳入上初代金滞一件に付未済分100両を子年より酉年まで10両ずつ年賦にて返済すべきとの奉行所の指示に付) 佐久郡三塚村七左衛門・新八・同郡田野口村又右衛門・瀬左衛門・右四人代兼三分村大次郎・三分村引合人茂左衛門、(奥書)中山道追分宿問屋市左衛門→中山道追分宿問屋市左衛門殿、(奥書)松代御城下町傳兵衛殿	天保10亥年8月29日	縦継紙・1通	え3535-1
為取替済口規定書之事(七左衛門・新八所持の質地差入の処初代金滞に付質地代金並びに小作初代金未済分100両を10両ずつ年賦にて返済すべきとの奉行所の指令) 佐久郡三塚村七左衛門・新八他8名 →(奥書)追分宿書目御改所御詰合中野真右衛門様	天保10亥年9月5日	縦継紙・1通	え3535-2
乍恐以口上書奉申上候(文政2年より質地金286両10か年季並びに作徳初代金1か年20両20文5か年季にて約定の件、当5日追分宿で手段金請取証文差戻し栄八・勝之助立合にて別添証文の通り約定に付札) * (端裏書)「田野口一件済方申上候案」 伊勢町傳兵衛→御奉行所	天保10亥年9月	縦継紙/(え3535-1~3は一綴)・1通	え3535-3

1.10. 埴科郡下戸倉村(幕領)

(下戸倉村要右衛門金子出入一件綴)	文化12年	綴/(え4007-1~8 は一綴)・1綴	え4007
(袋) * (袋上書)文化12年5月26日御勘定所岡田庄助殿、下戸倉村要右衛門代恒太郎・矢代村武田新右衛門・役代傳兵衛相手取、金子出入に付詳細書上	(文化12亥年5月26日)	包紙・1点	え4007-1
(書状、口上書末の方鹿野外守の支持通り直しの件相談のこと) (関田)庄助→(八田)嘉右衛門様	6月13日	横切紙・1通	え4007-2
(書状、鹿野外守等の認可に付紙面の趣にて取り極めのこと) (関田)庄助→(八田)嘉右衛門様	6月13日	横切紙・1通	え4007-3
(書状、昨日の内済証文に名主の名必要の旨下戸倉村名主代へ連絡願) 清平→(八田)嘉右衛門様	13日	横切紙・1通	え4007-4
覚(文化3年質代金500両の内200両を内済金として受取の経緯書) 下戸倉村要右衛門→矢代村武田新右衛門殿	文化6午(マ)年極月20日	横切紙・1通	え4007-5
(書状、下戸倉村要右衛門金子出入内済に付) * 奥書あり		横切紙・1通	え4007-6
(書状、引当物不足の由に付) (関田)庄助→(八田)嘉右衛門様要用御直談可被下候	5月28日	横切継紙・1通	え4007-7
口上覚(下戸倉村要右衛門質地代金出入内済に付新右衛門へ頼みの沙汰なきよう願) * 文面修正案の貼紙付 八田嘉右衛門→鹿野外守殿	6月	横切継紙/(貼紙)・1通	え4007-8
奉差上済口證文之事(埴科郡下戸倉村要右衛門代恒太郎質地代金他の出入) * (包紙上書)「内済為取替證文 八田嘉右衛門持地役代扱人傳兵衛」/(包紙付札)「扱人方」 男谷彦四郎支配所埴科郡下戸倉村要右衛門煩ニ付代訴詔方恒太郎(印)・御領分同郡矢代村相手武田新右衛門(印)・同人役代相手傳兵衛、(奥書1)下戸倉村名主代要吉(印)・矢代村名主宗作(印)・八田嘉右衛門持地役代扱人傳兵衛、(奥書2)男谷彦四郎支配所埴科郡下戸倉村要右衛門煩ニ付代訴詔方恒太郎(印)・御領分同郡矢代村相手武田新右衛門(印)・同郡同人役代相手傳兵衛(印)・八田嘉右衛門持地役代扱人傳兵衛(印)→松代御役所	文化12年亥6月	堅継紙・1通	え4006

1.11. 小県郡根津(旗本知行所)

(祢津貸付金関係綴)		綴/(え3566-1~12は一綴)・1綴	え3566
(袋) * (端裏書)祢津表借附金200両利潤、祢津発起頼母敷掛出金指引書並びに頼母敷逐金調達兼にて預け置の岩村田借附金2000両證写、先方より帰り證文の旨 八田[](墨消)	文政9戌12月	袋・1点	え3566-1
(岩村田掛戻金調達致し兼ねるに付金86両1分祢津表御渡金の内より差し引かれたき様ほか金銭書上)		横切継紙・1通	え3566-2
(金86両1分元利ノ138両ほか元利惣ノ588両1匁9分5厘ほか金銭書上)		横切継紙・1通	え3566-3
(書状、文政9年正月28日根津表へ罷り越し落合氏へ貸金の儀につき内談、両金20両は請け取り、残金20両は4月に請け取られるよう願うに付)	2月	横切継紙・1通	え3566-4
(書状、根津落合氏差引証文などに付)	文政6(年)未4月	横切継紙・1通	え3566-5

(金128両ほか無尽金書上)		横切継紙・1通	え3566-6
金子預一札(金48両持参に付預) *裏に岩田村送り証文あり 皆神山和合院印・祢つ村周平印、(奥書)八田嘉右衛門印	文政4年巳7月	縦継紙・1通	え3566-7
一札之事(当巳の掛金36両不繰合に付5月下旬に出金致すに付) * (端裏書)「右之趣周平請書相渡候処旧冬御懸戻も無之候儀何連此度者御口上二而茂不苦旨申間候間但其意二而遣不申候」 八田嘉右衛門(印墨消)→落合彈藏殿	文政4年巳3月	縦紙・1通	え3566-8
借入金一札之事(金250両請取、返済は年中1割2分の割合を以て来辰11月15日まで、引当は私所持の地所) 祢津村借用主星合億右衛門・同断矢嶋周平(印)・同所請人丸山源五右衛門(印)・片倉村請人依田弥右衛門(印)、(奥書)落合彈藏(印)→真田彈正太弼様御内八田嘉右衛門殿	文政2己卯年12月	縦継紙・1通	え3566-9
借用申金子之事(金300両請取、当子の10月より来未の10月まで8ヶ年の間年中1割2分の利息、引当は拙者田地別紙証文) 八田辰三郎請合(印)・松代町借用主傳兵衛、(奥書)引受加判人落合彈藏(印)・同断要右衛門(印)・同断億右衛門(印)→田中武右衛門殿	文化13年丙子4月8日	縦継紙・1通	え3566-10
借用申金子之事(金300両請取、当辰の10月より未の10月まで4ヶ年の間1割2分の利息、引当は中町所持罷在候家屋敷) * (端裏書)「文政三辰四月金三百兩頼母敷落合彈藏殿発起取入二付此方より預證文差出候下案」/え3566-12の下案カ/貼紙あり 八田嘉右衛門抱屋敷役代傳兵衛印、(奥書)八田嘉右衛門→落合彈藏様御内星合億右衛門殿・矢嶋周平殿・土屋清太殿	文政3年辰4月	縦継紙・1通	え3566-11
借用申金子之事(金300両請取、当辰の10月より未の10月まで4ヶ年の間1割2分の利息、引当は中町所持罷在候家屋敷差配し返済致すに付) 八田嘉右衛門抱屋鋪役代傳兵衛(印)、(奥書)八田嘉右衛門(印)→落合彈藏様御内星合億右衛門殿・矢嶋周平殿・土屋清太殿	文政3年庚辰4月	縦継紙・1通	え3566-12
差上申一札之事(作徳米未払い一件内済に付) 御名領分松代町惣八郎煩二付平兵衛・祢津惣町周兵衛・同所内済人庫之進・同断名主與兵衛・(奥付)伊勢町名主惣八郎→祢津御役所・(奥付)御奉行所	天保4巳年10月	縦紙/(虫損)・1通	え3829

1.12. 赤倉温泉

乍恐以口上書奉願候(一本木温泉開発金主返済差滞りに付名面ものへ返済督促の旨) * 控 松代町埴科郡(松井)和七、(奥書1)伊勢町和七、(奥書2)松城町和七印→御奉行所	天保11子年8月	半/(虫損甚大)・1冊	え3602
---	----------	-------------	-------

1.13. 金銭・穀物請払

1.13.1. 穀物・諸品請払

(受取関係綴)		綴/(え3993-1～23は一綴)・1綴	え3993
(袋) * (袋上書)「諸方調物賣上印書」		袋・1点	え3993-1
覚(刀鯨1本代金1両1分受取書) いせ町吉左衛門(印)→きくや傳兵衛様	卯11月14日	横切紙・1通	え3993-2
覚(飯米300俵代91両1分3匁2分5厘受取書) 堀内五十治(印)→八田嘉右衛門殿	戌11月晦日	横切紙・1通	え3993-3

1.内方/13.金銭・穀物請払/1.穀物・諸品請払

覚(栄川公絹地山水堅物代金2分受取書) 吉田村ほてい や治郎右衛門→證蓮寺様御家来中	辰ノ7月10日	縦切紙・1通	え3993-4
覚(金獅子目貫1具ほか代金2両受取書) 伊勢町吉左衛 門(印)→きくや傳兵衛様	卯8月12日	横切紙・1通	え3993-5
覚(寅12月中御内借金10両差引金2両受取書) いせ町 吉左衛門→菊屋傳兵衛様	卯8月3日	横切継紙・1通	え3993-6
覚(本堂再建に付金200疋受取書) 真勝寺[印「真勝寺」] →八田孫左衛門殿	酉7月	横切紙・1通	え3993-7
覚(刀1腰代金3両受取書) 善光寺和田屋平蔵(印)→八田 御茶間金七様	5月11日	横切紙・1通	え3993-8
覚(大小切羽合掛け6匁他ノ金2朱と11匁受取に付) 香 具師多喜治(印)→八田嘉右衛門様御取次衆中様	午8月12日	横切継紙・1通	え3993-9
覚(細工代金1分受取書) 香具師多喜治(印)→八田嘉右 衛門様御取次中様	午8月12日	横切紙・1通	え3993-10
覚(刀1腰ほか代金1貫500文受取書) 外田町清右衛門 (印)→八田嘉右衛門様御内金七様	巳11月12日	横切紙・1通	え3993-11
(切紙)「金象眼鏝二枚忠正拵付一腰売上 伊勢町吉左 衛門」		小切紙・1通	え3993-12
覚(上田横町八木屋廉蔵方より調え差し上げる忠正拵 付さめ鞆腰差1本他ノ代金2両2分受取に付) 富多屋 吉左衛門(印)→きくや傳兵衛様	卯4月29日	横切紙・1通	え3993-13
①覚(山崎一賀の縁頭1つ代金2分2朱受取書)、②覚(忠 行拵付腰差1つ他代金1両2分受取書) ①②いせ町吉 左衛門(印)→きくや傳兵衛殿	①②未7月20日	横切継紙・1通	え3993-14
覚(伊賀守金道脇差1腰代金4両受取書) 持主坂原兵左 衛門・代印坂原兵助(印)→八田嘉右衛門殿	寛政11未年正月	横切紙・1通	え3993-15
覚(刀1腰金1両2分売上代金受取書) 松屋市郎右衛門 (印)→八田御茶間金七様	巳12月10日	横切紙・1通	え3993-16
覚(茶柄金拵腰差1つ代金3両1分受取書) 富多屋吉左衛 門(印)→御取次きくや卯兵衛殿	午3月朔日	横切継紙・1通	え3993-17
覚(山越二郎右衛門様年賦金1両7匁5分受取書) 紋右 衛門		小切紙・1通	え3993-18
覚(小柄1本代銀13匁受取書) 鍛冶町喜兵衛(印)→菊屋 伊七様	申11月	横切紙・1通	え3993-19
覚(金1両2分12匁受取書) * (端裏貼紙)「金壹両式分銀十 式匁山越御氏より切手」 山越市之丞(印)→長岡銀右衛門 殿	寛政9年巳11月13日	横切紙・1通	え3993-20
覚(刀1腰代金2両3分受取に付) 松屋市郎右衛門(印)→ 八田御茶間金七様	巳12月21日	横切継紙・1通	え3993-21
覚(上田横町八木屋廉蔵方より差し上げる赤銅縁頭代 金3分受取書) 富多屋吉左衛門(印)→御取次卯兵衛殿	巳12月3日	横切紙・1通	え3993-22
覚(栗1本他代金2分10匁他2口ノ金3分10匁受取書) 表 柴町利三郎(印)→八田孫左衛門様	巳5月	横切紙・1通	え3993-23
(伊勢町分受取関係綴)		綴/(え3856-1~ 23は一綴)・1綴	え3856
覚(硯石5面ノ2朱550文請取に付) * (端裏書)「伊勢町分」 大和屋長兵衛(印)	辰4月5日	横切紙・1通	え3856-1
覚(御誂え火世釣2つ1両1分110文請取に付) * (端裏	4月8日	横切紙・1通	え3856-2

書)「いせ町分売上」 名古や久次郎(印)→八田競様			
覚(19匁2分請取に付) * (端裏書)「伊勢町分売上」 泉屋平右衛門・五郎右衛門(印)	5月3日	横切紙・1通	え3856-3
覚(女今川100文ほか請取に付) * (端裏書)「伊勢町分」佐野や喜兵衛[印]	6月6日	横切紙・1通	え3856-4
覚(608文請取に付) * (端裏書)「伊勢町分売上」 朽木屋宗助(印)	6月29日	横切紙・1通	え3856-5
(蒔包1匁他ノ579文請取に付) * (端裏書)「伊勢町分」→八田競様		横切紙・1通	え3856-6
覚(御柄原七分代5匁1分555文相済むに付) * (端裏書)「伊勢町分」 大黒や忠兵衛	7月8日	横切紙・1通	え3856-7
覚(八田嘉右衛門様御頼みの品代金4兩3分預に付) * (端裏書)「伊勢町分渡辺印欠」 渡辺紀六(印)→八田競様御役人中	文化5辰年7月12日	横切紙・1通	え3856-8
覚(上松形7匁他ノ33匁9分請取に付) * (端裏書)「伊勢町分」 婦しミや九右衛門(印)「將監橋瀬戸物屋」→八田競様	辰9月8日	横切紙・1通	え3856-9
覚(大津川1升300文請取に付) * (端裏書)「伊勢町分」 丁字屋文蔵(印)→上	10月14日	横切紙・1通	え3856-10
覚(御控箱金1分請取に付) * (端裏書)「伊勢町分」 中村屋や治助[印]→八田様	10月14日	縦継紙・1通	え3856-11
覚(御長刀1振ほか金2兩請取に付) * (端裏書)「伊勢町分」 伊勢屋新兵衛[印]→八田競様御内御取次衆中	辰10月18日	横切紙・1通	え3856-12
覚(ノ3匁4分5厘請取に付) * (端裏書)「伊勢町分」 大つち屋代友七	11月3日	横切紙・1通	え3856-13
覚(硯石1面他550文請取に付) * (端裏書)「いせ町分」 大和屋長兵衛(印)	辰12月9日	横切紙・1通	え3856-14
(貝のえ他金1分余済むに付) * (端裏書)「伊勢町分」 大和屋忠兵衛(印)	12月17日	横切紙・1通	え3856-15
覚(御大中御柄束毛9匁他2匁ノ64匁5分に付) * (端裏書)「伊勢町分」 紀伊国屋勘右衛門→八田様御取次衆中様	辰12月	横切紙・1通	え3856-16
覚(御女中乗物1挺代金3兩1分受取書、一分引の旨奥書) * (端裏書)「巳正月乗物仕立請書」/え3856-18と関連乗物や新右衛門→御役人様	巳正月	縦継紙・1通	え3856-17
覚(御女中乗物1挺3兩1分受取書) * え3856-17と関連乗物屋新右衛門(印)→八田様御内御役人様	巳2月	縦紙・1通	え3856-18
覚(乗物1挺代金3分受取書) * (端裏書)「伊勢町分」 藤太組平兵衛(印)→八田競様御内	2月24日	横切紙・1通	え3856-19
覚(水入等ノ4匁6分受取書) * (端裏書)「いせ町分」/下藝札付 なこや久次郎(印)	2月26日	横切紙・1通	え3856-20
覚(御女中様分組1つ100文受取書) * (端裏書)「伊勢町分」 近江や作兵衛(印)→八田競様	2月20日	横切紙・1通	え3856-21
覚(御乗物上巻6つ金1兩他ノ金1分5匁請取に付) * (端裏書)「いせ町分」 山田屋安兵衛(印)→八田様	2月25日	横切紙・1通	え3856-22
覚(朱塗り丸山台1つ17匁6分他ノ306匁8分代銀受取書) * (端裏書)「いせ町分」 伊勢屋新兵衛(印)→八田様御内御役人衆中様	3月2日	縦継紙・1通	え3856-23

1.内方/13.金銭・穀物請払/1.穀物・諸品請払

(領収書関係綴)		綴/(え4023-1～115は一綴)・1綴	え4023
(袋) * (袋上書)「切手證券印書入」	紀元2533年7月	袋・1点	え4023-1
記(金2円50銭水井収之助への御取替金亥年利足受取に付) 堀内莊治(印)→八田知道殿	明治9年子8月22日	小切紙・1通	え4023-2
覚(金10両内借金利足受取仮証文) 水井忠治(印)→八田慎蔵殿	文久2戌年2月8日	横切紙・1通	え4023-3
覚(金100両御取替金受取証文) 水井忠治(印)→八田慎蔵殿	文久2戌年正月12日	小切紙・1通	え4023-4
覚(金20両水井収之助殿用立金寅年利分受取書) 宮下文左衛門→角御店	卯7月13日	横切紙・1通	え4023-5
覚(金200両受取書) 水井忠蔵(印)→八田慎蔵殿	申9月27日	横切紙・1通	え4023-6
記(金5円52銭明治9年利分受取書) 片桐虎治(朱印)→八田知道様	明治11年1月31日	小切紙・1通	え4023-7
證(金2円50銭水井殿より中澤氏の年賦金明治11年割合受取書) 中澤弥一代判堀内莊作(印)→八田知道殿	(明治)12年2月24日	小切紙・1通	え4023-8
覚(金200両冥加御取立の内受取書) 富岡良右衛門(印)→八田慎蔵殿	(近世)巳12月3日	横切紙・1通	え4023-9
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(近世)酉11月24日	小切紙・1通	え4023-10
証(金3円水井氏より中澤氏への年賦金明治13年割合分受取仮証文) 堀内莊作(印)→八田知道殿	明治14年4月12日	小切紙・1通	え4023-11
(書状、受取証本証は中澤氏より差し上げ申すべきに付) (堀内)莊作→(八田)知道様	4月12日	横切紙・1通	え4023-12
年賦御返済金請取通 中沢弥一母代判堀内莊治(印)→水井収之助殿	明治10年	横半半・1冊	え4023-13
(書状、金子近日返済願) (徳田)五百人→(八田)嘉助様	6月23日	横切紙・1通	え4023-14
覚(この度詰番に付当暮まで金10両借用証文) 徳田五百人(印)→八田嘉助殿	天保14卯年2月	横切紙・1通	え4023-15
覚(この度詰番出府に付当暮まで金10両借用証文) 徳田五百人(印)→八田嘉助殿	天保12丑年2月	横切紙・1通	え4023-16
覚(金6両3分借用証文) 徳田五百人(印)→八田嘉助殿	天保5午年7月	横切紙・1通	え4023-17
(書状、10円慥かに落手に付) 格三→いせまち八田様	(近代)11日	小切紙・1通	え4023-18
(書状、本年分年賦金10円御廻し願) (水野)乳→八田(知道)様御報	(明治12年)12月31日	横切紙・1通	え4023-19
年賦金請取証(金10円明治12年分年賦割) 水野乳(印)→八田知道殿	明治12年12月31日	小切紙・1通	え4023-20
記(金1円50銭返済猶予歎願に付案文)	(明治)	小切紙/(青色野紙)・1通	え4023-21
記(「金1円50銭味曾之節繰上」等金銭書上)	(明治)	小切紙/(青色野紙)・1通	え4023-22
記(金5円52銭明治11年度利分受取書) 片桐虎治(朱印)→八田知道様	(明治)13年1月29日	小切紙・1通	え4023-23
覚(金2分漬物料受取書) 八田本之進(印)	(明治)酉10月15日	小切紙・1通	え4023-24
覚(白米1斗7升6合6勺受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)酉9月5日	小切紙・1通	え4023-25
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)11月19日	小切紙・1通	え4023-26

領収之證(金5円酒造税に付) 長野県[印「長野県」]→埴科郡松代住士族八田知道	明治6年10月27日	札/(木版印刷用紙)・1点	え 4023-27
領収之證(金75銭醤油税に付) 長野県[印「長野県」]→埴科郡松代住士族八田知道	明治6年10月28日	札/(木版印刷用紙)・1点	え 4023-28
(書状、金5円落掌に付) 俊哲→(八田)知道様	(近代)即時	横切紙・1通	え 4023-29
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)戊12月19日	小紙・1通	え 4023-30
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)戊3月24日	小紙・1通	え 4023-31
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)子11月8日	小紙・1通	え 4023-32
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)子10月9日	小紙・1通	え 4023-33
覚(大豆・糶・塩代金3両受取書) 八田本之進(印)	(明治)酉3月31日	小切紙・1通	え 4023-34
覚(盆雑用代金1両受取書) 八田本之進(印)	(明治)酉8月13日	小切紙・1通	え 4023-35
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)酉3月29日	小切紙・1通	え 4023-36
記(金170両受取書) 坂本亀之助(印)	(明治)酉5月19日	小切紙・1通	え 4023-37
(先日借用の2分金切手延引のお詫びに付用状) * (端裏書)「御内答申上」 (八田)本之進	(明治)3月7日	横切紙・1通	え 4023-38
覚(金2分受取書) 八田本之進(印)	(明治)酉3月1日	小紙・1通	え 4023-39
覚(雑用金4両受取書) 八田本之進(印)	(明治)酉1月29日	小切紙・1通	え 4023-40
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)酉4月18日	小切紙/(え4023-40と43の間に挟み込み)・1通	え 4023-41
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)酉1月28日	小切紙/(え4023-40と43の間に挟み込み)・1通	え 4023-42
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)戌1月23日	横切紙・1通	え 4023-43
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)子8月10日	小紙・1通	え 4023-44
(書状、水井様戌利分2円50銭落手に付) (堀内)莊治→(八田)知道様	(明治)8月30日	小切紙・1通	え 4023-45
記(金10円受取書) 水埜清右衛門(朱印)→八田慎蔵殿	(明治)12月30日	小切紙・1通	え 4023-46
「金八拾五円七拾三銭貳厘」(八田知道受取書)	(明治)	小紙・1通	え 4023-47
證(金66円40銭9厘酒造税受取) 長野県租税課[印「長野県勸業掛」]→埴科郡松代町八田知道納	明治8年9月3日	小紙/(木版印刷用紙)・1通	え 4023-48
證(金1円17銭6厘醤油税受取) 長野県租税課[印「長野県勸業掛」]→埴科郡松代町八田知道納	明治8年9月3日	小紙/(木版印刷用紙)・1通	え 4023-49
記(水井収之助取替金戌年利足金2円50銭受取書) 堀内莊治(印)→八田知道殿	(明治)8年8月30日	小切紙・1通	え 4023-50
記(書籍代金3分代受取書) は田や萬吉→上	(明治)12月31日	小切紙・1通	え 4023-51
請取證(酒造税の内金40円) 長野県租税課[印「長野県」]→松代馬喰町住士族八田知道納	明治7年4月29日	小切紙/(木版印刷用紙)・1通	え 4023-52
記(金75銭漬物代として受取書) 八田本之進(印)	(明治)11月8日	小切紙・1通	え 4023-53
記(金100両返金受取書) 坂本亀之助→八田角店御使	(明治)酉5月10日	切紙・1通	え 4023-54
(書状、水井公御懸金1両受取りに付) 寺町隠宅→イセ町様	(明治)19日	横切紙・1通	え 4023-55

1.内方/13.金銭・穀物請払/1.穀物・諸品請払

記(金1兩町分地所譲渡しのため金1兩受取書) 酒井栄吉(印)→八田知道殿	明治6年5月	横切紙・1通	え 4023-56
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)西2月17日	小紙・1通	え 4023-57
證(新聞雑誌代金1円12銭5厘受取書) 東京両国薬研堀町日新堂[朱印「日新堂会社印」]→真田邸出納所様	(明治)6月23日	小紙/(印刷用紙)・1通	え 4023-58
證(新聞雑誌代金1円12銭5厘受取書) 東京両国薬研堀町日新堂[朱印「日新堂会社印」]→真田邸出納所御中	(明治)3月13日	小紙/(印刷用紙)・1通	え 4023-59
證(新聞雑誌代金1円12銭5厘受取書) 東京両国薬研堀町日新堂[朱印「日新堂会社印」]→真田邸出納所様	(明治)9月24日	小紙/(印刷用紙)・1通	え 4023-60
覚(250文積金に付) 嶋屋助三郎→上	(明治)1月12日	小紙・1通	え 4023-61
記(金200疋受取に付) 浄福寺納所→八田様	(明治)癸酉12月31日	小切紙・1通	え 4023-62
覚(金2分1朱1332文受取書) 十八丁ちよ→上	(明治)西8月13日	小切紙・1通	え 4023-63
覚(金1兩10銭受取書) 御安町おせん→上	(明治)西7月	小切紙・1通	え 4023-64
覚(白米1斗7升6合6勺受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)西7月27日	小紙・1通	え 4023-65
覚(白米1斗7升6合6勺受取書) *後欠 八田本之進(印)	(明治)西8月16日	小切継紙・1通	え 4023-66
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)西5月8日	小切紙・1通	え 4023-67
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)西3月9日	小切紙・1通	え 4023-68
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)戌9月20日	小切紙・1通	え 4023-69
(書状、謝儀として金1兩3分・御肴代金200疋ご惠贈下さるに付御礼) 兵又→(八田)慎蔵様	(明治)2月23日	横切継紙・1通	え 4023-70
覚(太銅など代金御渡し下されたきに付) 薬屋豊八郎(印「信州善光寺新田町薬豆」)→松代穂田様	(明治)1月22日	横切継紙・1通	え 4023-71
記(粉糖受取書) 木町四ツ角山社穀店[朱印文「信州松代来町四角穀店出張所」]→八田様	(明治)	小切継紙・1通	え 4023-72
覚(未年利分金5兩2分1匁2分受取書) 片桐虎治(印)→八田慎蔵様御取次中様	明治5申年12月	小切紙・1通	え 4023-73
(「六兩三分式朱壺匁式分」等書上)	(明治)	札/(え4023-73とえ4023-75の間に挟み込み)・1点	え 4023-74
覚(青磁花入など代金受取書) 石町四丁目久寿屋源兵衛(印)→八田様御取次衆中様	(明治)戌8月9日	横切紙・1通	え 4023-75
記(鉄瓶代金受取書) 丁字屋喜三郎[印「信州松代本町丁字屋喜三郎」]→八田様御内	(明治)戌5月31日	横切紙/(え4023-75と78の間に挟み込み)・1通	え 4023-76
覚(平日・山葵代銀受取書) 現金や祖吉→上	(明治)4月27日	小切紙/(え4023-75と78の間に挟み込み)・1通	え 4023-77
記(白米2斗8升受取に付) 八田本之進(印)	(明治)7月22日	小紙・1通	え 4023-78
覚(水井収之助殿取替金酉年利足金2兩2分受取書) 堀内莊治(印)→八田知道殿	明治7戌年8月14日	小切継紙・1通	え 4023-79
記(金51銭7厘養正学校課賦金受取書) 金児傳右衛門(印)→八田知道殿	(明治)甲戌8月1日	小切紙/(え4023-79と81の間に挟み込み)・1通	え 4023-80
覚(金1兩受取書) 八田本之進(印)	(明治)7月18日	横切紙・1通	え 4023-81
記(日本史略三部代金2分1朱・225文受取書) 書林西澤	(明治)8月4日	横切紙/(木版摺)・1通	え 4023-82

喜太郎[印「佛府松葉軒小枡屋喜太郎典籍商舗」]→上			
記(例年盆雑用受取書) 八田本之進(印)	(明治)亥8月13日	小切紙・1通	え4023-83
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)2月22日	小紙・1通	え4023-84
覚(金3兩平富士鉄瓶代受取書) 丁字屋喜太郎茶店[印] →八田様御内	(明治)1月28日	横切紙・1通	え4023-85
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)戌5月23日	小切紙・1通	え4023-86
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)6月22日	切紙・1通	え4023-87
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)亥7月17日	小紙・1通	え4023-88
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)戌4月23日	小紙・1通	え4023-89
覚(金2兩3分2朱大豆・糶・塩代受取書) 八田本之進(印)	(明治)戌5月29日	小切紙・1通	え4023-90
覚(白米式2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使仲	(明治)酉12月24日	小紙・1通	え4023-91
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)3月19日	小紙・1通	え4023-92
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)亥4月18日	小紙・1通	え4023-93
覚(金4兩受取書) 八田本之進(印)	(明治)戌1月1日	横切紙・1通	え4023-94
記(金5兩2分1匁2分受取書) 片桐虎治(印)→八田慎蔵様 御取次中様	明治7戌年2月	横切紙・1通	え4023-95
覚(金2分味噌仕入の内代金受取書) 八田本之進(印)	(明治)戌1月11日	横切紙/(え4023-95と97の間に挟み込み)・1通	え4023-96
記(豆腐代受取書) 井藤屋定治[印「信州松代御安町井藤屋」]→八田様	(明治)4月15日	横切紙・1通	え4023-97
記(白米2斗8升受取に付) 八田本之進(印)	(明治)子3月13日	小紙・1通	え4023-98
記(金5兩52錢戌年利分受取書) 片桐虎治(印)→八田慎蔵様	明治9年1月25日	小切紙・1通	え4023-99
記(御目録付金1枚・同御肴料1000疋受取書) 良逸→八田様御使中	(明治)12月31日	小切継紙・1通	え4023-100
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)子1月13日	小紙/(え4023-100と102の間に挟み込み)・1通	え4023-101
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)2月17日	小紙・1通	え4023-102
覚(唐金縮・ろひき代受取書) 泊屋元吉→上	(明治)5月25日	小切紙・1通	え4023-103
記(金3分漬物料受取書) 八田本之進(印)	(明治)亥11月15日	小切継紙・1通	え4023-104
記(代金3兩2朱受取書) 茂作→上	(明治)11月17日	横切紙・1通	え4023-105
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)	(明治)亥12月14日	小紙・1通	え4023-106
記(簀の子など代金受取書) ますや太七郎(印)→上	(明治)酉12月27日	横切紙・1通	え4023-107
覚(金2兩2分水井収之助御口合金去申年利足金2兩2分受取書) 堀内莊治(印)→八田慎蔵殿	明治6年12月1日	小切紙・1通	え4023-108
覚(漬物代金3分受取書) 八田本之進(印)	(明治)酉11月18日	小切継紙・1通	え4023-109
記(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)子9月9日	小紙・1通	え4023-110
覚(暮雑用助成金3兩受取書) 八田本之進(印)	(明治)戌12月31日	小切紙・1通	え4023-111
覚(大根など代金受取書) *後欠カ 西寺尾新十郎→八	(明治)12月	横切紙・1通	え4023-112

1.内方/13.金銭・穀物請払/1.穀物・諸品請払

田様御内御役人中様			
記(去酉年利分金5円52銭受取書) 片桐虎治(印)→八田知道様	明治8亥2月26日	横切紙・1通	え 4023-113
覚(白米2斗8升受取書) 八田本之進(印)→御使中	(明治)酉9月25日	切紙・1通	え 4023-114
請取證(酒税金90円82銭9厘) 長野県租税課[朱印「長野県」]→松代住士族八田知道	明治6年9月24日	札/(木版摺)・1点	え 4023-115
(7月～10月分、藩士より借入金など金銭出入り覚書)	(天保14年)	横長半・1冊	え 4000
(諸品購入代金綴)	(嘉永2年)	綴/(え3995-1～14は一綴)・1綴	え 3995
覚(真木ならびに薪払方入用に付下げ金願)	戌3月2日	横切継紙・1通	え 3995-1
(磯田様他へ金2朱内々覚書)		横切紙・1通	え 3995-2
覚(下田半右衛門ほか分代金200文受取書) 茂作→八田様	酉7月14日	小切紙・1通	え 3995-3
覚(白米8斗代金3分2朱銭652文受取書) 穀田屋源兵衛→八田傳兵衛様	嘉永2酉年5月4日	小切紙・1通	え 3995-4
覚(盆竹代金400文受取書) 江戸屋平七→八田様御内	5月14日	切紙・1通	え 3995-5
覚(人足代金6人分銀13匁5分受取書) 寿作→大黒屋平兵衛様	4月15日	横切継紙・1通	え 3995-6
覚(人足代金8人分銀13匁受取書) 寿作→大黒屋平兵衛様	4月15日	横切紙・1通	え 3995-7
覚(桶6品銭360文代金受取書) 八右衛門→八田様	5月24日	横切紙/(虫喰大)・1通	え 3995-8
覚(各種桶売却および直し代金ノ370文受取書) 桶屋藤助→八田様御役人中様	4月5日	横切継紙・1通	え 3995-9
覚(手間賃勘定書)		折紙・1通	え 3995-10
覚(塩・餅米・大豆・小豆代金ノ金13両3分銀3匁5分書勘定書) 藤屋戸佐久→菊屋傳兵衛様	酉2月	横切継紙・1通	え 3995-11
覚(竹・なわ代金書上) 辰巳屋善蔵→上	6月22日	小切紙・1通	え 3995-12
覚(石塔磨きおよび石塔建て直し代金書上) 石工安兵衛→八田様御内御役人中様	3月3日	横切紙・1通	え 3995-13
覚(手桶・平桶代金ノ186文受取) 桶屋八右衛門→八田様御内	7月5日	小切紙・1通	え 3995-14
(買物代金受取綴)		綴/(え4002-1～34は一綴)・1綴	え 4002
覚(八丈小袖代金受取書) まつや安右衛門(印「信松代紺屋町」)→八田様御内	酉8月6日	小切紙・1通	え 4002-1
覚(きし嶋一房代金受取書) 長井屋龍兵衛(印「信州松代」)→八田様御内		小切紙・1通	え 4002-2
覚(タマリント代金受取書) 鼠屋九右衛門(印「信州上田原町鼠屋」)→上	酉10月24日	小切紙・1通	え 4002-3
覚(理兵衛分祖吉分代金受取書) 理兵衛・祖吉→上	申8月5日	横切紙・1通	え 4002-4
覚(諸品代金受取書) 美の屋喜兵衛→八田様御内藤五郎様	酉極月	小切紙・1通	え 4002-5
(一角丸・金精丸など薬種代金受取書) かくや代定次郎→八田様	酉11月23日	小切紙・1通	え 4002-6

覚(舶来タマリント代金受取書) 斎屋長兵衛(印「信州上田□□町」)→上		小切紙・1通	え4002-7
覚(金1両ほか預かり証文) 塩崎白鳥山役僧(印)→松代菊屋傳兵衛様	2月2日	小切紙・1通	え4002-8
覚(青銅10疋受取書) 大嶋留作(印)→八田嘉助殿	嘉永2酉年	小切紙・1通	え4002-9
覚(縁付糸手間代ほか受取書) 茂左衛門	未5月	横切紙・1通	え4002-10
覚(茂右衛門方当戌利分金2両2分受取書) 片桐重之助(印)→八田嘉助殿	12月	小切紙・1通	え4002-11
払金(ちの葉ほか代金) かくや代定次郎→八田様	戌10月29日	小切紙・1通	え4002-12
払金(一角丸ほか薬種代金払) かくや代定次郎→八田様	戌6月3日	小切紙・1通	え4002-13
覚(のし他代金受取下書) 取次佐兵衛	10月	折紙・1通	え4002-14
覚(屋根板代金受取)	9月14日	横切継紙・1通	え4002-15
(白米5斗代金3分受取) 現金や理兵衛→菊屋傳兵衛様	戌7月26日	小切紙・1通	え4002-16
覚(酒造倉など屋根葺代金受取書) 久五郎→上	10月8日	横切継紙・1通	え4002-17
覚(大坂菊屋源右衛門一件代金受取) 長崎屋新三郎→御店物方御役所	8月11日	小切紙・1通	え4002-18
覚(焼立規定金1両受取) 荒神町名主小出文左衛門(印)→東寺尾村三之丞殿	嘉永2酉年12月	小切紙・1通	え4002-19
覚(屋根葺き代金受取) *本文墨消 鍛冶町重之助→八田嘉助様御内御役人中様	10月	横切継紙・1通	え4002-20
払金(一角丸ほか薬種代金払) かくや代定次郎→八田様	西6月8日	小切紙・1通	え4002-21
覚(代金3分受取書) 菊屋勇吉→上	西12月	小切紙・1通	え4002-22
覚(大えび代金書上) □□□(虫損)	11月26日	横切継紙/(虫損)・1通	え4002-23
覚(菓子代金受取書) 遠州や儀八(印「信州善光寺伊勢町遠州屋」)→菊屋傳兵衛様	(嘉永2年)閏4月3日	横切継紙・1通	え4002-24
覚(桶代金受取書) 桶工八右衛門→八田様御役人中様	西7月14日	小切紙・1通	え4002-25
覚(白竹代金受取) みの屋喜兵衛→おりき殿御役人中様	(嘉永2年)西閏4月10日	小切紙/(虫損)・1通	え4002-26
覚(茶代金受取) 米子幸作	西5月6日	小切紙/(虫損)・1通	え4002-27
覚(両宮神事に付町方長役休息所入用金支払高書付) [](虫損)→(八田)傳兵衛様	[](虫損)	小切紙/(虫損)・1通	え4002-28
覚(八幡村別当神主方へ初穂預かり証文) [](虫損)→八田嘉助様御使中様	戌[](虫損)	小切紙/(虫損)・1通	え4002-29
覚(奉行所ほか受納覚) *後欠		小切紙・1通	え4002-30
覚(桶代金受取書) 桶屋八右衛門(印)→八田様	戌2月19日	小切紙・1通	え4002-31
覚(瀬戸物代金受取書) 紺屋町油屋直吉→上	10月30日	横切紙・1通	え4002-32
覚(御役所ほか受納覚)	11月26日	横切継紙・1通	え4002-33
覚(板屋根手伝い他内賄い代金受取書) 肴町茂左衛門→八田様御内御役人中様	戌10月	横切紙・1通	え4002-34

1.内方/13.金銭・穀物請払/1.穀物・諸品請払

記(懐紙表装代金2円80銭ほか請求書) 三浦太三郎[印「西京上第三拾番 養蔵堂 下白山町三浦印」]→関口老雲大先生御取次御中	(明治)19年6月12日	切紙/(え3659～3719は紙縫一括)/(紙表面に印字有)・1通	え3680
乙第四十号(道路開発義捐金18年納期分金64円28銭6厘、本月25日限り当役場へ上納すべく達し) 松代町外式ヶ村戸長役場[印「長野縣埴科郡松代町外貳ヶ村戸長役場印」]→八田知道殿	明治19年1月20日	堅紙/(え3659～3719は紙縫一括)/茶色罫紙(10行)/(版心)「埴科郡松代町外二ヶ村戸長役場」・1通	え3682
懐紙表装注文書(風帯一文字金欄など注文)		切紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3677
(書物12枚請取に付) 佐久間内□→八田様	5月31日	切紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3681
(諸受取書巻込一括)		巻込一括/(え3659～3719は紙縫一括)/(え3683-1～2は巻込一括)・1点	え3683
(切紙)「御緒在北袋村武重徳右衛門」		切紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3683-1
(2600石余の所、明治元年頃に5株に分け、礼金500円余上納に付)		切継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3683-2
(書状、義捐金に付役場の方へ然るべき挨拶を下されたき旨) 治右衛門→(八田)知道様	1月22日	切継紙/(え3659～3719は紙縫一括)・1通	え3684
覚(42匁金×2分3朱82文お払い受取書) 藤屋与三郎(印)→八田様御内	戌11月5日	堅切紙・1通	え3812
覚(屏風など仕様・代金届書) 和泉治郎兵衛(印)→高山内蔵之進様	未年11月	堅紙/(貼紙あり)・1通	え3931
覚(払物代金受取証文) 法華堂(印)→笠井和七殿	戌12月	小切紙/(虫損甚大)・1通	え3952
(諸品・地所金銭書上書類一括)		綴/(え3980-1～6は一綴)・1綴	え3980
(伊勢町西側屋敷1軒前代金37両ほか小作料代金勘定書と使用用途明細書)		横長半・1冊	え3980-1
覚(寅春残り物高35両2分ほか資産金差引勘定書)		折紙・1通	え3980-2
覚(小作料勘定書)		折紙・1通	え3980-3
覚(御城裏新田御高辻の内荒神町裏高1石1斗7升2合ほか地所代金書上)		横切継紙・1通	え3980-4
覚(白米・味噌など書上)		横切紙・1通	え3980-5
覚(見セ残り物金18両2分ほか諸品金銭書上)	卯8月	横切継紙・1通	え3980-6
(諸受取書綴)		綴/(え3997-1～10は一綴)・1綴	え3997
覚(溜代金2品銭2貫300文報告書) □□□(虫損)芳右衛門→八田嘉右衛門様御内	申2月28日	横切継紙/(虫損)・1通	え3997-1
覚(上白米赤味噌など代金銀62匁余報告書) 菊や傳兵衛→上	申2月28日	横切継紙/(虫損)・1通	え3997-2

覚(玉子など食材代金銀22匁1分5厘報告書) 現金屋祖吉→八田嘉助様御内御役人中様	申2月28日	横切継紙/(虫損)・1通	え3997-3
覚(平目1枚ほか魚代金銀1貫650文報告書) 肴屋峯吉→上	申2月28日	横切紙/(虫損)・1通	え3997-4
覚(玉子30箇代金銀3432文報告書) 能とや弥三郎[印「信州松代西木町南御魚所能登屋弥三郎」]→八田嘉右衛門様御内	申2月28日	横切紙・1通	え3997-5
覚(鯉2本代金銀27匁5分報告書) 江戸屋重兵衛→八田嘉助様御内	2月28日	横切紙/(虫損)・1通	え3997-6
覚(五十物四十物買物代金銀600文報告書) □□□喜□郎(虫損)→八田嘉助様御内	申2月	横切紙/(虫損)・1通	え3997-7
覚(喜せん小半斤代金銀277文報告書) 美濃屋久五良(印「信州松代紺屋町美濃屋」)→八田様御内	申2月27日	横切紙/(虫損)・1通	え3997-8
覚(買物代金報告書) 美濃屋喜兵衛→上	申2月28日	横切紙/(虫損)・1通	え3997-9
覚(白菊ほか買物代金6品銀2貫988文報告書) 藤屋忠左衛門→上	2月2□(虫損)日	横切紙/(虫損)・1通	え3997-10
(代金受取書等綴)		綴/(え3999-1~5は一綴)・1綴	え3999
覚(代金銀6匁5分受取書) 越後屋徳右衛門(印)「江戸堀江町三丁目越後屋」→上	3月10日	小切紙・1通	え3999-1
覚(代金1分2朱銀168文受取書) かねや[](印文により判読不能)(印)→松井平右衛門様	3月7日	小切紙・1通	え3999-2
覚(養ひ草2篇折本代金受取書) 岡田屋□(虫損)七(印)→上	戌3月12日	小切紙・1通	え3999-3
覚(大反物1把代金1朱銀307文受取書) いせや藤左衛門(印)→上	3月7日	横切紙・1通	え3999-4
覚(草履5足代金2朱銀308文受取書) 麻付屋金次郎(印)→上	3月15日	堅紙・1通	え3999-5
(金銭出入覚書関係一括)		巻込一括/(え4001-1~8は巻込一括)・1点	え4001
(酒ほか荷品受け出し覚)		折紙/(綴穴あり)・1通	え4001-1
(米入荷俵数覚書)		折紙/(綴穴あり)・1通	え4001-2
(酒・肴荷出入り覚書)		折紙/(綴穴あり)・1通	え4001-3
(戸部村紙屋三郎右衛門送り酒・塩など荷品覚書)		折紙/(綴穴あり)・1通	え4001-4
(酒・粕・砂糖など荷品受け出し覚書)		折紙/(綴穴あり)・1通	え4001-5
(茶道具代金綴)		綴/(え4001-6-1~4は一綴)・1綴	え4001-6
覚(釜代・釜敷代・道具品々代差上書) 伊勢町→孫兵衛様	西11月9日	横切紙/(え4001-6-1~4は一綴)・1通	え4001-6-1
覚(茶道具代金勘定書) 伊勢町→孫兵衛様	11月7日	横切継紙・1通	え4001-6-2
(茶道具代金書上)		折紙・1通	え4001-6-3

1.内方/13.金銭・穀物請払/1.穀物・諸品請払

(茶道具代金) 伊勢町→松菊様	西10月晦日	堅紙・1通	え4001-6-4
(無尽会取金明細書)		横長半・1冊	え4001-7
(無尽金など金銭出入り覚書)		横長半・1冊	え4001-8
(納品書および請求書綴)		綴/(え4003-1～57は一綴)・1綴	え4003
覚(西木町役銭受取書) 名主岡田伴之助(印)→伊勢町傳兵衛殿	酉正月2日	小切紙・1通	え4003-1
覚(あけ納品書) 富や宗助→八田様御内御役人中様	申12月	小切紙・1通	え4003-2
覚(籠へし他納品書) みのや八百吉→八田嘉助様御内	申極月	小切紙・1通	え4003-3
覚(床浦座拵え手間代) かち町義左衛門→八田様		小切紙・1通	え4003-4
おほへ(ちの薬ほか納品書) かくや代定次郎→八田様	申10月27日	小切紙・1通	え4003-5
覚(昼手間代納品書) 義左衛門→八田嘉助様御内	10月	小切紙・1通	え4003-6
覚(大根菜ほか納品書) 西尾村鍵左衛門	申10月	小切紙・1通	え4003-7
覚(あけ・やき納品書) 中町豆平→八田様御内御役人中様		小切紙・1通	え4003-8
覚(草履納品請求書) 現金や理兵衛→かかみや町栄八様	申12月	小切紙・1通	え4003-9
(山年貢相場など覚書)		小切紙・1通	え4003-10
覚(女中籠損料請求書) 山口屋彦五郎→八田嘉助様御内	申極月	小切紙・1通	え4003-11
覚(代金請求書) 美濃屋与兵衛→八田嘉助様御内御役人中様	申極月	小切紙・1通	え4003-12
覚(鉋丁・五徳直し代金請求書) 鍛冶丁弥作→伊勢町八田嘉助様御内	申極月日	小切紙・1通	え4003-13
覚(きせる・はみかき他納品代金受取書) 萬屋富吉→八田様御内	申12月29日	横切紙・1通	え4003-14
覚(納品代金請求書) 会津屋喜作→八田嘉助様御内	申極月	横切紙・1通	え4003-15
(嶋天など納品書) 菊屋音吉→御茶之間	申極月	小切紙・1通	え4003-16
覚(土瓶・茶わん等納品書) 弥右衛門→八田嘉右衛門様御内	申極月	横切紙・1通	え4003-17
覚(和印代納品請求書) 美濃屋与兵衛→八田鉄次郎様御内御役人中様	申極月	小切紙・1通	え4003-18
(豆腐納品書) 柳屋作兵衛→伊勢町八田様御内	申12月	小切紙・1通	え4003-19
覚(納品書) 河内屋民之助→菊屋傳兵衛様	申極月	横切紙・1通	え4003-20
覚(草履・草鞋など納品書) 大沢や喜兵衛→八田御茶之間御役人中様	申12月	横切紙・1通	え4003-21
(はしけずり代ほか納品書) 戸隠屋藤右衛門→八田様御内	申12月	横切紙・1通	え4003-22
覚(ゆり他野菜類納品書) 江戸や重兵衛→八田嘉助様御内御役人中様	申12月	横切紙・1通	え4003-23
覚(ふ志丸ほか納品書) 一条や清八郎→八田嘉助様御内	申極月	横切紙・1通	え4003-24
(蕎麦挽ぬき他納品書) 辰巳屋文源太→八田嘉助様御役人中様	申極月	横切紙・1通	え4003-25
覚(まんちう・のしもち納品書) 萬屋嘉吉→八田嘉助様御内	申極月	横切紙・1通	え4003-26

覚(くるみせんへい納品書) つたや惣吉→八田嘉助様御内	申極月17日	小切紙・1通	え4003-27
覚(まんちう納品書) つたや嘉吉→八田嘉助様御内	申12月	横切継紙・1通	え4003-28
(もくぎのぼを他納品書) 戸隠屋藤右衛門→八田様御内	酉12月	小切紙・1通	え4003-29
覚(酒納品書) 河内屋民之助→菊屋傳兵衛様	申12月18日	横切継紙・1通	え4003-30
覚(蓬納品書) 辰ミや仙吉→御茶之間様御内	申極月	小切紙・1通	え4003-31
覚(大工人足賃書上) 大工寅蔵→御茶之間様		横切継紙・1通	え4003-32
覚(柄杓ほか納品書書上) 升屋伊兵衛→□□(「八田」嘉助様御内)	申12月	横切紙・1通	え4003-33
覚(横物一軸御表具内訳納品書) 表具師金治→鉄之助様御内御役人中様	申年12月	横切紙・1通	え4003-34
覚(傘張り替え他納品書) ミそや養助→八田嘉助様御内	申極月	横切紙・1通	え4003-35
(保科村新五郎炭納品書)		小切紙・1通	え4003-36
覚(本膳足継など什器修理代) 中澤徳治→八田様御内	申極月	横切継紙・1通	え4003-37
覚(米・小麦・蕎麦など納品書) 豊や弥忠太→八田様御内	申12月	横切継紙・1通	え4003-38
覚(松印・竹印納品書) いつミや惣右衛門→菊屋傳兵衛様御内	西正月	横切紙・1通	え4003-39
覚(金玉糖など菓子納品書) とりかい常吉→八田嘉助様御内	申12月	横切継紙・1通	え4003-40
覚(大ざる他納品書) みのや八百吉→八田嘉助様御内	申極月	横切継紙・1通	え4003-41
覚(金剛枝ほか納品書) 美濃屋喜兵衛→八田嘉助様御内	申極月	横切継紙・1通	え4003-42
覚(金具類納品書) かし町藤吉→菊屋傳兵衛様	申12月	横切継紙・1通	え4003-43
(手間代金請求書) 東福寺村瓦屋佐兵衛→いせ町菊屋様		横切紙・1通	え4003-44
覚(食品納品書) 江戸屋佐兵衛→八田嘉右衛門様御内	申極月	横切継紙・1通	え4003-45
覚(晒代金請求書) 晒屋平治→八田嘉右衛門様御内御役人中様	申7月	横切紙・1通	え4003-46
覚(饅頭代金請求書) 大さかや才助→八田嘉助様御内	12月17日	横切紙・1通	え4003-47
覚(6匁2分請求書) 三枝屋三五郎→永井清左衛門様	申極月	横切紙・1通	え4003-48
覚(大豆代金請求書) 小島屋長左衛門→八田嘉助様御内	申極月	小切継紙・1通	え4003-49
覚(網代金請求書) 現金や理兵衛→八田嘉助様御内御役人中様	申12月	小切継紙・1通	え4003-50
覚(男女草履・草鞋4代金請求書) 大沢や喜兵衛→八田御茶之間御役人中様	申12月17日	横切紙・1通	え4003-51
(豆腐類代金書上)		折紙・1通	え4003-52
覚(左官手間代金および壁材料代金請求書) 左官良作→八田御茶之間	申12月	横切継紙・1通	え4003-53
覚(梅花糖・煎餅など菓子代金請求書) *合わせ印あり 大さかや才助→八田嘉助様御内	申極月	横切継紙・1通	え4003-54
覚(白沙丸ほか薬種代金請求書) 大丸や忠兵衛→八田嘉助様御内	申12月	横切継紙・1通	え4003-55
覚(料理賄賃請求書および領収書) 富田屋藤吉→八田	申極月	横切紙・1通	え4003-56

1.内方/13.金銭・穀物請払/1.穀物・諸品請払

嘉助様御内御役人中様			
覚(豆腐代金請求書) 和泉や常吉→八田嘉助様御内御役人中様	申極月	横切継紙・1通	え4003-57
(東住居当用払い方関係袋一括)		袋一括/(え4015-1~19は袋一括)・1点	え4015
(袋) * (袋上書)「寅極月東御住居御当用払方書出類」		袋/(虫損)・1点	え4015-1
覚(饅頭代など請求書) 河内屋芳右衛門→八田慎蔵様御内御役人中様	寅12月	小切紙/(え4015-2~19は一綴)/(虫損)・1通	え4015-2
覚(上菊菱2升代金3匁6分請求書、支払済みの旨後筆) 菊屋惣兵衛→伊勢町様御茶之間	寅12月	小切紙/(虫損甚大)・1通	え4015-3
覚(紐代金などメ4匁5分請求書、支払済みの旨後筆) きくや音吉→御茶之間	寅12月	横切紙/(虫損)・1通	え4015-4
覚(炭大俵3俵代金2朱27文メ金1両420文請求書) 菊屋平兵衛→東御茶間	寅6月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-5
覚(くわから代金55文他メ金162文請求書) 横丁店→御茶之間	寅6月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-6
覚(窓かね代ほか請求書、支払済みの旨後筆) * 墨消あり 大坂屋佐助→八田慎蔵様御内	寅極月	小切継紙/(虫損)・1通	え4015-7
覚(メ339文受取書、支払済みの旨後筆) 現金や理兵衛→菊屋傳兵衛様東之分	寅極月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-8
覚(饅頭代ほか請求書、支払済みの旨後筆) 菊や久兵衛→八田慎蔵様御内	寅9月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-9
覚(羊羹代ほか請求書、支払済みの旨後筆) とりこへ常吉→八田嘉助様御内御役人中様	寅12月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-10
覚(襖代ほか請求書、代金受取の旨後筆) 辰巳屋文源太→八田慎蔵様御役人中様	寅極月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-11
覚(7月の分ほか代金124文他メ500文請求書、代金受取の旨後筆) 大丸屋惣兵衛→八田様御内	寅極月	横切紙/(虫損)・1通	え4015-12
覚(手桶4斗ほか請求書、代金受取の旨後筆) 桶屋祐吉→八田慎蔵様御内	寅12月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-13
覚(細筆代金ほか請求書、代金受取の旨後筆) 天ま屋清次郎→御茶間御取次中様	寅6月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-14
覚(生坂刻ほか請求書、代金受取の旨後筆) みのや嘉兵衛柳屋茶店→八田慎蔵様御内	寅極月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-15
覚(障子代12匁5分ほかメ33匁3分380文代金請求書、支払済みの旨後筆) 扇屋藤右衛門→八田様御内	寅極月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-16
おほへ(焼豆腐代81文ほかメ2貫131文請求書、支払済の旨後筆) 布袋屋莊作→八田様御内御役人衆中様	寅9月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-17
覚(縁なしほか板代金請求書、支払済の旨後筆) 儀左衛門→八田様御内御役人中様	寅12月	横切継紙/(虫損)・1通	え4015-18
①覚(醤油代124文他メ4貫560文請求書)、②覚(醤油代124文他メ184文請取書、代金受取の旨後筆) ①②江戸屋佐吉→八田慎蔵様御内	①寅12月、②寅極月	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4015-19

1.13.2. 普請

(普請職人払方書類綴)		一綴/(え4016-1 ～2は袋一括)・1 綴	え4016
(袋) * (袋上書)「寅極月職人拂方書類 普請方入用物共」/ 反古紙使用		袋/(え4016-2～ 10は一綴)・1点	え4016-1
覚(葦ほか材木代金請求書) * (奥書)「茶の間分」 辰巳 屋善蔵→八田様御内	とら12月	横切紙・1通	え4016-2
覚(留釘2本他14匁ほか代金請求書) かち町万吉→きく や市兵衛様	寅極月	横切継紙・1通	え4016-3
覚(八次黒水代50文ほか請求書) 一文字屋清次郎(印)→ 菊傳様御勝手中様	寅12月	小切継紙・1通	え4016-4
覚(酒店ほか諸方屋根手伝人足賃請求書、支払済の旨 後筆) →八田様御内		横切紙・1通	え4016-5
覚(普請方材木代金ほか代金×148文請求書、代金受取 の旨後筆) * 本文墨消 治兵衛→八田慎蔵様御内	寅極月20日出	小切継紙・1通	え4016-6
覚(酒蔵普請用代金など請求書) みのや喜兵衛→菊や傳 兵衛様	12月	横切紙・1通	え4016-7
覚(普請材料代金請求書、受取の旨後筆) 御安口板割重 吉→八田様御内御役人衆中様	寅極月	横切継紙/・1通	え4016-8
おほへ(手伝賃ほか普請入用代金請求書、支払済の旨 後筆) 東福寺村瓦師市兵衛→八田様御内御役人様	とら12月	横切継紙・1通	え4016-9
覚(酒蔵ほか左官代金請求書、代金受取の旨後筆) 左 官三蔵→八田様		横長美・1冊	え4016-10

1.14. 家計取調

(6株・3株銀行、4株松山ほか書上)		切紙・1通	え3784
(家計取調書類袋)		袋一括/(え 3992-1～6は袋一 括)・1点	え3992
(袋) * (袋上書)「辰正月 取調書類」 八田知則	辰正月	袋・1点	え3992-1
天保三辰年 預り金調下帳	天保3辰年	横長半・1冊	え3992-2
暮方入箇取調 * 雛形		横長半・1冊	え3992-3
諸向差引帳		横長半・1冊	え3992-4
上書之事(諸帳面書上)		折紙・1通	え3992-5
(金銭出入諸書留綴)	(天保3年)	綴/(え3992-6-1 ～22は一綴)・1綴	え3992-6
会所より差出帳(諸帳面書上)		横切紙・1通	え3992-6-1
大和屋無尽差引		横切継紙・1通	え3992-6-2
(酒蔵仕入金に付覚書) * 後欠		横切紙・1通	え3992-6-3
(喜助に付手代ならびに支配人など略歴案文) * (端裏 書)「喜助方」		横切継紙・1通	え3992-6-4

1.内方/14.家計取調

(家手掛りの者心意方之事草案)		折紙・1通	え3992-6-5
(札)「町方諸入用掛り場取調可申事」		札・1点	え3992-6-6
(田畑并山林入上取調帳など諸帳面内訳書)		折紙・1通	え3992-6-7
定(田畑山林・抱屋敷・酒造方など経営心得方草案) * (奥書)「右之条々宜敷相守当家永統子孫迄相背申間敷候右 之心得ニ而世話方万事相心掛可為専用者也」		折紙・1通	え3992-6-8
町家敷貸覚(各町の役代など書上)		小切紙・1通	え3992-6-9
(持山・持屋敷・田畑取調草案)		横切紙・1通	え3992-6-10
(田畑取調の事など草案)		小切紙・1通	え3992-6-11
覚(佐久郡田之口村ほか貸付覚)		横切紙・1通	え3992-6-12
五尺桶造入之事		横切紙・1通	え3992-6-13
角屋敷ニ而受取之品々覚		折紙・1通	え3992-6-14
覚(混雑に付石類ならびに給金当辰年より手元にて渡し の旨)	辰正月	折紙・1通	え3992-6-15
嘉助取調之分(才木方貸出金取調帳ほか諸帳面書上)		横切紙・1通	え3992-6-16
(御領分の内山里村方町方貸出金利付き無利足年賦金 の元帳など諸帳面書上)		小切紙・1通	え3992-6-17
覚(1か年御渡金区分高草案)		折紙・1通	え3992-6-18
(天保3年正月内証向取調改正に付覚書) (八田)知義	天保3辰年何月	横切紙・1通	え3992-6-19
(拝領御扶持米取調帳など諸帳面類書上)		小切紙・1通	え3992-6-20
田畑山林覚(余金肝要の事) *下書		横切紙・1通	え3992-6-21
貸出金調(内方へ掛かりの分など草案)		折紙・1通	え3992-6-22

1.15. 儀礼

1.15.1. 出生

(男子出生諸入用書類綴)	(文政12年)	綴/(え3981-1～10は一綴)・1綴	え3981
(袋) * (袋上書)「文政十二丑年三月七日男子出生仕候ニ付 諸入用書類入書 八田氏」	文政12丑年3月7日	袋・1点	え3981-1
六月十一日夕より十二日朝迄献立	6月11日	横長半・1冊	え3981-2
(孫太郎出生仕一卷)	文政12年丑年3月7日	横長半・1冊	え3981-3
(3月7日男子出生に付御届は8日の旨覚書)	3月7日	小切紙・1通	え3981-4
(竹村権左衛門宛八田嘉右衛門悻鉄之助妻男子出生届 下書)	3月8日	小切紙・1通	え3981-5

(小杉1丸松木原様進上)	3月13日	横切紙・1通	え3981-6
(立田其道老へ平目1枚贈るに付)	3月13日	横切紙・1通	え3981-7
(岡野弥右衛門様御家内様ほか名面書)	3月13日	横切紙・1通	え3981-8
提重之方御献立		横切紙・1通	え3981-9
三月十三日七夜相祝候ニ付御献立	3月13日	折紙・1通	え3981-10

1.15.2. 元服

口上覚(私十七歳に罷成候に付元服仕り名孫左衛門に改めたき旨願書) * (包紙上書)「半元服願下書入」 八田鐵次郎→御町奉行所	11月28日	堅紙・1通	え3826
--	--------	-------	-------

1.15.3. 婚姻

覚(縁女土産金30両受取証文) 八田鍵之助(印)→増田惣右衛門殿	天明5年巳10月29日	堅紙/(綴穴あり)・1通	え3575
覚(縁女持参金皆済証文) 山越市之丞(印)→八田競殿	寛政3亥年7月	堅切紙/(綴穴あり)・1通	え3569
覚(縁女持参金皆済証文) 山越市之丞(印)→八田競殿	寛政5丑年3月	堅紙/(綴穴あり)・1通	え3577
村払手形之事(甚右衛門妹こん甚七と離縁のため宗門人別帳書上の旨願書) * (端裏書)「卯年甚右衛門妹こん不縁歟」 川原子村名主理作(印)→山家村御名主三右衛門殿	寛政7年卯12月	堅切紙・1通	え3590
覚(松木源八縁女持参金50両請取の旨報告) 平林縫殿進(印)→八田孫左衛門殿	(寛政9巳歳3月)	堅紙/(綴穴あり)・1通	え3570
覚(又次郎妹婚姻のため道具代金として金1両請取に付) 水野七郎兵衛(印)→藤田専蔵殿	寛政12庚申年4月11日	横切紙・1通	え3591
口上覚(又次郎妹縁組のため持参金5両落手に付) 水野七郎兵衛(印)→藤田専蔵殿	寛政12庚申年4月11日	横切紙・1通	え3592
覚(悴藤四郎縁女持参金75両の内30両受取証文) 小山田又六郎(印)→八田嘉右衛門殿	文化12亥年2月	堅紙/(綴穴あり)・1通	え3571
覚(悴藤四郎と御息女の婚姻に付持参金45両受取証文) 小山田又六郎(印)→八田嘉右衛門殿	文化12亥年12月16日	堅紙/(綴穴あり)・1通	え3576
覚(御養女おとくと縁組に付持参金の内金50両受納の旨受取証文) * (包紙上書)「覚」/(貼紙)「文政五壬午九月十七日徳田多膳殿御嫡子五百人殿方江於登く縁組土産金之内相渡候受取印證樋口覚右衛門殿江相渡申候」 徳田多膳(印)→八田嘉右衛門殿	文政5午年9月17日	堅紙・1通	え3584
覚(悴五百人へ縁女おとくよりの持参金100両受納証文) 徳田多膳(印)→八田嘉右衛門殿	文政8酉年正月13日	堅紙/(綴穴あり)・1通	え3574
覚(戌年8月に岡野弥右衛門が悴陽助縁女持参金の内30両受納の旨報知) 平林縫殿進(印)→八田嘉右衛門殿	(文化9年8月)	堅紙/(綴穴あり)・1通	え3572
覚(亥年9月に岡野弥右衛門が悴陽助縁女持参金残金30両請取の旨報知) 平林縫殿進(印)→(八田嘉右衛門)	(文化10年9月)	堅紙/(綴穴あり)・1通	え3573
(縁談祝儀品々請取関係一綴)		綴/(え3578-1~8は一綴)・1綴	え3578
(袋) * (袋上書)「縁談之節土産金請取證文入」		袋・1点	え3578-1

1.内方/15.儀礼/3.婚姻

(書状、私娘松本源八殿へ縁組の件内々熟談の旨お礼) 八田孫左衛門→平林縫殿進様	2月27日	横切紙・1通	え3578-2
覚(御縁女様御荷物受取書) 松本源八様御内和田八百吉 →大瀬又右衛門様御内伊東音右衛門様	3月19日	横切紙・1通	え3578-3
(書状、八田孫左衛門娘と松木の縁談の仲介への礼等) 松本源八→平林縫殿進様	3月27日	横切紙・1通	え3578-4
覚(御結納祝儀品々目録の通り受取披露に付書上) 松 本源八様御内和田八百吉→大瀬又右衛門様御内伊東音右 衛門様	3月21日	横切紙・1通	え3578-5
覚(金100疋ほか持参金受取披露に付書付) 松本源八 様御内和田八百吉→大瀬又右衛門様御内伊東音右衛門様	3月21日	縦紙・1通	え3578-6
覚(御筆笥1棹ほか持参品請取に付書上) 綿内覚之進内 林伊惣治	9月16日	横切紙・1通	え3578-7
(御縁女様御荷物請取書) 山越市之丞様御内松本善八→ 八田競様御内田村太右衛門様	3月20日	折紙・1通	え3578-8
口上覚(別紙願いの養女は増田徳左衛門娘にて、また 徳左衛門妻は嘉右衛門妹に付口上覚) 八田嘉右衛門 →金井左源太様・鹿野外守様・岡島莊蔵様・望月権之進様	8月日	横切紙・1通	え3598
口上覚(私姪養女として大瀬登へ縁組仕りたきに付家 老中へ執り成し願) 八田嘉右衛門→金井左源太殿・鹿 野外守殿・岡島莊蔵殿・望月権之進殿	8月	横切紙・1通	え3599
(婚礼式献立目録)		縦継紙/(虫損)・1 通	え3881
口上覚(甥嘉太郎押田村坂原兵左衛門方へ婿養子のた め町帳面除け願書) 八田孫左衛門→宇佐美清十郎殿・ 八田喜右衛門殿・杭全平左衛門殿・伴伊右衛門殿	2月24日	縦紙・1通	え3918
(辰三郎養子関係書状など綴)		綴/(え3972-1～ 29は一綴)・1綴	え3972
(袋) * (袋上書)辰三郎養子の文通、浄福寺知門和尚飯山一 件の紙面残し置き旨/御菓子袋利用		袋・1点	え3972-1
(書状、神用やむをえざるに付出立不能の旨有免願) 戸(戸田)伊勢→八(八田)嘉右衛門様奉玉階下	10月2日	横切継紙・1通	え3972-2
口演(御婦人の一牀書記差し上げに付) 戸(戸田)伊勢 →八(八田)嘉右衛門様当賀	9月28日当賀	横切継紙・1通	え3972-3
覚(八田長左衛門母へ縞1端ほか目録請取願いに付) 八田嘉右衛門内嶺村吉兵衛→落合弾蔵様御内矢嶋七郎兵 衛様	2月27日	横切継紙・1通	え3972-4
(書状、滋三郎殿へ御再縁の件早魃など繁多に付13日 おみおを引取申したきに付) 石和志摩→八田嘉右衛 門様	6月10日	横切継紙・1通	え3972-5
(書状、藤田氏の方ご心配下され仰せの趣承知にて何 分品良く整うよう願いに付) * 下書 八田嘉右衛門→ 田中良左衛門様御報・石和志摩様御報	6月11日	横切継紙・1通	え3972-6
(書状、来る12日志摩殿罷り越す由海野より申し越し お取計らい願いに付) 田中良左衛門→八田嘉右衛門 様	6月10日	横切継紙・1通	え3972-7
(辰三郎案内にて馬場丁へ差し遣わし酒肴差し出され 9時帰宅など申し合わせに付書付)		横切紙・1通	え3972-8
(書状、津律氏より御主人様趣樋口御氏一条差し支え	5月4日	横切継紙・1通	え3972-9

の趣至極ご尤もにて委細申し達し辰三郎様お出で になられたく伺いに付他) 藤田傳左衛門→八田嘉右 衛門様貴報			
(書状、おみお様無事到着の喜び等に付) 田中良左衛門 →八田嘉右衛門様貴下	6月16日	横切継紙・1通	え3972-10
(書状、おみお殿一件志摩殿へ御示談などに付) (八 田)嘉右衛門→温山祥御下	5月17日	横切継紙・1通	え3972-11
(書状、良左衛門並びに志摩殿差し上げ御馳走を受け たことへの礼に付) 温山→書鳩君様	6月18日	横切継紙・1通	え3972-12
申渡(多年用向き心懸け等にて御紋付・御上下下賜) →(柴津村斧右衛門)	6月	横切継紙・1通	え3972-13
(書状、飯山表金談の下げ金の義一事出来かね整理の 上手元繰り回しに付) * (端裏書)「六月十一日遣し書 状案」(八田)嘉右衛門→知門和尚様机下	6月11日	横切継紙・1通	え3972-14
(書状、芳金1両落掌目出度きに付) 戸田伊勢→八田嘉 右衛門様御請御下	9月27日	横切継紙・1通	え3972-15
(書状、厄歳にて御初穂金1両神納に付) 戸田斎宮→八 田嘉右衛門様貴報	9月27日	横切継紙・1通	え3972-16
(書状、癸巳年女性38歳卦に付)	吉日	横切継紙・1通	え3972-17
(書状、飯山表に人遣わし復書到来にて柴沢一条差し 支えにて伺いに付)	10月15日	横切継紙・1通	え3972-18
(書状、金子500両才覚、私も200両才覚にて当惑の所格 別におすがりに付)	10月12日	横切継紙・1通	え3972-19
(書状、御無尽来月20日御用向きにて15日迄他行にて 12月12日取極に付) 新吾→智門様貴酬	10月12日夜	横切継紙・1通	え3972-20
口上(皆神一件叶わぬ品にてもあり合わせにいたし入 用の品は向々心次第の義に付) (関田)庄助→(八田) 嘉右衛門様	5月21日	横切紙・1通	え3972-21
(書状、扇面風雅にてご光来ごらん下されたきに付) 算川→素弓雅君	5月□(綴紐にて見え ず)	横切継紙・1通	え3972-22
覚(縁組みにて挨拶・親類書など取替の事などに付問 合書)	5月	横切継紙・1通	え3972-23
代舌(山より例の紙持参にて近日内々願いの10匁宜し く成し下されたきに付、白むく等婚儀の衣服など承 り留の覚共) 知門→(八田)嘉右衛門様	5月18日	横切継紙・1通	え3972-24
(書状、又左衛門・孫三郎本證文差し上げ割合切手差し 出し有り難きに付他)	4月13日	横切継紙・1通	え3972-25
(東畑の出火の義何れ御上に御手段あらせらるべき処 御手元懸召し仕わしに付覚) * (端裏書)「病中澹言妄 語」		横切継紙・1通	え3972-26
覚(辰12月拝借金13両利金1両3分3厘他、26両3分4厘 差引金銭書上) * (端裏貼紙)「右御差引書御覽後私方へ 申受度奉存候」		横切継紙/(下れ あり)・1通	え3972-27
覚(御人受の代金5両積内訳改めに付) * (端裏貼紙)人 参代御差引にて貯置以前の品不分明にて代料差引の旨		横切継紙/(下れ あり)・1通	え3972-28
覚(文化2丑7月不幸の節拝借金12両ほか引き合いご覧 下されたきに付) * (端裏貼紙)「右御差引書貴覽之後者 私方へ申受度奉存候」		横切継紙/(下れ あり)・1通	え3972-29

1.15.4. 贈答・進物

覚(坂原源蔵様へ御小袖代300貫ほか贈答品目録)	2月20日	縦継紙・1通	え3878
(柿崎源左衛門様へ青銅100疋ほか贈答目録)		縦継紙/(虫損)・1通	え3880

1.15.5. 法事

(悟達院様一周忌法事書類入)	(嘉永2年～3年)	袋/(え3986-1～6は袋一括)・1点	え3986
(袋) * (袋上書)「嘉永二酉年十一月 悟達院様一周忌御法事取越十一月八日九日ニ而諸事取調書類入」	嘉永2酉年11月	袋・1点	え3986-1
悟達院様小祥御忌御取越十一月八日夕より九日朝迄御法事御執行ニ付御到来ものをほへ	(嘉永2年)	横長半・1冊	え3986-2
嘉永二酉年十一月 悟達院様御一周忌法事案内調	嘉永2酉年11月	横長半・1冊	え3986-3
嘉永三戌年五月八日 悟達院三回忌法事ニ付備物到来帳	嘉永3戌年5月8日	横長半・1冊	え3986-4
手札ニ而案内(法事招待客人名)	(嘉永)	横切継紙・1通	え3986-5
(法事招待客名前人数)	(嘉永)	横切紙・1通	え3986-6
(玄曠院三回忌玉樹院一周忌法事関係袋入り)		袋一括/(え4005-1～7は袋一括)・1点	え4005
(袋) * (袋上書)玄曠院様三回忌11月23日、玉樹院一周忌9月23日の所、酉8月22日夕より23日朝まで浄福寺にて法事致執の旨	(嘉永4年)	袋・1点	え4005-1
玄曠院様三回忌十一月廿三日相当玉樹院壹周忌九月廿三日相当之所故障之義有之候ニ付取越西八月廿二日夕より廿三日朝迄於浄福寺法事致執行候ニ付取調帳	(嘉永4年)8月22日	横長半・1冊	え4005-2
(薩摩芋・線香など法事客供物品書)	(嘉永4年)	横長半・1冊	え4005-3
嘉永四亥年五月廿一日夕より廿二日朝迄於浄福寺法事ニ付到来物留	嘉永4亥年5月21日～22日)	横長半・1冊	え4005-4
覚(御布施30疋ほか野菜料香蠟料白米受取書) 浄福寺納所→八田慎蔵様御内瀧澤藤五郎様	8月23日	横切紙・1通	え4005-5
覚(八田喜兵衛御宝10疋ほか6名供養料受取書) 浄福寺納所→八田慎蔵様御内瀧澤藤五郎様	8月23日	横切紙・1通	え4005-6
(8月23日朝食献立)	8月23日	横切紙・1通	え4005-7
(智哲院五十回忌・玄曠院一周忌法事関係書類一括)		袋一括/(え3946-1～3は袋一括)・1点	え3946
(袋) * (袋上書)「智哲院様五十回玄曠院様一周忌取越廿一日廿二日執行取調書類入 嘉永五子年六月」	嘉永5子年6月	袋・1点	え3946-1
嘉永五子年六月廿一日ヨリ廿二日朝迄智哲院様五十回忌玄曠院様御一周忌御法事御執行ニ付取調帳	嘉永5子年6月21日～22日朝	横長半・1冊	え3946-2
嘉永五子年六月廿一日智哲院様五十回忌玄曠院様小祥忌御備もの勤来覚	嘉永5子年6月21日	横長半・1冊	え3946-3

(玉樹院葬式初七日より百ヶ日まで法事関係書類一括)		綴/(え3964-1~12は一綴)・1綴	え3964
(袋) * (袋上書)「玉樹院葬式初七日より百ヶ日迄法事諸事一卷書類入 嘉永五子年九月」	嘉永5子年9月	袋・1点	え3964-1
(香奠日録并金銭差引勘定書) 竹村熊三郎内	(嘉永5)	折紙・1通	え3964-2
覚(初七日より百ヶ日迄法事執行願の条目)	(嘉永5)	横切継紙・1通	え3964-3
(岡嶋莊藏宛八田慎藏妹病没ほか忌服日数書上) * (端裏書)「御忌之様」①八田慎藏→岡嶋莊藏様、②八田義三郎→岡嶋莊藏様、③大瀬義八郎→藤田典膳様、④松本源太郎→原平馬様	①②③④9月25日	横切継紙・1通	え3964-4
(長国寺ほか12か寺御布施20疋宛ほか御布施書上)		横切継紙・1通	え3964-5
(9月28日より29日まで御法事に付献立)		横切継紙/(貼紙あり)・1通	え3964-6
覚(小納戸絹模付幢幡より一封受取書) 浄福寺納所→八田慎藏様御内瀧澤藤五郎様		横切紙・1通	え3964-7
覚(方丈への御布施金2朱ほか仏事関係費用など受取書) 浄福寺納所→八田慎藏様御内瀧澤藤五郎様	11月11日	横切継紙・1通	え3964-8
(方丈様金2朱他三十五日御布施書上)		横切継紙・1通	え3964-9
覚(10月分利足金2分6匁他ノ1兩2分3朱余受取書) 孝三郎→(八田)嘉助様	6月29日	横切紙・1通	え3964-10
(方丈へ御布施金100疋ほか受取書) 浄福寺納所→八田慎藏様御内瀧澤藤五郎様	9月29日	横切紙・1通	え3964-11
覚(八田喜兵衛御香奠受取書) 浄福寺納所→八田慎藏様御内瀧澤藤五郎様	9月29日	横切継紙・1通	え3964-12
(悟達院七回忌・玉樹院三回忌取越し執行一件)		袋一括/(え3962-1~4は袋一括)・1点	え3962
(袋) * (袋上書)悟達院様七回忌12月9日、玉樹院三回忌当月23日の所、9月7日夕より8日朝まで浄福寺にて法事執行の旨	嘉永7甲寅年9月	袋・1点	え3962-1
悟達院様七回御忌玉樹院三回忌取越法事ニ付到来もの覚	嘉永7甲寅年9月8日	横長半・1冊	え3962-2
悟達院様七回忌十二月九日相当玉樹院三回忌当月廿三日相当之所故障之義有之ニ付取越一同来ル七日夕より八日朝迄於浄福寺法事致執行候ニ付諸事取調帳	嘉永7甲寅年9月	横長半・1冊	え3962-3
(9月8日朝皿・汁・粥他100人前献立)		横切継紙・1通	え3962-4
(献光院十七回忌法要関係書類一括)		袋一括/(え3965-1~6は袋一括)・1点	え3965
(袋) * (袋上書)「献光院様十七回忌四月朔日相当ニ付三月晦日夕より四月朔日於浄福寺法事致執行候ニ付取調一卷入」	安政6未年3月	袋・1点	え3965-1
献光院様十七回忌四月朔日相当ニ付来ル晦日夕より朔日朝迄於浄福寺法事執行候ニ付諸事取調帳	安政6未年3月	横長半/(貼紙あり)・1冊	え3965-2
献光院様十七回忌ニ付御備物到来覚	安政6未年3月晦日	横長半・1冊	え3965-3
(3月晦日~4月朔日献立書付)	(安政6未年)3月29日	横切継紙・1通	え3965-4

1.内方/15.儀礼/5.法事

覚(御布施金2朱ほか受取書) 浄福寺→八田慎蔵様御内 瀧澤藤五郎様	(安政6年未)3月29日	横切紙・1通	え3965-5
覚(師岡敬治郎曾祖母御香奠5疋ほか岡野陽之助母・八 田喜兵衛御香奠受取書) 浄福寺納所→八田慎蔵様御 内瀧澤藤五郎様	(安政6年未)4月朔日	横切紙・1通	え3965-6
(悟達院様十三回御法事関係書類一括)		袋一括/(え 3977-1~5は袋一 括)・1点	え3977
(袋) * (袋上書)「悟達院様十三回御法事ニ付取調一卷入」	万延元庚申年9月	袋・1点	え3977-1
覚(御香奠10疋など受取書) 浄福寺納所→八田慎蔵様御 内瀧澤藤五郎様	8日	横切紙・1通	え3977-2
覚(御布施金2朱など受取書) 浄福寺納所→八田慎蔵様 御内瀧澤藤五郎様	9月7日	横切紙・1通	え3977-3
口上(悟達院二十三回忌案内) * 紙背書あり	8月朔日	小紙・1通	え3977-4
悟達院様十三回忌当十二月九日御相当之所故障有之 ニ付九月七日より八日朝迄於浄福寺御執行法事取 調帳	万延元庚申年9月	横長半・1冊	え3977-5
(悟達院・玉樹院法事関係書類)		袋一括/(え 3976-1~3は袋一 括)・1点	え3976
(袋) * (袋上書)「悟達院様十七回御忌玉樹院十三回忌相当 取越四月八日夕より九日朝迄於浄福寺御法事執行取調帳」	元治元甲子4月	袋・1点	え3976-1
覚(御香奠10疋など受取書) 浄福寺納所→八田慎蔵様御 内瀧澤藤五郎様	(元治元年)4月9日	横切紙・1通	え3976-2
悟達院様十七回御忌玉樹院十三回忌当年相当取越四 月八日夕より九日朝迄於浄福寺法事執行取調帳	元治元甲子歳4月	横長半・1冊	え3976-3
(玄曠院十七回忌法事書類)	(慶応3年)	袋/(え3987-1~4 は袋一括)・1点	え3987
(袋) * (袋上書)「玄曠院様十七回御忌御法事ニ付取調一卷 入」	慶応3卯年9月	袋・1点	え3987-1
玄曠院様十七回御忌十一月中御相当之所故障有之ニ 付九月廿二日夕より同廿三日朝迄於浄福寺御法事 御執行諸事取調帳	慶応3卯年9月	横長半・1冊	え3987-2
覚(浄福寺宛御布施代書上) 八田慎蔵内瀧澤藤五郎→浄 福寺御納所	(慶応3年)9月	横切継紙・1通	え3987-3
覚(御布施代金ほか受取書) 浄福寺納所→八田慎蔵様御 内御使中		横切継紙・1通	え3987-4

1.15.6. 先祖供養

(泰全尊牌前へ備草稿綴)	(天保2年)	綴/(え3913-1~2 は一綴)・1綴	え3913
(泰全尊牌前へ備草稿) * (包紙上書)「上 書鳩 九拜」/ (端表書)「天保二歳文月十四日 泰全尊牌前江備草稿 八田 知義六十一歳」 書鳩	天保2文月14日	堅紙・1通	え3913-1
(泰全尊牌前へ備草稿) 書鳩		堅紙・1通	え3913-2

1.16. 寺社

1.16.1. 浄福寺

1.16.1.1. 浄福寺借財関係

(浄福寺関係借用証文綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/ (え3517-1～24は一綴)・1綴	え3517
(封筒) * (封筒上書) 浄福寺知門和尚関係書類入りの旨	文政4巳年12月改	封筒/(え3509～3526は括紐一括)・1点	え3517-1
(文政元年に知門和尚差出しの差引帳面の差引巨細訳合い存ぜず等に付書付)		横切紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-2
立家売渡申一札之事(82坪を26両にて) 大岡之内中挟村売主嘉右衛門印・受人常吉印・口入立合善左衛門印→下横田村幸吉殿	寛政12年申閏4月7日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-3
覚(御発起無私共加入2口半懸け合い50両借用証文) 八田嘉右衛門(印)・関田庄助(印)→浄福寺様	享和2戌年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-4
覚(拙寺発起頼母子連中不足に付1口掛金18両2分借用証文) 田中村浄福寺[印「浄福」]→関田庄助殿	享和3亥年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-5
覚(今晚発当懸調達仕り兼ねに付金15両受取証文) * (端裏貼紙)「金拾八両貳分金拾五両此分三月迄御差引ニ相立メ辻ニ詰込ニ相成候付別紙本證差出候得者御返却可申事」 浄福寺[印「浄福」]→八田嘉右衛門殿	享和3亥年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-6
覚(前書の通り浄福寺要用の金70両借用証文、返済遅滞の節は取り計らう旨) * 要左衛門等への浄福寺の借用証文が前書で浄福寺の捺印あり 田中村御借主要左衛門(印)・同断善右衛門(印)・同断直右衛門(印)・同断平蔵(印)・同断伊惣太(印)、(奥書)関田庄助(印)→八田嘉右衛門様	文化2丑年閏8月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-7
一札之事(拙僧住職の儀に付より処なく入用金のため金子70両借用証文、返済遅滞の節は退院の旨) * (端裏貼紙)「金七拾兩文化七午十二月善光寺飯山両発起ニ付二番取金差引金壹百兩貳分致助成候節返済ニ相成候先方印書出置候付此證文返し□□」 浄福寺(印)・横田村円福寺(印)・加判更科村月宮院(印)他2名、(奥書1)大林寺[印]、(奥書2)関田庄助(印)→富岡要左衛門殿・荒井直右衛門殿・相沢善右衛門殿・北沢平蔵殿・馬場伊惣太殿	文化2丑年閏8月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-8
借用金證文之御事(借主持分高23石余のうち入上初35俵引当にして金35両借用) * (端裏貼紙)「文化七午年金百七兩貳歩飯山善光寺両発起無尽二番取金を以致助成殘金拾五兩證文相改候差引帳面印書有り式之式印」 田中村御借主要左衛門(印)他4名・名主伴十郎(印)・組頭伊惣太(印)・長百姓要左衛門(印)、(奥書)関田庄助(印)→関田莊助様	文化2丑年閏8月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-9
覚(当寺借財片付けに付持分田地を引当に金10両借用証文) 浄福寺[印]、(奥書)世話人相沢善右衛門(印)他4名→八田嘉右衛門殿	文化3寅年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-10
覚(普請等物入りの借財片付け不足金25両不足に付泰全居士並び貴家諸亡霊菩提のため法華千部読経料寄付金受取証文) 浄福寺[印]拾四代知門[印]→八田嘉右衛門殿	文化3寅年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-11

1.内方/16.寺社/1.浄福寺/1.浄福寺借財関係

覚(譲り渡しの東条村地付山立木代金8両2分受取証文) * (端裏貼紙)「卯五月金八両貳分東条村山立木代金」浄福寺[印]、(奥書)世話人伊惣太(印)他4名→八田嘉右衛門殿	文化3寅年12月	堅繼紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-12
覚(無尽金掛金10両受取証文) 光谷長右衛門(印)→柿崎源左衛門殿	文化6巳年12月	堅繼紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-13
覚(普請金差廻しのための無尽金30両内借証文、境内入上物など取り集め12月までにて返金) * (端裏貼紙)「金三拾両 浄福寺知門和尚 文化七午年十二月」 浄福寺[印]→八田嘉右衛門殿	文化7午年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-14
覚(山越信八郎發起発当金5両受取証文、来年二番会の1割2分5厘の割合をもって元利共返金) * (端裏貼紙)「文化七午年十二月廿日浄福寺知門和尚飯山公より銀十枚送賜之内御頼付預置尤此證文□事」 長国寺副守梅芳(印)→浄福寺方丈	文化7庚午年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-15
覚(善光寺無尽損金残金15両借用証文、且中勸化金取集め返済) * (端裏貼紙)「文化九申年十二月金百両取替相成候差引入用書」 浄福寺[印]→八田嘉右衛門殿	文化7午年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-16
覚(20両内借証文) * (端裏貼紙)「未年十二月 一金貳拾両 浄福寺かし」 浄福寺[印]→八田嘉右衛門殿	文化8未年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-17
覚(要用に付金3両時借証文、無尽二番当会料をもって返金) * (端裏貼紙)「未年 一金三両 浄福寺和尚かし」 浄福寺[印]→八田嘉右衛門殿	文化8未年7月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-18
覚(出府に付金5両時借証文、帰国次第返金) * (端裏貼紙)「申二月 金五両 浄福寺知門」 浄福寺[印]→八田嘉右衛門殿	文化9申年2月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-19
添證文之事(金子借用、来年3月中元利とも返済) 善光寺上人内柄澤孝左衛門(印)他2名、(奥書)宗光寺(印)→松代八田嘉右衛門殿	文化8未年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-20
覚(發起頼母子十会目取入金103両2歩頼みに付受取、利分加え申12月会席へ懸ける旨約定) * (端裏貼紙)「文化八未年十二月金百三両貳分 浄福寺發起無尽拾会目取入預金證文下案」 八田嘉右衛門→浄福寺方丈	文化8未年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-21
覚(御口入にて宿方助成金繰り回しの内より金31両余借用、遅滞の時は居屋敷の麻畑譲り渡し代金より返済) * (端裏貼紙)「文化十四丑年二月廿四日浄福寺貳百両無尽小川録兵衛殿取入二付入證文則五拾兩相渡候」 戸隠山勘修院内借用主小川録兵衛(印)・請人善法院(印)・関山請人村越牛兵衛(印)→松代町傳兵衛殿	文化14丑年12月日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-22
覚(御口入にて宿方助成金繰り回しの内より金31両余借用、引当は小境村高辻の内収納粉40俵) 本多豊後守内杉原勝太夫(印)他3名→真田弾正大弼様御内八田嘉右衛門殿	文化14丑年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-23
郷證文之事(領主要用に付お手前より金54両借用、引当として当村収納粉預け置かれ等の旨村役人連印証文) 信州水内郡小境村百姓代助之丞(印)・同村組頭忠左衛門(印)・同村庄屋嘉平次(印)、(裏書)三橋新五右衛門(印)他3名→真田弾正大弼様御内八田嘉右衛門様	文化14丑年11月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3517-24
(浄福寺一件書類綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3519-1～3は一綴)・1綴	え3519

乍恐以書付御答申上候(知門和尚隱当引渡立合の様子件御尋ねに付) 田中村浄福寺居村旦中惣代直右衛門跡目元治幼少ニ付代親類重兵衛印・常右衛門来ル廿八日迄印形御日延・伊惣太→長国寺様御役寮	文政5午年7月	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3519-1
乍恐以書付御答申上候(知門和尚隱居後借財帳引渡しなしの旨) 田中村浄福寺旦中東寺尾村喜右衛門→長国寺様御役寮	文政5午年7月	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3519-2
(知門和尚借財帳引渡の様に付願書) * 前欠		堅切紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3519-3

1.16.1.2. 浄福寺祠堂金貸付一件

(浄福寺祠堂金一件書類綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3516-1～5は一綴)・1綴	え3516
(封筒) * (封筒上書)「文化九申年十二月金三百両善光寺上人様江浄福禪寺祠堂金借付引当地面致相違候二付文政五壬午承札候書類入」 八田知義		封筒/(え3509～3526は括紐一括)・1点	え3516-1
(浄福寺一件、立町の者共書入その俵差入れに付書状) 丹下→六左衛門様	正月25日	横切紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3516-2
(上田氏手元浄福寺一件始末書写し取りご覧に入れるに付書状) 不老拝→伊勢町様	正月25日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3516-3
質入地御借借金添書之事(300両) 善光寺立町門前借り主太兵衛・受人覚右衛門・借り主豊助・受人太七・組頭仁左衛門・庄屋源五左衛門、(奥書)柄沢彦太夫・吉村富右衛門→浄福寺様御役僧中・御檀中	文化9申年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3516-4
①覚(善光寺立町門前太兵衛居屋敷書上)、②覚(善光寺立町門前豊助居屋助敷書上) * ①②下札あり/②下札は豊助が屋敷を所持しない旨は偽りの旨。 ①善光寺立町門前借り主太兵衛・受人覚右衛門・組頭仁左衛門・庄屋源五左衛門、(奥書)柄沢彦太夫・吉村富右衛門→浄福寺様御役僧中・御檀中、②善光寺立町門前豊助・受人太七・組頭仁左衛門・庄屋源五左衛門、(奥書)柄沢彦太夫・吉村富右衛門→浄福寺様御役僧中・御檀中	①②文化9申年12月	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3516-5
(隠居知門和尚馴合如何心得か承知したく追々再建手配の儀、知門和尚取り入れの金子探索仕りたきに付願書) * (端裏貼紙)「此上懸合有之候節御注入用書類」		堅紙・1通	え3815

1.16.2. その他

預り申金子之事(岩野村分中嶋新田高1石6斗8升2合5勺の地所を書入として新金5両年中2割の利足に付) * (包紙上書)「覚 水野左衛門殿指引手形」 預り主水野清五郎(印)・請人堤七郎兵衛(印)・岩野村肝煎左右衛門(印)・組頭浅右衛門(印)・同断太兵衛(印)・長百姓市右衛門(印)・同断利右衛門(印)→佐藤九平殿	享保5年子3月	堅継紙・1通	え3837
(正法寺関係一括)		包紙一括/(え3835-1～3は包紙一括)・1点	え3835
(包紙) * (包紙上書)「質入證文 正法寺」		包紙・1点	え3835-1
御借用申金子之事(金11両を来る戊2月中まで5分の利に付) かり主正法寺元立[印]・本町肝煎治郎兵衛(印)→	享保14年12月日	堅紙・1通	え3835-2

1.内方/16.寺社/2.その他

八田嘉介殿・八田長左衛門殿 売渡申田畑之事(申・酉年の御未進御年貢に差し詰まり、幾之丞分田ほか合わせて4石7斗3升9合の所、11両にて売り渡すに付) 雨宮村新平(印)・肝煎次兵衛(印)・組頭忠左衛門(印)・同断義左衛門(印)・長百姓作兵衛(印)・口入源蔵(印)→正法寺様 覚(金200両6ヶ月分年中1割の月掛駄金附けにて預金仰せ渡され受取書) *雛形 八田嘉右衛門印→大嶋武右衛門殿・斎藤善九郎殿	享保14年酉11月	縦紙・1通 横切紙・1通	え3835-3 え3836
--	-----------	---------------------	----------------------

1.17. 諸芸

1.17.1. 茶の湯

(茶会席式次第綴)		綴/(え3996-1~9は一綴)・1綴	え3996
十月十一日 金井革殿御茶附 * (端裏書)「文政八酉年十月十一日 金井革殿御会席附」	文政8酉年10月11日	小紙・1通	え3996-1
八月十五夜(茶会次第)	8月15夜	横切継紙・1通	え3996-2
八月十八日 八田鉄之助亭(茶会次第)	8月18日	横切継紙・1通	え3996-3
四月廿日 沢勇記殿亭(茶会席初座・後入・次第)	4月20日	横切継紙・1通	え3996-4
十一月十九日 恩田右膳殿二而(茶会次第)	11月19日	横切継紙・1通	え3996-5
九月廿九日 沢勇記殿御茶(茶会次第) * (端裏書)「文政八乙酉年九月廿九日 沢勇記殿御茶野附会席」	9月29日	横切継紙・1通	え3996-6
(茶会次第)		折紙・1通	え3996-7
八月拾九日 茶釜明丈助殿二而(茶会次第)	8月19日	折紙・1通	え3996-8
十月十六日 恩田右膳殿御品(茶会次第) * 後欠	10月16日	横切継紙・1通	え3996-9
八田嘉輔様御茶料(各種茶料金メ2両2分2朱書上) 河村宗順	巳8月	縦継紙・1通	え3907
八田嘉助様御茶料(各種茶料金メ4両1分2朱書上) 河村宗順→月岡万里様	丑11月	縦継紙・1通	え3908
八田様御茶料 河村宗順(印)	亥11月	縦紙・1通	え3924

1.17.2. 占術

筮占制式 観象齋→八田知義子	文化5年戊辰夏5月	縦継紙・1通	え3906
----------------	-----------	--------	-------

1.18. 諸書類

1.18.1. 澤守禮ほか印書関係

(澤守禮印書関係綴)		綴/(え3973-1~52は一綴)・1綴	え3973
(袋) * (袋上書)「澤守禮殿御差引書其外印書入」		袋・1点	え3973-1
(書状、ご厄介の義恐れ入り山野も差し上げる様御向方君へ仰せ上げ願いに付) * (端裏書)「御請」 認一拝	4月19日	横切継紙・1通	え3973-2

(書状、部屋より伊勢町公へ人参ると申す沙汰案内承りに付)		横切継紙・1通	え3973-3
(書状、御道具引渡し願) *下書	6月2日	横切継紙・1通	え3973-4
(書状、佳三郎方へ御渡し下され他金主過半相済みに付) 道次郎→(八田)嘉右衛門様当用	6月3日	横切継紙・1通	え3973-5
(書状、内々申し上げたき事御あん主様まで先頃御願にて御同所様より仰せ下され色々差し支えもあり私方年来傳藏にて申すにて畏れながらお逢い下さるようお願いにて付)	卯月9日	横切継紙・1通	え3973-6
(書状、御直談の仕りたく何れも後日の処道具にて御振替えにて付)	27日	横切紙/(虫損)・1通	え3973-7
(書状、内談向片付き方延々になり繰り合わせになりご光来下されたきに付) *誂了後、火中に投じるべき旨端裏書あり →御内□様御衆中	9月4日	横切継紙・1通	え3973-8
(書状、先刻も申し遣わすも挨拶なくに付) * (端裏書)「奉復」 珍西拜	19日	横切紙・1通	え3973-9
(書状、明日昼時より佳三郎様方御道具見せ下さるにて割付の金主方一同見せ下さるやご案内下さりたきに付)	6月6日	横切継紙・1通	え3973-10
覚(屏風1双ほか縁組み関係道具書上)		横切継紙・1通	え3973-11
(書状、伊勢町宛大小1通預け置き拵え他へ遣わしにて戻り私大差し上げるべく宜しく仰せ下さりたきに付) 佳三郎→一泡庵様内用申上候	10月17日	横切紙・1通	え3973-12
(書状、昨日道具御返し下され落手にて近日参上に付) 勇記→(八田)嘉助様	9月27日	横切紙・1通	え3973-13
(御服紗1つ・御風呂敷1つ返上に付書付)		小切紙/(え3973-13と15の間に挟込)/(貼紙脱落カ)・1通	え3973-14
覚(申年より金15両・亥年より金23両・丑年より金20両口入れ金酉年より卯年まで請取金書上)		横切継紙・1通	え3973-15
(書状、柴町より別紙の通り申し来たりて何れなるとも宜しきよう成し下さるようお願いにて付) 一泡庵→(八田)嘉助様	閏7月4日	横切紙・1通	え3973-16
(書状、先達て御取り替えの御手紙相済みと存知、又別紙の次第取り計らい然るべくとの何れとも御教諭下されたきに付) 佳三郎申上→一泡庵主様	閏7月2日	横切紙・1通	え3973-17
(書状、八田の方大小の拵え15両にてお遣わしに付) 左堂→佳三郎当用	閏7月朔日	横切継紙・1通	え3973-18
(文政7申何月金15両他メ金58両取替金利分無尽割り戻しにて受取に付) *下書		折紙・1通	え3973-19
(丑6月中勝手向き調べ初免の節いせ町公御方調べにて書付)		横切継紙・1通	え3973-20
(23両の義5分利15年賦にて御極め、御手紙頂戴致し、利を元へ直し25両1分3匁にて勘定に付書付)		切紙・1通	え3973-21
(書状、愚妻よりお縋り申し上げ御内々の義願い上げに付) * (端裏書)「御内々申上」 認人拜上	4月11日	横切継紙・1通	え3973-22
(書状、守禮様差引にて承知、親類様方取調に付) (八	4月19日	横切継紙・1通	え3973-23

1.内方/18.諸書類/1.澤守禮ほか印書関係

田)嘉右衛門→勇記様			
(書状、別紙願ひ申し来たり早速差し上げ御入手なさるべくに付) 祝為拜→書鳩様	□5日	横切紙・1通	え3973-24
(書状、師岡・小山田氏などへ御見舞いの節お立ち寄り下されたきに付) * (端裏書)「御内覧可被成下候」	7月14日	横切継紙・1通	え3973-25
(書状、明日昼時より佳三郎方懸り御内々申したくに付) 造酒助→(八田)嘉右衛門様当用	6月7日	横切紙・1通	え3973-26
(断簡) * 前欠 一泡庵拜→(八田)嘉助様		切紙・1通	え3973-27
(書状、その節御内談の金子2両御預け成し下さり確かに落手に付) 一泡庵拜→(八田)嘉助様	8月17日	横切紙・1通	え3973-28
(書状、別紙申し来る旨御勘弁成されたくに付)		切紙・1通	え3973-29
(書状、伊勢町公いまだ御承知致さず今日押しかけて乗り物・長持・屏風・大道具迄近づき上の様子、御挨拶に矢嶋参りに付) →前寒松山様へ		横切継紙・1通	え3973-30
(書状、寺社差引御届け承知にて如何差引か親類打ち寄せ取調致したきに付) 勇紀→(八田)嘉右衛門様内用	4月16日	横切紙・1通	え3973-31
(書状、御書中の趣承諾にて明日お出でご覧下されたに付) 造酒助→(八田)嘉右衛門様当用	6月3日	横切継紙・1通	え3973-32
前寒松山様へ御内話(借財取調帳に書のせられる金高多く迷惑等に付) →前寒松山様		横切継紙/(下札あり)・1通	え3973-33
(書状、伊勢町公へ外々金主内実の様子申上げるに付) →前寒松山様		小切紙/(2枚)・1通	え3973-34
覚(文政7申年12月金15両他、58両口入金、酉5月より卯12月まで、金25両2分受取に付)		横切継紙・1通	え3973-35
(書状、柴町先日より2、3両借用申し来たりに付) →伊勢町様	9月16日	横切紙・1通	え3973-36
口上(味噌仕入れのための塩糶の料、外たきもの代去年の残金などに困りいせ町様へおすがりしお救いを願うに付)	4月13日	折紙・1通	え3973-37
(書状、昨日申し上げし願ひのこと呉々も願ひ申し上げるに付) * (端裏書)「口上」/え3973-37と関連	4月14日	横切紙・1通	え3973-38
(書状、内達の儀至極振り合い宜しくに付) * (端裏書)「御内覧可被成下候」	9月3日	横切継紙・1通	え3973-39
(書状、柴町へ御届けの義借用御差引差し上げ分、親類相談の上諸道具にて分散、柴町方へ御下金もあり、御差引貰い申す旨に付)	8月1日	横切継紙・1通	え3973-40
(書状、ぐり菓子入れの案内に付) * (絵図有り)「ぐり菓子入之図 サシ渡し八寸程 高サ七寸程」		横切紙・1通	え3973-41
(書状、両品をご覧に入れたきも外へ遣わしのため金子にて差し戻すに付) →御庵主様	28日	横切紙・1通	え3973-42
(書状、柴町へ贈進の品ほか両品を高覧の上よろしく取り計らいに付) 一泡庵→伊勢町様	10月28日	横切紙・1通	え3973-43
(書状、金子15両柴町より出来に付) 祝為→いせ町様	9月9日	横切継紙・1通	え3973-44
(書状、伊勢町公も別書とも拝見仰せ付けられ、茶用仕るべく有り難くに付) 認人→御庵主様	10月28日	横切紙・1通	え3973-45

(書状、柴町辺りへ参り遣わすに付) 一泡庵→いせ町様	9月5日	切紙・1通	え3973-46
(書状、先頃内々願いの大小御預かり御書付御勘弁下される様願い上げに付他) 認人申上→一泡庵様	10月12日	横切継紙・1通	え3973-47
(書状、柴町より別紙の通り参上願いたきに付) 一泡庵拝→(八田)嘉助様	菊月26日	横切紙・1通	え3973-48
(書状、道具いせ町公へ願い上げ安心に付)		横切継紙・1通	え3973-49
(書状、いせ町公へも書替印書下書き内々ご覧に入れに付) 認人申上→一泡御庵主様	9月23日	横切継紙・1通	え3973-50
(書状、柴町より度々申し来たる義別紙の通り申し入れにてそのまま差し上げ、御高覧されたきに付) 船当→(八田)嘉助様	10月13日	横切紙・1通	え3973-51
(書状、悴身の上一家の義にて物懸のところ御勘弁をもって道具引当3つばかり御勘弁下さるよう伊勢町様へ願い上げに付) *(端裏書)「拙書申上候別紙」	10月12日	横切継紙・1通	え3973-52

1.18.2. 安政三丙辰年正月中よりの参簡

(書状綴)		綴/(え4004-1～48は一綴)・1綴	え4004
(袋) *(袋上書)「安政三丙辰年正月中より之参簡入」	安政三丙辰年正月	袋・1点	え4004-1
(書状、御内用のうち3品のうち1品は御用のため残りは返送により落手されたきに付) 水井忠藏・春日儀左衛門→八田慎蔵様	2月11日	小切紙・1通	え4004-2
(書状、井草代金の残金に付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	2月11日	横切紙・1通	え4004-3
(書状、井草代金35両を後刻差上げるに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	11日	横切紙・1通	え4004-4
(書状、碁盤石拝借願いに付) (松本)源八→伊勢町様	6日	横切紙・1通	え4004-5
(書状、大切の短刀拝借に付柴野へも礼) (八田)慎蔵→御兄様	6日	横切紙・1通	え4004-6
(書状、酒店の方への払い不足などに付) (八田)慎蔵→松山町様御内披	6日	横切紙・1通	え4004-7
(書状、柴十へ20日までに是非上納に付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	19日	横切紙・1通	え4004-8
(書状、別紙私方までお返しに付) (八田)嘉助→(八田)慎蔵様御用	14日	横切紙・1通	え4004-9
(書状、江戸表地震ため10月7日のご機嫌伺い不参に付)		横切紙・1通	え4004-10
(書状、綸物手に入れるに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様	正月11日	横切紙・1通	え4004-11
(書状、養父治兵衛病氣養生叶わず死去の通知)	正月10日	横切紙・1通	え4004-12
(書状、壺拝借へのお礼などに付) (松本)嘉十郎→伊勢早様	14日	横切紙・1通	え4004-13
(書状断簡) 松本嘉十郎→八(八田)慎蔵様		切紙・1通	え4004-14
覚(金2両2分受取書) 松屋長三郎(印「信州松代中町松屋」)→八田鉄治郎様御内	正月17日	横切継紙・1通	え4004-15
(卵焼き・酒など受領書) 松屋長三郎(印「信州松代中町	正月17日	横切継紙・1通	え4004-16

1.内方/18.諸書類/2.安政三丙辰年正月の中よりの参簡

松屋J)→八田旦那様御内			
(書状、病人症状通知・御書入手礼状) * (端裏書)「御請」→竹山丁	正月15日	横切継紙・1通	え4004-17
(書状、栄八16日出立の取り決めに付) 束→(八田)慎蔵様	正月14日	横切継紙・1通	え4004-18
(書状、2両2分の支払い7種まで日延べの上拝に付) 柴町拝→いせ町様	正月12日	横切紙・1通	え4004-19
(書状、別紙の件同前当惑の次第に付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	14日	横切紙・1通	え4004-20
覚(青銅10疋当辰年始礼銭受取御納戸へ収めに付) 関山平治(印)→八田慎蔵殿	安政3辰年正月	小切紙・1通	え4004-21
(書状、鍔公至極様子よく安心願に付) * (端裏書)「拝答」陽之助	9日	小切紙・1通	え4004-22
(書状、御蔵開きについて勘定所の方取り計らいに付) * (端裏書)「敬復」寺町	正月10日	横切継紙・1通	え4004-23
(書状、松本氏より金子の通知を落手のこと) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	正月4日	横切継紙・1通	え4004-24
(書状、悴稲荷山へ行き一両日中挨拶に付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	16日	小切継紙・1通	え4004-25
口上覚(父治助病氣養生叶わず死去通知) 馬喰町民作→八田嘉右衛門様御取次中様	正月16日	小切紙・1通	え4004-26
(書状、今夕願に付面会願ならびに水井方へも仰せ越せられたく旨返答) * (端裏書)「書入拝答」/勘返状 陽之助	正月18日	横切紙・1通	え4004-27
(書状、唐筆4本拝借に付) 松山丁→鏡屋町様		横切紙・1通	え4004-28
(書状、寺町いせ屋下屋敷手入の様に付) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様		横切継紙・1通	え4004-29
(書状、年始の祝詞) ほていや七兵衛・儀兵衛・文次郎→八田慎蔵様参人御中	正月2日	折紙・1通	え4004-30
大極之図・大極々		小切紙・1通	え4004-31
(書状、出来次第差し上げに付) * (端裏書)「尊酬」(八田)傳兵衛	朔日	横切継紙・1通	え4004-32
(書状、刀の値段の問合せに付) 五兵衛→いせ町様御家内様	3日	横切継紙・1通	え4004-33
(書状、金1分2朱拝借願に付) 幾三郎→(八田)慎蔵様	正月27日	横切紙・1通	え4004-34
(書状、年始御祝詞申上度に付) 炭屋彦五郎→菊屋傳兵衛様・塩屋太三朗様・藤屋[](綴じて読めず)	正月2日	横切紙・1通	え4004-35
(書状、安二郎『日本外史』に読めぬ字あるに付字典拝借願) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	17日	小切紙・1通	え4004-36
(書状、その金子の義私方にて引受け兼に付)	正月23日	横切継紙・1通	え4004-37
(書状、御用番大御当番教示願) * 勘返状 (八田)慎蔵→(関田)莊助様	(2月)11日	横切継紙・1通	え4004-38
(書状、御用番恩田頼母殿・御大当番高田幾太殿通知に付) 関田莊助→八田慎蔵様	2月11日	横切継紙・1通	え4004-39
(書状、上納金日限相違無く取計いの旨注意に付) (水井)忠蔵・(春日)儀左衛門→(八田)慎蔵様・喜兵衛様	正月14日	横切継紙・1通	え4004-40

(書状、八田両家昨上年上納込の分早急に出金催促に付) (片桐)重之助→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様	正月14日	小切継紙・1通	え4004-41
(書状、内談の件承り願) * (端裏書)「文言書入致候而尊書ハ御預置申候」		小紙・1通	え4004-42
(書状、大小豆・そば等上方風のところを持参等に付)	正月20日	横切継紙・1通	え4004-43
(書状、新年の御慶び申上、御品晩酌に使用等に付) 熊 三郎→(八田)慎蔵様	正月17日	横切継紙・1通	え4004-44
(書状、1曲贈呈礼状、2種呈上に付) (廣田)筑後→(八 田)慎蔵様	正月25日	折紙・1通	え4004-45
(書状、初穂料金100疋神馬料金100疋神納に付) 廣田 筑後正陽(花押)→八田慎蔵様	正月25日	折紙・1通	え4004-46
(書状、年頭の祝詞に付) 桑名御定宿銭屋又左衛門→八 田嘉右衛門様貴下	正月2日	折紙・1通	え4004-47
(書状、年始祝詞および御肴1苞進上に付) 近藤六左衛 門弘敬(花押)→八田慎蔵様参人御中	正月15日	折紙・1通	え4004-48

1.18.3. 依田市右衛門関係

(依田市右衛門書状包紙一括)		包紙一括/(え 3922-1～5は包紙 一括)・1点	え3922
(包紙) * (包紙上書)「江府依田氏二月到来手紙并二月十五 日此方より遣候返書草稿入置」	寅2月15日	包紙・1点	え3922-1
(依田市右衛門より年頭挨拶状) * (包紙上書)「八田孫 左衛門様・同嘉右衛門様 依田市右衛門」 依田市右衛門 繁(花押)→八田孫左衛門様・同嘉右衛門様人々御中	正月25日	折紙・1通	え3922-2
(書状、依田市右衛門より小布施栗贈呈・上田大隅守伝 参の件等に付礼状) * (包紙上書)「八田孫左衛門様・同 嘉右衛門様 依田市右衛門」 依田市右衛門繁(花押)→八 田孫左衛門様・同嘉右衛門様御返答	12月	折紙・1通	え3922-3
(書状、桐油多葉粉入進上に付) (依田)市右衛門→(八 田)嘉右衛門様	正月25日	横切紙・1通	え3922-4
(書状、年頭礼状控) 八田嘉右衛門判・八田孫左衛門判→ 依田市右衛門様・依田久助様	2月15日	横切紙・1通	え3922-5

1.18.4. 諸方到来之文通

(諸方書状一括)		綴/(え3947-1～ 40は一綴)・1綴	え3947
(袋) * (袋上書)「諸方到来之文通」/(袋貼紙)「不用」		袋/(付箋あり)・1 点	え3947-1
(書状、先日信斎参上し口達の趣申し聞き何とも恐れ 入り等に付) * (端裏書)「別啓」	29日	横切継紙・1通	え3947-2
(書状、先刻は客のために御返事延引となり、それにつ いて御容赦を請う旨)	6月29日	横切継紙・1通	え3947-3
(書状、八田君御用向きにて中野表へ御越しの由承知 等に付) 前田宗右衛門→和合院様	11月24日	横切継紙・1通	え3947-4
(書状、淡翁へ仰せ聞かざる一件来春まで決着延引願 などに付) * (端裏書)「肅誠」 金碧拝→學道老公	11月晦日	横切継紙・1通	え3947-5

1.内方/18.諸書類/4.諸方到来之文通

(書状、東条里方隠居と兩人へ仰せ含ませ後妻をむかへるようと御意見願に付) あんどふゑん生内→和合院様御元へ	2月20日	折紙・1通	え3947-6
(書状、昨日は御光来の節無礼への詫び等に付) * (端裏書)「昨日廿五日当直之談申立候節返書」 前田宗右衛門→和合院様	11月2□(綴で判読不能)日	横切継紙・1通	え3947-7
(書状、昨日仰せ聞かされた御進物遣わされ確かに受取り披露に付) * (端裏書)「文政五年十一月廿五日前田氏より返書也」 前田宗右衛門→和合院様貴答	11月25日	横切継紙・1通	え3947-8
口上(昨夜到着とのこと承知の旨ならびに御旅宿で面会に付) 前田宗右衛門→和合院様	11月24日	横切紙・1通	え3947-9
(書状、御使下され、珍しき御品下された御礼ならびに近日武左衛門宅にて拜話仕度旨など他) 伊藤重蔵→和合院様御請	11月21日	横切継紙・1通	え3947-10
(書状、八田嘉右衛門代御機嫌窺として御当地出張とのことで、縞縮緬1反など進上する付) 和合院→梶(梶田)隼人様	11月23日	横切継紙・1通	え3947-11
(書状、只今より御光来下さるべき旨) 前田宗右衛門→和合院様	12月朔日当賀	横切継紙・1通	え3947-12
(書状、大鯨魚進上に付披露) 宗右衛門→和合院様貴酬	11月27日	横切継紙・1通	え3947-13
口上(只今より御光来なさるべき旨) * (端裏書)「館江罷出候様案内之節手紙此節大門迄亀や案内」 前田宗右衛門→和合院様	霜月25日	横切紙・1通	え3947-14
(書状、この間頼みおいた御影御守只今飛脚にて届き受取に付) 梶田隼人→和合院様	11月晦日	横切継紙・1通	え3947-15
(書状、嘉右衛門殿御各代として御出なされ御品下された御礼に付) 梶田隼人→和合院様	11月23日	横切紙・1通	え3947-16
(書状、この品進覧仕り御笑納下されたき旨) * (端裏書)「十一月廿七日」 梶田隼人→和合院様	11月27日	横切継紙・1通	え3947-17
(書状、御借財のことについて不実の取り計らいへの詫、年貢米を引当に金500両時借同様に借金願等に付)	午11月26日	横切継紙・1通	え3947-18
(書状、明朝日料理進上致したく、御入来下されたきに付) * (端裏書)「十一月晦日到来」 前田宗右衛門→和合院様	11月晦日	横切紙・1通	え3947-19
(書状、先夕お話にあった塩鰯等に付少し献上) 刈穂園守常→学道大人	11月5日	横切継紙・1通	え3947-20
(書状、昨夕の御厚情の趣のあらましを重役どもへも申し聞ため、今夕方7時頃より重蔵宅に御光来されたきに付) 前田宗右衛門→和合院様	11月27日	横切継紙・1通	え3947-21
(書状、主人が豊後守より菓子箱1折差し送られるに付) * (端裏書)「十一月廿七日」 梶田隼人→和合院様	11月27日	横切紙・1通	え3947-22
(書状、御主君御用向にて御出役のため貴殿御代わりに御出向・縞縮緬1反拝受に付) 伊藤重蔵→学道法印	11月24日	横切継紙・1通	え3947-23
(書状、甚だ下製ながら先々御笑い草のため海苔を差し上げる旨並びに御発途の御様子を承る上は御暇乞に参上するに付他)	季冬4日	横切継紙・1通	え3947-24
(書状、何卒敝亭へも御逗留の中御光臨を願う旨並びに亀魚が少し手に入ったため、御笑い草に高覧に入	11月26日	横切継紙・1通	え3947-25

申すに付他) (伊藤)重蔵拜→学堂尊兄玉案下 (書状、両村の者共罷り出一条申し付けた所、田畑とも歩面の所不分明のため帰村の上相改めるに付他) 犬井条左衛門→松(松井)和(和七)君	暮冬5日	横切継紙・1通	え3947-26
(書状、只今飯沼村与頭瀧蔵と申す者罷り出、来意に任せ御旅宿へ差し出すに付) 犬井条左衛門→和合院様用事	霜月4日	横切紙・1通	え3947-27
(書状、御直約の通り御発途の前に御面会の事に付) 伊藤重蔵→和合院様差上置	□(虫損)月朔日	横切継紙・1通	え3947-28
(書状、昨日の馳走の御礼ならびに只今より尊来下される様にとの通知に付) 守常→和合君子	12月3日	切継紙・1通	え3947-29
(書状、昨日の鮓の御礼ならびに今夕方7時頃に訪問下される様にとの通知に付) 守常→学道大人	12月4日	横切紙・1通	え3947-30
(二白御重膳残風呂敷共返上仕候、書付)		切紙/(え3947-30と32の間に挟み込み)・1通	え3947-31
口演(種々の念入りの御馳走の御礼等に付) 和合院	11月18日	横切紙・1通	え3947-32
(書状、昨日の御訪問の御礼等に付) 守常→学道大人	12月4日	横切継紙・1通	え3947-33
(書状、只今より御光来下さるべき旨) 前田宗右衛門→和合院様	12月4日	切紙・1通	え3947-34
(書状、丸子・飯沼在村の者ども昨晚呼出し差し遣わし、利直に証文早速認め遣わされ置、御礼申し上げるに付) 犬井条左衛門→和合院様内用書	11月4日	横切継紙・1通	え3947-35
(書状、岩村田法華堂御房より傳兵衛へ引き受けし質地について、10年間1割の利潤を差し出す上は本金は御返済に及ばず、地所差し戻すと申し聞くに付) 八田嘉右衛門→和合院様	11月22日	横切継紙・1通	え3947-36
(書状、珍しき兩種御恵投下され、頂戴仕るに付御礼) 守常→和合院様	11月晦日	横切継紙・1通	え3947-37
(書状、篠沢の義は当半金、残年賦にて然るべき旨ならびに法華堂の義は10年に取り決めなさるべき旨他) 書鳩→学道様尊報	11月29日四半時着	横切継紙・1通	え3947-38
(書状、諸方片付け参宮仕りたきに付) 書鳩→群神山様高床下	11月26日夜	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え3947-39
(書状、嘉右衛門一同窺うべき所、同人主用のため中野表へ出役し、帰りの程も計りがたく拙院が八田の代わりに昨宵出張に付)	11月23日	横切継紙・1通	え3947-40

1.19. その他

御扱証文之事(仲間引訳の儀差し引き割合御世話になり旦那様お心添え下さる故双方取替証文の通り和談に付) (佐藤)惣兵衛(印)・(若林)庄兵衛[印]→(村田)儀兵衛殿	宝暦3年西4月	堅紙・1通	え3776
覚(若林餘慶入れ置き分金73両余松代表お取り扱いにて差引勘定相違無く儀兵衛殿証文差し出し引き訳けに付) 若林庄兵衛[印]・佐藤惣兵衛(印)→村田儀兵衛殿	宝暦3年西4月	堅継紙・1通	え3777
為取替一札之事(新銀御吹替のため引替の路銀支給の	文政7申6月	堅紙・1通	え3841

1.内方/19.その他

<p>旨) 信州松代城下町八田嘉右衛門手代傳兵衛印・立入数 寄屋河岸田中新助印→殿村佐五平殿店支配人与平治殿 (櫻井健治他17名、人名など書付)</p>		横切継紙/(え 3659~3719は紙 縫一括)・1通	え3675
<p>(裾花川洲鉄砂開発の件内々申上書)</p>	10月5日	半/(え3509~ 3526は括紐一 括)・1冊	え3522
<p>覚(金2両3分ほか忠太上納金書上)</p>		縦紙・1通	え3816

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

2. 店方

2.1. 酒造方

2.1.1. 酒造鑑札

(酒造拝借願に係る山田地家屋鋪書上一括)		綴/(え3582-1~2は一綴)・1綴	え3582
覚(私見世名代条助造酒仕入拝借願に付持分山田地家屋鋪書上帳) 八田孫左衛門(印墨消)・御請合宇佐美清十郎(印墨消)→水井久太夫様・徳嵩甚蔵様	安永8年亥10月	横半半/(え3582-1~2は一綴)/(最終丁切損あり)/(帳はずれ)・1冊	え3582-1
覚(私見世名代傳兵衛造酒仕入拝借願に付持分山田地家屋鋪書上) 八田孫左衛門(印墨消)・御請合宇佐美清十郎(印墨消)→徳嵩甚蔵様・大嶋小左衛門様	天明元年丑10月	横半半・1冊	え3582-2
当九月中御改正被 仰出候ニ付惣仲間棄捐相成候金高取調樽屋御役所江差上候写(樽屋株所持者88人棄捐金ノ118万7799両3分銀10匁2分6厘1毛金錢書上) * 写	(寛政元年)西12月	横切継紙・1通	え3564
乍恐以書付奉願候(豊田傳兵衛の酒蔵米高借屋順助引き受け願書下書) 伊勢町豊田傳兵衛・同人借屋順助、(奥書)名主・長百姓→検断御助御町年寄衆中	安政3辰年9月	縦紙・1通	え3933
一札之事(酒造米高500石代金700両鑑札譲渡にて内金100両受取、残金は松代藩許可の上官札で受取約定証文) * 下書 松代町売主傳兵衛・親類傳右衛門・立入人祖兵衛→小諸御藩御支所徳右衛門殿		縦紙・1通	え3889

2.1.2. 酒造入用

(元掛椀米共此白米144石2斗7升ほか米代金書上)		折紙/(綴穴あり)・1通	え3811
---------------------------	--	--------------	-------

2.1.3. 棚卸

卯春酒店棚卸勘定帳	卯	横長半/(虫損甚大)・1冊	え3935-1
-----------	---	---------------	---------

2.1.4. 借入金

(八田孫左衛門見世名代内借金拝借証文綴)		綴/(え3581-1~11は一綴)・1綴	え3581
指上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町条助造酒仕入に付内借金200両元利金217両2分にて請取一札並びに安永9年11月付内借金200両元利金211両2分上納内訳書付貼紙) * (端裏書)「子七月皆済 八月二日消印済」 八田孫左衛門見世名代伊勢町条助(印墨消)・御請合八田孫左衛門(印墨消)・同断宇佐美清十郎(印墨消)、(奥書)小野喜太右衛門(印墨消)・山越六郎右衛門(印墨消)→水井久太夫様・徳嵩甚蔵様	安永8亥年11月	縦継紙/(貼紙あり)・1通	え3581-1
指上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町条助造	安永8亥年10月	縦継紙・1通	え3581-2

酒仕入に付内借金元利とも105両2分拝借証文) * (端裏書)「子二月返り證文消印済」 八田孫左衛門見世名 代伊勢町条助(印墨消)・御詰合八田孫左衛門(印墨消)・同 断宇佐美清十郎(印墨消)、(奥書)小野喜太右衛門(印墨消) ・山越六郎右衛門(印墨消)→水井久太夫様・徳嵩甚蔵様 (白紙)		切紙/(え3581-3 ~4は一綴)・1通	え3581-3
指上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町条助造 酒仕入に付内借金100両元利金106両3分銀7匁5分拝 借証文) * (端裏書)「子六月済消印不残八月二日済」 伊 勢町八田孫左衛門見世名代条助(印墨消)・御請合八田孫左 衛門(印墨消)・同断宇佐美清十郎(印墨消)、(奥書)小野喜 太右衛門(印墨消)・山越六郎右衛門(印墨消)→水井久太夫 様・徳嵩甚蔵様	安永8亥年12月	縦継紙/(え 3581-3~4は一 綴)・1通	え3581-4
指上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町条助造 酒仕入に付内借金160両元利金171両1分拝借証文) * (端裏書)「丑七月十一日諸々消印済」 八田孫左衛門見 世名代伊勢町条助(印墨消)・御請合八田孫左衛門(印墨消) ・同断宇佐美清十郎(印墨消)、(奥書)小野喜太右衛門(印墨 消)・山越六郎右衛門(印墨消)→水井久太夫様・徳嵩甚蔵様 ・大嶋小左衛門様	安永9子年12月	縦継紙・1通	え3581-5
指上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛 造酒仕入に付内借金100両元利106両3分2朱拝借証 文) 八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛(印墨消)・御請 合八田孫左衛門(印墨消)・同断宇佐美清十郎(印墨消)、(奥 書)小野喜太右衛門(印墨消)・山越六郎右衛門(印墨消)→ 徳嵩甚蔵様・大嶋小左衛門様	天明元丑年11月	縦継紙・1通	え3581-6
御借用申證文之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵 衛造酒仕入に付内借金200両元利金208両3分拝借証 文) 八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛(印墨消)・八田 孫左衛門(印墨消)・宇佐美清十郎(印墨消)→大嶋小左衛門 様・徳嵩甚蔵様	天明5巳年11月	縦継紙・1通	え3581-7
指上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛 造酒仕入に付内借金100両元利金105両2分2朱拝借 証文並びに金250両元利金263両2朱上納内訳書付貼 紙) * (端裏書)「丑十一月証文寅二月済口證文同晦日消 印」 八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛(印墨消)・御請 合八田孫左衛門(印墨消)・同断宇佐美清十郎(印墨消)、(奥 書)小野喜多右衛門(印墨消)・山越六郎右衛門(印墨消)→ 徳嵩甚蔵様・大嶋小左衛門様	天明元丑年10月	縦継紙/(貼紙あ り)・1通	え3581-8
差上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛 造酒仕入に付内借金250両元利金263両2朱拝借証 文) 八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛(印墨消)・御請 合八田孫左衛門(印墨消)・同断宇佐美清十郎(印墨消)、(奥 書)小野喜多右衛門(印墨消)・山越六郎右衛門(印墨消)→ 大嶋小左衛門様・徳嵩甚蔵様	天明2寅年11月	縦継紙・1通	え3581-9
指上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛 造酒仕入に付、内借金200両元利金211両1分にて請 取に付) * (端裏書)「巳ノ二月返り證文」 八田孫左衛門 見世名代伊勢町傳兵衛(印墨消)・御請合八田孫左衛門(印 墨消)・同断宇佐美清十郎(印墨消)、(奥書)小野喜太右衛門 (印墨消)・山越六郎右衛門(印墨消)→大嶋小左衛門様・徳 嵩甚蔵様	天明4辰年10月	縦継紙・1通	え3581-10
差上申一札之事(八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛 造酒仕入に付、内借金100両元利106両1分拝借証文) 八田孫左衛門見世名代伊勢町傳兵衛(印墨消)・八田孫左衛 門(印墨消)・宇佐美清十郎(印墨消)、(奥書)小野喜太右衛 門(印墨消)・山越六郎右衛門(印墨消)→大嶋小左衛門様・	天明4辰年11月	縦継紙・1通	え3581-11

徳嵩甚蔵様 御預被成下候酒造金證文之御事(八郎左衛門跡藏にて酒造を私共へ悉皆お任せのため金200両拝借に付き返済の件規定書) 森村造主和七(印)・酒造元方世話人民左衛門(印)・右同断谷蔵(印)・親類彦七(印)・右同断多重郎(印)・受人戸左衛門(印)・右同断金兵衛(印)、(奥書)岡川左十郎(印)→岡川左重郎様御内	文政元寅年12月	縦継紙・1通	え3580
---	----------	--------	-------

2.1.5. 内方より拝借米金・上納金

(内方より金銭請払綴)		綴/(え3974-1~8は一綴)・1綴	え3974
(袋) * (袋上書)「亥春棚卸入用書 油方」/金銭書上紙背文書使用		袋・1点	え3974-1
覚(作次郎へ油代渡方金25両ほか、金120両3分2朱300文差引金28両1分3朱261文に付) 酒店→御元方	12月晦日	横切継紙・1通	え3974-2
拝借元ニ相成候分(酒造方へ払高金45両3分2朱456文ほか取り集め高上納仕等お調べの内に付)		横切紙・1通	え3974-3
覚(酒店より帳場納込金83両2分1貫613文内訳差引金8両1分2朱181文酒代酒蔵より取替に付) →酒店	戌12月大晦日	横切継紙・1通	え3974-4
(、24石2斗9升代金100両2朱14貫458匁5分4厘内訳差引勘定書)		折紙・1通	え3974-5
(正月17日改正種水7斗4升ほか書上)		横切継紙・1通	え3974-6
覚(元方帳場より油代正金勘定書)		小切継紙・1通	え3974-7
覚(種水1斗7升9号代金112匁ほか差引金銭書上)		横切継紙・1通	え3974-8

2.1.6. 酒造関係重要古書類

(元禄10年~享和3年酒造関連書類一括)		袋一括/(え3579-1~7は袋一括)・1点	え3579
(袋) * (袋上書)酒造「○元禄十丑八町造米高帳但正徳五未十二月於評定所写留候と有之」ほか同封文書目録書上		袋・1点	え3579-1
指上申一札之事(寒造之外新酒御停止御請書下案) * (端裏貼紙)「元禄十六未年八月当未年寒造之外新酒御停止御請書下案」/下書 木町酒屋長左衛門[印「菊屋」]・荒神町請合吉左衛門→御奉行所	元禄16年未8月	縦紙・1通	え3579-2
類族不出筈之男女帳面除候覚	享保9甲辰年12月	半・1冊	え3579-3
切支丹宗門御改帳扣 * 控/加筆書繼あり (外田町八田孫左衛門役代藤七)→(堀田伴右衛門様・鹿野茂手孝様)	享保18年丑9月	半・1冊	え3579-4
(武州上州市場へ端物并貫目改所設置に付触)	6月	半・1冊	え3579-5
(元禄10年酒造運上取立関連史料一括)		包紙一括/(え3579-6-1~4は包紙一括)・1点	え3579-6
(包紙) * (包紙上書)「元禄十丑年酒造運上被 仰出之写右付運上差出方願書之下書」		包紙・1点	え3579-6-1
上々生諸白造入覚(本造り掛米として白米8石他、白米11石6斗酒造高書上) * (端裏貼紙)「年号不知酒相場書上下案」/下書 八田嘉右衛門・増田徳左衛門	(元禄10年)丑3月25日	縦切紙・1通	え3579-6-2

2.店方/1.酒造方/6.酒造関係重要古書類

覚(酒造運上差出方願) * 下書 酒改役兩人八田長右衛門・村田助治郎・増田徳右衛門	(元禄10年)丑12月11日	堅切紙・1通	え3579-6-3
覚(酒値段改め及び酒造運上取立の触写) * 写 (酒株造関連書類ほか一括)	(元禄10年)丑10月	堅継紙・1通 袋/(え3579-1~7は袋一括)/(え3579-7-1~12は袋一括)・1点	え3579-6-4 え3579-7
(袋) * (袋表書)「酒株一卷書付絹運被 仰付書并右ニ付上州騒動之書付天明五巳年株札改之節明細書」/(袋裏書)「承御座候儀共之書留類」		袋/(え3579-7-1~12は袋一括)・1点	え3579-7-1
(酒株造関連書類綴)		綴/(え3579-7-2-1~3は一綴)・1綴	え3579-7-2
(酒株造関連書類一同綴の旨書付)		切紙・1点	え3579-7-2-1
(酒株造高有無調帳) * (端書)「く」		横長半・1冊	え3579-7-2-2
酒株四拾三本造高之覚	午10月	横長半・1冊	え3579-7-2-3
差上申一札之事(新酒など直段書上の際水指禁止に付請書) * (端裏貼紙)「元禄八亥年酒直段書上下案」/奥に10月1日より新酒・新諸白の値段書付/下書 →御奉行所	元禄8年亥10月日	堅切紙・1通	え3579-7-3
乍恐以口上書奉願候御事(当戌年酒正造米高499石5斗御免許に付) 御城下町傳兵衛(印)、(奥裏書)金甚五左衛門(印)・前作左衛門(印)→御町御奉行所	享和2戌年9月	堅紙・1通	え3579-7-4
乍恐以書付奉願候(酒造十分一御役米差上困難のため去戌年造米高の有り体御見分願のため江戸出訴に付添翰頂戴願)	享和3亥年	堅紙・1通	え3579-7-5
覚(酒株札造高御譲り御樽代2分受取書) 荒神町万右衛門(印)、(奥書)名主新兵衛(印)→八田孫左衛門殿	天明7年未11月	堅紙・1通	え3579-7-6
(元禄10年及び正徳5年12月御領内御町酒造御を正徳5年12月、池村佐佐衛門より勘定所へ提出の報告書) * (包紙上書)「元禄十丑年御領内御町酒造御書上写正徳五乙未年十二月右同断」 師岡七郎右衛門	天明6年午10月留置	堅切紙・1通	え3579-7-7
(享和3亥2月27日石川左近将監様へ酒造高十分一役米取立方の伺及び同年4月2日同伺いに対する御附札写) * (端裏貼紙)「享和三亥二月廿七日石川左近将監様江伺四月二日御附札済写」/写		切紙・1通	え3579-7-8
一札之御事(酒株3本譲り渡しに付) 惠察(印)・役代八郎兵衛(印)・立合左平(印)→八田孫左衛門殿	天明7未年11月	堅紙・1通	え3579-7-9
天明元丑八月十日頃より上州武州糸絹真わた運上之事ニ付百性騒動いたし被潰候面々 * 写	丑9月	横半半・1冊	え3579-7-10
(高田藩所領替に伴う収納減のため手当金12000両拝借金20ヶ年賦返済の上申書および質素儉約の旨榊原式部大輔より田沼意次への伺書写) * 奥書「右御書付拝見仕候に付写置申候」	(天明2寅年10月)	横半半・1冊	え3579-7-11
(酒造高関連書類等一括)		紙縫一括/(え3579-7-12-1~24は紙縫一括)・1点	え3579-7-12
享和三亥年万石以下之御方之様江出候御書付之写(酒造役米書上高十分の一取立に付) * 写		堅紙・1通	え3579-7-12-1

(領民へ享和3年6月造酒人十分一役米取り立て困窮のため御免旨申上候様申付書) (右京太夫)	月日	縦紙・1通	え3579-7-12-2
(酒株関連書類一括)		紙縷一括/(え3579-7-12-3-1~3は紙縷一括)・1点	え3579-7-12-3
覚(八田孫左衛門所持酒株および質屋株明細書出)	3月9日	折紙・1通	え3579-7-12-3-1
(御祝金割酒屋及び質屋1軒262文宛を名主へ送金依頼状)		小切紙・1通	え3579-7-12-3-2
覚(酒桶・酒舟の所持数及び酒造高玄米高書上) 木町八田長右衛門判、(奥書)いせ丁肝煎太郎右衛門・中川三郎右衛門→(奥書)作野右衛門殿・善助殿	元禄10年丑10月20日	折紙・1通	え3579-7-12-3-3
乍恐以口上書奉願候御事(当年寒造始申したく造米高お改め願) 酒造人惣代十助他3名・御町方惣代已之作	享和3亥年10月	縦継紙・1通	え3579-7-12-4
(元禄10丑年造高差引其外書上下案など綴)		綴/(え3579-7-12-5-1~6は一綴)・1綴	え3579-7-12-5
(書付)「元禄十丑年造高差引其外書上下案年号者不相知候得共古書ニ付綴置候書類一結」		小紙・1通	え3579-7-12-5-1
元禄十丑造高覚(八田孫左衛門造高355石7斗4升の酒造高内訳書)		小切紙・1通	え3579-7-12-5-2
(元禄10年八田孫左衛門酒造高355石7斗4升の内訳下書) *下書		小切紙・1通	え3579-7-12-5-3
(円蔵120石他ノ1254石5斗8升4合酒造高) *下書		小切紙・1通	え3579-7-12-5-4
乍恐以口上書奉願候御事(造酒御免高の内当冬50石分造酒仕たき、隠造等なしに付)		横切紙・1通	え3579-7-12-5-5
覚(五尺桶1本仕入石高11石2斗等造酒道具問合に付返答書) *下書		横切紙・1通	え3579-7-12-5-6
(酒桶図面写) * (端裏貼紙)「是も心得ニ罷成候間図面引立寸尺相記石数之所印置申度事ニ候」/写		17.6×20.5・1鋪	え3579-7-12-6
(公儀酒御改の御尋心得書上及び仕廻白米高書き出し写) * (裏貼紙)「御答手記段造之義相治来心得ニ罷成候事ニ而記置申度事」/写		横長半・1冊	え3579-7-12-7
覚(上造等各等級の仕込米書出)		折紙・1通	え3579-7-12-8
享和三亥年十分一御役米被仰付候節見込書取(酒造高有り体の御札を行った上御役米お決めに付) * (端裏貼紙)「享和三亥年十分一御役米被仰付候節見込書取」		横切紙・1通	え3579-7-12-9
(延宝7年~天明8年酒造鑑札高書出)		横切紙・1通	え3579-7-12-10
①乍恐以口上書奉願候御事(借用金片付けのため家屋敷及び酒造諸道具一式等売渡に付)、②(伊勢町善左衛門酒造愛五郎より引請造酒仕度旨願写) * (端裏貼紙)「寛政三年亥三月伊勢町善左衛門酒造愛五郎より引請造酒仕度旨願此方不用之事ニ候得共為後來印置申候事」/写 ①伊勢町愛五郎五人組忠右衛門・七郎兵衛→御町年寄衆中・検断伴三郎、②伊勢町善左衛門、(奥書)五人組右衛門殿	①寛政3年亥10月、②11月	横切継紙・1通	え3579-7-12-11

(自今金銀出入出訴吟味の上御取上等触写し関連一括)		巻込一括/(え3579-7-12-12-1～2は巻込一括)・1点	え3579-7-12-12
覚(自今金銀出入出訴吟味の上御取上等に付触)	巳9月	横切継紙・1通	え3579-7-12-12-1
覚(自今金銀出入出訴吟味の上御取上等に付触) * (端裏貼紙)「天明五巳年歟日記引合せ候而相違無之候ハ、借貸心得ニも相成候事ニ而右之内へ書加へ候而も可然事」	巳9月	横切継紙・1通	え3579-7-12-12-2
覚(埴科郡松代城下町与兵衛134石5斗8升4合他メ酒造高2759石8斗3升4合書上下書) * 下書 両御奉行所御名前	申6月書上	横切紙・1通	え3579-7-12-13
酒造人心得		横切継紙・1通	え3579-7-12-14
(天明8年～寛政6年酒造記事覚書) * (端裏貼紙)「天明八申年三月酒屋有来桶数前島作左衛門様より御尋ニ而書上扣日記メ之方見合ハ互々ニ不相成候様致度事」/写	寛政7卯2月25日	横切継紙・1通	え3579-7-12-15
(近年諸国米穀高値のため酒造高半石停止に付幕府申請書写) * (端裏貼紙)「天明六午年閏十月被仰出之御触面写」/写 紙屋町造酒屋吉左衛門・他5名、(奥書)紙屋町名主久作・伊勢町名主甚兵衛・中町名主六之丞→御町年寄衆中・検断伴三郎右衛門殿	天明6午年閏10月	横切継紙・1通	え3579-7-12-16
(辰～巳年等酒造高書上写) 北村仁兵衛・伴三郎右衛門		横長半・1冊	え3579-7-12-17
乍恐以口上書奉願候御事(当年酒造寒造入石高499石5斗御免許願) * (端裏貼紙)「享和二戌年十月正米造御免許下案是より傳兵衛日記の方穿鑿書印可申事」/下書 御城下町傳兵衛印→御町御奉行所	享和2戌年10月	堅紙・1通	え3579-7-12-18
亥六月六日毛利大膳太夫様より柳生主膳正様江被差出候御書付之写(酒造米10分の1役米国中の御手元へ貯え取り扱い願いに付) * (端裏貼紙)「享和三亥年十分一役米被仰付候付諸方被 仰立紙面後來心得ニも罷成候間向々之被仰立書留置申度事」		堅紙・1通	え3579-7-12-19
乍恐以書付奉願候(酒造10分1役米上納困難のため町方郡中一統享和2年酒造有り体の御見分歎願写) * (端裏貼紙)享和3年11月酒造10分1仰付にて歎願書の旨/写 御城下町傳兵衛・巳之作・友八・御郡中不残→職御奉行所・御町御奉行所・御郡御奉行所	享和3亥年11月	堅紙・1通	え3579-7-12-20
(天明3年～寛政10年迄酒直段引き上げ伺等書留) * (端裏貼紙)名酒高直にて相場値段伺いの旨/写	享和7(文化4)卯年11月書立	横長半・1冊	え3579-7-12-21
(享保元年10月酒相場書上関連書類一括)		包紙一括/(え3579-7-12-22-2～3は包紙一括)・1点	え3579-7-12-22
(包紙) * (包紙上書)「享保元申十月酒相場書上之節調書付類」		包紙・1点	え3579-7-12-22-1
覚(真粉1俵代金1貫400文ほか粉書出し)		折紙・1通	え3579-7-12-22-2
(酒及び粉勘定関連書類綴)		綴/(え3579-7-12-22-3-1～4は一綴)・1綴	え3579-7-12-22-3
(21俵御勘定の件中町衆ご相談の書付) * (裏書)「申寒造り酒々方書付庄右衛門様へ何如かけ申下書申極月七日」(増田)徳左衛門→加右衛門(八田嘉右衛門)様	12月5月	横切紙・1通	え3579-7-12-22-3-1

藤部諸白八石仕舞(米8石の粕相場直しに伴う銭両替勘定書) 御酒屋増田徳左衛門	享保元年申10月	折紙・1通	え3579-7-12-22-3-2
覚(真粕1俵代金1貫332文ほか粕書出し)		折紙・1通	え3579-7-12-22-3-3
覚(真粕1俵代金1貫229文ほか粕書出し)	申正月	折紙・1通	え3579-7-12-22-3-4
①差上申一札之事(酒造米10分1役米御用所へ運送の際代納願出の触に対する請書写)、②享和三亥壬正月朔日酒造御役米十分一之儀諸郷一統両御番所江差出候愁訴写(減石願) *写 ①酒年番惣年寄郷川勝左衛門・渡辺又兵衛・井吉三郎兵衛、②摂津国惣酒造屋右村々大行司・年行司・大坂其外天満池田伊丹北在今津西宮灘田伝言メ連印	①享和3亥正月26日	横切継紙・1通	え3579-7-12-23
乍恐以口上書奉願候御事(享和2年酒正造り米へ懸り候10分1御役米高願) 御城下町酒造人惣代傳兵衛印・御郡中酒造人惣代重助印・同彦左衛門印→関田庄助様・田中井右衛門様・柿崎幾太様	享和3亥年10月	縦紙・1通	え3579-7-12-24

2.2. 醤油店

2.2.1. 入用

(書状、諸国高値に付醤油造入方の窺い) 平兵衛	10月	横切継紙・1通	え3893
-------------------------	-----	---------	-------

2.2.2. 他店立て直し

以書付奉願候(不景気に付醤油方取計方引続き未年まで5ヶ年委任願書) 中町喜助(印)→伊勢町傳兵衛様	天保2卯年2月	縦紙・1通	え3601
---	---------	-------	-------

3.町方/町年寄/1.宗門改

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

3. 町方 / 町年寄

3.1. 宗門改

覚(松代町宗門御改人数書上) 八田孫左衛門	天明5巳年9月	横切継紙・1通	え3909
-----------------------	---------	---------	-------

3.2. 町政

文言如先例(名主・長町人名前書付) 名主忠兵衛・名主 宇平治・長町人善助・名主李左衛門・長町人長左衛門・名主 徳兵衛・名主六之丞・名主新兵衛・長町人新八・名主大治郎・ 長町人文左衛門・名主権左衛門・長町人勘右衛門・伴三郎右 衛門・北村幸助・杭全平左衛門・八田孫左衛門・宇佐美清重 郎→金井源五右衛門様・関根牧之進様	安永9子年9月	縦紙・1通	え3934-1
--	---------	-------	---------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

4. 松代藩御用

4.1. 川船会所

4.1.1. 通船免許

(書状、千曲川通ほか新規稼ぎ場及び新船へ通船差し止めの御頼みに付) 駒沢式左衛門・河野弥一郎・清須平馬・永井真喜太→星野愼平様・原与兵衛様	8月6日	半・1冊	え3559
---	------	------	-------

4.1.2. 貸付金

以書付奉申上候(川船役所よりの借入金返済に付) * (包紙上書)「上 中町五郎作」 中町五郎作(印)・親類宗助(印)・組合亀蔵(印)→中嶋三右衛門様御内	天保元寅年12月	縦継紙・1通	え3914
--	----------	--------	-------

4.1.3. 飯山一件

(飯山船金繰廻金関係書類一綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3524-1～5は一綴)・1綴	え3524
(封筒) * (封筒上書)「飯山一件書類入」		封筒/(え3509～3526は括紐一括)・1点	え3524-1
田地流地引受約定為取替一札之事(飯山領静間村・蓮村質地流地1000両で戸倉宿直之進引受に付3か条約定) 松代町傳兵衛(印)・戸倉宿直之進(印墨消)・立入人松代町孫兵衛(印墨消)	天保2卯年5月	縦継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3524-2
永小作地交代證文之事(川船会所際入船予定が中止に付私永小作地引受の川添田地小作初95俵余の田地) 伊勢町(八田)傳兵衛(印)、(奥書)元川船会所懸り中嶋三右衛門(印)・同八田嘉右衛門(印)→東寺尾村吉兵衛殿	天保6未年4月	縦継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3524-3
①借用金證文之事(船金繰廻金2300両取集め方差支に付取替、引当は拙者所持屋敷地酒蔵株式など)、②覚(静間村・蓮村質地流地に付文政6年8月に取替の船銀繰廻金の取替金日延願)、③差出申添證文之事(静間村・蓮村質地流地證文引渡に付) ①埴科郡松代伊勢町借用人傳兵衛印・組合加判誰・誰→埴科郡戸倉宿要右衛門殿、②松代伊勢町傳兵衛→戸倉宿直之進殿、③埴科郡松代町傳兵衛・組合加判誰・誰、(付紙奥書)名主惣八郎→埴科郡戸倉宿直之進殿	①文政6未年8月、②文政13寅年9月、③天保元年寅12月	縦継紙/(え3509～3526は括紐一括)/(下札あり)・1通	え3524-4
田地流地引受約定為取替一札之事(飯山領静間村・蓮村質地流地1000両で戸倉宿直之進引受に付3か条約定) * え3524-1の下書 松代町傳兵衛印・戸倉宿直之進印・立入人松代町孫兵衛印	天保2卯年5月	縦継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3524-5
(飯山一件に付借用書および諸品勘定書綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3512-1～8は一綴)・1綴	え3512

4.松代藩御用/1.川船会所/3.飯山一件

覚(御内用に付反物売渡し代金勘定書) 信州屋文右衛門→水井忠蔵様	巳8月	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)/(下札あり)・1通	え3512-1
覚(大奉書・尺長水引など代金受取書) 小納戸小兵衛(印)	巳8月	小切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3512-2
覚(飯山領分と八田嘉右衛門質地出入一件に付松代入用金差支のため内借金受取書) 伊勢町平兵衛(印)・木町孫兵衛(印)→柿崎喜作様・小林善蔵様・水井忠蔵様	天保4巳年2月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3512-3
覚(飯山領分と八田嘉右衛門質地出入一件に付松代入用金差支のため内借金20両受取書) 伊勢町平兵衛(印)・木町孫兵衛(印)→柿崎喜作様・小林善蔵様・水井忠蔵様	天保4巳年3月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3512-4
覚(飯山領分と八田嘉右衛門質地出入一件に付松代入用金差支のため内借金15両受取書) 伊勢町平兵衛(印)・同断宗兵衛(印)→柿崎喜作様・水井忠蔵様	天保4巳年5月19日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3512-5
覚(飯山領分と八田嘉右衛門質地出入一件に付松代入用金差支のため内借金22両受取書) 伊勢町平兵衛(印)・惣兵衛(印)→柿崎喜作様・水井忠蔵様	天保4巳年7月10日	堅継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3512-6
覚(飯山領分と八田嘉右衛門質地出入一件に付松代入用金差支のため内借金3両受取書) 伊勢町平兵衛(印)・惣兵衛(印)→柿崎喜作様・水井忠蔵様	天保4巳年7月18日	堅継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3512-7
覚(飯山領分と八田嘉右衛門質地出入一件に付松代入用金差支のため内借金3両受取書) 伊勢町平兵衛(印)・惣兵衛(印)→柿崎喜作様・水井忠蔵様	天保4巳年7月22日	堅継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3512-8
乍恐以書付御届奉申上候(飯山領分と八田嘉右衛門質地出入の件、示談・内済仰せ付られに付対談のため日延願) 御領分信州松代伊勢町(八田)嘉右衛門代平兵衛印・差添町役人兼孫兵衛印→御留守居様御役所	天保4巳2月25日	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3513
乍恐以書付奉申上候(飯山領分と八田嘉右衛門質地出入の件、飯山領分は領主役人証文差し入れの旨申すに付郷借証文に書き換え指示の願) 真田伊豆守領分信州松代伊勢町(八田)嘉右衛門代召仕平兵衛印・年寄差添人孫兵衛印→寺社御奉行所	天保4巳(年)年3月	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3514
一札之事(飯山一件、出金分を両村より年賦返金滞りなき様取計いに付) 牟礼宿高野駒治郎・善光寺龍沢助之丞(印)→松代町増田孫兵衛殿	天保4巳年12月	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)/(え3515-1～2は一綴)/(下札)・1通	え3515-1
乍恐書付を以御届奉申上候(飯山一件に付調役清水次郎助より吟味の筋届書) * (端書)「二月四日御呼出御吟味の筋書上写」 御領分信州埴科郡松代伊勢町(八田)嘉右衛門代召仕平兵衛印・差添人町役人兼孫兵衛印→御領主様御役所	天保4巳(年)2月5日	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3525
(飯山一件年賦金返済書類一綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3526-1～7は一綴)・1綴	え3526
①乍恐以書付奉申上候(飯山一件、質地は流地に付郷借証文に書替にて済方願)、②(別紙の書面の含みに付報告) * (端書)「巳三月十一日土屋様江差出書面之写」/(端書)「○此書面も戸倉江御廻可被下候」 ①真田伊豆守領分信州松代伊勢町(八田)嘉右衛門代召仕平兵衛印・年寄差添人孫兵衛印、②源左衛門→寺社御奉行所	①天保4巳年3月	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3526-1

借入金済方為取替(飯山一件、当両村借用年賦返済残金を初900俵にて皆済にて和睦) 水内郡静間村三役人代太郎兵衛(印)・同郡蓮村三役人代治郎右衛門(印)、(奥書)飯山町東庄兵衛(印)・松代町戸佐久(印)・福嶋村栄八(印)・同村平野彦兵衛(印)→松代町(八田)嘉右衛門殿・代傳兵衛殿	天保9年戌12月	堅継紙/(え3509～3526は括紐一括)/(え3526-1と3の間に挟み込み)・1通	え3526-2
①乍恐以書付御届奉申上候(飯山一件、嘉右衛門駕籠にて出頭指令に付届書)、②差上申御請書事(駕籠にて出頭の旨請書) * (端書)「五月七日御吟味翌八日届写」 ①——代平兵衛印→御留守居様御役所、②右(八田)嘉右衛門代召仕平兵衛→寺社御奉行所様	①已5月8日、②天保4已年5月7日	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3526-3
乍恐以書付奉申上候(飯山一件、召喚のところ利付證文は成り難きと示談致すべき旨仰せ聞かされに付日延願) * (端書)「三月廿四日届写」 御領分——代平兵衛印・——孫兵衛印→御留守居様御役所	已3月24日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3526-4
乍恐以書付奉申上候(飯山一件、召喚のところ證文書換・示談の件仰せ渡されに付日延願) * (端書)「三月十日御吟味之趣訴書写」 御領分信州松代いせ町(八田)嘉右衛門代召仕平兵衛印・年寄差添人孫兵衛印→御留守居様御役所	已3月11日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)/(朱書下札3点付)・1通	え3526-5
乍恐書付を以御届奉申上候(飯山一件、調役清水次郎助様より吟味、対談の上貸金證文へ書換えを仰せつけらるに付日延猶予願) * (端書)「二月四日御呼出御吟味之筋書上写」 御領分信州埴科郡松代伊勢町(八田)嘉右衛門代召仕平兵衛・差添人町役人兼孫兵衛→御領主様御役所	天保4(已)年2月5日	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3526-6
乍恐以書付御届奉申上候(飯山一件、證文の書替の件不埒も金子貸借の儀に付双方対談仰せ付けらるの旨) ——松代伊せ町・一代召仕平兵衛→御留守居様御役所	天保4已年2月朔日	半/(え3509～3526は括紐一括)・1冊	え3526-7
(静間村・蓮村質流地一件書類綴)		綴/(え3509～3526は括紐一括)/(え3521-1～7は一綴)・1綴	え3521
(封筒) * (封筒上書)「天保四已年六月極 飯山御領分静間村・蓮村年賦金證文入 天保六乙未年三月改」	天保6乙未年3年月改	封筒/(え3509～3526は括紐一括)・1点	え3521-1
口上覚(静間村・蓮村質流地の人夫差支え等に付両村小作人へ譲り渡しの旨内々願) * 下書 ——		横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3521-2
乍恐以書付奉願候(静間村・蓮村質流地の人夫差支え等に付両村なりとも近村なりとも小作引き受けくれる様仰せ付け下されたきに付) 松代町傳兵衛→飯山御役所	年号月日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3521-3
覚(飯山より受取上納金620両の次第内々に伺) * (端裏書)「正月廿七日興津権右衛門殿へ差出相伺候処此上可相伺候へ共先金子上納有之可然段被仰候下案」 関田守之丞	丑正月	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3521-4
対談規定之事(静間村・蓮村質流地の件、1000両にて勘定の二両村小作人へ譲り請けに付御賢慮に任せ取計らう旨) * (裏書)「扱書談下」 御代官井上五郎左衛門支配所高井郡中野東町扱人伊兵衛・右同断親類定兵衛・同扱差添人与四郎→真田伊豆守様御城下松城伊勢町傳兵衛殿	天保2年卯年3月	堅継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3521-5
覚(戸作殿より傳兵衛の初買請代金等300両預り証文) 伊勢町勝之助(印切裂)→平野栄蔵殿・紙屋町戸作殿・福島宿栄八殿	天保9戌年12月24日	堅紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3521-6

4.松代藩御用/1.川船会所/3.飯山一件

年賦金證文之事(対談の上領主勝手元賄金引受に付 25ヶ年賦にて返済に付) *後欠 信州水内郡静間村庄 屋市郎右衛門・組頭嘉野右衛門	天保4巳年6月	堅継紙/(え3509 ～3526は括紐一 括)・1通	え3521-7
覚(去々巳年飯山御領分蓮村静間村出入一件にて諸雑 用多分に掛り、金10両借用に付) 善光寺大門町助之 丞(印)・牟禮宿駒次郎(印)・同人弟又市代印→松代伊勢町 傳兵衛殿	天保6年末12月	堅紙/(貼紙あ り)・1通	え3766
(飯山一件ほか関係書類綴)		綴/(え3509～ 3526は括紐一括) /(え3523-1～38 は一綴)・1綴	え3523
(書状、飯山一件での御厚配への礼に付) (水井)忠蔵→ (八田)嘉右衛門様申上	10月12日	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-1
(書状、岩村田領内村々作徳米代金滞納分を宗弥へ支 払い願に付) * (端裏書)「」(破損)九郎殿方江掛合下 案 当五月十三日 松代平兵衛→赤岩村新九郎様	5月13日	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-2
口上覚(飯山岩村田金子の義来春中手段仕るべき等の 旨申上) * (端裏書)「午十二月差出候」 八田嘉右衛門→ 興津権右衛門様	12月29日	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-3
(切紙)「岩村田飯山借附金ニ付申立専要書面右一巻江 入置可申事」		切紙/(え3509～ 3526は括紐一 括)・1通	え3523-4
口上覚(岩村田領分作徳米金の件、金15両のみ取り集 め帰宅の経緯の報告) 平兵衛・宗弥	12月28日	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-5
口上覚(飯山御領両村年賦金の件、領主様大坂御加番 に付源助の登坂のため上納延期願) 八田嘉右衛門	8月	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-6
口上覚(飯山御領両村年賦金の件、領主様大坂御加番 に付源助の登坂のため上納延期願) 八田嘉右衛門	8月	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-7
(飯山一件に付江戸へ孫兵衛の派遣せざるよう進言な どに付用状) (柿崎)源左衛門→(八田)嘉助様御答	正月20日	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-8
(書状、厚御肴頂戴への礼に付) (柿崎)源左衛門→(八 田)嘉助様		横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-9
(書状、御同席の内私懇意の仁頼む旨) 小林→八田様	4月9日	横切紙/(え3509 ～3526は括紐一 括)・1通	え3523-10
(書状、御礼の献上物品々入料差配などの件承知の旨) 善蔵→(八田)嘉右衛門様・嘉助様	4月9日	横切紙/(え3509 ～3526は括紐一 括)・1通	え3523-11
(書状、御同氏様結構仰せ蒙られに付御礼献上物準備 の件承知に付) 善蔵→(八田)嘉右衛門様・嘉助様	4月9日	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-12
①乍恐以書付奉願上候(主人嘉右衛門病気に付私代わ りに出府、示談に及びたきに付願書下案)、②(書状、 逗留中の馳走への礼の執成し願いの旨)、③(書状、 博多素齋取調の旨承知に付) ①御名前領分信州埴科 郡松代伊勢町(八田)嘉右衛門重病二付代召仕惣兵衛・差添 人七郎兵衛→寺社御奉行所様、②惣兵衛・平兵衛→笠井和 七様	①5月22日、②5月21日 朝	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-13
口上覚(遠方出張ゆえ両村よりの年賦金受けとれざる 旨赦免願) 源吾	12月27日	横切継紙/(え 3509～3526は括 紐一括)・1通	え3523-14

(書状、川上挽拔蕎麦進上の旨) 神津定蔵好殷(花押)・犬井条左衛門篤豪(花押)→八田嘉右衛門様	12月10日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-15
(書状、米価高騰などの旨報知に付) 重太夫→(八田)嘉右衛門様	9月4日 認置	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-16
(書状、上野法事に付飯山一件の吟味は延引など報知に付) 平兵衛→忠七様	2月22日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-17
(書状、飯山一件出訴の件意見取繕い上申願に付) 彦太夫→源吾様・平兵衛様	5月4日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-18
口上覚(牟礼宿ほかの立入申談じなくては蓮村・静岡村より年賦金請取れざる始末報告書) * (端裏書)「御町方御郡方江御届書写」 平兵衛	12月26日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-19
(別紙引船一件に付小島秋介へ支払の銀子の件に付指示書)		小切紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-20
(判数10ツ出来に付送付の旨報告) 水忠(水井忠蔵)より→増孫様		小切紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-21
(書状、向方より受取金25両為替にて別紙証文をもって其表にて請取の旨) (水井)忠蔵→(八田)嘉右衛門様	7月23日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-22
(書状、飯山一件、明日出立などに付) 百人→(八田)嘉右衛門様	7月23日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-23
(書状、飯山一件、名代平兵衛懸合熟談の上帰村の旨報知に付) * (裏書)「尚以家内共よりも宜敷申上度旨一同申聞候猶御用向之節ハ御差図被下候様幾久敷奉希上候以上」 紀伊国屋利八→八田嘉右衛門様御取次中様	7月24日	折紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-24
覚(脇差一腰注文の件に付報知書)	6月2日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-25
(書状、勝手向3両近く引き足り申さず他に付) 松山丁→いせ町様	卯月20日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-26
(書状、挽拔蕎麦進上に付) (座間)百人→(八田)嘉右衛門様	正月18日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-27
(書状、鮮鯛贈呈への礼に付) 寺内拝→尊復	8月晦日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-28
(書状、八田氏一件内談依頼に付) 座間(百人)→中嶋様	7月20日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-29
(松代一件の礼の贈呈者一覧)		小切紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-30
(書状、飯山一件御礼の件取調の件に付) (水井)忠蔵→三右衛門様	20日	横切紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-31
(書状、飯山一件贈り物の御礼などに付) * (端裏書)「嘉右衛門様」/切紙付 弥右衛門→(八田)嘉右衛門様	9月6日	横切継紙/(え3509～3526は括紐一括)・1通	え3523-32

4.松代藩御用/1.川船会所/3.飯山一件

(出府人帰郷の件等問合せに付書付) 守之丞	7月晦日	小切継紙/(え3509~3526は括紐一括)・1通	え3523-33
(書状、年賦金延引、拙者持参の上物語に付) 犬井条左衛門→八田嘉右衛門様	12月10日	横切継紙/(え3509~3526は括紐一括)・1通	え3523-34
口上覚(飯山一件の義出府の上内済和談、段々厄介成し下され感謝の旨) 八田嘉右衛門	8月朔日	横切継紙/(え3509~3526は括紐一括)・1通	え3523-35
(書状、座間氏より私へ御礼に付御覧に入れるべき旨)	神無月5日	小切継紙/(え3509~3526は括紐一括)・1通	え3523-36
(書状、八田氏より国産と肴折到来の礼、米柄不自由の件等に付) 座間(百人)→松木(源八)様	9月13日	横切継紙/(え3509~3526は括紐一括)・1通	え3523-37
(書状、飯山一件内済和談、右に付縮緬・肴受納の礼に付) (座間)百人→(八田)嘉右衛門様	9月21日	横切継紙/(え3509~3526は括紐一括)・1通	え3523-38

4.1.4. 中野一件

(中野一件出訴入料受払関連綴)		綴/(え3527-1~27は一綴)・1綴	え3527
(袋) * (袋上書)「中野一件出訴入料受払書」		袋・1点	え3527-1
(書状、町方三人の者呼出無く長居により御小遣い無きため送金手配願に付) 三右衛門→善蔵様	12月10日	横切紙・1通	え3527-2
(書状、中野一件未だ呼び出しなく入料の件など悪しき旨報知に付) 三右衛門→御両所様	12月4日昼	折紙・1通	え3527-3
(書状、昨日の感謝及び御紙面の儀別紙申上に付)	正月20日	横切継紙・1通	え3527-4
(難渋村々年貢弁納、御手元より御引き受け願に付書付) (堀内)与一右衛門		横切紙・1通	え3527-5
(「切手六通」) * え3527-7~12のこと		切紙・1通	え3527-6
覚(白斜子代金1両2分3朱請取切手) 内川村重郎次→堀内与市右衛門様御内	10月5日	横切紙・1通	え3527-7
覚(御注文上国府折詰3箱代銀30匁請取切手) いせ屋傳八[印「信松代紺屋町伊勢屋」]→堀内与一右衛門様	亥10月6日	横切継紙・1通	え3527-8
覚(中野表出訴費用金5両請取切手) 喜左衛門→堀内与一右衛門様	文政10亥年10月24日	横切紙・1通	え3527-9
覚(中野一件入料金15両受取切手) 荒神町喜左衛門(印)→堀内与一右衛門様	亥12月7日	横切紙・1通	え3527-10
覚(六郎兵衛方扱なき入用の為借入金10両請取切手) 丸山善左衛門(印)→堀内与一右衛門様	文政10亥年12月26日	横切継紙・1通	え3527-11
覚(江戸入料金3両請取切手) 新田川合村佐惣治(印)→堀内与市右衛門様	文政11子年正月9日	横切紙・1通	え3527-12
(江戸表小林善蔵まで送り置いた10両分切手到来していない旨の書付) (堀内)与一右衛門		横切紙・1通	え3527-13
(書状、明日にも35両返納仕りたく御手元より金子御廻しの御伺い申上に付) * (端裏書)「申上候」(堀内)与一右衛門	正月7日	横切継紙・1通	え3527-14
(書状、金15両江戸へ差上の件願文に記載あり安心に	3月10日	横切継紙・1通	え3527-15

付) (堀内)与一右衛門→(八田)嘉右衛門様			
(書状、遣い払い明細帳差し出れず内は金子渡さざるに付恐れ入る等) (堀内)与一右衛門→(八田)嘉右衛門様	12月22日	横切継紙・1通	え3527-16
(書状、中嶋氏依頼の取立金のうち3両1分差上に付) (堀内)与一右衛門→(八田)嘉右衛門様	12月29日	横切継紙・1通	え3527-17
(川船会所取り計らいの中野村へ田中温泉引湯入用の一件、金200両八田嘉右衛門預り金より上納・貸附けの旨伺の書付) * (端裏書)「中野貸付金式百両一卷」/後欠 川船方懸		横切継紙・1通	え3527-18
(川船会所取り計らいの田中村より中野村へ引湯一件、入用200両の貸付金の取立は堀内与一右衛門が取扱いの旨報告書付) * (端裏書)「中野一件御郡方江申上分」 八田嘉右衛門	9月	折紙・1通	え3527-19
(中野行送金の払帳の義喜左衛門手紙にて御覧成し下され、御勘考成し下される様仕度に付) (堀内)与一右衛門→三右衛門様	12月15日	横切継紙・1通	え3527-20
口上覚(井筒屋方の儀15両御渡し成し下さるよう御願に付) 喜左衛門	亥12月8日	横切継紙・1通	え3527-21
(書状、堀内氏借用金子の利分取り計らい等に付) 中島→いせ丁様	25日夜	横切継紙・1通	え3527-22
(書状、鍔之助殿御縁女様お引越し婚姻2月中の件、弥右衛門承知に付取扱い願) (堀内)与一右衛門→三右衛門様	9月25日	横切継紙・1通	え3527-23
覚(喜右衛門御預り金2分など勘定書) * (端裏貼紙)「是ハ兩人ニ而無御座候義ニ申聞候」 喜左衛門	亥12月	横切継紙・1通	え3527-24
(田中村引湯入用一件、定例文言にて破談の旨報告書) 喜左衛門・伊兵衛→御掛り様	子8月17日	横切紙・1通	え3527-25
出訴入料受払書 (堀内)与一右衛門		横長半・1冊	え3527-26
中野ニ付小遣覚 荒神町喜左衛門	文政10亥年9月ヨリ	横長半・1冊	え3527-27
(丹波島宿方助成金の内より中野村へ質地代金200両支払いに伴う質地及び作徳出入関係綴)		綴/(え3528-1~4は一綴)・1綴	え3528
(袋) * (袋上書)「中野出入之節願書寫入」		袋・1点	え3528-1
①乍恐以書付御訴訟奉申上候(川船会所へ繰回し預金の丹波島宿方助成金を中野村へ質地代金200両貸付、質地年季明け流地引渡及び作徳初代金滞りの吟味願)②乍恐以書付御訴訟奉申上候(川船会所へ繰回し預金の丹波島宿方助成金を中野村へ質地代金200両貸付、質地年季明け流地引渡及び作徳初代金滞りの吟味願) * ①②作成の貼紙下は「宿役人惣代兼長町人訴訟人 喜左衛門」 ①真田伊豆守領分信州埴科郡松代町(貼紙)「訴訟人長町人喜左衛門・同宿役人惣代宿年寄数右衛門」→寺社御奉行所様、②真田伊豆守領分信州埴科郡松代町(以下抹消)→寺社御奉行所様	①②文政11子年4月	半・1冊	え3528-2
①乍恐以口上書奉願候(川船会所へ繰回し預金の宿方助成金を中野村へ質地代金200両貸付、質地年季明け流地引渡及び作徳初代金滞りの吟味願)、②乍恐以口上書奉願候(川船会所詰の節中野村へ質地代金200両貸付、質地年季明け流地引渡及び作徳初代金滞りの吟味願) ①②松代町喜左衛門、(奥書)荒神町喜左衛門→中野御役所、(奥書)御町奉行所	①②文政10亥年9月	半・1冊	え3528-3

4.松代藩御用/1.川船会所/4.中野一件

乍恐以書付奉願上候(川船会所へ繰回し預金の丹波島宿方助成金の内より質地代金200両支払いに伴う質地年季明け流地引渡及び作徳初代金元利金86両9匁9歩返済願) 真田伊豆守領分松代町願人喜左衛門・親類差添人役人兼六郎兵衛、(奥書)「松代町名主たれ」(抹消)→大原四郎右衛門様中野御役所	文政10亥年10月	半・1冊	え3528-4
(引湯入用200両質地代金御預けより中野村へ上納滞り一件取調書類綴)		綴/(え3529-1~4は一綴)・1綴	え3529
(袋) * (袋上書)「中野一件取調書類」		袋・1点	え3529-1
御規定書之事(丹波島宿方助成金の内より質地代金200両御貸渡しの返済及び作徳初代金86両出入の出府諸雑用金御取り延べ願に付) 中町六郎兵衛(印)・同人親類善左衛門(印)→中嶋三右衛門様・堀内与一右衛門様	天保2卯年11月	堅継紙・1通	え3529-2
御規定書之事(丹波島宿方助成金の内より質地代金200両御貸渡しの返済及び作徳初代金86両出入の出府諸雑用金御取り延べ願に付) * (端裏貼紙)「荒神町喜左衛門加判八衛八」 荒神町喜左衛門(印)・親類八衛八(印)→中嶋三右衛門様・堀内与一右衛門様	天保2卯年11月	堅継紙・1通	え3529-3
乍恐以書付奉願上候(松代町宿方助成金残金の返済の旨) * (貼紙) 済口規定書別段なく中野役所へ差出の文面を前書にて連印、私方へ預け置く旨 高井郡中野村辰五郎・直右衛門・元七・清吉・右村名主広右衛門・同郡小布施村立入人六郎兵衛、(奥書)高井郡中野村辰五郎印・直右衛門印・元七印・清吉印・右村名主広右衛門印・同郡小布施村立入人六郎兵衛印→井上五郎左衛門様御役所、(奥書)松代町喜左衛門殿・伊兵衛殿	天保2卯年10月	半・1冊	え3529-4

4.2. 御用米納入

覚(御屋敷様御用米納方請負い代金受取に付玄米324石御納の旨仕切證文) 上総屋久七(印)→八田孫左衛門殿	明和6年丑4月	堅紙/(え3612~3630は括紐一括)・1通	え3630
--	---------	-------------------------	-------

4.3. 巡見使接待

(傳兵衛関係綴)		綴/(え3876-1~2は一綴)・1綴	え3876
(御巡見様御宿申し付け、心掛け宜しきに付永上下免許の旨褒状) (真田幸貴)→八田嘉右衛門役代相勤罷在候伊勢町傳兵衛	(天保9年)閏4月18日	堅紙・1通	え3876-1
(藩主よりの褒状の旨請書) * 雛形 伊勢町傳兵衛、(奥書)名主何之助→御奉行所	天保9戌年閏4月	堅紙・1通	え3876-2

4.4. 分量金

(金2両伊勢町小八江戸屋敷類焼分量金上納請取に付) * (包紙表書)文化8辛未歳3月24日江戸表御上屋敷御類焼にて御町方分量金仰付の旨/(包紙裏書)上納御郡方御勘定所元分印形物にて紛乱無き様取置き旨 大嶋多吉(印)・徳嵩甚蔵(印)、(奥書)渡(渡辺)友右衛門(印)・綿(綿貫)五郎兵衛・菅(菅沼)九左衛門(印)	文化8未年3月	堅紙・1通	え3930
---	---------	-------	-------

4.5. 荷物差札認方

定(道中往来に付)	延享4卯年3月	横長半・1冊	え3828
口上覚(紛失防止のため私の方にて御会符認めに付き願書) * (包紙上書)「覚 八田喜右衛門」/下書 八田孫左衛門→御町御奉行所	明和2年酉7月	縦紙・1通	え3585
口上覚(滞りなく御用の弓矢など運送に付会符許可願) * (包紙上書)「会符ニ付願下書」/包紙は反故紙使用 八田孫左衛門→御町奉行所	2月	縦紙・1通	え3586
(包紙) * (包紙上書)「證文 八田孫左衛門」/え3588の包紙		包紙・1点	え3587
(商売荷物京都往来に付会符頂戴証文) * 写 八田孫左衛門	7月	横切紙・1通	え3588
(京都・大坂よりの呉服物年中20駄程運送の旨書上)		切紙・1通	え3589

5.糸会所/1.紬仲買人仲間

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

5. 糸会所

5.1. 紬仲買人仲間

乍恐以書付奉願候(紬仲買人2人増しに付願い) 五人 之者印→糸会所	天保3辰年9月	縦紙・1通	え3919
--------------------------------------	---------	-------	-------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

6. 産物会所

6.1. 拝借金

拝借金證文之事(仕入金差支の為金20兩借用に付) * (端裏書)「明治六年酉年十二月十八日返候」伊勢町借主 佐助(印墨消)、主人傳兵衛(印墨消)→御産物方御役所	明治4末年正月	縦紙・1通	え3825
--	---------	-------	-------

6.2. 会所貸下金

覚(金170兩受取証) 土口村幸松使奥右衛門→御産物方御役所	午8月24日	縦紙・1通	え3895
--------------------------------	--------	-------	-------

6.3. 冥加金

(冥加金未払い分上納の事ほか金銭書上関係一括)		綴/(え3963-1~9 は一綴)・1綴	え3963
(袋) * (袋上書)「巳二月中上納一紙綴入」		袋・1点	え3963-1
(金15兩1匁8分5厘内訳、若宮村冥加・三輪村冥加書上) * (端裏書)「三十兩貳分貳朱二分貳厘」		横切継紙・1通	え3963-2
(金8兩3分他ノ金14兩2朱金銭書上)		横切紙・1通	え3963-3
(生糸改冥加残金1分銀2匁9分2厘産物会所へ早々上納 致すべき事) 富岡良右衛門(印)→紺屋町平兵衛	3月2日	横切紙・1通	え3963-4
(割引が仰せ出される前の取立分と上明後日までに残 金上納御渡しに付) (八田)慎蔵→(富岡)良右衛門様	2日	横切紙・1通	え3963-5
(書状、弁解のため参向願) (八田)慎蔵→(富岡)良右衛 門様		横切継紙・1通	え3963-6
(金18兩3分6匁の札23兩2分1朱金銭書付)		小切紙・1通	え3963-7
(黒砂糖代金40匁ほか白砂糖・鰯節・海苔4品正金値段 貸しのこと)		横切紙・1通	え3963-8
(18兩3分6匁の内訳書付)		横切紙・1通	え3963-9

6.4. 杏仁

(杏仁代金渡寄の控え)		縦紙・1通	え3912
-------------	--	-------	-------

6.5. 褒賞

(産物梔木具類売り捌き方問屋として出精に酒代金 300疋下賜の旨真田家当主より褒状) →菊屋傳兵衛	12月25日	横切継紙・1通	え3861
--	--------	---------	-------

7.松代商法社

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

7. 松代商法社

御内借金證文之事(金42両3分安川柔兵衛他より内借に付) 御番人安川柔兵衛・柳嶋亀太郎・内山亀之助(印)・峯村幸助・世話役南沢善右衛門・酒井嘉十郎(印)・伊東惣之助・高田万作・使丁山野井辰三郎・小林仙吉(印)・石浦善兵衛→商法掌御役所	明治3午年12月	縦継紙・1通	え3890
---	----------	--------	-------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

8. 会所・商社来状一括

(来状入)		綴/(え4014-1～77は一綴)・1綴	え4014
(袋) * (袋上書)「来状入」	明治3午年6月	袋・1点	え4014-1
(書状、月岡殿御扶持の事について御取計願) 勇右衛門→(青柳)増太郎様	8月19日	横切継紙・1通	え4014-2
(書状、御尋ねの節、折悪く留守だったことへのお詫び他) (青柳)増太郎→久米様	8月20日	横切継紙・1通	え4014-3
(松代領村別各種商売人人名書上)		横切継紙・1通	え4014-4
(書状、庄作様今日御出張なきに付) 平生→青柳増太郎様	8月17日	切継紙・1通	え4014-5
(神領八幡村蚕種師久四郎へ去巳年分蚕種師の鑑札返上の旨触) * (端裏書)「福原村」産物御役所→神領八幡村三役人		横切継紙・1通	え4014-6
(上田支配所鍛冶町種繭買清吉へ早々取調返上致すべき旨触) 産物御役所→石渡村留治	8月12日	横切継紙・1通	え4014-7
(東組御安口材木師作兵衛へ鑑札頂戴のため出頭の旨伝達の触状) 産物御役所(印)→荒町村富吉		横切継紙・1通	え4014-8
(書状、種紙改印押方いたし置き、荷出しの都合もよろしく右印帳面等相送るに付) 竹隠→(草間)市治様	6月11日	横切継紙・1通	え4014-9
(書状、この度羽尾村出役いたし大幸の改め方兼帯仕り改印並びに帳面とも御廻し成し下されるべきに付) 竹隠→(青柳)増太郎様・(富岡)良右衛門様・(八田)慎蔵様・(八田)五十司様	6月10日	横切継紙・1通	え4014-10
(書状、蚕種改印並びに帳面など羽尾村よりの使いに今日御廻し下されたきに付) 市治→(青柳)増太郎様・(八田)慎蔵様	6月15日	横切継紙・1通	え4014-11
口上覚(50駄200枚のうち100枚は手元より差上げ残り100枚は御手元に付拝借仕りたきに付) 和田弥左衛門(印)→坂本齋助様・富岡良右衛門様	8月22日	横切継紙・1通	え4014-12
(書状、先日御預かり置いた錢札1貫700文昨日御引替し御落手下されるべきに付) * 勘返状 (青柳)増太郎→(八田)慎蔵様	8月19日	横切継紙・1通	え4014-13
(書状、出頭不能に付先月・当月両月分の扶持米切手頂戴のため代判願) (青柳)増太郎→(入)弥左衛門様・(春山)喜平次様	8月17日	横切継紙・1通	え4014-14
(書状、金国札御引換差支えに付工夫願) (春山)喜平次→(富岡)良右衛門様		横切継紙・1通	え4014-15
(書状、繭仲買御鑑札七月八日返上致す旨申し聞くに付) (富岡)良右衛門→(青柳)増太郎様・(八田)慎蔵様		横切紙・1通	え4014-16
(新町村久之丞・文助2百両ずつ引換願並びに有旅村儀一郎蚕種5分付紙137枚など書上)		横切継紙・1通	え4014-17
(書状、当7日引換御納戸へ内預ヶの上通帳いまだ御廻し成し下されずに付御廻し願) (坂本)齋助→(青柳)増太郎様・(八田)慎蔵様	8月10日	横切紙・1通	え4014-18

8.会所・商社来状一括

(書状、金国銭札来る11日に計政局へ差上げの旨御達しに付) * 勘返状 (青柳)増太郎→(八田)慎蔵様	8月9日	横切継紙・1通	え4014-19
(書状、御周旋成し下されるに恐れ入るに付、御請)(大日方)良之助	24日	横切継紙・1通	え4014-20
(書状、商社札引換に付算師助取り計らい) (坂本)齋助→(八田)慎蔵様	7月23日	横切紙・1通	え4014-21
(書状、商社札御引換に付掛札掲げ直し) 庶勤掌→商法掌御中	7月12日	横切継紙・1通	え4014-22
(書状、明日御出立御治定などに付) * 勘返状 (八田)慎蔵・(富岡)良右衛門→兵馬様・由一郎様	17日	横切継紙・1通	え4014-23
(書状、佐久郡の米御買上代金官札払底に付産物会所において時借願など) * 勘返状 (水野)清右衛門→(富岡)良右衛門様	7月12日	横切継紙・1通	え4014-24
(書状、明日丸山氏と申し談ずに等に付) (坂本)齋助→(八田)慎蔵様	7月22日	横切継紙・1通	え4014-25
(書状、新潟で買い上げの玄米今以て着米なきに付容赦願) (坂本)齋助→(富岡)良右衛門様・(八田)慎蔵様	7月22日	横切継紙・1通	え4014-26
(書状、中町弥助宅へ訪問の旨伝達願に付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様	7月10日	横切継紙・1通	え4014-27
(書状、御預所富竹村他4ヶ村国役金納の御手形44両2朱を金札と御引換への礼) 藤右衛門→(富岡)良右衛門様	6月2日	横切継紙・1通	え4014-28
(書状、差し支えに付請払の元帳を急ぎ御廻し願) 富岡良右衛門→青柳増太郎様・八田慎蔵様	8日	横切紙・1通	え4014-29
(書状、引替御手形札の方御納戸の方に何れ間違ひあるに付添付の貼札大切にすべき旨) (水野)清右衛門→(坂本)齋助様・(富岡)良右衛門様	6月27日	横切紙・1通	え4014-30
(書状、御預所村山村の穢多引替の件に付) * 勘返状 (八田)慎蔵→(富岡)良右衛門様	2日	横切紙・1通	え4014-31
(書状、御談事申したき事があるため御役所まで出頭願) 司金→(八田)五十司様	6月27日	切継紙・1通	え4014-32
(書状、当5日引換ある所いまだ御元帳・通帳共御廻し成し下されずに付早々御廻し願) (坂本)齋助→会所御詰合様	7月8日	横切紙・1通	え4014-33
(書状、水野氏助成講の分御繰合願いたきと申し聞かされるに付等) 兩人→(富岡)良右衛門様	7月3日	横切継紙・1通	え4014-34
(書状、別紙伊兵衛願いの通り先例に任せ免じの件承知願) 郡政方→計政方様	5月17日	横切継紙・1通	え4014-35
(最初御布金のことに付用状) * 勘返状 (八田)慎蔵→竹隠様		小切継紙・1通	え4014-36
(材木など税金内預ヶ通帳拝借願に付用状) * 勘返状 (青柳)増太郎→(八田)慎蔵様	7月10日	横切紙・1通	え4014-37
(書状、送金受取等に付)	9日	横切紙・1通	え4014-38
(差上げ置いた金子御附印の上使丁に御廻し願に付用状) 富岡(良右衛門)→青柳(増太郎)様・八田(慎蔵)様	7月9日	切継紙・1通	え4014-39
(書状、人少なきに付今1日何分願) (青柳)増太郎→御三人様	6月10日	横切継紙・1通	え4014-40

(書状、官札今日引換のため札御懸け替え願) (坂本) 齋助→御四人様	6月9日	横切紙・1通	え4014-41
(書状、風呂敷に包みこの者へ御下し願など) (八田) 慎蔵→(八田)五十司様	17日	横切継紙・1通	え4014-42
(商社御引替の件問合せの旨用状) 司金方→御引替掛様	6月9日	横切紙・1通	え4014-43
(書状、矢代村のように製作人いまだ名前記さず改印ならず等付) (青柳)増太郎→御三人様	6月22日	横切継紙・1通	え4014-44
(今日は引換無しに付用状) (坂本) 齋助→御詰合様	7月8日	小切継紙・1通	え4014-45
(書状、富岡より佐久郡天神林村よりの御買上米代金の内120両を御中借の件取計い願に付) (水野)清右衛門→(八田)慎蔵様	6月18日	横切継紙・1通	え4014-46
(蚕種改めの件中之条より不都合申出に付掛合のため諸書類など拝借願の旨用状)	6月20日	横切継紙・1通	え4014-47
(書状、妻科村男の願書に付只今より東京へ広助口入に罷り越す旨) *勘返状 (青柳)増太郎・(八田)慎蔵→清右衛門様	19日	横切継紙・1通	え4014-48
(伊勢町杏干仁買市左衛門鑑札今以て返上致さずに付返上命令の触状) 産物御役所(印)→右(伊勢)町役人(印)	6月10日	横切継紙・1通	え4014-49
(書状、着船次第俵数報知願) 治水庶務→商法掌御中	6月8日	横切継紙・1通	え4014-50
(久左衛門病氣に付代人印形持参にて鑑札交付願の旨用状) (八田)慎蔵→(青柳)増太郎様・(八田)五十司様	17日	切紙・1通	え4014-51
(書状、引換のことについて御相談仕りたきに付出張願) (坂本) 齋助→(富岡)良右衛門様	6月13日	横切継紙・1通	え4014-52
(青柳増太郎殿・富岡良右衛門殿・八田慎蔵殿・八田五十司殿分米代金書上)		小切紙・1通	え4014-53
口演(只今の金高27両1分差上げるに付) 哲治	20日	小切紙・1通	え4014-54
(書状、権堂村釘屋三郎右衛門の御手形と鑑札御引替の件内々願) 宗三郎→(青柳)増太郎様・(富岡)良右衛門様・(八田)慎蔵様内願筋	6月17日	横切継紙・1通	え4014-55
(書状、下筋払米相場の件詮索に付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様	20日	横切継紙・1通	え4014-56
(書状、東京より御一同御預所の鑑札御到来に付落手などに付) 藤右衛門→商法掌様貴答	6月2日	小切継紙・1通	え4014-57
(書状、昨日の御札並びに120金の分を御面倒ながら送金願に付) (富岡)良右衛門→(坂本) 齋助様	6月19日	小切継紙・1通	え4014-58
(書状、只今宮原氏よりの別紙の件に付) (坂本) 齋助→御四人様	6月14日	小切継紙・1通	え4014-59
(書状、120金の事について承知願に付) (坂本) 齋助→(富岡)良右衛門様	6月19日	横切継紙・1通	え4014-60
(書状、来訪願) 惣兵衛・栄左衛門→(富岡)良右衛門様・(八田)慎蔵様	6月24日	小切継紙・1通	え4014-61
(書状、一昨夜の御示談の御開錢の件などに付評議願) 司金→(八田)慎蔵様	6月29日	横切紙・1通	え4014-62
覚(善光寺大門町山城屋仲之助へ玄米14俵お渡し願)		小切紙・1通	え4014-63

8.会所・商社来状一括

(書状、金子75両の節愚兄までご一報願に付) (八田)五十司→(八田)慎蔵様	6月22日燈下認置	横切紙・1通	え4014-64
(書状、昨日御借りした2朱返上するに付) (八田)慎蔵→(青柳)増太郎様	10日	横切紙・1通	え4014-65
覚(むれ米9俵、1両に1斗8升の値段にて払下し願) 現金屋理兵衛[印「信州松代西木町現金屋」]→上	午7月	横切紙・1通	え4014-66
(塩など他諸品運賃書上)		折紙・1通	え4014-67
口上覚(上田丸山平八方より兼ねて願い上げ置いた杏干仁買い取りたきに付鑑札交付願) 八幡村和田弥左衛門→坂本齋輔様	7月14日	横切継紙・1通	え4014-68
(官札引換の様子問合に付用状) *勘返状 (坂本)齋助・(富岡)良右衛門→御両君様	18日	横切紙・1通	え4014-69
口上覚(種御改印願いたきに付出役願) 力石村塚田一郎→御産物方御役所	7月18日	小切継紙・1通	え4014-70
(書状、庶務方よりの通達の取計い方承知などに付) (富岡)良右衛門→(八田)慎蔵様	22日	横切継紙・1通	え4014-71
追加(春日新田300俵口は元吉取計いにて桑名川へ新屋開くに付飛脚の者へ仰含め願など)		小紙・1通	え4014-72
(書状、中町惣十郎一件書類回覧に付了解願) 庶務掌→商法掌御中	7月17日	横切継紙・1通	え4014-73
口上(今日使いを以て私持参の札100枚残り御手元の100枚合わせて200枚御印鑑願うに付) *勘返状 八幡村弥左衛門→坂本齋助様	8月23日	横切継紙・1通	え4014-74
(別紙の趣宜しく取計い願に付用状) (八田)慎蔵→(青柳)増太郎様・(八田)五十司様恐入	10日	小切紙・1通	え4014-75
(机の上箱入の金子早々に御廻し願に付) 富岡良右衛門→青柳増太郎様・八田慎蔵様	9日	横切紙・1通	え4014-76
(書状、御前酒4樽差上げに付) *勘返状 青柳増太郎・八田五十司→富岡良右衛門様・八田慎蔵様	6月3日	小切紙・1通	え4014-77
(来状入)		綴/(え4008-1~27は一綴)・1綴	え4008
(袋) * (袋上書)「辛未六月 来状入」	(明治4年)辛未6月	袋・1点	え4008-1
(書状、5月中藩札2千両借入に付) 斎助→(八田)慎蔵様	(明治)7月8日	横切継紙・1通	え4008-2
(書状、蚕種相場上田藩懸わり中に中野県へ取調に付) 善治→御三人様	(明治)7月4日	横切継紙・1通	え4008-3
(書状、上田藩より別紙の通り申し来たりに付) 莊作→(八田)慎蔵様・鐵蔵様	(明治)6月27日	横切紙・1通	え4008-4
(書状、替え地は追って御渡しの様子に付誠に不都合至極のこと) 善治→(八田)慎蔵様・恒太郎様・須藤様	(明治)6月27日	横切継紙・1通	え4008-5
(書状、元御城同心頭役所へ移るため土瓶など4品取り計らい願に付) 鈴木富治→竹花兵馬様・中村小三郎様	(明治)6月13日	横切継紙・1通	え4008-6
(書状、雨宮村田中元吉義の蚕種改印1枚無きに付打込み願)	(明治)6月5日	横切継紙・1通	え4008-7
(書状、小森村伊藤喜久蔵ほか支配所へ種紙売り渡しの件など間違いに付) (青柳)増太郎→(八田)慎蔵様・鉄蔵様	(明治)6月19日	横切継紙・1通	え4008-8
(書状、書類2通当人へ御渡しに付) 会計方庶務掌→商	(明治)7月22日	横切紙・1通	え4008-9

法掌御中			
(書状、東福寺村宮下角右衛門名前違いなど御報伺いに付) (青柳)増太郎→(八田)慎蔵様・鉄蔵様	(明治)6月18日	横切継紙・1通	え4008-10
(書状、追願人へ臨時鑑札渡すことなど他4ヶ条に付) (古川)岩之助→(八田)慎蔵様申上置	(明治)	横切継紙・1通	え4008-11
(書状、下布施村田中六右衛門願い出すも元帳に無きに付) 鉄蔵→(八田)慎蔵様申上	(明治)6月13日	横切継紙・1通	え4008-12
(この一封村継にて商法方へ達しに付) 古川岩之助(印)→力石村・上山田村・上徳間村・内川村・矢代村・雨宮村(印)・土口村(下札)「御用ニ付無印」・岩野村(印)・清野村(印)右村々三役人	(明治4年)辛未6月9日	横切継紙・1通	え4008-13
(書状、藩札引換入料の小盤紙5状・巻紙1本遣わすに付) 兵馬・小一郎→良右衛門様・(八田)慎蔵様・鉄蔵様	(明治4年)6月3日	横切継紙・1通	え4008-14
(書状、内川村定次種紙違い改め取り計らい方に付) 善治→良右衛門様	6月2日	横切継紙・1通	え4008-15
(書状、返金の件当惑に付工夫を願い) 齊助→良右衛門様・(八田)慎蔵様	6月4日	横切継紙・1通	え4008-16
(書状、助成講無尽証文一綴落手に付) (八田)慎蔵→齊助様	22日	横切継紙・1通	え4008-17
(書状、小盤紙5帖遣わし方に付) 小一郎→(八田)慎蔵様・鉄蔵様	7月22日	横切継紙・1通	え4008-18
(書状、吉田村他4ヶ村今般中野県管下相成諸書物引渡しに付油絞り紺屋など取調依頼) 野中喜左衛門様→八田慎蔵様・青柳増太郎様	7月17日	横切継紙・1通	え4008-19
(書状、改印払底のため送付・村々鑑札渡しに付) (古川)岩之助→(八田)慎蔵様	6月9日	横切継紙・1通	え4008-20
(書状、員枚鑑札500枚受取の旨いづれ申し上げに付) 善治→(八田)慎蔵様	6月9日	横切継紙・1通	え4008-21
(書状、蚕種改印1ツでは間に合わずもう1ツ送付願に付)		横切継紙・1通	え4008-22
(書状、吉田村世話役種一件など不案内に付滞りなく御用遂行願) (宮下)兵馬→(八田)慎蔵様申上	6月15日	横切継紙・1通	え4008-23
(書状、鑑札300枚差上げ等に付) 善治→(八田)慎蔵様・須藤様	18日	横切継紙・1通	え4008-24
(書状、伊勢町御用地1割引き払いに付営繕方棟梁に相談の旨中村氏へ伝達願) 齊助→御詰合様	6月18日	横切継紙・1通	え4008-25
(書状、大豆島村済み次第川合新田他へ引き移りに付) 富岡善右衛門→八田慎蔵様	6月9日	横切継紙・1通	え4008-26
(書状、大豆島村改め川合新田他へ引き移り等に付) 善右衛門→(八田)慎蔵様	6月9日	横切継紙・1通	え4008-27

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

9. 混合文書

9.1. 内方・糸会所混合文書

(金子預り関係書類綴)		綴/(え3488-1～16は一綴)・1綴	え3488
覚(御頼みに付金50両預り証文) 八田嘉右衛門内浦野忠七→大木伊左衛門殿	文政3辰年正月29日	横切継紙・1通	え3488-1
覚(本金3両1分2朱入上舐代金済切証文追って御返し の旨一札) 八田嘉右衛門(印切裂)→長岡助右衛門殿	文政10亥年12月29日	切紙・1通	え3488-2
覚(頼みに付5両預り証文) 八田嘉右衛門(印)→水野大右衛門殿	文化13子年3月	横切紙・1通	え3488-3
(山越おさへ殿分3両1分受取証文) (八田)嘉へもん(嘉右衛門)(印)	文政5午年3月12日	切紙・1通	え3488-4
覚(糸会所へ差出し金30両受取証文) 八田嘉右衛門内浦野忠七→相之助殿	子12月27日	横切継紙・1通	え3488-5
覚(8ヵ年賦割合の内3両2分預り証文) (八田)嘉右衛門→ふミ様	子正月5日	横切継紙・1通	え3488-6
覚(浄福寺取替金100両、田山が差戻しの旨約定証文) 八田嘉右衛門(印切取)→大林寺方丈江	文政6未年8月15日	横切継紙・1通	え3488-7
覚(御頼みに付金33両預り証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→木内求喜殿	文政8酉年12月	横切継紙・1通	え3488-8
覚(御頼みに付金10両預り証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→水野七郎兵衛殿	文化元(マ)寅年6月	横切継紙・1通	え3488-9
覚(御頼みに付金8両2分預り証文) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印墨消)→おせきとの	文政9丙戌年12月	横切紙・1通	え3488-10
覚(安藤玄墓無尽講御取金15両預り証文) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印切裂)→本光老	文政3辰年12月	縦紙・1通	え3488-11
覚(預り金100両預り証文) 八田嘉右衛門(印擦消)→轟五郎右衛門殿・轟市右衛門殿	文政10亥年12月	縦紙・1通	え3488-12
覚(預り金150両預受取証文、8月5日に返納) * (端裏書)「済切証文」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿	文政11子年7月	縦紙・1通	え3488-13
覚(糸会所へ借入金受取証文、貸下げ引当金の内へ差出) 八田辰三郎(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)、(奥書) 八田嘉右衛門(印墨消)→真田勘解由殿	文政10亥年12月	縦紙・1通	え3488-14
覚(預り金100両受取証文、11月中に返済) * (端裏書)「十二月四日堀内殿より返り証文」 八田嘉右衛門(印切抜)→堀内与一右衛門殿	文政10亥年10月	縦紙・1通	え3488-15
覚(糸会所へ貸下げ金100両時借証文) 八田辰三郎(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)、(奥書) 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政10亥年11月16日	縦紙・1通	え3488-16

9.2. 内方・産物会所混合文書

(御趣意御預金など受取証文綴)		綴/(え3471-1～18は一綴)・1綴	え3471
-----------------	--	----------------------	-------

覚(御趣意御預金500両受取証文、当暮に返済) * 11月に200両返済後、同一文書で天保6年未付にて証文書替/(端裏書)「未三月中上納済」 八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿	天保5午年11月	縦紙・1通	え3471-1
覚(御趣意御預金400両受取証文、当月下旬に返済) * 本文墨消 八田嘉右衛門(印)→水野友作殿	天保8酉年4月	縦紙・1通	え3471-2
覚(御趣意御預金200両受取証文、来年正月に返済) * 本文墨消/後筆、一部返済の旨貼紙付 八田嘉右衛門(印)→水野友作殿	天保8酉年11月	縦紙・1通	え3471-3
覚(御趣意御預金100両受取証文、来年正月に返済) * (端裏書)「都合酉年四百両内三百両戌正月二日御返済切手御返事 残り百両證文替」/本文墨消 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保8酉年12月	縦紙・1通	え3471-4
覚(御趣意御預金100両受取証文、来年正月に返済) * 本文墨消 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保8酉年12月	縦紙・1通	え3471-5
覚(要用に付御口合下賜金100両受取証文、来年12月中に返済) * 本文墨消 八田嘉助(印墨消)・(後筆)「加判八田喜兵衛印」→小林唯藏殿	天保9戌年12月	縦紙・1通	え3471-6
覚(御趣意御預金200両受取証文、当暮に返済) 八田嘉右衛門(印切裂)→(後筆)「水野友作殿」	天保10亥年11月	縦紙・1通	え3471-7
覚(御趣意御預金300両受取証文) 八田嘉右衛門(印切裂)→水野友作殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3471-8
覚(御頼みに付20両預、貸出金に取計らう旨の一札) 八田嘉右衛門内長崎源吾(印墨消)→善光寺町おてる殿・清水名三右衛門殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3471-9
覚(御趣意御預金200両受取証文) 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3471-10
覚(御趣意御預金100両受取証文、来年3月中上納) 八田嘉右衛門(印切裂)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿・池田良右衛門殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3471-11
覚(御趣意御預金100両受取証文、来年3月中上納) 八田嘉右衛門(印切裂)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿・池田良右衛門殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3471-12
覚(要用に付内借金70両受取証文、7月中上納) * (端裏書)「百両内七拾兩之元り引 残り貳拾八兩貳分一朱貳匁貳分五厘御錢三百五十三文」/本文墨消 八田喜兵衛(印墨消・切裂)・八田嘉右衛門(印墨消・切裂)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿・池田良右衛門殿	天保11子年5月	縦紙・1通	え3471-13
覚(産物代金為替金103両余受取証文) 八田嘉助(印墨消)→松沢文右衛門殿	天保11子年11月24日	縦紙・1通	え3471-14
覚(産物会所貸下金の内金100両才覚受取証文、貸下げ引当品物預託に付) 八田嘉助(印墨消)・八田喜兵衛(印墨消)→御用達治助	天保11子年3月5日	縦紙・1通	え3471-15
覚(要用に付内借金30両受取証文、今月21日上納) * (端裏書)「子五月廿一日元利上納」/後筆あり 八田喜兵衛(印墨消)・八田嘉右衛門(印墨消)→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿・池田良右衛門殿	天保11子年5月	縦紙・1通	え3471-16
覚(御趣意御預金100両受取証文、来年3月中上納) * (端裏書)「引替下案」 八田嘉右衛門→大嶋磯右衛門殿・西村源藏殿・池田良右衛門殿	天保10亥年12月	縦紙・1通	え3471-17
覚(御趣意御預金100両受取証文、晦日上納) 八田嘉右衛門(印墨消)→水野友作殿	天保11子年8月	縦紙・1通	え3471-18

10.その他

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

10. その他

(袋) * (袋上書)「無盡方入用書面」 八田知義	文化12乙亥年3月調	袋/(え3978はえ3979を一括していた袋)・1点	え3978
(包紙) * (包紙上書)「日延證文 一通」/(包紙貼紙)「金三拾五兩並木兩氏渡邊氏日延證文済切ニ付返遣此方より町方受取印書取戻可申事」		包紙・1点	え3595

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

11. 混入文書

伊東様御病気御見舞 覚		横長半・1冊	え3920
-------------	--	--------	-------

〈欠番〉

作業に関わって、次の番号が欠番となった。

え3508

え3596

え3747

既刊目録に見られる八田家文書群の階層構造一覧

凡 例

SF=サブフォンド、S=シリーズ、SS=サブシリーズ、f=ファイル、Sf=サブファイルとする。

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
01	内方(御茶之間)				1	2	3	4	5	6	7	8	9
	01	系図・親類書			1	2						8	
		01	由緒			2						8	
		02	扶持方請取			2							
	02	相続			1	2				6		8	
		01	家督			2						8	
	03	家訓・規定			1	2				6		8	
		01	条目・遺言		1							8	
		02	東条村養父運右衛門殺害候八十吉磔罪一件									8	
		03	勝手向取締(家政立て直し)		1	2							
		04	役代調印規定		1								
		05	帳簿口立規定		1								
		06	店人足規定(奉公人規定)		1								
		07	帳面仕立方			2							
		08	元方・勘定一式			2							
	04	人別改			1								
	05	家族・奉公人(別家・日傭)			1	2	3	4	5	6	7	8	9
		01	鉄之助内室出産					4					
		02	市兵衛意見書					4					
		03	増田徳左衛門家勝手向き立て直し									8	
		04	本家勝手向立て直し										9
		05	鉄之助嫡子									8	
		06	大瀬登へ養女縁組									8	
		07	鉄治郎松村家養子入り									8	
		08	嘉永7年江戸表鉄治郎離縁一条書類綴									8	
		09	鉄治郎金井家養子入り									8	
		10	辰三郎引き取り									8	
		11	八田喜兵衛一件										9
		12	人名・年齢書上					4					
		13	儀礼						5				
		14	役代						5			8	
		15	店人別規定(奉公人規定)			2							
		16	奉公人請状										9
		17	奉公人勤向			2						8	9
		18	奉公人給金不払一件			2							
		19	奉公人給金出入				3					8	
		20	貸付金									8	
	06	親類					3						
		01	増田徳左衛門家勝手向立て直し				3						
		02	親類不埒示談仲介				3						
	07	田村半右衛門書状綴						4					
	08	家政							5				
	09	藩への上納金・才覚金						4	5		7	8	9
	10	藩関係									7	8	9
		01	御目見								7		9
		02	救恤								7		
		03	勤務										9
		04	献上										9
		05	藩士との交際										9
		06	藩士への縁組への助力										9
		07	藩主相撲上覧一件										9
		08	他藩ほかの情報										9
		09	その他								7		

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
	11 町関係										7		
	01 立入人										7		
	02 上水関係										7		
	12 給人格取立・扶持加増							4	5			8	
	13 土地経営(所有地経営)				1		3			6		8	9
	01 持地				1					6		8	9
	02 借家(借家・借地)									6			9
	03 江戸屋敷									6			
	04 持地・抱屋敷絵図				1								
	05 抱屋敷肝煎用留				1								
	06 買取・質取				1					6		8	9
	07 売渡				1								9
	08 田畑見廻				1								
	09 田地譲渡									6			
	10 家賃・小作年貢取立				1	2							
	11 小作年貢滞納出入				1	2							
	12 小作方日記				1								
	13 年貢諸役上納				1								
	14 米・桑売渡				1							8	
	15 家屋敷建築					2							
	16 下屋敷					2				6			
	17 抱屋敷引請					2						8	
	18 抱屋敷普請					2							
	19 手作地					2							
	20 田地譲渡取調					2							
	21 質地証文・借用証文							4(SF)					
	22 所持地年貢目録												9
	23 所持地石高取調												9
	24 土地絵図												9
	25 小作							4(SF)					
	26 土口村小作(土口村)					2						8	9
	27 矢代村小作(矢代村)					2					7	8	9
	28 生菅村小作					2							
	29 長岡助右衛門小作					2							
	30 古屋敷小作					2							
	31 東寺尾村新堰					2							
	32 居屋敷・土蔵						3					8	
	33 自作・小作貸出						3						
	34 質入									6		8	
	35 小作									6		8	
	36 根津村											8	
	37 小作米日延											8	
	38 小作証書											8	
	39 赤倉温泉											8	
	40 鹿沢温泉・山野湯温泉											8	
	41 年貢諸役上納											8	
	42 御安口堤土手											8	
	43 井上村											8	
	44 東寺尾村											8	9
	45 西寺尾村											8	9
	46 沓野村											8	
	47 上徳間村											8	
	48 皆神山											8	9
	49 牧内村											8	9
	50 田野口村										7		
	51 後町										7		
	52 清野村										7		9
	53 東条村										7		9

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
		54	平林村								7	8	9
		55	赤岩村										9
		56	田中村										9
		57	河原新田										9
		58	浦新田										9
		59	木町										9
		60	西条村										9
		61	岩野村新田										9
		62	会村										9
		63	東荒町村										9
		64	中条村										9
		65	荒町村										9
		66	御安口村										9
		67	新御安口村										9
		68	荒町										9
		69	浄行寺										9
		70	練光寺								7		
		71	地券									8	
		72	その他								7		9
	14	小作年貢滞出入一件				2				6(SS)			
		01	岩村田小作年貢滞一件			2							
		02	飯山小作年貢滞一件			2							
		03	田野口村小作年貢滞一件			2							
		04	中野質地一件			2							
		05	赤倉湯一件			2							
	15	材木方			1	2				6		8	
	16	通船方			1	2						8	
	17	金融			1	2			5	6	7	8	9
		01	借入金・預り金		1		3		5	6		8	9
			01 松代藩御用達金預り運用				3						
		02	貸付金		1	2	3		5	6		8	9
		03	他家借財片付		1					6			
		04	無尽		1	2	3(S)		5	6	7	8	9
		05	預り金利払			2							
		06	貸付金調			2							
		07	貸付金返済滞			2							
		08	広田筑後・岩出六右衛門無尽一条			2							
		09	皆神山無尽			2							
		10	家中侍借財勝手向立直し			2							
		11	質地・借金						5				
		12	飯山藩・岩村田藩領小作年貢滞一件						5				
		13	伊勢山田御師廣田筑後一件						5			8	
		14	家中借財勝手向立直							6			
		15	貸借金								7		
		16	宿方式割増御手充積金									8	
		17	余計金上納									8	
		18	下屋敷御助成金									8	
		19	拝借米									8	
	18	飯山領									7	8(SS)	9
		01	無尽								7		9
		02	訴訟								7		
		03	貸付金										9
		04	質地										9
	19	上田領											9
	20	岩村田領									7	8(SS)	9
		01	勝手御用										9
		02	仕送金										9
		03	小作										9

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
			04 貸付金										9
	21		田野口領										9
	22		埴科郡下戸倉村(幕領)										9
	23		小県郡根津(旗本知行所)										9
	24		赤倉温泉										9
	25		出張		1	2							
		01	出張			2							
	26		金銭・穀物請払		1				5	6	7	8	9
		01	店方江下ヶ金・上納金		1	2						8	
		02	金銭請取		1	2							
		03	暮方見積		1								
		04	入用		1							8	
		05	買物方日記		1								
		06	金銭出入帳(金銭請払帳)		1								
		07	金銭差引(金銭差引帳)		1							8	
		08	穀物・諸品請払		1			4(S)				8	9
		09	金銭穀物請払取調勘定		1								
		10	請払勘定覚			2							
		11	木町伊勢町差引帳			2							
		12	金銭払方			2				6			
		13	雑穀			2							
		14	売掛金滞			2							
		15	金銭勘定							6			
		16	普請							6			9
		17	近代税金領収書									8	
		18	近代諸領収書									8	
		19	小切手									8	
		20	株券									8	
	27		賄		1	2			5	6			
		01	賄穀物請払		1								
		02	入用		1								
		03	勝手方日記・控帳		1								
		04	御膳日記		1								
		05	諸品通帳(家計)			2							
		06	諸品請払							6			
	28		勝手向				3					8	
		01	勝手向立て直し				3					8	
		02	勝手向取極・諸入用				3						
		03	金銭出入帳				3						
	29		棚卸		1	2							
	30		家計取調										9
	31		日記・控留		1								
		01	被仰付書・願書控留		1								
		02	状留		1								
		03	茶之間日記・元方日記・役代日記他		1								
		04	万書留帳		1								
		05	手控		1	2							
		06	殿様湧泉亭御入一条			2							
	32		儀礼(家族)		1	2	3			6	7	8	9
		01	為知帳		1	2							
		02	赤飯配		1	2							
		03	出生										9
		04	元服										9
		05	献上・進物		1		3					8	
		06	献上・寄付							6			
		07	来訪人名面帳		1								
		08	到来物		1	2	3						
		09	贈答覚帳(贈答)		1						7		

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
			10 贈答・進物										9
			11 婚姻・離縁		1	2				6	7		9
			12 葬儀・法事		1	2				6	7	8	9
			13 先祖供養										9
			14 大福帳(諸儀礼覚帳)		1								
			15 年中行事帳		1								
			16 宴会		1							8	
			17 引越為知			2							
			18 祝儀入料			2							
			19 書状[儀礼的書状]				3			6		8	
			20 中島三右衛門書状									8	
			21 目録・目録包紙一括									8	
	33 旅				1								
		01 社寺参詣			1								
		02 入湯			1								
	34 寺社(寺社奉加)				1	2			5	6	7	8	9
		01 社寺奉加				2							
		02 浄福地借財関係											9(f)
		03 浄福寺祠堂金貸付一件											9(f)
		04 松代大林寺										8	
		05 松代清瀧山観音堂										8	
		06 松代証蓮寺										8	
		07 湯田中梅翁寺										8	
		08 高野山明泉院										8	
		09 松代興善寺										8	
		10 松代離山神社										8	
		11 その他									7		9
	35 家財				1							8	
		01 武器			1	2						8	
		02 衣類・諸道具・絵画他			1	2							
		03 武具・印章等注文					3						
		04 茶道具等売払					3						
		05 諸道具貸出					3						
	36 投資										7		
		01 松代貯積銀行									7		
	37 蔵書				1		3			6			
	38 見聞・風説書				1	2	3			6		8	
	39 アメリカ船渡来情報収集							4					
	40 外交・軍事情報								5			8	
	41 諸芸				1	2	3			6	7	8	9
		01 文芸			1	2			5(S)			8	
		02 茶の湯			1	2						8	9
		03 学芸					3						
		04 能					3						
		05 柔術					3						
		06 水術					3						
		07 松明製法					3						
		08 手習										8	
		09 占術											9
	42 学校				1		3			6		8	
		01 試験問題					3						
		02 教科書										8	
	43 証書				1								
		01 生系改会社証記簿			1								
		02 横浜正金銀行創立証書			1								
	44 養蚕						3						
	45 信心						3						
	46 書状類								5		7		

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
	47 諸書類								5			8	9
		01 大瀬弥門縁付関係綴										8	
		02 京平岡入日記										8	
		03 雑用書類										8	
		04 岩村田上向筋調帳面綴										8	
		05 文政5年御出張付入用書類										8	
		06 当用書帖										8	
		07 天保7年御向來状綴										8	
		08 嘉永5年中到来の要用書状綴										8	
		09 嘉永7年3月より品々差引書抜										8	
		10 安政2年6月よりの要用来簡綴										8	
		11 安政3年8月以降来簡綴										8	
		12 安政3年～文久元年要用の書類綴										8	
		13 安政4年7月中到来書簡										8	
		14 安政4年11月中到来書簡										8	
		15 紀元2533年6月中よりの来章綴										8	
		16 巳年京都入綴										8	
		17 明治10年2月用書類綴										8	
		18 善光寺一件										8	
		19 澤守禮ほか印書関係											9
		20 安政三丙辰年正中中よりの参簡											9
		21 依田市右衛門関係											9
		22 諸方到来之文通											9
	48 その他				1								9
02 店方					1	2			5	6	7	8	9
	01 酒造方(酒蔵・酒店)				1	2	3	4		6	7	8	9
		01 酒株・酒造高書上			1		3	4		6		8	
		02 酒造鑑札			1								9
		03 内方より拝借米金・上納金			1								9
		04 酒造入用			1								9
		05 酒蔵より酒店出酒			1								
		06 売渡			1		3						
		07 金銀出入帳			1								
		08 取替(立替)			1								
		09 棚卸			1	2							9
		10 酒蔵・酒道具貸付			1	2							
		11 諸控留			1	2							
		12 蔵書			1								
		13 酒蔵・酒店勘定				2						8	
		14 酒売掛帳				2							
		15 酒蔵普請				2							
		16 水油				2							
		17 質地証文						4					
		18 酒株・鑑札								6		8	
		19 仕法								6		8	
		20 酒造高										8	
		21 酒造米貸付										8	
		22 奉公人(使用人)								6		8	
		23 手充								6			
		24 諸品請払								6			
		25 借入金								6		8	9
		26 一件								6			
		27 道具調								6			
		28 書状								6			
		29 褒賞										8	
		30 酒造関係綴										8	
		31 酒造関係重要古書類											9
	02 呉服店				1	2			5		7	8	

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
		01	売買		1							8	
		02	御会符荷物		1								
		03	棚卸		1								
		04	控留		1								
		05	呉服仕入勘定			2							
		06	古着			2							
	03	油店			1	2				6		8	
		01	内方より拝借金・上納金		1								
		02	金銭請払		1								
		03	棚卸		1								
		04	油・醤油			2							
		05	奉公人(使用人)									8	
	04	醤油店(松井店)			1	2	3			6	7	8	9
		01	内方より拝借金・上納金		1								
		02	仕入		1								
		03	売渡		1								
		04	売買差引勘定		1								
		05	入用		1								9
		06	取替(立替)		1								
		07	棚卸		1							8	
		08	道具調		1								
		09	越後赤倉松井店		1								
		10	店立て直し				3					8	
		11	他店立て直し										9
		12	藩御用				3						
	05	赤倉松井店									7		
	06	質店			1	2				6		8	
		01	内方より拝借金・上納金		1								
		02	入用		1								
		03	取替(立替)		1								
		04	棚卸		1								
		05	控留		1								
	07	その他			1								
	08	陶器方				2	3	4					
	09	甘草方						4					
	10	諸勘定							5				
03	町方/町年寄				1	2	3	4	5	6	7	8	9
	01	控留			1							8	
		01	高札・条目写控		1							8	
		02	町年寄用留		1			4					
	02	触留							5				
	03	宗門改							5			8	9
	04	諸役・貢税			1							8	
		01	家数・町役書上		1							8	
		02	伝馬役		1							8	
		03	巡見本陣役		1								
		04	明治期貢税取調		1								
		05	御用金									8	
	05	殿様御用			1					6		8	
		01	殿様帰城出迎		1								
		02	殿様御入接待		1								
	06	救済			1							8	
		01	飢饉		1							8	
		02	火災・水害		1							8	
	07	講			1								
		01	町内無尽講		1								
		02	恵比寿講		1								
	08	町会所				2							

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
	09	穀行事				2							
	10	御巡見様入用				2							
	11	大庄屋				2							
	12	触書写控					3						
	13	転切支丹類族改					3						
	14	殿様御入					3						
	15	飢饉時米調達					3						
	16	町政								6	7	8	9
	17	御取締								6			
	18	御巡見様御用								6		8	
	19	貸借								6		8	
	20	社倉								6			
	21	町内無尽								6			
	22	一件								6			
	23	祭礼										8	
	24	相場										8	
	25	町役金										8	
04	松代藩御用				1	2	3			6		8	9
	01	年貢諸役取立請負・御用米金調達			1	2						8	
	02	御勝手御用役			1		3						
		01 月番表			1								
		02 用留・日記			1								
		03 融通金			1								
	03	産物御用掛			1		3	4				8	
		01 用留			1								
		02 産物取立無尽			1		3						
		03 国産方入用			1								
		04 産物御用掛任命					3	4					
		05 藩より拝借金					3						
	04	手控			1								
	05	御用達金預り運用					3					8	
	06	産物売捌方問屋					3						
		01 褒賞					3						
	07	川船会所					3					8	9
		01 通船免許					3					8	9
		02 通船貸下					3						
		03 通船取締					3						
		04 会所世話料					3						
		05 金子・田畑屋敷貸下					3					8	
		06 冥加金					3						
		07 飯山一件											9
		08 中野一件											9
		09 貸付金											9
		10 諸書類綴										8	
	08	接待用諸道具貸出					3						
	09	御用金・御用米								6			
	10	江戸運送								6			
	11	人足								6			
	12	漬物御用										8	
	13	荷物札差認方										8	9
	14	御用米納入											9
	15	巡見使接待											9
	16	分量金											9
05	会所・商社/糸会所				1(S)	2	3	4	5			8	9
	01	藩より拝借金品			1(SS)		3						
	02	諸方より預り金・借入金			1(SS)		3						
	03	会所貸下金			1(SS)		3						
	04	借入金・預り金・貸付金						4	5				

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
	05	繭中買人仲間・糸元師仲間			1(SS)			4					
	06	糸元師への鑑札給付						4					
	07	糸元師不正取り締まり						4					
	08	糸元師の統制							5				
	09	紬市統制						4					
	10	紬中買人仲間			1(SS)								9
	11	糸売買			1(SS)								
	12	買物帳			1(SS)								
	13	取替(立替)			1(SS)								
	14	金銀請払			1(SS)								
	15	日記・用留			1(SS)								
	16	御内用荷			1(SS)								
	17	糸会所締掛任命					3						
	18	糸元師					3						
	19	紬類売捌					3						
	20	上州売り捌き						4				8	
	21	紡会所				2							
	22	木綿行司				2							
	23	諸書類綴						4					
06	会所・商社/産物会所				1(S)		3	4	5	6	7	8	9
	01	触順			1(SS)								
	02	拝借金								6			9
	03	藩より拝借金・上納金			1(SS)		3	4	5				
	04	会所江献上金			1(SS)								
	05	会所貸下金			1(SS)		3					8	9
	06	会所より貸下げ品・拝借金						4	5				
		01 蚕種紙						4					
		02 拝借金						4					
		03 諸品						4					
	07	産物改			1(SS)								
	08	出役			1(SS)								
	09	鑑札渡			1(SS)								
	10	産物会所鑑札名面				2							
	11	冥加金取立			1(SS)	2							
	12	絹紬類買入			1(SS)								
	13	絹紬類売捌			1(SS)								
	14	絹紬類貸下			1(SS)								
	15	甘草・杏仁大坂取引			1(SS)								
	16	駄送			1(SS)							8	
	17	麻・木綿売買			1(SS)							8	
	18	蚕種・生糸売買			1(SS)								
	19	入用			1(SS)	2							
	20	金銭請払			1(SS)							8	
	21	金銭請払取調勘定			1(SS)								
	22	棚卸			1(SS)								
	23	日記・用留			1(SS)								
	24	褒賞			1(SS)								9
	25	過料			1(SS)								
	26	産物助成講			1(SS)							8	
	27	道具帳			1(SS)								
	28	蔵書			1(SS)								
	29	会所役人心得方・取計方条々					3						
	30	藩江献上金					3						
	31	藩入用品調達					3						
	32	諸方より預り金					3	4				8	
	33	産物会所仕入金融通				2							
	34	産物無尽				2						8	
	35	産業統制					3	4	5			8	

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
		01	市役金・店口銭				3						
			01 糸市役金				3						
			02 店口銭				3						
		02	絹紬・木綿布・麻布等他製品商売禁制				3						
		03	諸国より城下入込商人改				3					8	
		04	行司				3						
		05	産物改				3						
			01 木綿会所				3						
			02 縮緬改				3						
			03 産物会所并取締役				3						
		06	鑑札				3		5				
			01 領産取締				3						
			02 絹紬仲買鑑札				3	4					
			03 繭仲買・蚕種商売・糸繭買・唐糸師等の鑑札				3	4	5				
			04 蚕種・生糸鑑札				3	4					
			05 木綿商買・木綿布仲買鑑札				3						
			06 杏干仁商売鑑札				3	4					
			07 甘草仲買鑑札				3	4					
			08 天秤振商売(香具)鑑札				3	4	5				
			09 煙草鑑札				3						
			10 楮商人荷宿并鑑札				3	4	5				
		07	糸商売免許				3						
		08	冥加金				3						9(S)
			01 絹紬仲買冥加金				3	4					
			02 繭仲買冥加金				3	4					
			03 唐糸師冥加金				3						
			04 木綿師冥加金				3						
			05 品々冥加金				3						
		09	陶器竈場				3		5	6			
		10	桑畑				3						
		11	縮緬製造				3						
		13	関係書類綴						5				
		17	蚕種・絹紬					4	5			8	
			01 紬売り代金書上					4	5				
			02 隠糸挽					4	5				
			03 触留						5				
			04 仕法替え						5				
			05 糸繭取引						5				
			06 紬ほか売り代金書上						5				
			07 荷札						5				
			08 冥加金										
		18	甘草					4				8	
			01 取締筋					4					
			02 植え付け					4					
			03 鑑札									8	
		19	杏仁					4				8	9(S)
			01 買入れ					4					
			02 惣勘定					4					
			03 「杏仁御買上二付入用之雑書類入」					4					
			04 諸書類綴					4				8	
		20	杏仁・甘草		2(S)			4	5				
		21	楮					4					
		22	天秤振					4					
		23	蚊帳					4					
		24	明礬					4	5				
		25	白粉					4					
		26	硫黄					4				8	
		27	木綿					4	5			8	

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
			01 鑑札									8	
			28 麻						5				
			29 薬草							6			
			30 銅山							6			
			31 諸品					4					
			32 その他					4					
			01 鑑札給付					4					
			02 鑑札制作					4					
		36 絹紬類売買					3						
		13 絹紬類織立					3						
		14 絹紬類買上					3						
		15 絹紬類売捌					3						
			01 絹紬類専売仕法替				3						
			02 上州吹屋村一件				3						
		16 絹紬類貸下					3						
		37 葉藍			2								
		38 陶器竈			2								
		39 大坂交易					3	4	5	6		8	
			01 嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法				3	4	5				
			01 大坂交易関係文書書留				3						
			02 甘草相場下落				3						
			03 炭屋孫七手許不繰合一件				3						
			04 大坂表無心一件				3						
			05 御用場									8	
			06 嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法									8	
		02 西国産物買入					3						
		03 安政期杏仁大坂売捌仕法					3	4	5				
			01 杏仁買上				3						
			02 杏仁大坂試捌				3						
		04 維新时期京坂交易					3						
		05 西国産諸品買い上げ						4					
		06 北国への荷物運送駄賃・取引						4	5				
		07 炭屋孫七割済金関係						4					
		08 炭屋彦五郎からの預り金						4					
		09 炭屋孫七関係書状など綴						4	5				
		10 諸仕切状綴						4					
		11 その他						4					
		40 大坂にて金子調達			2								
		41 京都での取引						4		6			
		42 横浜での取引						4					
			01 才覚金徴集					4					
			02 横浜交易取扱所					4					
		43 近郷での取引						4	5				
		44 江戸での取引						4				8	
			01 諸品					4	5				
			02 売り捌き代金滞り					4	5			8	
			03 荷物送り状					4					
			04 取引						5			8	
		45 江戸への荷物運送駄賃・取引							5				
		46 その他地域での取引							5				
		47 麻・木綿売買					3						
			01 麻売買				3						
			02 木綿売買				3						
		48 明礬江戸送					3						
		49 蚕種・生糸改井外国交易					3						
		50 検断・調停					3						
			01 不実商い吟味				3						
			02 商い出入調停				3						

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
	51 入用						3						
		01 諸入用					3						
		02 会所普請・作事入用					3						
	52 勘定						3			6			
	53 会所運営・賄い領収書							4	5				
		01 近代産物会所領収書綴						4					
		02 御用米世話料						4					
		03 荷物駄賃						4					
		04 諸品						4					
		05 通船川岸端地所売り渡し						4					
		06 役人任免・俸禄							5				
		07 用地取得							5				
		08 賄い領収書							5				
		09 相場状							5				
	54 産物会所手控					2							
	55 産物会所勤人別					2							
	56 産物会所仲間給金					2							
	57 川船会所							4	5				
		01 貸付金						4					
		02 廻送荷物の改め						4					
		03 船手の者の願書受付						4					
		04 小作証文						4					
		05 その他						4					
	58 藩内地域の産物会所							4	5				
		01 力石村						4					
		02 内川村						4					
		03 向八幡村						4					
	59 役人任免・俸禄							4				8	
	60 駄送									6			
	61 一件									6			
	62 諸書類綴						3	4	5	6		8	
		01 東京より来状綴										8	
		02 産物方用事書状										8	
	63 用状						3						
	64 その他						3						
07 会所・商社/松代商法社					1(S)			3	4	5	6	7	9
	01 商法社貸出金				1(SS)								
	02 貸付金の貸与							4					
	03 蚕種・生糸売買				1(SS)								
	04 商社手形・太政官札引換				1(SS)								
	05 入用				1(SS)								
	06 棚卸				1(SS)								
	07 商社引払				1(SS)								
	08 諸書類綴									6			
	09 商社					2							
	10 書状									6			
08 会所・商社来状一括													9
09 長野県							3						
	01 勸業						3						
		01 蚕種・生糸交易					3						
10 松木家							3						
	01 書簡						3						
11 副区長(第大区小区)										6			
12 第六十三国立銀行頭取										6	7	8	
	01 借用											8	
	02 預金											8	
13 電信切手売下所												3	
14 混合文書											7		9

SF	S	SS	f	Sf	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9
	01	内方・糸会所混合文書											9
	02	内方・産物会所混合文書											9
15		内方・産物会所混合文書						4	5				
	01	「有用之紙屑」						4					
	02	書状・領収書ほか一括						4	5				
	03	白紙・断簡							5				
16		内方・店方・産物会所混在文書								6			
17		その他						4		6	7	8	9
	01	諸書類綴						4					
	02	真田家郡方当番日記						4					
	03	不明										8	
	04	こより										8	
18		混入文書										8	9
	01	信濃国佐久郡御馬寄村町田家文書										8	
		01 町田家										8	
		02 収集史料										8	
	02	下総国相馬郡藤代村飯田家文書										8	
	03	不明										8	

『信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その1～9)』より作成

史料目録 第 102 集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 9）

印刷発行 平成 28 年 3 月 31 日

発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館

編集 調査収集事業部

〒 190-0014

東京都立川市緑町 10-3

電話 050-5533-2900（代）

印刷 三鈴印刷株式会社

© 人間文化研究機構 禁無断複写

（本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第 78 集まで発行）を継続しています。）

（本文用紙は中性紙を使用しています。）

ISBN978-4-87592-175-2

ISSN2189-9010



9 7 8 4 8 4 5 9 2 1 7 5 2

ISBN978-4-87592-175-2

ISSN2189-9010